昭和33年度～

月刊毎月25日発行
消防秋田
発行所　秋田県消防協会
発行編集人　伊藤忠平郎
秋田市下笠川町七
印刷所　太陽印刷株式会社
電話四八三五番

消防制度改正法案

今次国会に提案を見合せ

全国消防関係者の重大関心事である消防制定の改正法案は今次国会に提出することを見合せ、次期国会に提出することになった。

今次国会に提出するかどうかは、政府当局にも両論があり、その帰趨は予断を許さぬ状況であったが、結局次期国会に持越しと決定したもの。

国家消防本部では、折角盛り上った改正気運の冷却を憂慮し、種々施策を練っているが、近く参議院地方行政委員会に小委員会の設置を申し入れると共に、全国の消防関係者にも働きかけ、次期国会までには改正は、危険度に応じ掛金に地域差を設けなければならないと、次のような建て直し方針を決議し、善処することを申合せした。

① 全国普遍的に加入を図ること。その方法として一口の掛金を二百五十円、三百円、四百円、五百円の四段階の地域差を設けること。

② 従来百円を出資して生活共同組合に加入し、同時に火災共済にも加入したが火災共済の掛金の効力は一ヶ年であり、期間満了後そのままになっている組合員が相当多数ある、今後はこれらの組合員に期間満了前に継続加入を勧誘すること。

地域差の設定については先ず全国的に会員の増加を図ることは絶対必要である。これと併行して、応急且つ暫定的措置として取敢えず寄款や事業規約の一部を改正して掛金の増収めには先ず全国的に会員の増加を図ることは絶対必要である。これと併行して、応急且つ暫定的措置として取敢えず寄款や事業規約の一部を改正して掛金の増収を図り、先ず未払を連急解消し、更に建会化のために理事会を設けなければならない。

なおこの問題は、去る四月十日開催の全国消防協会事務局長会議に報告して意見を求めたが、この会議でも傘会化のためには己むを得ないという結論に達した。

◎理事会の決議

① 全国普遍的に加入を図ること。その方法として一口の掛金を二百五十円、三百円、四百円、五百円の四段階の地域差を設け

掛金の改訂は必至

建て直しに懸命の全日本消防人共済会（日消）

全国消防人共済会の運営は望み得ないばかりか、最近罹災者が多くなく、種々施策を練っている状況は、これに対する給付金を二万円、三万円、或は五万円と目にも関すると去る四月四日理事会を開いて善後策を協議した。

今後もこのままの状態で進んで行くとすれば、建会は

主張

火事は最初の五分間で

発見がおくれた、水利のたというようでは一台や二台のポンプではどうにもなる。それに水利が不便で注水に手間取ったとか、防禦戦法が拙劣であったとか、どんな障、どんな場所でいうような悪条件が重なって起きた火事でも、早く発見し、早く現場に赴き、早く注水できれば、一台のポンプでも簡単に鎮圧できる。

報するため施設に勿論必要であるが、水利の問題を決して等閑に付してはならないのである。

それが現場に赴いた時は既に隣家まで燃え拡っており、加うるに強風に煽られるような水利配備でなければならない。ポンプばかりあっても、ホースを十本も十五本も延長しなければならぬようでは、ポンプの力が半減する。

鬼角ポンプを買うことばかりに力を入れ、水利の問題を等閑に付する傾向があるようだが、本末顛倒も甚しい。ポンプは応援できるが水利の応援は絶対不可能である。消防の諸施設中水利の問題こそ先決を要する重要問題である。

○危い時は警戒体制を強えよ

風が強いから大変だ、空気が乾燥しているので危い

ただ心配しているだけでは何んの役にも立たぬ。気象状況が普通であったら平常の構えでいいが、危険であったら非常の構えでなければならない。

こうした対策のないときこそ平常に戻って出火すれば慌てふためき何等なすところなく火に追われるばかりである。

事前に火災警報を発令し、消防機関を警戒態勢に就くと共に、一般に対して火の用心を呼びかけ、若し出火したら機を失せず消防機関に通報せしめるようにすべき。

○指揮者の冷静

火災を早期に発見し、通報に接した指揮者は、冷静に状況を判断し、適確な指揮をとる。

○施設の第一は水

火災を早期に発見し、通報するため施設に勿論必要な水利の問題こそ先決を要する重要問題である。

○危い時は警戒体制を強えよ

風が強いから大変だ、空気が乾燥しているので危い

ただ心配しているだけでは何んの役にも立たぬ。気象状況が普通であったら平常の構えでいいが、危険であったら非常の構えでなければならない。

こうした対策のないときこそ平常に戻って出火すれば慌てふためき何等なすところなく火に追われるばかりである。

事前に火災警報を発令し、消防機関を警戒態勢に就くと共に、一般に対して火の用心を呼びかけ、若

新年度の事業

弁論大会等も開く

県消防協会の新年度の予算総額は既報のとおり弐百拾万参千円となったが、新年度は予算の健全化と事業の拡充強化を重点におき事業費は予算総額の五三%に当る壱百拾弐万五千円を計上してその執行に当ろうとしている、その内容は次のとおり。

1. 帰人座談会
2. 防火宣伝用煙断幕
3. 防火巡閲（二回）
4. 防火弁論大会
5. 防火移動展
6. 巡回映画

1. 十年以上の勤続表彰
2. 現場その他の功労表彰
3. 訓練表彰
4. 日本消防協会表彰伝達

1. 会員の公務による死亡不具廃疾、長期療養者の弔慰見舞
2. 会員の在職中死亡、永年勤続者の弔意見舞

1. 研究資料入手
2. 罹災地又は先進地視察
3. 指導訓練　二五、〇〇〇円
4. 特設消防隊の訓練を行え消防体制の強化を図る。
5. 互助会の育成強化

一、〇〇〇円

互助共済を目的として組織した消防協会罹災互助会の育成強化に努める。

消防人の消防知識の啓発
消防技術練磨のため、各支部と共同主催で年一回講習会を開催する。
消防大会一〇〇、〇〇〇円
消防人の志気昂揚、消防施策の研究、消防関係者の緊密な連絡協調を図るため全県消防大会を開く
消防新聞発行
一八〇、〇〇〇円
防火思想の普及、消防知識の啓発、消防人の志気昂揚及び市町村えの連絡のため新聞「消防秋田」を毎月三千部発行する。
調査研究　二七、〇〇〇円
専門研究部会（年三回）
研究資料入手
指導訓練　二五、〇〇〇円
特設消防隊の訓練を行え消防体制の強化を図る。
互助会の育成強化
一、〇〇〇円
互助共済を目的として組織した消防協会罹災互助会の育成強化に努める。
物資斡旋
消防体制強化のため、消防用物資の斡旋に努める
巡回修理　五〇、〇〇〇円
県の協力を得て、消防ポンプの簡易な巡回修理を行う。
ブロック消防研究
二〇〇、〇〇〇円
消防上の制度、法制、財政、施設その他について研究審議し、消防の躍進発展を図るため、北海道東北七県の消防連絡協議会を開く。
五、〇〇〇円

八都府県は完納

日消会館建設資金寄附

日本消防の殿堂と呼ばれる日本消防会館の建設工事は、順調に進み、近く竣工の運びとなっているが、建設資金に対するわれわれ消防関係者の寄附は予定のとおり進んでいない。

その状況を府県単位に見ると、警視庁、栃木、東京、岐阜、滋賀、福岡、石川の八都府県は既に完納し、未完納は本県をはじめとし三十八道府県となっており、未完の府県に早く納付願えたいと、日消当局から矢の如き催促を受けている。

本県市町村の納付状況は次のとおり。

○完納（十三市町村）
秋田市、能代市、大館市、鷹巣市、十和田市、小坂町、羽後町、東成瀬村、雄勝村、藤里村、大潟村、二ツ井町、鷹巣町

○半納（六町村）
花輪町、比内町、八森町、河辺町、仁賀保町、仙南村

○一部納（三町村）
雄和村、雄物川町、平鹿町

日本消防会館建設資金寄附

（四月分）

一金二万五千二百五十円也
四月九日　鷹巣町消防団

一金一万九千六百五十円也
四月十六日　二ツ井町消防団

累計百十九万八千三百円也

消防用品の斡旋

消防協会は県下消防機関の福利厚生のため、各種消防用品の斡旋を致して参りました、県内各方面から好評を博しております。

最近消防用品も多種多様、既刊されており、中には いかがわしい品も見え、且又とんでもない程暴利をむさぼっている商人もあるやに聞きます。勿論本会で斡旋致します物資にはそのようなものは一つもなく。本会はこの点については特に細心の注意を払い、信用のおける品をできるだけ安くと努力しております。

本年度の当初予算編成前本会は各市町村役場宛予算編成資料として、本会が斡旋しております。各種消防用品の価格を一覧表にしてお送り致しておりますので、消防用品の整備に当りまして はその価格表を御閲覧のうえ必ず当様の協会を御利用下さいますよう御願い申上げます。

（秋田県消防協会）

消防ポンプは
ニッキとラビット号
各種附属品と被服金般、消火器各種
特約店　赤穂消防機具店
横手市富士見町　電話八三八番

消防短信

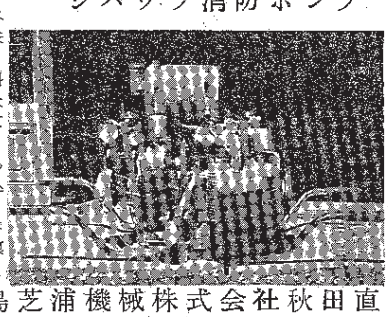
象潟町では四月二十一日火記念日に、防火座談会と映画会を開く。

大館市では五月中旬防火座談会を開く。

岡町消防団の春季訓練を行う予定であったが、雨天のため火災予防、消防戦術などの講習に切り替えた。

湯沢市では五月十日の大

トーハツ ENGINES
5年来の小型エンジンメーカーが贈る
国家消防本部検定合格品
始動の確実
サーヴィスの万全
トーハツ消防ポンプ
各馬力共サーチライト付完成品
VH型 水冷35馬力　150ポンド　500ガロン
VK型 水冷28馬力　130ポンド　370ガロン
VEⅡ型 水冷15馬力　120ポンド　250ガロン
VEⅡ型 水冷65馬力　80ポンド　120ガロン
ジエットホース
特徴　1. 水が漏らない　2. 取扱いが容易である
3. 耐久力に富む　4. 軽く、硬くならない
秋田県代理店
株式会社 高義商会
本社　稲庭川連町　電話 川連 16番 18番
支店　横手市駅前　電話 1180番 1181番
支店　十文字駅前　電話十文字 32番
秋田営業所　秋田市川反二丁目　工藤幸吉　T 秋田 3178番
県北副代理店　天王町　田仲工業所　T 天王 53番
花輪町　鹿角自動車整備株式会社　T 花輪 74番

国消検定合格並に推奨品 全国唯一の4サイクル空冷水冷併用式の
シバウラ消防ポンプ
消防戦術に最も重要なる冬季期間の操作が簡単に出来る。
• エンジンの始動は、燃料がガソリンのみ故如何なる寒冷時にても一度にて始動する
• 空冷エンジンであるから総ての汚物泥水等を吸込んでも心配はない
• ポンプ盤場にて水を出さなくてもエンジン及び真空試験が出来る

U—1型 6〜8HP
S—65型 14〜17HP
F—74型 18〜25HP
F—25型 6.5HP
F—18型 4.5HP
石川島芝浦機械株式会社秋田直売所
秋田市西根小屋町上丁16番地　電話6862・2931番

私達婦人も一役買いたいと（上）

活発な意見の防火座談会

鷹巣町では防火週間行事の一つとして、去る四月十四日午後一時から同町北秋田綜合庁舎会議室において県防災訓練本部並びに消防協会大館北秋田支部の三者共同主催による防火映画会と防火座談会を開いた。

この会には消防団幹部をはじめ、同町内各官公庁の防火責任者、中小学校長、婦人会幹部、報導関係者等各界指導者約四十名出席、座談会は、鷹巣町消防団長成田総一郎氏司会の下に運営されたが、その状況は次のとおりで、防火消防各般に亘る活潑な意見が述べられ、大なる成果を収めた。

なお座談会の開催を希望するところは最近新たに購入した防火映画を上映する等出来るだけの協力を申上げたいから連絡ありたいと、防災訓練本部では望んでいる。

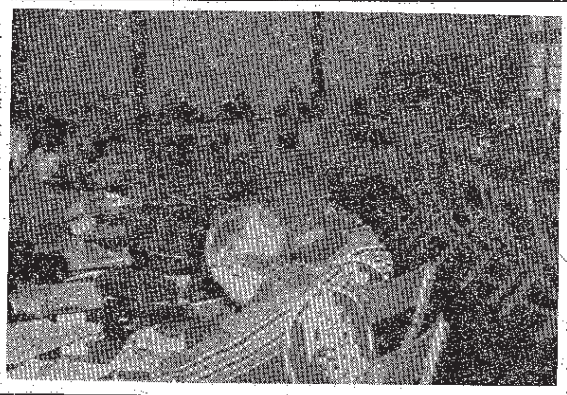
◎火事をなくしたい

司会　本日は公私ともに御多忙のところ、かくも多数お集り下さいまして有難うございます。今日の座談会は最初地元だけで計画しておったところ、たま／＼県の防災訓練本部から参加したい旨の希望があり、私どもとしましては願ったり叶ったりという訳で県防災訓練本部の佐藤次長さんの御出席を得たような次第でございます。又、重ね／＼に幸いな事は、丁度県で購入したばかりの防火映画を鑑賞できましたことは私共としましても多分に啓発されるところがあったのではないかと思います。で、今日はかねてお知らせしてありますテーマについていろ／＼とお話し合い願い、鷹巣町から火災を追放したいと思います。

佐藤（県防災訓練本部次長）　防災訓練本部の佐藤でございます。防火につきましては皆さんの日夜の御苦労にもかゝわらず一向に減少の傾向はなく、殊に昨年本県では四一七件と戦前、戦後を通じ最高の発生をみております。これを防止するためには何と申しましても一般の方々に火災の実態を訴え県民一人々々の自覚と協力を待つ以外に方法はないのではないかと考えられます。このようなときに御当町の各方面を代表する皆さんと膝をつき合せてお話合いの機会を得ましたる事を真く御礼申上げる次第であります。県としましても火災防止のため色々の企画をいたしておる訳ですが皆さんの御高見を県消防行政の上に反映し、一日も早く火災秋田の汚名を雪ぎたい念願ですので、どし／＼御意見をお聞かせ願います。

司会　丁度、こゝにこの間新しく赴任されました福祉事務所長さんが見えておりますので御紹介します。

鎌田（北秋田福祉事務所長）　鎌田でございます。消防に造詣の深い方々の会合で御参考できます事を光栄に存する次第です。消防人の日夜の別なき研鑽御努力にもかゝわらず火災が絶えないという事は一般の火災予防思想の欠除にも因るところがあると考えられますので、今日このような会合を備しともかく当町だけでも一年間に五千万円余を灰にしているという事については、大いに反省しなければならないと思います。



当町では昨年は十八件、今年にはいってから五件と、人口比でみますと県内でも高い発生率をみております。その原因は種々ありますが。不明の六件を除いて何れもが、不注意によっております。なお不明の火災は当時の模様からみて、放火という線も考えられています。

佐藤　県でも定期的に県有建物の防火査察をやっていますので御参考まで一般的な事を申上げますと七輪などをのし板につけたまま使用したり木造の床にじかに置いたりするきらいがあったようです。ほかに日中の当直室使用後の火の始末、煙突の設置の処理等は十分気をつけなければいけない点と思います。ストーブ・煙突などの取付状況は最近よくなり、数度の防火査察の効果が現れ始めたと喜んでおります。

九島　専門家に見て貰い指導を受けることは非常によい事と思います。一日も早く今回の査察の結果を具体的に知らせてほしいものです。

木村　お話にそうようにします。

二階堂（鷹巣町婦人会長）　先程のお話で、これからが年中で一番火災の多い季節という事でしたが、このたび消防本部では町の広報係と協力して、そういう季節にのぞんでどんな注意が必要か、という一つの事を印刷し全世帯に配付したようですがあれはとてもよい事だと思います。これからもこういう時期に適した内容の指導をして貰いたいものです。

◎火事をなくするには

司会　一たん出火の際には勿論、消防署、消防団が一致して消火に当りますが、いわゆる「出して消すより出さない工夫」という事が理想的なのであります。それでこういう面からひとつ。

九島（鷹巣女子学院長）　防火週間に入ってから大きな建物の査察をしたようですがその結果はどうでしょうか。

木村　今、資料を持ってきておりませんので建物ごとには申上げ兼ねますが修なくしては大火の防止はできない、とまで言われたのであります。それでは一応年台風警報発令下に土崎中学校を襲く火災が出ましたが、そのときは風下の市民は一斉に屋根へ上り或は家の周囲を見廻り十三ヶ所から出火しようとしたのを全部消し止めてくれました。これで中学校一棟だけで止める事ができました。」

◎なぜ大火が多いか

司会　そういう点では先程の県提供の映画などもっともっと多くの人にみせたいですね。

秋田を火災県と言うのは件数が多いという事ではなく、大火が多いという意味のようです。「当町でも昭和二十五年の六月に約七百棟を焼いております。」全くなぜ秋田県に大火が多いのか、と言いたくなりますが、これについて佐藤次長さんから。

佐藤　本県の場合、出火率は他の都道府県と比べてそ決して高いものではありませんが、一件当りの坪数が非常に大きいことから大火県と言われるのでしょう。なお、このことにつきましては、県でも真剣に考えております。昨年の六月に国の消防研究所から専門の技官を招いて県内十カ市町の防火診断を行いましたが、その結果気象、道路なども大火の原因として挙げられましたが、何と言っても建物、それも柱、壁などの燃え易い屋根の多い事が指摘され、これの改善については、先程団長さんもいわれたように先ず出さない事の創意、工夫。第二には一たん出た火事を如何にして早く見つけ早く消防署に通報し、早く消すかという事。第三には先ほどお話の屋根に大いに関係のある飛火の警戒です。昨年の神岡町の大火などの例をみてもわかるとおり今までの大火は殆んど飛火で飛火により新しい火元を作る事によって起っておりますが、現在の御当地の消防力では火元を叩くことが第一はいの事で飛火の方面にまでは手が廻らない、というのが実情ではないでしょうか。以上の三つの点について協力する事は鷹巣町を火災から守るための町民の義務であると思います。

司会　「一昨年台風警報発令下に土崎中学校を襲く火災が出ましたが、そのときは風下の市民は一斉に屋根へ上り或は家の周囲を見廻り十三ヶ所から出火しようとしたのを全部消し止めてくれました。これで中学校一棟だけで止める事ができました。」

◎火事は早く消防へ

司会　早期通報の問題などではどうでしょう。

佐藤　一昨年大館市の大火の際にはまづ火災を見付けた人が「警察」へ通報をはかったので「消防署」の出動が遅れた事がありましたが、これは何も大館市だけの事ではなく、最近では秋田市、横町の火災でも「警察」へ通報しているなど多くの例があります。一般には「消防」は警察の仕事であるという考えがまだまだ根強く残っているのではないでしょうか。映画にもありましたように非常のときの措置、協力についてふだんから隣近所と話合いしておく事が必要です。

司会　鷹巣町でもこのような誤った通報はありませんか。

木村　去年ありました。それと全然通報のない事もしば／＼あります。一般の人々は警察を非常に頼りにしているようですが警察からみるときはもう手遅れだという事をわかって貰いたいものです。

鈴木（鷹巣町消防団綴子町地区隊長）　昨年十二月二日の小ヶ田地内の火災の際は霧のため警察からは見えなかったと聞いております。このような事もありますから早期通報は是非励行したいものです。

司会　現場で一番邪魔になるのは何と言っても弥次馬でしょうね。これについては先日役会でも話題になりましたが、一体弥次馬とはどの程度のものを指すのか、つまり弥次馬の定義ですな（笑）

木村　結局家財の持出しを考えれば弥次馬ではないだろうと言う事になったんですが、しかし親せき知人などが自動車、自転車などで駆付け現場付近に無茶作に放置するのには手を上げてしまいます

◎避難訓練は必要

佐々木（綴子部地区隊長）　現場出動のときなどサイレンを鳴らしても除けない車があります。これなどの取締りはどうなっておりますか。

佐藤　これは法的には警察になるでしょうが、この意味でも避難訓練など是非励行して貰いたいですね。これは勿論警察とタイアップして行う事が効果があるようです。秋田市では警察にも訓練に参加して貰い道友の車のナンバーをメモし、後で警察に注意して貰う、という方法をとっているようです。しかし、やっぱり回を重ねなければ効果がないのではないでしょうか。

司会　この前の或火災に出監したとき途中の道路上で荷馬車が邪魔になり十五分もひますれした事があります。「これでは三、三台の消防ポンプでは消せない位火勢が大きくなってしまいます。」

◎水は大丈夫か

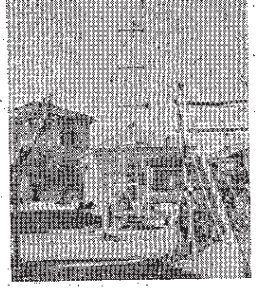
丸島（鷹巣女子学院長）　よく大火があると水がなかったと言われますが、当町の消防水利はどうでしょうか。

木村　国に補助をお願いして今年度中に十五ヶ所に比較的安い経費でできる井戸式消火栓の新設を予定しております。が、村落部はこの井戸式消火栓が出来ないのが悩みの種です。

（以下次号）

トーハツ
トーハツポンプ
県北代理店　田仲工業所
南秋田郡天王町天王　T天王53

望楼　鉄骨一般
仁村鉄工株式会社
秋田県知事登録㈡第1213号
秋田市亀ノ丁虎ノ口10
TEL3379、6389、3047



権威と信用ある！
◎消防ポンプと器材
◎消火器と施設
一切の御用命に応ず
カタログ呈上
御報次第参上
日本機械工業、日進工業代理店
旭友官納商事株式会社
秋田市西根小屋町中丁1　T 5045

春の防火週間終る

成績まずまず

火災損害一千七百九十四万円

春の防火週間は、四月十日から十六日まで全県一斉に展開した。

県防災訓練本部では、現下の火災事情からして予防運動を更に一層強力に推進しなければならないと、この度は『火災予防で明るい春』の標語を掲げ、消防、防機関自体の体制強化は申迄は一般民衆から離れて独り空ら廻りすることなく、真に民衆の中に溶けこみ民衆と一体となって効果の挙がるような運動を展開するよう各市町村へ呼びかけてあったが、各地ではそれぞれ関係機関の協力の下に、消防訓練を重ね、初日に男鹿市を皮切りに発生した三件の火災をはじめ、期間中別表のとおり大小十五件の出火があり、一千七百九十四万一千円の損害を出した。

防火週間中の火災

月日	住所	職業	氏名	原因	焼失 住家	焼失 非住家	焼失 坪数	損害見積額	死傷	人
四月十日	男鹿市加茂青砂	漁業	太友欽正	煙突	一		一坪	一万円		
〃	〃	〃	〃	〃	二		二	四〇〇〇		
〃十一日	五里合	農業	薄田房吉	〃	一		一	一〇〇〇		
〃	由利郡大内村松本	〃	小助川東五郎ブストー	〃	一		一	一〇〇〇		
〃	象潟町	漁業	阿部末治郎	酒引火						
〃	南秋田郡五城目町	農業	館岡徳蔵	〃						
〃十二日	男鹿市金川	会社重役	近藤徳之助	漏電	一		一	四〇〇〇		
〃	能代市青梅	荷馬車業	秋林長吉	〃	一		一	三〇〇〇		
〃	由利郡大内村	農業	小林八重三	〃	二		二	二〇〇〇		
〃十三日	秋田市長沼	保機区工兵隊所	鹿突	〃						
〃	南秋田郡天王町	農業	原野弄吉	〃	二町歩					
〃十四日	由利郡象潟町小滝	農業	松野長一郎	風呂場	一		一	五〇〇		
〃十五日	大館市松本	商業	八神鉄三	〃	二		一	一〇〇〇		
〃	秋田市土崎港旭町	漁業	豚保坂常二かまど	〃	二		一	五〇〇		
〃	〃	〃	川口境	製材工場	一		一	一〇〇〇		
			片村一夫	煙突						

消防漫談

手賀義雄

消防が応援に出動したら能の指揮を受けねばいいのか？　という質問を真面目に受けることがある。

「主人が雇人の家の弔に手伝に行き、俺が主人だからと雇人のいうことを聞かずに勝手な行動をしたらお弔はできないだろう」というのがその時の私の答である。

生命であり、この規律がなかったら現場活動の強さが望まれない。だから消防組織には厳粛があり厳格に守らなければならないがあくまでもそれは組織としての活動分野に隠られているのであって、組織体内部の問題であり決して外部にそれが時間的なものではない。従って他所へ手伝（応援）に行った以上は、その区域内の責任者の指揮（勿論の場合応援に行った消防団の責任者が受けて団体活動は、その組織による行動であるべきは当然）を受くべきであって、問題が殺らないと思うが、ともすれば応援部隊が独自の行動を採って火災を大きくしたと思われる事例がないとはいえない。勿論手伝を受ける側には当然応援部隊の既付を予想した心構えがなければならない。

ここに「消防計画」の樹立が必要であり応援協定の問題が出てくるが、果して県内各市町村の この辺の消防態勢ができているだろうか？

消防人には「万公出でずんば」の気概が強いものである。勿論これあるが故にこそ猛火の中に闘う力があるけれども、同時に雄壮独尊、ただ徒らに猛突猛進するんでなく綿密な計画に基づく行動と、その分を守って全体の効果を挙げんとする謙きょさがあって欲しいものである。安吾多謝

自衛消防班、設置規程の準則が欲しい

最近はどんな山村でも、消防は殆んど機械化され、可搬動力ブの時代に代り、腕用ポンプは珍らしいものと思われるようになってきた。

然し私の体験では、腕用ポンプが実に力強い働きを示し、「腕用喪てられざるもの」と感じたことが最近二度ある。

その一つは、日本一といわれたほど米の結矢量を出した当市の農業倉庫火災の時だった。私の分団は七カ班に分れているが、その半数以上の四ヶ班が未だ腕用ポンプを唯一の武器として奮闘し、あの火災の際は可搬動力まで殆んどのポンプが火点注水に全力を注いでおったので、風下における飛火の防止等は容易ならざるものがあった。

そのとき新落から駆付けた腕用ポンプは、僅かの水利でも利用でき、しかも手軽に移動できるので、最後までその長所を発揮し、至るところに適切な活躍を続け延焼の防止に成功した。この活躍により風下で家財の搬出に努力中の人々に安心感を与えるとともに一般の人達に対しても後方安全なりと思わせた効果が実に大きい。

他の一つは、一昨年隣接地区に発生した農家の作業場が焼けたときのことである。この火災は幸い無風状態の日の朝であったが、出火した作業場と隣接の住家との間が僅か二間位より離れていなかった。この部落には丁度私設の消防班が組織されており、腕用ポンプを持っておったので直ちに出動、機を失せず隣接住家への延焼防止に当り、完全に成功大いに一般から感謝された。

消防団用のポンプは一日も早く、可搬動力に切替える必要のあることは言を俟たないが、問題はその可搬動力に切替えた後の腕用ポンプの処置についてである。決してこれを不要なりとして他へ払下げるようなことをして戴きたくない。部落に自衛消防班を組織するよう指導し、これに無償払い下げをなす等の方法を講じ、消防団の予備隊的活動をさせるようにしたらどうだろうか。一考を促したい。

夏に指導の地位にある防災訓練本部に対してお願いの致したいが、自主的に私設消防班を組織するための奨励をして戴ければまことに幸甚の準則のようなものを出して戴ければまことに幸甚に思う。

（大曲市消防団、第三分団長加賀谷常治）

消防専用無線講習

宮城県では、消防専用無線電話従事者の養成講習を次の要領で開催するから受講希望者を取纏めて戴きたいと、同県消防講習所長から県防災訓練本部長宛このほど連絡があった。

防災訓練本部では関係市町村長へ連絡したが、希望があったらその人数を電話でもよいからできるだけ早く連絡して欲しいと望んでいる。

五月十六日～五月三十日（十五日間）

場所　仙台市川内宿通り　宮城県消防講習所

参加範囲　東北六県

講師　東北地方電波管理局職員

経費　約六、〇〇〇円見当（宿泊料、受験料、講師謝礼、図書代、写真、診断料等）

宿泊　宮城県消防講習所寄宿舎

貸与品（無料）布団上下毛布二、敷布一、枕一、

機関科講習

防災訓練本部では、四月一日から県内の消防署や消防団の機関担当員を養成するため機関科講習を開いているが、この講習は五月十日までの四十日間の予定。

受講者は次の二十五名で何れも自動車運転免許の取得と消防機関運用上の知識修習に連日鋭斗中である。

▽本荘市消防署鈴木満▽大曲市同山崎敏彦▽大館市同千葉吉久▽平笹町消防団遠藤為二▽蛭物川町田中義明▽合川町同沢藤忠男▽鷹巣町正一同工藤忠男▽森吉町同松田幹作▽森吉浜村同石川吉蔵同長崎重長▽森吉町同松川吉▽同大滝幸雄▽同辺町同木村次郎同信原徹男▽仁賀保町同新谷忠男同細谷盛市▽岩城町同湯井徳市▽矢島町同小笹新一▽由利同三浦光男▽協和村同滝沢芳夫▽十文字町同吉村正美▽象潟町同安部実同須田与蔵

（写真は講習の状況）

支部だより

○鹿角支部

四月二日午後一時から花輪町、鹿角福祉事務所会議において評議員会を開き、昨年度の決算案認と本年度の事業計画、予算の議決等を行った。

四月下旬から五月上旬にかけ各町村単位に防火談話会を開く。

○大館、北秋支部

四月三日午後一時から大館市役所会議室において評議員会を開き、昨年度の決算案認と本年度の事業計画、予算の議決等を行った。

○大曲、仙北郡支部

四月七日午後一時から大曲市吉本において評議員会を開き、昨年度の決算案認と本年度の事業計画と予算の議決、役員の改選などを行った。新役員の顔ぶれは支部長に大曲市岡田　藤田慶次郎副支部長に大野忠右エ門（中仙町団長）池田泰彦（仙北村同）佐々木繁一（角館町同）

○男鹿、南秋支部

四月十月午後一時から秋田市明石荘において評議員会を開き、昨年度の決算承認や本年度の事業計画、予算等を議決した。

今後よろしく

秋田県防災訓練本部
主事　高橋良蔵

私はこのたび防災訓練本部勤務となりました。思えば昭和二十九年二月から三十一年六月まで短い期間ではありますが二年有半の間、雄勝福祉事務所で勤務中消防係として消防関係者の皆さんから非常な御協力と御支援を頂きましたが、今度二度目の仕事でありますので今後とも前と変らぬ御指導と御協力をお願い申し上げます。

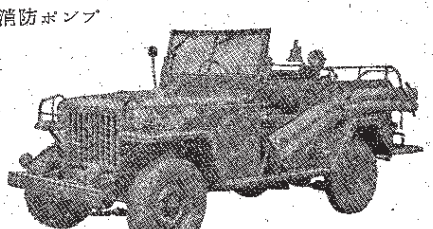
異動

○県（四月一日）
北秋田福祉事務所長　阿部芳蔵
医務薬事課長補佐　貞
医務薬事課長　柴田
防災訓練本部　武藤　潔
防災訓練本部長　
命守備隊長　
同　
命秋田福祉事務所長　
命世話課長　
命主事　
同　
命農業試験場勤務　
八郎潟干拓推進事務局　主事　高橋　良蔵
命防災訓練本部　主事　工藤　直治
命技師　
商技師補　片村　清悦
命主事　
○湯沢市（三月三十一日）
消防署長　舟田清一郎（退職）
消防長兼司令　進藤　俊助
命消防長兼務　
副団長　高橋文太郎（退職）
団長　山脇　新八
命消防団長　
○昭和町（四月一日）
団長　菅原直一郎
副団長　佐々木菊治
同　高橋　栄蔵
常備部長館岡新五郎
○五城目町（三月一日）
団長　加賀谷力司（退職）
渡辺　時治
命消防団長　
○雄和町（四月一日）
団長　藤原甚治郎（退職）
岡部　精一
命消防団長　
○大館市（四月十五日）
消防長兼消防署長　小林　定義
解散務　
命消防司令　根本　自郎
命消防署長　
監事に
菅原菊松（角館町長）伊藤忠右エ門（商外村長）
県消防協会理事に
鈴木孝治（大田村団長）
同　専門研究部会員に
佐々木賢一（角館町団長）
○栗林信一郎（六郷町同）
小笠原政治（西仙北町同）

最近の御注文先
暑署署場場場団場
ノ消防防防防役
ノ消消消消消役
ノ町町町町町消
巣市目保村町北
ノ荘城賀川城島仙
鷹本五仁井岩矢酒

恐ろしい火魔の守りは！
ポンプ
ワタナベポンプで
K.K 渡辺ポンプ諸機械製作所　TEL 311.162
秋田出張所　秋田市西根小屋町16番地　秋田芝浦ポンプ内　TEL 6862
本荘出張所　本荘市二十六木　岡本豊治　TEL 413

黒消検定
A—1級1000ガロン級
A—1級
A—2級　合格
B—1級
B—2級

秋田県推奨県産優良認定品
特許 松野式消防ポンプ
経営推進
事業整備拡充

藤高自動車興業株式会社
消防ポンプ部
自動車ポンプ・特許三輪ポンプ・各種手曳ポンプ
ポンプ販売部　秋田市亀ノ丁字ノ口14の1　TEL 4716
本社（夜間）　TEL 4420
営業部　秋田市上米町二丁目30　TEL 6462
整備部　秋田市上米町二丁目30　TEL 3638
自動車販売部　秋田市上米町二丁目31　TEL 6462

火災の実態と消防の現況①

秋田県防災訓練本部発表

県防災訓練本部では四月一日昭和三十二年の「消防年報」として本県の火災の実態と消水防の現況を次のように発表し、関係各機関に配布した。本紙はこれを抜萃して毎号連載することにした。

概況

本県における昭和三十二年の火災は

火災件数　四一七件

損害額　一、一九三、四〇五、五二八円

焼失坪数　三〇、〇五七坪

このことは毎日本県のどこかで火災があり三、二六九、六〇四円の損害を出し八十二坪の建築物を灰にしていることになるが、例年に比し出火件数の増加にもかかわらず損害がその割合に増加していない。

件数四一七件は戦後最高に達し昨年に比べて二一・六%（七四件）の増加で過去十カ年平均の三六三件には五四件増となっている。これを月別に調べると第一図のように一月、三月、四月、五月、十二月の五カ月月平均（三五件）を上回り全国的には三十年以降十二月がトップをしめ、今後もこの傾向が続くものと推定せられるが、本県において は四、五月が五三件と最高であり、全国的傾向に対し多少のずれは考えられるとしても、これを十カ年間の平均件数と本年の増加率を見ると四、五月が二九・三%次いで十二月二七・二%増となり、この三カ月を除いては六月が二一・七%でその他の月は前の三カ月に比べ低くなっている。このことは全国的な増加の現像と相通ずる所があり、この月に火災予防を重点的に指向することによって本県の火災の減少を図る事が、今後の課題であろうと思われる。

ここで府県別を見ると府内の出火件数をその府県の人口十万人当り年間出火件数を求め、これをその府県の出火率とし、又府県内の建築物焼失坪数をその年の建築物火災の件数で除して一件当り平均焼損坪数を見ると次のようになる。

過去三カ年間の東北関東各県の状況は表でもわかるとおり、出火率では本県が決して他県に比し高いものではない。

しかし焼失坪数においては本県が最高を示し、昭和三十一年の如きは三八五坪に達していることは偶然ではない。少しさかのぼって調べると、昭和二十二年から二十五年の平均が一四〇坪、二十六年が五〇坪、二十七年六九坪、二十八年が八五坪と最後例年とも極めて大きな坪数となっているのである。出火率の高低については一概には論ぜられないが、概ねその地域の気象条件と産業の構成、生活様式及び建築物の構造並びに火災予防の状態等の社会条件と強く影響している ことに疑う余地のないところであり、大都市など高いなどと最業県である本県の出火率も地理的、又生活様式による影響が大きく考えられる。したがって火災県といわれる本県の住民が火に対する注意心に特に欠けていると言われないまでもこの注意深さは延焼率の高率を考えれば未だ十分とはいえない。

出火原因中筆頭を占めるのは子供の弄火であって、二五件、ストーブ二三件、煙突の飛火一八件で、次いでかまど、電気器具、七輪取灰等となっている。

弄火は四月九件、五月八件が多く、七才九件を最高に、五才八件、六才七件、（四才一、八才四、十才以上五、他一三）と就学前後の児童に対する保護者の一層の注意と監督が望まれると同時に、遊戯施設の完備等、社会問題として強く推進されなければならない。

ここで未成年者の火気取扱によるものが二〇件にある事も注目される。原因を時期的に検討すると寒冷期にはストーブ炬燵、炉火が圧倒的に多く風呂場とか煙突等に初着に始まり、次第に上昇し、五、六月が最高をなしている等も季節と火災取扱頻度との関係を裏書きするものであって、これは予防面における貴重な資料である。特殊火災として損額一〇、〇〇〇、〇〇〇円以上のものが一四件で全火災の件数のわずか三%にすぎないのがこのわずかの火災が全火災による被害に対して占める率は損害額八億七千百九十六万七千五百十円七三%、建物焼損坪数一五、七一八坪五二・三%と本県のばくだいな火災損害はこのような少数の火災から生じていることがわかる。しかもこの現象は決して本年のみの特例ではなく、毎年であってみれば本県の火災損害を最少にくいとめようとする努力はこの億か一四件の火災を防止するだけのものでたりるものである。防火の総元締めであるべき県庁からの出火などは誠に遺憾に堪えない所であり、ここに強く反省を要する。

昭和二十五年以降の一千万円以上の発生月別にみると五月に最も多く二二件、次いで二月二二件、四月、十二月十件の順となって、この四カ月だけで五二%を占めている。昭和三十一年中の全国における特殊火災で焼損坪数の多い。いわゆる大火災は東北以北及び日本海沿岸地域に片よっていることなど本県関係機関は勿論のこと、県民全体が考えねばならない問題である。覚知方法別では、通信施設によるものが四三・三%、通信施設によらないもの三五・五%、赤後聞知五・九%、その他一五・三%となり、通信施設の不足が目立っている。

更にこれを区分すると、一般加入電話二四・七%、馳付通報一八・八%、火災報知専用電話、望楼発見が共に一五・九%、事後聞知五・九%、警察電話二・七%、巡回中発見〇・八%、市部にあっては通信施設の殆んどを占め、又望楼による目視発見により認知し、村部にあっては馳付通報によるものが多いのは例年とあまり変っていない。

火災の早期発見と、迅速なる火災の通報は火災損害を軽減する最も大きな要素である事は論言を許さぬ所であって、そのためにも通信施設による通報が何如なる経過を経て消防機関に通報されたかある。本年の特殊火災一四件の内九件までが電話通報によるものであり、火災早期通報の電話要望を強調し、かつ通報施設の充実とあいまって、これを大いに利用し、一刻も早く消防機関に通報するよう住民全体の協力が強く望まれる所である。

水害も又社会生活上重大なる脅威をあたえ、本県の水と降雨に見舞われたていた。水害による被害は毎年数十億円を算しているが、昭和三十二年中の河川増水による水害は例年より少く、わずか七月、八月の局部的増水であった。県では昭和三十五年には所期の数量一五〇棟が完備されるのである。

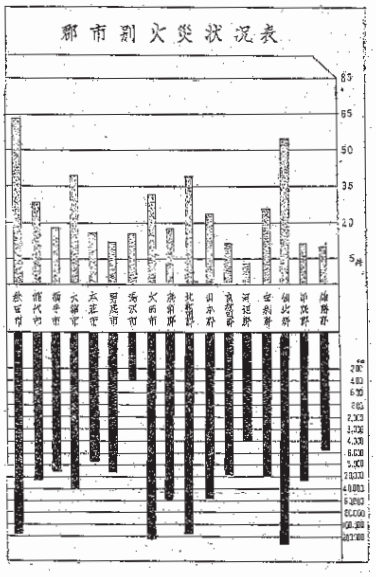
三棟の水防倉庫の施設を見た。昭和三十一年の（秋田県水防五カ年計画）により漸次水防施設の強化を図り、昭和三十二年末日において一一

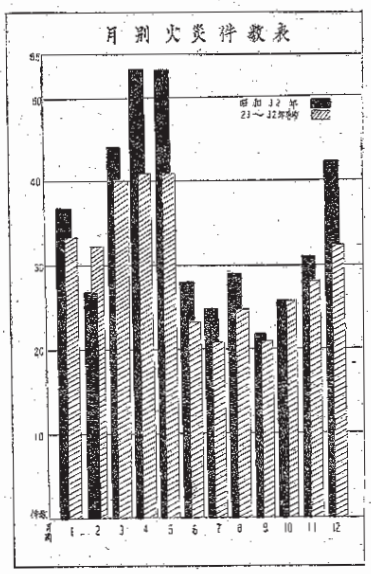
出火率

年次＼県名	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川
昭和29	4.2	3.3	3.2	2.5	2.7	3.0	2.4	2.2	2.4	1.6	2.5	1.7	6.0	3.9
昭和30	3.1	3.5	3.3	3.0	2.3	2.9	2.3	1.8	3.2	1.9	2.5	2.4	6.3	4.7
昭和31	4.3	3.5	3.2	3.3	2.6	2.8	2.5	1.8	3.3	2.2	2.9	2.5	6.9	5.2

焼損坪数

年次＼県名	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	全国
昭和29	84.4	62.3	44.2	30.5	89.3	20.2	52.9	29.2	35.4	50.4	26.6	19.3	9.9	16.7	30.8
昭和30	31.6	50.1	40.4	27.2	100.3	21.0	37.8	30.0	34.8	34.6	31.7	24.7	11.2	15.6	28.2
昭和31	39.8	71.7	42.8	22.7	385.3	31.7	54.0	32.6	24.0	55.5	24.1	16.1	9.1	11.2	31.1





出火原因別件数

弄火	四七	取灰	一四
気関係	三一	焚火	一二
電火	三七	草火	九
炉火	二七	炭火	九
煙突	二五	殘火	八
焚火	一〇	汽車飛火	八
ストーブ	二三	ガス・油器具	一九
かまど	一八	マッチ、ライター	一
火	一七	軍輔	一
放	七	不明調査中	七
七輪、こんろ	一五	仮	三
風呂場	一五	他	三

携帯用投光機
特許品　マーツライト　軽く便利で明かるい
秋田県防災訓練本部、秋田県消防協会　推奨

用途　水防用（水防作業現場用）消防用（殉火整理用）その他事故現場用
マーツライト　に僅か35Wの電球で20万燭光の光を出し、300米先で楽に新聞も読める強力な科学的照明灯であります。電球はダブルフイラメントにしてあつて一方が断芯してもスイッチをひねれば直ちに片方に切換えられ、電球の芯切れで真暗になるようなことはありません。携帯用投光機としては唯一無二の特許品です。
価格　9,500円　13,500円　20,000円の三種類あり
▲申込は……秋田県消防協会へ……◀

電源不要　ノーベルフオン　便利な電話機
秋田県防災訓練本部　秋田県消防協会　推奨品
この電話機は、日本ノーベル工業株式会社がロッシエル塩の持つ特性起電力に着眼し、多年携ゆまざる研究の結果考案に成功したもので、世界に誇り得るものであつて何れの国にも何れのメーカーにもない品であります。2本の線でつなぐだけで160kmも開え、携帯型はその名の如く簡便でどこでも使用できる便利なものです。
携帯型電話機
＝特徴＝
1電源不要
2交換不要
3維持費不要
4許可不要
5携帯便利
＝用途＝
1消防水防の現場連絡
2望楼、分団詰所その他の連絡
3役所、事務所、工場、商店内等の連絡
4住宅と事務室、工場、倉庫との連絡
5事務所と工事現場等との連絡
◉種類携帯型、壁頭型、対型、親子型、連立型等各種
発売元　日本ノーベル工業株式会社　東京都港区芝田村町4ノ4
▷申込は……秋田県消防協会へ◁

月刊毎月25日発行

消防秋田

定価 1部 10円
秋田市土手長町
発行所 秋田県消防協会
発行兼編集人 伊藤忠次郎
秋田市下亀ノ町七
印刷所 太陽印刷株式会社
電話四八三五番

消防施設費県費補助 要望書提出

六月十日まで防災本部へ

本年度の消防施設整備費県費補助金は、当初予算で百八十万円が認められ既に議決されているが、県防災訓練本部ではできるだけ早くこれを配分し、市町村の消防体制を強化しようと、五月十九日各市町村長や福祉事務所へ要望書を六月十日まで防災訓練本部へ必着するよう善処せられたいと通達した。

この補助金の対象となる消防施設は、小型動力ポンプと防火水そうの二種類に限られているが、本年度からは特に無蓋の鉄筋コンクリート造りの防火水そうを新たに対象として補助金を交付することになった。なお補助金を要望する市町村は次の事項を留意の上、期限まで要望書を提出されたいと望んでいる。

○補助対象

1 小型動力ポンプ、C一級（基準額十八万円）以上のもの

2 防火水そう、無蓋鉄筋コンクリート造り二〇立方米（基準額十二万円）以上のもの

○補助率

基準額の三分の一

○要望書

一定の様式（略）により現有のポンプ配置と防火水そうの設置状況、本年度の配置又は設置の計画を記載した一般平面図を添付すること。

○防火水そうの規格

国の規格を準用すること。

防火水そうを要望する場合は、その設計書と設計図を添付すること。

○要望書の提出期限

六月十日

全員加入もあと一息

好調の罹災互助会

全県消防関係者の関心の一八万余円を残して決算というこの会発足以来にない好調であった。

加入の状況も漸々報じているとおり、最近は各市町村とも理事者の深い理解と幹部各位の努力によって、ぐんぐん加入率が伸び、五月廿五日調査で九一%強に引続き最下位の汚名返上、いよいよ全員加入まであと一息というところ。

各支部別の加入状況は別表のとおりで、一〇〇%達成は秋田市、鹿角、男鹿、南秋、河辺、本荘市、由利郡の五支部、昨年まで最も遅れていた横手市は平鹿郡支部は、今年になってから急に好転、大曲市、一部では望んでいる。

十指を屈する程度に減り、未加入団員はあと二千七百名余りとなった。消防士気昂揚のためにも互助会の強化発展のためにも、もう一息頑張って欲しいと協会当局では望んでいる。

罹災互助会の加入状況

（昭和三三・五・二五現在）

支部	消防団員数	加入者数	未加入者数	加入率%	未加入(未更新)町村
秋田市	二、三五〇	二、三五〇	—	一〇〇	
鹿角郡	一、三五九	一、三五九	—	一〇〇	
大館市	二、三三三	二、三三三	—	一〇〇	
北秋田郡	二、三六〇	二、三六〇	—	一〇〇	
能代市	二、三五六	二、三五六	—	一〇〇	
山本郡	二、三六八	二、三六八	—	一〇〇	
男鹿市	一、〇一二	一、〇一二	—	一〇〇	
南秋田郡	二、三六〇	二、三六〇	—	一〇〇	
河辺郡	二、三六〇	二、三六〇	—	一〇〇	
由利郡	二、三六〇	二、三六〇	—	一〇〇	
本荘市	四、九八三	四、九八三	—	一〇〇	
仙北郡	一、三五八	一、三五八	—	一〇〇	
大曲市	四、九八三	四、九八三	—	一〇〇	
横手市	二、三六〇	二、三六〇	—	一〇〇	
平鹿郡	四、〇〇二	四、〇〇二	—	一〇〇	
雄勝郡	二、三六〇	二、三六〇	—	一〇〇	
湯沢市	四、〇〇二	四、〇〇二	—	一〇〇	
鹿角郡	一、三五九	一、三五九	—	一〇〇	
仙北郡	二、三六〇	二、三六〇	—	一〇〇	
計	二、三一三	二、三一三	—	一〇〇	

消防ポンプはニッキとラビット号

各種附属品と被服全般、消火器各種

特約店 赤穂消防機具店

横手市富士見町 電話八三八番

二大会議の日取り内定

本県消防協会の本年度事業中、最も大きい事業の一つといわれている北陸道東北七県消防連絡協議会と全県消防大会の開催場所は、既報のとおり、前者は大館市、後は湯沢市と決定し、その開催期日の決定については保留のままとなっておったが、この程打合せしたところ開催地の希望によってそれぞれ次のとおり内定し、その準備に取りかかろうとしている。

○北海道・東北七県消防連絡協議会

八月十一日(月)・二日間　於 大館市

○全県消防大会

八月二十一日(木)　於 湯沢市

罹災者に友愛

本県において年間を通じ最も危険であるといわれている四、五月中（五月は二十五日現在）における火災で罹災した消防関係者の数は、三十二名の多きを数えその職務に挺身した数多くの同僚もおり、消防協会では次のとおりそれぞれ見舞金を贈り、友愛を示し、速かなる復旧と立上りを祈って中には自家の類焼を顧みずは機を失せず規定によって中には自家の類焼を顧みず

罹災月日	見舞金額	市町村	職名	氏名
四月四日	七、八〇〇	雄物川町	消防員	加賀文十郎
四月五日	五〇、〇〇〇	山本村	〃	館岡勇孝
〃	五〇、〇〇〇	〃	〃	田村亀雄
〃	五〇、〇〇〇	大内村	分団長	伊藤恭一
四月十一日	五〇、〇〇〇	〃	〃	小助川康雄
四月十二日	五〇、〇〇〇	〃	〃	石井孝夫
四月十四日	一、〇〇〇	象潟町	副団長	山田耕一郎
四月十七日	五〇、〇〇〇	田沢湖町	消防員	藤村清一郎
四月十二日	五〇、〇〇〇	阿仁町	部長	椎村良蔵
〃	五〇、〇〇〇	〃	消防員	高嶋信夫
四月廿三日	二、五〇〇	森町	班長	佐藤誠吉
四月廿五日	五〇、〇〇〇	鳥海村	〃	柴田耕一
四月廿九日	三、〇〇〇	雄物川町	消防員	佐藤光一
〃	三、〇〇〇	〃	〃	石橋一雄
四月三十日	五〇、〇〇〇	和田町	分団長	西村善盛
〃	五〇、〇〇〇	〃	消防員	高橋久
五月五日	五〇、〇〇〇	天王町	〃	成田四郎
〃	五〇、〇〇〇	〃	〃	菊地貞蔵
〃	五〇、〇〇〇	〃	〃	菊地銀治郎
〃	五〇、〇〇〇	〃	〃	菊地堅二郎
〃	五〇、〇〇〇	秋田市	副団長	菊地倉蔵
〃	五〇、〇〇〇	〃	〃	阿部広治
五月六日	五〇、〇〇〇	飯塚町	消防員	長谷川伊久雄
〃	五〇、〇〇〇	〃	〃	村上直吉
〃	五〇、〇〇〇	大郷町	消防員	二垣平八郎
〃	五〇、〇〇〇	二ツ井町	副班長	藤田種吉
五月八日	五〇、〇〇〇	〃	消防員	田村一郎
〃	五〇、〇〇〇	〃	〃	藤田誠一
計	一〇、七八〇			三〇名

▼編集室より▲

本紙「消防秋田」も創刊以来丁度三年目に入りました。この間、御愛読者諸様の御鞭撻と御協力により、順調な歩みを続けてこれましたことは、編集室の皆様方の厚く感謝致します。

さて、本紙の内容は、消防関係の記事を中心として、防火思想の普及、消防技術の向上、消防人の動静、消防機具の紹介、その他、消防に関する一般的な事項を掲載しましたが、これらの記事は、皆様の御参考になりましたでしょうか。

また、本紙の編集は、皆様の御愛読と御期待に応えるべく、盛り沢山な内容にしようと、編集者一同、日夜、苦心惨憺しておりますが、なかなか思うようにはいかない事情や状況にあることは、皆様方の御推察通りであります。

しかし、本紙は、皆様の御愛読と御期待に応えるべく、盛り沢山な内容にしようと、編集者一同、日夜、苦心惨憺しておりますが、なかなか思うようにはいかない事情や状況にあることは、皆様方の御推察通りであります。

ですから、本紙は、皆様の御愛読と御期待に応えるべく、盛り沢山な内容にしようと、編集者一同、日夜、苦心惨憺しておりますが、なかなか思うようにはいかない事情や状況にあることは、皆様方の御推察通りであります。

しかし、本紙は、皆様の御愛読と御期待に応えるべく、盛り沢山な内容にしようと、編集者一同、日夜、苦心惨憺しておりますが、なかなか思うようにはいかない事情や状況にあることは、皆様方の御推察通りであります。

主張

水防体制の強化を図れ

去る四月二十一日の大雨により雪代も手伝って、県内各地の小河川が急激に増水し、堤防の欠壊個所だけでも三百十一個所を数えた。

水害は、その時の降雨の様様によって一様でないが本県の河川は流路が短かく急流であるから、出水も減水ともに急速で僅か数時間で勝負が決まる。

水防は、主として洪水による被害の軽減を図るための防禦活動である。水防法は極めて困難であると思う。

我々はその解決までこの重大の効果を挙げ、水害からの郷土を護ろうとするに外ならない。

毎年の如く来襲する大自然の猛威に対処するには、

伐や治山治水対策のおくれから戦後特に著しく、昭和二十三年は死者三一名、流家屋三六五戸、翌二十三年は浸水家屋一、九六八戸、その他の被害を出し、又昭和三十年は死者七名、流失家屋五八戸、浸水家屋一八、九〇〇戸その他の被害一を出した外、苗代、耕地を出し、損害総額四十八億円余を算する被害を蒙った。

新たなところである。

水害は、その時の降雨の様様によって一様でないが本県の河川は流路が短かく

沿山治水等の根本対策の必要であることは、論を俟たないところであるが、現下の財政事情からして、一時に解決することは極めて困難であると思う。

これを一時に解決することは極めて困難であると思う。

我々はその解決までこの重大の効果を挙げ、水害からの郷土を護ろうとするに外ならない。

毎年の如く来襲する大自然の猛威に対処するには、

数年前消防的態度を改め、まだ水防倉庫建設費に対してのみではあるが、国庫補助という積極的態度に出て、それが毎年継続されている。

第一線はこれに応えて、更に覚悟を新たにし、水防計画に再検討を加えると共に資材の整備と訓練の徹底について特段の配慮が必要である。

危険期は月余に迫っている。果では近く県内数カ所で講習又は訓練を実施するよう計画している。

これに参加しない市町村でも努めてこれを参観とし、技術の向上に努める等、水防体制の強化を図らねばな

政府ではかかる見地からあるべきかという問題になるが、先ず既往の事実に照らし綿密な水防計画を樹て、有事に際して不可欠な資器材を整備すると共に、訓練に慈達し敏斗精神に燃えた多くの消防団員を確保しておくことである。

トーハツ ENGINES

5年来の小型エンデンメーカーが贈る
国家消防本部検定合格品
始動の確実
サーヴイスの万全

トーハツ消防ポンプ

各馬力共サーチライト付属品完成

VH型	水冷35馬力	150ポンド	500ガロン
VK型	水冷28馬力	130ポンド	370ガロン
VEⅡ型	水冷15馬力	120ポンド	250ガロン
VEⅢ型	水冷65馬力	80ポンド	120ガロン

ジエツトホース

特徴 1.水が漏らない 2.取扱いが容易である 3.耐久力に富む 4.軽く、硬くならない

秋田県代理店

株式会社 高義商会

本社 稲庭川連町 電話 川連 16番 18番
支店 横手市駅前 電話 1180番 1181番
支店 十文字駅前 電話十文字 32番
秋田営業所 秋田市川反二丁目 工藤幸吉 T 秋田 3178番
県北副代理店 天王町 田仲工業所 T 天王 53番
花輪町 鹿角自動車整備株式会社 T 花輪 74番

トーハツ

トーハツポンプ

県北代理店 田仲工業所

南秋田郡天王町天王 T天王53

国消検定

A—1級1000ガロン型

A—1級
A—2級
B—1級
B—2級
合格

恐ろしい火魔の守りは！

ポンプ

K.K 渡辺ポンプ諸機械製作所 TEL 311.162

秋田出張所 秋田市西根小屋町16番地 秋田芝浦ポンプ内 TEL 6862
本荘出張所 本荘市二十六本岡 本豊治 TEL 413

最近の御注文先

鹿ノ巣町消防署	
本荘市消防署	
五城目町消防署	
仁賀保町消防役場	
井川村役場	
岩城町役場	
矢島町消防団	
西仙北町役場	

私達も知りたいと意見活発

大火記念日に座談会（湯沢市）

湯沢市では大火記念行事が発達すればする程火の使用は複雑化しますが、火を防ぐ方の研究は割合等閑に附されているように思われてなりません。

火災を無くすには建物を全部耐火的にするか、背物をガラス製のような不燃性のものに改めれば一番いいと思いますが、仲々それもできません。

西洋諸国にも以前は非常に大きな火災がありましたが、木造建物の建築禁止により大火が無くなり、現在は大火は日本の専売特許のようになっております。然し我が国の現状からしては、今直ちに建物を全部コンクリート造りにするというようなことは困難です。大火防止の面については都市計画のことも考えられますが実際面ではこれも容易でありません。

そのような実情になっておりますので、燃える私達の生活の中で防火的配慮が必要になってくるのであります。それには先ず危いところに監視の目を向けることが必要であり、気象的に危険な状態の時は、警戒が願います。

先ず最初に、最近の火災がどうなっているか、手賀本部長さんから県の場合についてどうぞ。

○最近の火災は

○手賀　毎年一番多いのは子供の弄火です。時期は春消えと農繁期に多く、又冬になりますとストーブ関係の火災が多くなります。大いした危険と思わないところから、出火することがあります。油断はできませんが、モルタル塗屋に拡声機を取付けておりまして、それで一般に知らせております。

○次藤（須川支所）自分の家の事を申して恐縮ですが、昨夜などサッパリ判りませんでした。あのような時、一般市民にも知らせて戴けないでしょうか。

○司会　現在は手不足でそこまで手が廻りませんが、近く増員になりますので、出来るだけ御要望に副うように致したいと思います。

○手賀　土埼では普段に電話が無いから、一番多いのは火事の知らせです。時期は春消えと農繁期に多く、又冬になりますとストーブ関係の火災が多くなります。大いした危険と思わないところから、出火することがあります。油断はできませんが、モルタル塗屋に拡声機を取付けておりまして、それで一般に知らせております。

○次藤（須川支所）自分の家の事を申して恐縮ですが、昨夜などサッパリ判りませんでした。あのような時、一般市民にも知らせて戴けないでしょうか。

○司会　現在は手不足でそこまで手が廻りませんが、近く増員になりますので、出来るだけ御要望に副うように致したいと思います。

○手賀　まことに結構です。統計上戦時中は殆んど子供の弄火による火事はありませんでしたが、これはマッチの不足からの現象と思います。どういう訳か、全国で本県ほど弄火の多いところはありません。仙北の北檜岡の大火は二度とも弄火からです。廿三年は東荒きから、昨年は楚魚煙からです。これに伴って水を流して戴くよう土木当局に折衝致しております。是非について未だ決定いたしておりませんが、これからもその実現のため努力するつもりでおります。

○手賀　県でも小畑知事さんが特に小型貯水池に対して補助することとし、予算面の視察の重点は弄火防止であると予告して堅み、国庫の補助も致しております。

○渡辺　水利のないところ最近はプロパンガス用火の火災も出てきました。

○司会　それでは出火防止にはどんな注意が必要かということについて、今日は市内の事業主の方々も沢山出せてになっておりますので、夜警のことなどについて何か参考になることを。

○私たちも知りたい

○熊谷（湯沢婦人会幹部）火事のあった時は私達も早く知りたいと思います。

防護規程に魂入の防護訓練

＝山本地方総合庁舎＝

山本地方総合庁舎では、昨年十二月工藤福祉事務所長を団長として防護団を組織し、いわゆる統制式の行政機構に模の連絡を加味した防護規程を制定して、珍だけを整えておったが、このままでは有事の際何んの役にも立たないと、この度地元の消防署や警察署と緊密な連絡の下に、初の防護訓練を実施し、防護規程に魂入れの訓練を実施し、大なる成果を収めた。

訓練終了後工藤防護団長は、公共建物を災害から護るという敢斗精神を養うため、管内の町村役場は勿論学校、婦人会などにも及ぼして行きたいと語った。

訓練の要領は次のとおりである。先づ訓練に興感を与えると共に煙の充満した建物内で行動するには如何にすれば効果的であるかを体験させるため、発煙筒を燃やして全庁舎を煙で包み庁員は濡れ手拭で鼻口を覆え、見透しのきかない時は壁を伝わり手探りで行動することを教え、消防署へ訓練火災の通報を発するとともに、非常ベルを鳴らして全庁員にこれを周知し、直ちに防護規程による本部と各隊が編成され、団長の想定に基き、消火、警備、連絡等の各指揮班や各隊が行動を開始した。

本部は直ちに第一想定を出し、現場から第二次、第二次の情報を受け、これに対応した想定を出し、各指揮班や各隊は、防護規定や団長の指揮によって行動を開始した。

訓練の内容は、初期消火、消防部隊の誘導（火点へ）避難誘導、団長―指揮班―各隊間の指揮連絡、本部指揮による各隊の行動、延焼防止の方法等であって非常持出物品の搬出は、非常袋、風呂敷等簡易梱包等による効果的搬出方法を訓練し負傷者の救出は、担架の代えがないため背負って救出する方法を、又避難訓練は弟子、ロープ救命袋等により二階から降下する方法を訓練した。

（写真は総合庁舎の避難訓練）

四月二十三日午後十一時三十分頃北秋田郡阿仁町銀山から出火し、住家七棟、非住家九棟を全焼した火災に際し、阿仁町消防団員庄司栄四郎、高島信夫の両氏は自宅の類焼を顧みずそれぞれ消防の任務に遂行し、その行動が他の模範である旨、この程秋田県知事から表彰された。

阿仁町消防団第二分団消防員　庄司栄四郎氏

類焼を顧みず任務を遂行の二氏に知事表彰

庄司さんは自宅が火元の約三米離れた風下にあり、発見した頃は類焼の寸前に位し、発見当時から飛火激しく類焼必至の状況にありながらこれを顧みず直ちに自宅を飛び出し、上司の命により最後まで破壊作業に従事したもの。

その後自宅の類焼を眺めながら簡先係として最後まで延焼の防止に専念したものであったが、家財道具には一指も触れずそのまま飛び出し、直ちに建屋に登り警鐘を乱打一鼓に急を告げ、その後自宅の類焼を眺めながら簡先係として最後まで延焼の防止に専念したもの。

消防員　高島信夫氏

高島さんは、消防団本部工作部員であるが、自宅は風下に位し、発見当時から飛火激しく類焼必至の状況にありながらこれを顧みず直ちに自宅を飛び出し、上司の命により最後まで破壊作業に従事したもの。

赤襷で防火指導

＝能代市火災予防組合の活躍＝

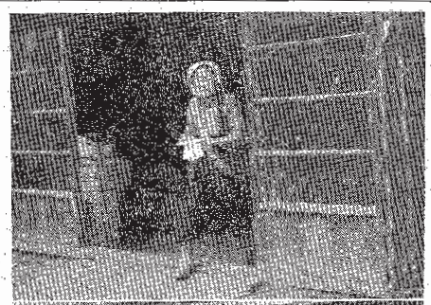
春の防火週間は、火災警報発令後の風速十五米を超える気象生の最盛期でもあったので能代市では消防も市民も今後は能代から絶対大火を出さぬと、共に真剣そのものであった。

週間中の主なる行事は、立入検査、火災警報発令下の臨戸指導、実践訓練、火災の早期通報、初期消火、避難訓練等であったが、特に人目を引くのは火災予防組合が主体となって行った特別警報発令下における隣組班長の臨戸指導であった。

これは、火災警報発令後市外七市十一ヶ町に対し、消防力増強年次計画を樹立するよう呼びかけてあったが、それから半歳を経過した今日、その問題はどのように扱われていかかを、次の日程によって現地調査をしたが、近くその結果を編纂し、これに対する対策を講ずることになっている。

調査日程

五月八日　五城目町、能代市
〃　九日　二ツ井町、藤琴
〃　十日　秋田市
〃　十二日　大曲市、六郷町
〃　十三日　角館町
〃　十四日　大館市、比内町
〃　十五日　花輪町、小坂町
〃　十六日　象潟町、本荘市
〃　十九日　横手市
〃　二十日　増田町、湯沢市
〃　廿一日　羽後町
〃　廿二日　男鹿市



（写真上は隣組班長の臨戸指導、下は防火班に対する小林消防署長の講習）

消防力増強計画いかに

防災本部現況を調査

県では昨年秋大火防止対策の一つとして消防力増強目標会体計画を樹て、秋田市外七市十一ヶ町に対し、消防力増強年次計画を樹立するよう呼びかけてあったが、それから半歳を経過した今日、その問題はどのように扱われていかかを、次の日程によって現地調査をしたが、近くその結果を編纂し、これに対する対策を講ずることになっている。

未だ割当の三九%

本県の日消会館寄附付

建工関近しといわれている日本消防会館の建設費に対する本県の寄附納入状況は、百二十三万五千六百円に対し未だ三九%というところで未納市町村は左記のとおり。

○完納、秋田市、能代市、大館市、男鹿市、湯沢市、十和田町、小坂町、鷹巣町、二ツ井町、藤琴村、由利村、六郷町、羽後町、東成瀬村、皆瀬村等十五カ市町村。

○半納、花輪町、比内町、八森町、河辺町、仁賀保町、仙南村等六カ町村。

○一部納、雄和村、雄物川町、平鹿町等三カ町村。

現在までの納入状況は次のとおり。

日本消防会館建設資金寄附（五月分）

一金三万七千三百円也　由利郡由利村消防団
五月十二日

一金一千三百五十円也　本荘市消防署
五月二十七日

累計百二十三万五千六百円也

本年度の予算等を議決（水防）

定例総会・五月二十六日

五月二十六日午後一時から秋田市楢山金照院において、指定水防管理団体連合会の臨時総会の本年度定例総会を開催した。

この日は大野会長、加藤副会長をはじめ、理事、監事、指定水防管理団体管理者（市町村）等約五十名出席、来賓に知事代理として森松県庁生部長、松野消防協会長、各郡福祉事務所長等を迎え、次の提出議案全部を、平鹿郡大雄村長の提出した「水防資材に対する協賛補助の件」を満場一致可決又は承認し、午後三時閉会した。

○昭和三十一年度歳入歳出決算承認について

○昭和三十三年度歳入歳出予算及び事業計画について

○昭和三十三年度水防管理団体負担金賦課について

水防工法指導者養成講習

五月廿六日　秋田市雄物川河畔で

やがて到来する梅雨期にと、五月二十六日午前九時から秋田市新屋の雄物川河畔において、指定水防管理団体連合協議会の協同主催で、河港課佐々木河川係長その他を講師に迎え、第一線における市町村の水防を指導している各福祉事務所や土木事務所の係員等約三十名の参集を求め、殻流し、土嚢、木流し、川倉、蛇籠等水防工法の講習会を開き大なる成果を収め正午終了した。

（写真は講習の状況）

支部だより

○湯沢市・雄勝郡支部

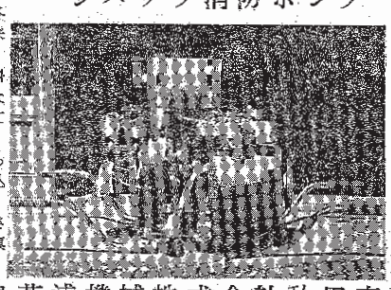
五月八日午後一時から湯沢市、雄勝地方総合庁舎において評議員会を開き、昭和三十二年度歳入歳出決算の承認や新年度予算の議決、支部役員の補充等を行った。補充役員の顔ぶれは支部長に羽後町消防団長　柴田幾蔵氏　副支部長に湯沢市消防団長　山脇新八氏

○本荘市・由利郡支部

五月九日午前十時三十分から本荘市役所市議会々議室において評議会を開き、昭和三十二年度歳入歳出決算の承認や新年度事業計画同歳入歳出予算等を議決した。

消防検定合格並に推奨品　全国唯一の4サイクル空冷水冷併用式の
シバウラ消防ポンプ

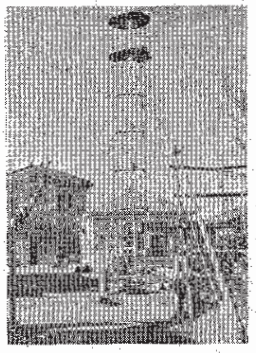
消防戦術に最も重要なる冬季期間の操作が簡単に出来る。
- エンヂンの始動は、燃料がガソリンのみ故如何なる寒冷時にても一度にて始動する
- 空冷エンヂンであるから総ての汚物泥水等を吸込んでも心配はない
- ポンプ置場にて水を出さなくてもエンヂン及び真空試験が出来る



U―1型 6～8HP
S―65型 14～17HP
F―74型 18～25HP
F―25型 6.5HP
F―18型 4.5HP

石川島芝浦機械株式会社秋田直売所
秋田市西根小屋町上丁16番地　電話6862・2931番

望楼　鉄骨一般
仁村鉄工株式会社
秋田県知事登録㈠第1213号
秋田市亀ノ丁虎ノ口10
TEL3379,6389,3047



私達婦人も一役買いたいと（下）

活発な意見の防火座談会

司会　今年度の町予算にもみてあるようです。

九島　国の補助はどの位ですか。

佐藤　一基につき二万円です。

昨年六月の防火診断のときにも言われましたが御当町は道路とか街の区劃整理はかなりよくできているが、水利はまだ充分でないようです。

◎なぜ焼死者が多いか

司会　さき程次長さんからお話がありましたが、今年に入ってから既に九名もの人命を火災で失っておりますが、これはどうしたわけでしょうか、次長さんからひとつ。

佐藤　時期的にはやはり冬期間に多いようです。今年は既に昨年の八名を上廻る焼死者を出しておりますが、これを原因別にみますとやはり逃げ遅れが多いようです。

殊に冬期は冬囲いで大部分の出入口を閉じたり、狭めたりするのでこのようなことが多いと思います。非常口を出入口と反対の方向にもつけるとか、或は老人、子供は出入口に近いところに寝せるとかいった注意が必要です。よく先輩から知らない家に泊ったら先づ便所と非常口を確めろ、と言われたものです。

司会　今までいろいろと有益なお話合いを願い、私共と致しましても大変参考になりましたが要はこれを如何にして一般に徹底させるか、というところに困難さがあると思うが、重要な問題であると思います。

◎火災予防は消防の専売でない

村上（荒地区隊長）防火週間そのものを一般の人々は消防の専売であるといった気持でいるようです。

佐藤　御説のとおりです。この意味では民間団体である土崎防火委員会などでも、市民の防火週間だから市民の手で行うようになればよい意味がない、と言っております。又県でも県民一人々々にした意欲をもって貰うために、直接市町村に乗り出し、地元の人々と話し合いする計画を持っております。

村上　県から来た機関に行事を指示する事はできませんか。

佐藤　県は陸機に応じていろいろな指導を行っておりますが、今の制度では、欲しいと思います。外に啓蒙の方法としては映画、資料の展示会など視覚に訴えるやり方も案外効果があるのではないでしょうか。

どうでしたか隊子の去年の映画会の効果は？。

鈴木（隊子地区隊長）満員だったから効果は挙ったでしょう。（笑）

◎ポンプで警戒できないか

秋北新聞記者　毎日、自動車ポンプで夜警ができませんか。

木村　実際問題として九人の常備体勢では巡回中に火災が出る事を考えれば不安です。

秋北新聞記者　一台づつの巡回はどうでしょう。

木村　現場に出場するには一台に五～六名は必要なので、そうなるとポンプは二台残りますが後の人員で果して火元の消滅が出来るかとなると疑問です。火災の規模にもよりますが初期消火には少くとも二～三台が必要とされています。

司会　異常気象の日には消防団も出動して町民の不安を除きたいと思います。がしかし先程次長さんも言われたとおりこれは一般の方々の絶大な御協力があって始めて成果が期される事だと思います。そういう意味でも次回の防火週間は文字どおり町ぐるみ運動とまでもってゆきたいものです。

◎子供を通しての家庭防火はどうか

大高滝森小学校長　教育庁主催で児童・生徒からポスター、標語等の募集を行ったらどうでしょう。ポスターなど、案外大人も自分の子供の書いたものはよくみるようですから。又、中学校生徒は卒業して四、五年もたてば団員になるのだからその基礎を作るためにも中学校生徒をもって少年消防団を作るようにしたらどうですか。勿論これらを実行に移す上には消防機関の正しい指導が必要です。

司会　関係方面ともよく協調し合い効果のある計画を樹てたいと思います。

◎少年消防クラブは斯くありたい

佐藤　今、私の方で少年消防クラブの育成を考えていますが、これは従来のように夜警一本槍でなく、いわゆる社会科のクラブ活動として防火を研究して学業の資とすることこのような火に対する科学心を持った子供方が家庭に危る物好きがおれば、火事で困るのは野次馬です。火事というとポンプと競走するようにして火事場に結構なことだと思います。

大高　防火の心得なども、家庭にあって子供の口から出されると効き目があるでしょう。よい企画と思います。出来ればクラブに標旗やタスキなど用意してやったら子供達も喜ぶでしょう。

司会　長時間に亘り熱心にお話合い願い私共消防人としましても参考になる点が多々ありました事を感謝します。私たちの住む隣巣町を火災から守るために、私共としましては今日の御意見をもとにし、出来るものは直ちに実行に移す努力をおしむものではありません。皆さんも一つ、機会ある毎に消防を利用していただきたいと思います。どうも有難うございました。

（文責・富島）

（※二面よりつづく）

っております。学校へもお願いしてありますが、大変結構なことだと思います。火事で困るのは家族が一週間位の交代で負うようにすることもいいと思います。

佐藤　御意見有難度く拝聴致します。

◎予防団体は自主的に

司会　最後に火災予防団体の育成のことについて一つ。

○手賀　この問題は県が出しますと、直ちに反発を食うおそれがあります。それで県と致しましては成るべく婦人会とか青年会が自主的に取上げて貰くことを願っております。

象潟町の婦人会は、火災予防の問題を取り上げ会合の都度その始め終りに必ず火災予防のことを話題に亘に話合い相当の効果を挙げていると聞いておりますが、非常に結構なことだと思っております。

司会　大分時間も経過しておりますが、外に何かありましたら。

○木製煙突もある

○次藤　私の方で板で造った煙突を使っている者があり非常に危険に思いますが政綱の方法がないものでしょうか。

○司会　火災予防条令がありそれで取締ることができます。

○斎藤（事業主）私は昨晩ですが、私の方で垣根を段々道路に寄せてくる者があります。何んとかできないものでしょうか。

○司会　関係方面に連絡し善処して戴くように致します。外にも御意見がたくさんあることと思いますが、時間も相当経過いたしましたのでこの辺で座談会を終りたいと思います。

司会が下手で大変恐縮でした。皆様から貴重な御意見を拝聴し、ありがとうございました。

○飯原　私は農村ですが、御承知のように機家は、何、鶴、風呂場はそれぞれ相当の距離があり、夕食の仕度をする時などはあの広い家を火に神経を使いながら、火鉢に話合い相当の効果を挙げていると聞いておりますが、非常に結構なことだと思っております。

象潟町の婦人会は、火災予防の問題を取り上げ会合の都度その始め終りに必ず火災予防のことを話題に亘に話合い相当の効果を挙げていると聞いておりますが、非常に結構なことだと思っております。

司会　大分時間も経過しておりますが、外に何かありましたら。

○火気は一カ所に

○手賀　私共と致しましてもこれをどこまでも継続させなければならないという強い考えは持っておりませんが、永い伝統でもありべ研究的なクラブ活動が最非必要と考えております。先生方からよろしく御指導願えればこれに過ぐることはありません。御意見有難度く拝聴致します。

○輪番で火の始末を

○司会　防火思想の普及宣伝は年中行事として行っていとは思いませんが、それ迄々附録のつくことがあります。学校側と致しましては好ましくないと思っております。従って夜警はあまり推奨致したくありません。

○手賀　私共と致しましてもこれをどこまでも継続させなければならないという強い考えは持っておりませんが、注意力にも限度がありますので、火の恐しいことを更に認識させることも必要でしょうし、防火設備の問題等も考えなければならないと思いますが、火に対する責任を家族が一週間位の交代で負うようにすることもいいと思います。

佐藤　まことに結構な思い付です。そして気象的に信いと思う時には特に注意して戴くようにすればよいと思います。統計から申しますと、時間的には午後が一番多く、朝の五時と六時が一番少なくなっております。

○司会　消防は火災警報を出した時警戒に出て警火心を高めるように致しておりますが、将来もそのように致したい考えです。

○千葉（船沢中学教頭）子供の夜警そのものは別に悪いとは思いませんが、それ迄々附録のつくことがあります。学校側と致しましては好ましくないと思っております。従って夜警はあまり推奨致したくありません。

○手賀　私共と致しましてもこれをどこまでも継続させなければならないという強い考えは持っておりません。

○少年夜警の是非

○次藤　毎晩少年警火団が廻っておりますが、毎晩なので却って警火心を疎薄させているの家があるようですが、なるべくこれは差けて戴くようにして戴きたいものです。農村では看護が困難で出られず死ぬ人もあります。

○司会　消防は火災警報を出した時警戒に出て警火心を高めるように致しておりますが、将来もそのように致したい考えです。

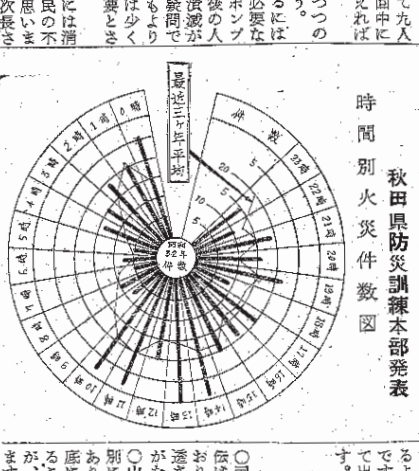
○千葉（船沢中学教頭）子供の夜警そのものは別に悪いとは思いませんが、それ迄々附録のつくことがあります。学校側と致しましては好ましくないと思っております。従って夜警はあまり推奨致したくありません。

○手賀　私共と致しましてもこれをどこまでも継続させなければならないという強い考えは持っておりません。

火災の実態と消防の現況②

秋田県防災訓練本部発表

時間別火災件数図



子　宝　靴

東京都消防庁及防衛庁指定の

子宝の半長靴

革底靴に比較し4倍の耐久

◎秋田県消防協会に於て特別価格で購入斡旋致して居りますから御照会乞う。

秋田市鷹匠町　秋田子宝靴専売所　TEL 2835

電源不要　ノーベルフォン　便利な電話機

秋田県防災訓練本部　秋田県消防協会　推奨品

この電話機は、日本ノーベル工業株式会社がロッシエル塩の持つ特性起電力に着眼し、多年艱ゆまざる研究の結果考案に成功したもので、世界に誇り得るものであつて何れの国にも何れのメーカーにもない品であります。2本の線でつなぐだけで160kmも聞え、携帯型はその名の如く軽便でどこでも使用できる便利なものです。

携帯型電話機＝特徴　1電源不要　2交換不要　3維持費不要　4許可不要　5携帯便利

＝用途＝　1消防水防の現場連絡　2営繕、分団詰所その他の連絡　3役所、事務所、工場、商店内等の連絡　4住宅と事務所、工場、倉庫との連絡　5事務所と工事現場等との連絡

◉種類携帯型、載頭型、対型、親子型、連立型等各種

発売元　日本ノーベル工業株式会社　東京都港区芝田村町4ノ4

▷申込は……秋田県消防協会へ◁

毎月25日発行
消防秋田
定価1部 10円
秋田市土手町
発行所 秋田県消防協会
発行兼人 伊藤忠太郎
秋田市下亀ノ町七
印刷所 太陽印刷株式会社
電話四八三五番

消防人共済会 掛金の地域差で継続

―臨時総代会で決定七月一日から実施―

日本消防協会が推進母体となって組織している生活協同組合全日本消防人共済会の事業運営問題は、さきの第三回定期総代会において保留となっていたが、このままでは運営困難の実情にあるので、六月六日臨時総代会を開き、慎重審議の結果

定款の第五十三条と事業規約の第三条を改正して、この会発足以来の共済金給付実績に応じ、都道府県単位に、掛金を五百円、四百円、三百円の三段階に地域差を設け、事業を継続することに満場一致決議を取纏め、知事名をもって厚生大臣（厚生大臣）の認可を受け再出発しようとしている。

七月一日からこれで本県はA級に属し一口の掛金はこれまで四百円であったのが、五百円になった。

都道府県別地域差次のとおり

五〇〇円（一道四県）
北海道、青森、秋田、富山、鹿児島

四〇〇円（一都二十二県）
岩手、宮城、山形、福島、新潟、東京、神奈川、埼玉、群馬、栃木、長野、福井、石川、鳥取、島根、徳島、高知、長崎、福岡、大分、佐賀、熊本、宮崎

三〇〇円（二府十六県）
茨城、千葉、山梨、静岡、岐阜、愛知、滋賀、京都、三重、奈良、大阪、和歌山、兵庫、岡山、広島、山口、愛媛、香川

消防施設整備費 国庫補助内定

＝本県一二八万円・要望額の五九％＝

消防施設強化促進法に基づく本年度の整備費に対する国庫補助については、国家消防本部長からの通達によって、各市町村からその要望を取纏め、知事名をもって要望書を提出してあったが、六月四日に県へその内定通知が入った。

これによると本県へは、水槽付消防ポンプ自動車一台、普通消防ポンプ自動車一五台、小型動力ポンプ三台、防火水槽四七個（有蓋四〇立方米もの二六個、同二〇立方米もの七、無蓋四〇米もの八、同二〇立方米もの六）消防専用無線電話（一基でその補助金額は、合計して二八四万円、要望額は二一四八万円であったので、その五九％が補助される割合で内定し、本県からは防災訓練本部の佐藤次長が出席した。

第一日は九時から午後五時まで

④ 消防制度の改正問題について

第二日は午前九時から午後一時まで

① 各都道府県提出議題の審議で出席者間に活発な意見の交換があり盛会を収め大なる成果を収めた。

○消防ポンプ自動車一台
能代市、大館市、男鹿市、花輪町、十和田町、田代町、河辺町、雄勝村、仁賀保町、大内村、角館町、六郷町、十文字町、増田町、雄物川町

○小型動力ポンプ
秋田市　三台

○防火水槽有蓋四立方米
秋田市八、湯沢市三、花輪町三、能代市一、比内町一、小坂町一、琴丘町二、八森町一、神岡町二、羽後町二、大森町一、鹿去沢町一

消防専任課長会議

六月二十・二十一日 名古屋市で

全国消防専任課長会議は六月二十日、廿一日の両日愛知県庁六階会議室で開かれ、本県からは防災訓練本部の佐藤次長が出席した。

中央官庁へ陳情

通常理事会の決議事項

三月二十三日開催の通常理事会で河辺支部提出の「消防整備費の増額について」は、関係方面に陳情してその実現に努めること、その文案は会長一任と満場一致をもって決議されてあったが、この確現方について」は、関係方面に陳情してその実現に努めることとなった。

秋田県消防協会長から、衆参両議院議長、国家公安委員長、大蔵大臣、自治庁長官、国家消防本部長、日本消防協会長等へ陳情、その実現に努めた。

消防施設費の要望纏る

県費補助 ポンプの要望依然多し

前号掲載のとおり、防災訓練本部では本年度の消防施設整備費県費補助の要望を調査しておったが、この程その数を取纏めたところ小型動力ポンプは能代市など三二カ市町村から九三台、無蓋の防火水そうは大曲市など三一カ市町村から九三個の要望があった。

防災訓練本部では、査定を急ぎできるだけ早くこれを内定し、市町村の消防体制を強化するように致したいと語っている。

未だ割当の四二％

本県の日消会館寄附

後工間近といわれている日本消防会館の建設費に対する本県の納入状況は、六月二十五日現在で百三十三万九千円で、割当額に対し未だ四二％というところ未納市町村は一日も早く納入して戴きたいと、消防協会は強く望んでいる。

現在までの納入状況次のとおり。

○完　納
秋田市、能代市、大館市、男鹿市、湯沢市、小坂町、十和田町、鷹巣町、二ツ井町、藤里村、象潟町、由利村、六郷町、矢島町、羽後町東、成瀬村、皆瀬村、八竜村等十八カ市町村

○半　納
本荘市、花輪町、比内町、八森町、河辺町、仁賀保町、仙南村等六カ市町村

○一部納
雄和村、雄物川町、平鹿町等三カ町村

日本消防会館建設資金寄附（六月中）

一金三万一千円也
六月七日　北秋田郡合川町消防団

一金一万六千四百円也
六月十一日　山本郡八竜村消防団

一金三万九千五百円也
六月十二日　本荘市消防団

一金三万三千九百円
六月二十五日　由利郡矢島町消防団

累計百三十三万九千円也

厚生省事務次官通達に基き

災害救助法 県施行規則一部改正……

五月二十六日厚生省五階講堂において、全国災害救助主管課長会議を開き、厚生省施設課長から災害救助法による救助の程度、方法及び期間の基準改正についての厚生事務次官通牒の説明があったが、本県からは防災訓練本部の佐藤次長と足田主事が出席した。

本県でも近く、この次官通牒の基準に基き秋田県災害救助法施行規則の一部を改正しようとしている。

一、応急仮設住宅
イ　一戸当りの規模五坪
二、医療、助産
ロ　毎畳費用坪当り
一四、〇〇〇円以内を（二、六〇〇円）以内に
八、供与期間、完成の日から一年以内を（二年（二〇、〇〇〇円）以内に
六、学用品
（義務教育、文房具、学用品等と分離された）
1　義務教育、床上浸水
イ　貸与金額一〇、〇〇〇円以内を（五〇円）以内に
ロ　貸与期間、一年以内を（二年）以内に
○半壊、半焼、床上浸水、小学生一人三〇円以内、中学生一人六〇円以内に
○給与期間、一五日以内を（概算書については一カ月以内その他の学用品については十五日）以内に
七、埋葬
イ、埋葬費用
大人一件当り一八、〇〇〇円以内を（二〇、〇〇〇円）以内に、小人一件当り一、〇〇〇円以内を（一、八〇〇円）以内に
生一人二八〇円以内に
八、実費弁償（日当）
医師、歯科医師、一人一日、八〇〇円以内を、（一、〇〇〇円）以内に薬剤師一人一日、八〇〇円以内を、（九〇〇円）以内に
保健婦、助産婦、看護婦一人一日、四〇〇円以内を、（五五〇円）以内に
土木技術者及び建築技術者一人一日、八〇〇円以内を、（一〇〇〇円）以内に大工、左官及びとび職一人一日、四五〇円以内を、（六〇〇円）以内に
九、運搬費等手当（新たに入る）破壊ごとに前記の日額を基礎とし、常傭職員との衡を考慮して、算定した額以内とする。

改正の要点は以上のとおりで、現行の基準は、昭和二十八年十二月に定めたものであるが、九四年を経過した今日経費の点が実情に即しなくなったので、四年間の実績を大いに考慮し、今回改正されたものである。

消防ポンプは ニッキとラビット号

各種附属と被服金般火品、器各種
特約店　赤穂消防機具店
横手市富士見町　電話八三八番

5年来の小型エンデンメーカーが贈る
国家消防本部検定合格品
トーハツ ENGINES
始動の確実
サーヴイスの万全

トーハツ消防ポンプ

各馬力共サーチライト付完成品

VH型	水冷35馬力	150ポンド	500ガロン
VK型	水冷28馬力	130ポンド	370ガロン
VEⅠ型	水冷15馬力	120ポンド	250ガロン
VEⅠ型	水冷65馬力	80ポンド	120ガロン

ジエツトホース

特徴　1. 水が漏らない　2. 取扱いが容易である
3. 耐久力に富む　4. 軽く、硬くならない

秋田県代理店
株式会社 高義商会
本社　稲庭川連町　電話 川連 16番 18番
支店　横手市駅前　電話 1180番 1181番
支店　十文字駅前　電話十文字 32番
秋田営業所　秋田市川反二丁目　工藤幸吉　T 秋田 3178番
県北副代理店　天王町　田仲工業所　T 天王 5-3番
花輪町　鹿角自動車整備株式会社　T 花輪 74番

創立56週年
消火器は効力と品質を保証された！
初田式消火器
を御設備下さい。
最高の品質
最大の生産量
最良のサービス
ハツタ 消火器
株式会社 初田製作所仙台出張所
仙台市立町通5番地 TEL⑧2250
秋田県特約店　菅原長治商店　秋田市本町六丁目 T 3811
藤慶商店　秋田市土崎港下浦田町 T 8062

教養資料

注水操作訓練実施要領

防災訓練本部では、現場活動体制の強化を図ろうと昨年来、自治消防発足以来各市町村とも真剣に演練を続けて来た規律訓練やポンプ操法等の基本訓練より一歩前進した。現場即応の活動中、機関の運用、適正注水、注水要領等の諸動作修得のための「注水操作訓練の実施要領」やその訓練の「判定要領」について研究中であったが、この程別項のとおり成案を得、六月十三日各市町村の消防機関や各福祉事務所長、消防協会各支部長宛発送した。

注水操作訓練実施要領

○訓練の目的

青通火災の防ぎょ活動に必要な注水操作の基本要領を修得するため、次に掲げる諸動作を演練する。

一、有効水流の作成要領

二、仮設目標に対する注水要領

三、放水水流の変形要領

四、注水姿勢の変換要領

五、その他必要と認める事項

○実施準備

一　仮設目標の設置（別図）

垂直目標の作成

①　長さ四メートル以上の支柱を一四メートル間隔に立てる。（立木等の利用も可）

②　水平目標の作成

垂直目標の間に地上四メートルの高さとなるように長水又は竹竿等を水平に渡す。（ワイヤロープ又は丈夫な綱を張り、これに竹竿類を結えつけるのもよい。水平部を安定させるため支柱を多くしてもよい。）

③　円型目標

直径四〇センチメートル（約一尺三寸）の輪を作り、これを水平目標の中央部に吊り下げ安定するように控綱で固定する。

④　注水位置の設定

円型目標に正面し、その真下から約十二メートルの位置に土俵の位置とする。

二、仮設目標設置上の注意

①　水利を取り易い場所又は補給の容易な場所を選定する。

②　相当多量の放水で支等を水平に渡す。（ワ障の起らない場所を選定する。

③　向い風、側風は、訓練効果に影響が強いからでき得れば送り風で放水できるような考慮が望ましい。

○訓練参加ポンプの種別と条件

一　ポンプ種類型式に関係なく、放水圧力五〇ポンド以上の動力ポンプとする。

二　訓練に使用する管口の口径は四分の三インチ（六分）とする。

三　使用ホースの種別、本数は制限しない。

○実施要領

一　ポンプ操作

指揮者の号令により、所定の要領で操法を行い放水準備を経え放水する。

二　訓練要領

①　注水要領

(イ)　円型目標に対する注水は、水流の中心部と円型目標の中心部が一致するように注水する。

(ロ)　水平目標と垂直目標に対する注水は、水流の中心部が目標に当るように注水しながら左（右）上（下）に移動する。

(ハ)　放水水流の変形とは管口に指先を当て、水流が扇状に散水することをいう。

②　注水姿勢の変換

(イ)　直立姿勢から折ひざ姿勢への変換

(ロ)　折ひざ姿勢から直立姿勢への変換

（要領は、消防操法の準則第十五条に定めるところによる）

三　訓練順序

①　注水操作と注水姿勢の変換は、指揮者の号令又は指示によって行うものとする。指揮者は、放水が開始されたら次の順序で号を下して訓練を行うものとする。

(イ)　目標「円型目標」

(ロ)　目標「水平目標左に移動」

(ハ)　「右に移動」「左に移動」

(ニ)　目標「左側垂直目標下に移動」

(ホ)　「上に移動」

(ヘ)　目標「水平目標、右に移動」

(ト)　目標「右側垂直目標下に移動」

(チ)　「上に移動」

(リ)　目標「円型目標」

(ヌ)　「折ひざ注水」

(ル)　「立て」

(ヲ)　「水型を変え」

(ワ)　「水型元え」

(カ)　「放水止め」

(ヨ)　送水が停止したら、所定の要領で器具を収納し、退場する。但しホースの収納は所定の要領によらないことができる。

○その他

一　有効水流とは、放水流の大部分が円型目標の円内に投入されるような形状にあるものをいい、筒先圧力によってその作成が決まる。

二　注水操作は、注水目標に対する注水が適確であって、迅速に行われるように練習を要する。

三　注水目標の注水部は、放水の弾出部の先方となるため筒先操作員から見えないから、水流の中心部を目標に的中させるには、ある程度の熟練（勘）を要する。

注水操作訓練成績判定要領

○成績判定の目的

成績判定の目的は、訓練の習熟度を審査し、優秀技術の推進を図るとともに、成績順位の決定等に資するためとする。

○審査員

一　審査員の資格

①　注水操作訓練の指導者及びその補助者であった者。

②　注水操作訓練の指導者としての経験ある者。

③　その他消防訓練の経験ある者。

二　審査員の種別と人員数

①　操法審査員　主としてポンプ操法の審査に当る。

②　注水操作審査員　主として注水操作の審査に当る。

③　タイム測定員　所要時間の測定に当る。

審査員の人員は、各種別毎に一名以上とする。

○審査要領

一　採点の原則

採点は、欠点加算式によるものとする。

①　ポンプ操法の採点

消防操法の準則に定められる要領を判定基準とする外、次の事項を対象とする。

(イ)　士気、規律、私語

(ロ)　器具取扱いの粗略粗暴。

(ハ)　その他著しく見劣りのする動作

(ニ)　判定は、ていさいの良否よりも、実用的な可否に重点をおくものとする。

②　注水要領の採点

(イ)　有効水流の作成状況。

(ロ)　注水姿勢の安定度と姿勢変換の適否

(ハ)　仮設目標への的中状況

(ニ)　扇状注水の水形

(ホ)　仮設目標の的中状況、全注水の一分以下が的中しなかった場合をその程度によって採点する。

③　所要時間の採点

放口から放水が開始されたときから、指揮者が「放水止め」の号令を下した時までを測定する。

○採点用紙

採点は、別紙様式の採点用紙による。

○順位決定要領

一　得点数の多いものを上位とする。

二　得点数の同じ場合は、仮設目標注水の得点の多いものを上位とする。

三　仮設目標得点も同じ場合は、水流作成得点の多いものを上位とする。

四　水流作成得点も同じ場合は、測定時間の少ないものを上位とする。

五　測定時間も同じ場合は抽せんによる。

○その他

風向や風力の影響を受けたり、放水流が片寄せられたり散乱したため、不利であったと認められる場合には、十点以内の加算点を加えるものとする。

消防短信

○五城目町

六月二十日　五城目町消防団の団員式典

六月二十一日　五城目町消防団の音楽隊の参集式典

六月二十一日　羽後町消防団の音楽隊の参集式典

六月二十一日　羽後町消防ポンプ庫の竣工式

六月二十一日　羽後町消防ポンプ庫の竣工式

六月二十一日　羽後町消防ポンプ庫の竣工式

期待される注水訓練指導講習

全県二七ヵ所で・7月1日～25日

火災県の汚名を臓いている本県の消防体制は、最近隔世の感ある程増強されている。この原因については、大いに研究もし、将来はこれに対する対策も考えなければならない問題であるとも思うが、防災訓練本部では、当面の問題として消防力運用の問題、特に消防機械の理想的な操作技術や注水方法を的確に把握せしめ、先ずこの面だけでも或る程度の水準まで引上げようとこの程別項のような「注水操作訓練実施要領」と「注水操作訓練成績判定要領」を作って早速その指導講習会を全県二十七カ所で開くことにし、この程関係筋に通知した。

この講習は次の日程で七月中に県内全市町村を終る計画であり、講師は防災訓練本部の職員がこれに当り受講者は一応各市町村の消防本部（署）の幹部と消防団の副分団長以上の幹部を予定しているが、開催地やその招請市村の消防団からは、希望があれば、一般団員の参加も認めるといっている。

講習日程

一日 河辺町、雄和村
二日 五城目町、昭和町
　　飯田川町、八郎潟町
　　井川村
三日 鼎館市、天王町、琴浜村
一日 象潟町、金浦町、仁賀保町
二日 本荘市、西目村、東由利村
三日 矢島町、由利村、鳥海村
四日 岩城町、大内村
七日 二ッ井町、藤里村
八日 能代市、八森町、峯浜村
九日 塩谷町、十文字町、山本村
八竜村
九日 増田町、山内村
一〇日 横手市、雄物川町
一一日 平鹿町、大雄村
一二日 大森町、大雄村
一五日 西仙北町、協和村
一六日 六郷町、千畑村、仙南村
一七日 大曲市、神岡町、南外村、仙北村
一八日 中仙町、太田村
一九日 角館町、田沢湖町、西木村
一六日 稲庭川連町、東成瀬村、皆瀬村
一七日 羽後町
一八日 湯沢市
一九日 雄勝町
二〇日 鷹巣町、田代町
二二日 横手市、阿仁町
二三日 泰吉町、上小阿仁村
　　合川町、
二四日 大館市、比内町、花矢町
二五日 鹿角郡全町村

秋田市は、消防本部の幹部を河辺地区の講習会に派遣受講させ、消防団員への伝達講習を適宜実施するよう取り計られたい。

十河川の橋脚に量水標

防災本部・出水に備う

適切な水防対策を講ずるためにはできるだけ詳しく水の状況を掴り、危険が迫れば迅速に水防警報を発して、警戒体制を整えなければならないのであるが、既存の水位観測所は通信施設から遠ざかっている等のため、水位通報は遠隔を欠き、火急の場合用をなさないような実情であった。この欠陥を補い水の状況はできるだけ早く連絡に堪もうと、県と協議しておったが、この防災訓練本部では道路限の強新設場所（橋梁）が次の協力を得、次のとおり県内十河川に架設してある橋の橋脚に量水標をつけ水位観測所を新設することを計画し、今春来その場所と観測者の選定について関係町村とおよそ定して逐次量水標を取付け出水に備えた。

◎新設場所

熊沢川　長嶺橋、十和田町
八幡平村　大湯川　大和橋、
下内川　花矢町橋、
中渡橋、阿仁川　阿仁町
岩見川　粕内橋、
河辺町　鳥海橋、
檜木内川　西木村
村吉田橋　旭川
相野々橋、山内村
皆瀬川　皆瀬村
菅生橋、平川
大内橋、子吉川
久保橋　松本橋、
鳥海村

【写真は大和橋の量水標取付作業】

火災共済と建物更生共済に消防協会協力

火災県として全国に余り有難度くない名を響かせている本県の消防関係者が不幸にして火災で罹災した場合の互助共済制度に、県消防協会の罹災互助会と日本消防協会の全日本消防人共済会の二つがあり、私達消防関係者はこの何れにも加入することができる。

この給付金の最高は前者は十万円、（一口十万円に限定）後者は二十万円となっているので、両者の最高に加入している者が焼けると先ず三十万円は貰える勘定になるが、この人が不幸にして罹災し、いざ家を建てることになると、現在の物価では仮建築ならできるかも知れないが、本建築なら一寸望み得ない。

県消防協会では本県で唯一つ厚生大臣から承認を得ている秋田県共済生活協同組合（理事長入見誠治氏）から先に同組合の火災共済事業に協力方の申出があったのでこの程、若し三十万円では不安であると思う方々のため同組合の代理店的役目をすることを引受け、その事業に協力するとともに、消防関係者各位の便宜を図ることにした。

この組合の火災共済に加入すると消防協会では謳っている。

◎火災共済とはどんな共済か

消防協会が協力しようとする秋田県生活協同組合の火災共済は、

○ 組合員の生活の文化的経済的改善向上を図るため、組合員の火災事故に際し共済金を給付する。

○ 組合の地域は秋田県一円とし、県内に住んでいる者であれば誰でも加入することができる。

○ 共済金は、一口五万円で一人最高四口（二十万円）まで契約できる。

○ 掛金は次のとおりで、一般の保険に比べ二割から三割程度安い。

地域	普通住宅一口五万円に対する掛金
秋田市	375円
能代市	400円
大館市	375円
本荘市	375円
大曲市	325円
湯沢市	375円
横手市	325円
雄勝郡	325円
仙北郡	375円
鹿角郡	375円

右料率は五万円に対する一年間の基準料率（木造住宅屋根不燃材）です

(1) 底舗併用住宅、工場併用住宅、旅館医院、寮又は三戸以上長屋の場合は上記料率に五〇円の割増となります

(2) 屋根可燃材のときは上記料率に五〇円の割増となります

(3) モルタル塗等の外部不燃材構築の場合は二五円の割引とします

○ 組合に加入するときは掛金の外、口数を問わない。

○ この共済は全国共済生活協同組合連合会に加入しており再保険制度がとられているから安心である。

○ 一般の保険に比べ二割から三割程度安い。

◎建物更生共済とは

又この組合には火災共済の外に建物更正共済の制度があり、建物更生共済は、

○ 火災保険と違い、火災に遭ったときは勿論であるが、契約期間中に火災に遭わないで過したときはそれまでの全掛金に利息がついて支払われるという「貯金と火災保険」の両方をかねた共済である。

○ 火災共済と違い建物を持っているということを加入の条件としている。

○ 掛金は月掛で私達の家を守って貰いながら計画的に文化住宅の新改築に要する資金の準備ができる。

○ この共済も一口五万円で一人最高四口（二十万円）まで契約できる。

○ この共済も火災共済同様、全国連合会と再保険ができているので安心である。

○ 掛金は次のとおりになり、一カ年分前払いの場合は五分の割引計算になっている。

定額式建物更生共済料率表（共済金十万円に付）

	満期期間 五年満期十年満期	満期期間 十五年二十年満期
一月割納金の場合	一、五五五円	一、四四四円
一カ月当の掛金	一、四四四円	一、三三三円
一単位年払の場合	八、五〇〇円	八、四〇〇円
一カ年当の掛金	一、〇〇〇円	一、四七五円

○ この共済は、罹災した場合の補償の外、罹災しない時は掛金が返されるとのので一般から大いに歓迎されているようだ。

以上のように火災共済と建物更正共済の両者の最高四十万円給付され、前者の三十万円と合せると七十万円あるから先ず一応安心というところではなかろうか。

加入について詳しいことは、印刷物もあり、連絡によっては、係員を説明にあげてもよいと消防協会ではいっている。

消火実験一部不成功

整備不完全から？

帝石秋田鉱業所では六月十三日午前十一時から秋田市寺内雄物川埋立地で、今年度の取付（整備）不完全に対する説明会を開き、検討会を開き業者から原因として中体の構造等設計上の問題についてもなお一層の研究を希望して会を閉じた。なおスガ火災に対するドライケミカルそのものの効果は実証された。

同時にこの回消防車に搭載した大型ドライケミカル消火器（五〇〇ポンド入り）による高圧プロパンガス火災の消火実験を行ったがその一部が、ドライケミカルが期待とおりの噴射されず十分その威力を発揮することができなかった。引続き帝石会議室で

○ 内製造所関係自衛消防隊による臨付訓練が行われたが、これは優秀な成績を収めた。

【写真は実験状況】

支部だより

○平鹿支部

県指定水防管理団体連絡協議会平鹿支部では六月十七日、平鹿地方総合庁舎において定期総会を開き、昨年度の歳入歳出決算承認と本年度歳入歳出予算、同事業計画等を決議した。

○仙北支部

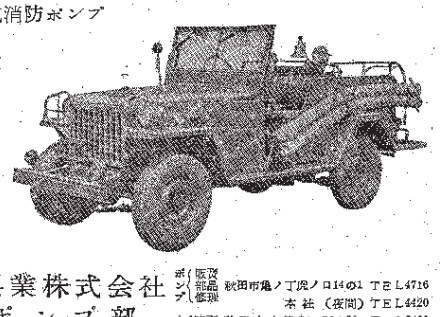
県指定水防管理団体連絡協議会仙北支部では仙北村横堀地区において消防団幹部の水防図上訓練を行った。

○鹿角支部

県消防協会鹿角支部では六月二十六日、手賀県防災副練本部長を講師に迎え、正副団長の講習会を開く。

秋田県推奨県産優良認定品

特許 松野式消防ポンプ



経営推進
事業整備拡充

藤高自動車興業株式会社
消防ポンプ部
自動車ポンプ・特許三輪ポンプ・各種手曳ポンプ

ポンプ販売部 秋田市亀ノ丁虎ノ口14の1 TEL4716
資材部 本社（夜間）TEL4420
修理部 秋田市上米町二丁目30 TEL6462
自動車販売部 秋田市上米町二丁目30 TEL3663
自動車整備部 秋田市上米町二丁目31 TEL6452

火災の早期発見と盗難防止に

特許品 火災探知機 最高無比

秋田県防災訓練本部・秋田県消防協会推奨

このベストアラームは、皆様の日常生活のマスコットであります。
本機は、一台備付けることによって、平素不安のない生活を営むことができます。

大奉仕の正価 ¥2,000.—

備付場所
火災の早期発見のためには
1 作業用として常時火を使用する場所。
2 風呂場、調理場、かまど、煙突の附近。
3 冬期間は、こたつ、アンカ、ストーブ、各ゴンロの附近。
盗難防止のためには
1 戸、雨戸、らんま。
2 店頭の陳列品、重要書類、金庫、貴金属、家具類。
3 倉庫、工場の時間外、出入者防止のため。

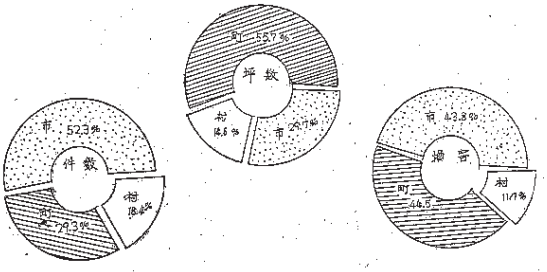
◎東北地区発売元 大宮物産商会 秋田市中亀ノ丁上丁11 電話 7413
◎製作所 日ノ岡理化学研究所 東京都中央区銀座西1/5 電話 (78) 4988

申込は……秋田県消防協会へ

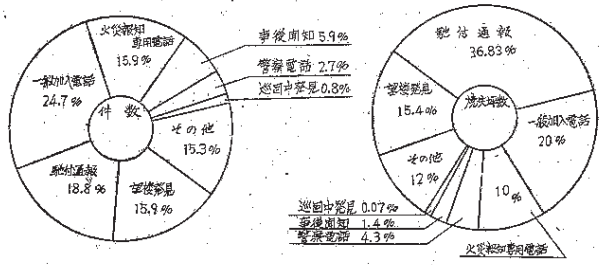
火災の実態と消防の現況 ③

秋田県防災訓練本部発表

市、町、村、火災比較表



覚知別比較表



昭和32年曜日別火災件数

曜日 / 月	月	火	水	木	金	土	日	合計
1月	4	6	7	5	3	3	9	37
2月	3	4	5	2	3	5	5	27
3月	6	8	4	5	5	10	6	44
4月	10	12	4	14	3	5	5	53
5月	3	4	4	3	16	15	8	53
6月	5	7	4	2	—	6	4	4
7月	6	3	3	—	4	5	4	4
8月	5	3	2	2	5	5	7	29
9月	8	2	4	2	1	2	3	22
10月	5	3	4	4	4	3	3	26
11月	2	2	3	4	9	5	6	31
12月	6	6	4	9	5	7	5	42
合計	63	60	48	52	58	71	65	417

少年夜警の是非

昨日能代市檜山の大火を新聞で知り、又「子供の弄火か」と遂い耐えかね、消防秋田五月号に書かれてあった。湯沢市や鷹巣町の訪のあることが効果が挙がる火座談会に発表された御意ように考え、私達がそれに見について触れて見たいと思います。

その座談会における学校の先生方やその他の方々の貴重な御意見を拝見し、私としては何んとか、次代を背負う子供は、『火事の卵でなく消防の卵になるように育て上げたい』と深く感じた次第です。

それには家庭は勿論、学校も社会も更に認識を深めまして、弄火の根絶に御協力下さるとともに、将来郷土の繁栄と保安維持に任ずる消防人になれるような人を造るための指導教養に更に御努力願いたいと心から念願致すものであります。

手賀本部長さんが、弄火は七才が頂点になっていると申されております。弄火の弄火か」と遂い耐えかね、消防止のためには、一つ年上の少年でも数多くの指導者のあることが効果が挙がるように考え、私達がそれに向って努力致しておりますが、どうでしょう。

親の教養勿論必要ですが子供同志の注意も決して等閑に若されません、時には親の注意に勝るものがあるように思います。

北檜岡の大火は二回とも子供の弄火で、何れも親の視線外に出ての弄火からです。

我々の大いに反省を要する問題であります。又戦時中マッチの不自由から弄火が殆んど無かったと申されておりますが、これは真に除のある事実と思います。物を造るには幼少の頃から用心の中心になるような人間致すものであります。火災予防の観念を強く植付けておかねばならない」と思

が出始めてからだんだん殖えて来たのです。

生活文化の進展につれ、石油、電気、ガス、その他の危険物の利用が多くなりますので、適切な指導と余程しっかりした監視を加えなければ、これらによる弄火の頻発が予想され、心配でなりません。

湯沢の消防長さんが、防火週間の査察中マッチが七八つごろごろしているのを見たと書かれてありますが主人の吸殻の捨て方や主婦の火気取扱等にも指導上大いに反省を要するものがあると思います。

弄火は四、五月頃と農繁期に多いと申されますが、家庭では子供に対して平素火の恐ろしいことをよく訓え一家揃って火気に対して注意するようでなければなりません。

長じて家庭における火の用心の中心になるような人物を造るには幼少の頃から

います。そのようにして育った子供は自然に発心して消防クラブにも入り進んで夜警団にも加わることでしょう。そして長じては、義勇消防にも駆参じることと思います。斯てこのような人は、社会奉仕活動の源泉となり、延いては有用な国民になることと信じます。

高校教育に当られる学校では、このような子供を大いに喜んで迎えて下さると思います。

然るに、湯沢市の座談会で、同市中学校の教頭先生が、「夜警そのものは悪いと思わないが、どうこれに若者やポスターを書かせ、これに対して適切な指導を加えることもあると存じます。

私は理解できません。

子供の夜警は、永い伝統で、ホンで「火の用心、マッチ一本火事の元、見ても見直せ火の用心」と唱えて廻りますが、廻り終れば、御苦労といって別れたものです。

翌日又廻りませんかと、子供達に訪ねられると適当な時間を見、引続き夜警します。日の経つに従って次第に人数が殖え、家庭からは、火の用心は自分達のためでもあり、子供も心から

ったが、そのような事に、事前に大体予想できることですから、これは事前に適切な指導を加うべきであります。殆ど放任したとすれば、放任した大人の方に責任があるように考えられます。学校では児童生徒に防火に関する標語を一行に加えて戴きたいとよく頼まれ、遂に消防隊を組織しなければならない程の人数になり、その年の九月に、少年消防隊を組しました。

その後は、雨の日も寒い、吹雪の日も、却って子供達に追い立てられて廻ったものです。私の都合の悪い時などは子供達ばかりを廻せ実に可哀想な思いも致したことも度々あります。

翌年三月学校が終末になって廻り、子供達が自分の部落を廻り終れば直ぐ別れて次の部落の子供達が走り出した。日の経つに従って次第に本町を廻って帰宅したのですが、その所要時間は概ね一時間二十分ぐらいでした。

私は子供達の慰労の意味で隊員に慰をかけさせて、時々秋田市や本荘、平沢などに遊びに連れて行ったものです。

昭和十二、三年、戦争が激しくなった頃、私の営業にも手不足を来たし私が先

の部落の子供達を相手に、毎晩夕食後鈴を振り、メガ較的上級の子供のみを選び学校長の了解と、消防組織や警察署長の許可を受け、完全な少年消防隊を組織し（部落には班）し、隊旗を作り、赤地に白で隊名を染め抜いた襷をかけ、鈴を振って廻り、子供達が自分の部落を廻り終れば直ぐ別れて次の部落の子供達が走り出して戻きました。次代を背って帰宅したのですが、その指導の所要時間は概ね一時間二十分ぐらいでした。

私は子供達の慰労の意味で隊員に慰をかけさせて、時々秋田市や本荘、平沢などに遊びに連れて行ったものです。

昭和十二、三年、戦争が激しくなった頃、私の営業にも手不足を来たし私が先に帰宅したのですが、その指導について隊員に自由行動をとるよう申し渡し解散致しました。それは昭和十四年の十月です。

その後はどうなっている

かというに、市衛地は勿論各部落までそれぞれ夜警団を組織して全町の子供達が負う消防の卵の行動から喜んでこれを迎え、その指導について隊員に自由行動をとるよう申し渡し解散致しました。それは昭和十四年の十月です。

その後はどうなっている

毎晩夕食後鈴を振り、メガホンで「火の用心、マッチ一本火事の元、見ても見直せ火の用心」と唱えて廻りますが、廻り終れば、御苦労といって別れたものです。

翌日又廻りませんかと、子供達に訪ねられると適当な時間を見、引続き夜警します。日の経つに従って次第に人数が殖え、家庭からは、火の用心は自分達のためでもあり、子供も心から

ったが、そのような事に、事前に大体予想できることですから、これは事前に適切な指導を加うべきであります。殆ど放任したとすれば、放任した大人の方に責任があるように考えられます。学校では児童生徒に防火に関する標語を一行に加えて戴きたいとよく頼まれ、遂に消防隊を組織しなければならない程の人数になり、その年の九月に、少年消防隊を組しました。

その後は、雨の日も寒い、吹雪の日も、却って子供達に追い立てられて廻ったものです。私の都合の悪い時などは子供達ばかりを廻せ実に可哀想な思いも致したことも度々あります。

翌年三月学校が終末になって廻り、子供達が自分の部落を廻り終れば直ぐ別れて次の部落の子供達が走り出した。日の経つに従って次第に本町を廻って帰宅したのですが、その指導の所要時間は概ね一時間二十分ぐらいでした。

私は子供達の慰労の意味で隊員に慰をかけさせて、時々秋田市や本荘、平沢などに遊びに連れて行ったものです。

昭和十二、三年、戦争が激しくなった頃、私の営業にも手不足を来たし私が先に帰宅したのですが、その指導について隊員に自由行動をとるよう申し渡し解散致しました。それは昭和十四年の十月です。

その後はどうなっている

私は理解できません。

子供の夜警は、永い伝統で、ホンで「火の用心、マッチ一本火事の元、見ても見直せ火の用心」と唱えて廻りますが、廻り終れば、御苦労といって別れたものです。

翌日又廻りませんかと、子供達に訪ねられると適当な時間を見、引続き夜警します。日の経つに従って次第に人数が殖え、家庭からは、火の用心は自分達のためでもあり、子供も心から

ったが、そのような事に、事前に大体予想できることですから、これは事前に適切な指導を加うべきであります。殆ど放任したとすれば、放任した大人の方に責任があるように考えられます。学校では児童生徒に防火に関する標語を一行に加えて戴きたいとよく頼まれ、遂に消防隊を組織しなければならない程の人数になり、その年の九月に、少年消防隊を組しました。

その後は、雨の日も寒い、吹雪の日も、却って子供達に追い立てられて廻ったものです。私の都合の悪い時などは子供達ばかりを廻せ実に可哀想な思いも致したことも度々あります。

翌年三月学校が終末になって廻り、子供達が自分の部落を廻り終れば直ぐ別れて次の部落の子供達が走り出した。日の経つに従って次第に本町を廻って帰宅したのですが、その指導の所要時間は概ね一時間二十分ぐらいでした。

私は子供達の慰労の意味で隊員に慰をかけさせて、時々秋田市や本荘、平沢などに遊びに連れて行ったものです。

昭和十二、三年、戦争が激しくなった頃、私の営業にも手不足を来たし私が先に帰宅したのですが、その指導について隊員に自由行動をとるよう申し渡し解散致しました。それは昭和十四年の十月です。

その後はどうなっている

（筆者は由利郡矢島町商業富田新三郎七十五才）

子宝靴

東京都消防庁及防衛庁指定の

子宝の半長靴

革底靴に比較し4倍の耐久

◎秋田県消防協会に於て特別価格で購入斡旋致して居りますから御服会乞う。

秋田市鷹匠町　秋田子宝靴専売所　TEL 2835

国消検定合格品 推奨並に

全国唯一の4サイクル空冷水冷併用式の

シバウラ消防ポンプ

消防戦術に最も重要なる冬季期間の操作が簡単に出来る。

• エンヂンの始動は、燃料がガソリンのみ故如何なる寒冷時にても一度にて始動する
• 空冷エンヂンであるから総ての汚物泥水等を吸込んでも心配はない
• ポンプ置場にて水を出さなくてもエンヂン及び真空試験が出来る

U—1型 6〜8HP
S—65型 14〜17HP
F—74型 18〜25HP
F—25型 6.5HP
F—18型 4.5HP

石川島芝浦機械株式会社秋田直売所

秋田市西根小屋町上丁16番地　電話6862・2931番

権威と信用ある！

カタログ呈上

◎消防ポンプと器材

◎消火器と施設

御報次第参上

一切の御用命に応ず

日本機械工業、日進工業代理店

旭友官納商事株式会社

秋田市西根小屋町中丁1　T 5045

月刊毎月25日発行
消防秋田
定価 1部 16円
秋田市土手長町
発行所 秋田県消防協会
発行編集人 佐藤忠郎
秋田市下北ノ町七
印刷所 太陽印刷株式会社
電話四八三五番

日本消防協会 審議会の答申を支持

消防制度調査委員会 小委員会で決議

日本消防協会では、六月より前回の小委員会以後の十一日消防制度調査委員会小委員会を開き、消防制度改正促進につき協議し、消防審議会の答申は日本消防協会の意見を充分尊重しているものと了承し、多少意見の相異もあるが現在の段階においては止むを得ないものとし、消防審議会の答申を支持し速やかに実現化に努力することを決議した。

小委員会の要旨次のとおり

一、場所　東京消防庁消防学校　会議室

二、日時　六月十一日　午前九・三〇～午後三・〇〇

三、出席者　小委員十三名中　八名出席

四、開会の挨拶　太田委員長

○太田委員長　斎藤理事長を傾注した、その後本年一月下旬国家消防本部より本会理事長に対し、第二十八国会に消防関係法案の提出を見合せ、更に世論を結集して次の国会を期して捲土重来致し度いので協力せられたいとの要請がありました。

昨年九月十二日に国家消防本部が提出した、同日大野防協会長より正力国家公安委員長並びに自由民主党総裁にあったとのことであるが、実現方の申し入れをし、引き続き私より国家消防本部長と折衝中であります。

十月十日には消防審議会の答申が決定致しました。

十二月十八日には衆参両院に消防関係議員十七名を大野会長が個人と招待し、消防強化について懇談並びに消防予算確保について協力を要請し、本会は大野会長を中心に予算確保に全力を傾注した、その後本年一月下旬国家消防本部より本会理事長に対し、第二十八国会に消防関係法案の提出もらえなかったことは遺憾を見合せ、更に世論を結集して次の国会を期して捲土重来致し度いので協力せられたいとの要請がありました。

○斎藤副委員長　政調会の意見云々とあるが、消防制度の問題というような問題は、政府提案で、これに対して政調会でいろいろ議論が進まないものである。主管大臣については近く決ると思う。

○斎藤副委員長　山形の加藤精三代議士と予算がなくともやろうと主張した、然し大多数は財政とにらみ合わせ、大臣についても、消防を向上させるとは非常によいと思うが、やるべきだと思う。

○太田委員長　大都市の局長が主となって審議会案にあった通りやろうと主張した、然し大多数は財政の問題で二分の一国庫負担の問題だが、すぐに通ることはそれとして、これが大蔵省は、月的税は租税収入であるとの原理から適当でないと反対しているようである。

○杉山委員　政調会の各種議論、例えば社会党から財源獲得でいろいろ意見があるとの問題というようなものは、政府提案で、これに対して政調会でいろいろ議論が進まないものである。主管大臣については近く決ると思う。

○斎藤副委員長　日本の消防というと充分考慮してやらねばならないと思う、例えば問題であって、而もこれは調査委員会で決定した問題を我々だけでどうこう出来ないではないか、ここで決定されれば大いにやる又そこにあるのだという含みがあるべきだとの腹案もあるようである。

○杉山委員　市町村に諮れば了解されていないようで、市町村会迄りからも出てやはり了解されていないようである。

○太田委員長　再会

○斎藤副委員長　先づ前提として我々の調査会の意見がとも相談しようではないか、その後審議会の答申本日の決議としては、斎藤理事長、森本委員の発言のように「審議会の答申を骨子として日本消防協会の主力を結集してあらゆる方面に呼びかけ実現を期す」ということにしたい。

（一同賛成々々）

では左様決定致し、今日はこの位で終ることに致します。

○斎藤副委員長　大筋を決めてもらって有難い御座いました。この上ともよろしく御願致します。

土井　常吉
消防団長を命ずる（五月三十一日）

人事

○西仙北町　五月二十四日消防団長　小笠原政治
願により消防団長を免ずる。

消防ポンプは ニッキとラビット号

各種附属と被服金般火品、器各種
特約店　赤穂消防機具店
横手市富士見町　電話八三八番

主張　規律の復活は急務

六月二十三日午後一時十分頃鶴代市上母体（檜山）平築真目で宮任隊が強く農業紙川吉五郎方から出火し、住家二四棟非住家一一棟を焼き、老千二百万円に及ぶ損害を出した火災に際し、能代市消防団第九分団の類焼を顧みず消防の任務を遂行し、その行動は他の模範であり、又同部落の商業小杉山信一（63）さんは、出火を知るや機を逸せず消防機関に通報すると共にポンプの搬出や消防活動に協力し、その行動は他の模範であると、この程秋田県知事から、金一封を贈って表彰した。

○能代市消防団第九分団
消防員　戸松鉄蔵氏

戸松さんは、昭和二十五年十月に消防団員を拝命し現在に至ったのであるが、五分頃鶴代市上母体（檜山）平築真目で宮任隊が強く農業紙川吉五郎方から出火し、住家二四棟非住家一一棟を焼き、老千二百万円に及ぶ損害を出した火災に際し、能代市消防団第九分団の類焼を顧みず消防の任務を遂行し、その行動は他の模範であり、又同部落の商業小杉山信一（63）さんは、出火を知るや機を逸せず消防機関に通報すると共にポンプの搬出や消防活動に協力し、その行動は他の模範であると、この程秋田県知事から、金一封を贈って表彰した。

○能代市消防団第九分団
消防員　戸松鉄蔵氏

戸松さんは、昭和二十五年十月に消防団員を拝命し

任務遂行の戸松さん 協力援助の小杉山さん 二氏に知事表彰

事ふれを聞いて駆付け、ポンプ電場からその部落の小杉山信一（63）さんの協力援助を得て可搬動力ポンプを引出して水利部署し、消火活動を開始したが、火点附近は住家が密集し、加うるに風は強く、出火後十分頃自宅において戸松消防員から出火の事実を聞き、直ちに自宅の電話で檜山分団に連絡し、その行動は他の模範であると、この程秋田県知事から、金一封を贈って表彰した。

○能代市消防団第九分団
消防員　戸松鉄蔵氏

戸松さんは、昭和二十五年十月に消防団員を拝命し、十二月十八日に消防団員に任命され、以来消防団員として、火災現場に出動し、その行動は他の模範であり、又同部落の商業小杉山信一（63）さんは、出火を知るや機を逸せず消防機関に通報すると共にポンプの搬出や消防活動に協力し、その行動は他の模範であると、この程秋田県知事から、金一封を贈って表彰した。

○能代市消防団第九分団
消防員　戸松鉄蔵氏

戸松さんは、昭和二十五年十月に消防団員を拝命し、十二月十八日に消防団員に任命され、以来消防団員として、火災現場に出動し、その行動は他の模範であり、又同部落の商業小杉山信一（63）さんは、出火を知るや機を逸せず消防機関に通報すると共にポンプの搬出や消防活動に協力し、その行動は他の模範であると、この程秋田県知事から、金一封を贈って表彰した。

○能代市消防団第九分団
消防員　戸松鉄蔵氏

戸松さんは、昭和二十五年十月に消防団員を拝命し

消防の世界では昔から、現律は団体活動の命脈であると強調され、規律訓練や礼式は、消防戦術と共に消防にとっては重要なものの一つとされて来た。これは軍国時代のためでもなければ封建時代の遺物でもない、ただ当時陸軍が採用していた訓練の方式や礼式を取り入れておったので、殆んども、するとそのような誤解を招くとすれば安しいが、これは真に消防の使命達成上の必要から、強調されて来たのである。

現行の訓練礼式は、国家主義の見解である。時代が変り、消防が今昔の感あるが、それは誤れる自由主義の見解である。時代が変ると、その信念においても何等変るところがない。

規律が乱れ礼式が等閑に附されると、団体としての統制がとれなくなり訓練の実施は、ただ当時陸軍が採用していたということなどは、先づ想像されない。

敗戦当時ならいざ知らず研究会の方法大いに結構であるが、実質的には何ん

とにしているが現在それが礼式の動行は規律の保持と礼式の動行は厳密な関係があり、礼式がなければ動行されていないが、規律を失うことも予想される。

然らば規律の向上を図るには、ただ立派に保持されているというだけでは、先づ研究会の方法大いに結構であるが、実質的には何んとも、

特に礼式然りといえたいは次第に低下し、戦勢の防圧などは到底望み得なくなるばかりでなく部民の信頼が薄れる。

そうした訓練の積み重ねによって、衆心一致の精神が養われ消防能力の要求に応ずる力が涵養されて行くのである。この段階を経ないで形だけを整えるような訓練は真の訓練でない。

互に生業を持つ非常勤消防の理想的訓練の実施は、仲々容易でない事と思うが、現在のような訓練のやり方では、次第に規律が減退し、

ら、その信念においても何等変るところがない。

規律が乱れ礼式が等閑に附されると、団体としての統制がとれなくなり訓練の実施は、ただ当時陸軍が採用していたというだけでは、先づ想像されない。

敗戦当時ならいざ知らず研究会の方法大いに結構であるが、実質的には何んとも、

源問題だけが残っているようである。

政調会ではいろいろ沢山の方面から意見があったようである。

○横山総務課長　各位が大局に立って力を結集していただくことは、誠に感謝に堪えない、力強い限りである。国消としては、資料を提供して御協力をお願い申

政調会ではいろいろ沢山の方面から意見があったようである。

○横山総務課長　各位が大局に立って力を結集していただくことは、誠に感謝に堪えない、力強い限りである。国消としては、資料を提供して御協力をお願い申

源問題だけが残っているようである。

○横山総務課長　各位が大局に立って力を結集していただくことは、誠に感謝に堪えない、力強い限りである。国消としては、資料を提供して御協力をお願い申

ある。

○杉山委員　去る二十八国会で、水防法の一部が改正され三月十五日法律第八号で公布された、然るに消防法の改正がなぜスムースに進まないのか。

○太田委員長　国消で意見調整をやっているというがどんな内容か。

○斎藤副委員長　意見調整は、何ん迄は、日本かと思う。

○杉山委員　国消で意見調整をやっているというが、

○斎藤副委員長　意見調整は、何ん迄は、日本かと思う。

○杉山委員　政調会の各種議論、例えば社会党から財源獲得でいろいろ意見があるとの問題というような問題は、政府提案で、これに対して政調会でいろいろ議論が進まないものである。主管大臣については近く決ると思う。

○斎藤副委員長　山形の加藤精三代議士と予算がなくともやろうと主張した、然し大多数は財政とにらみ合わせ、大臣についても、消防を向上させるとは非常によいと思うが、

○斎藤副委員長　日本の消防というと充分考慮してやらねばならないと思う、例えば問題であって、而もこれは調査委員会で決定した問題を我々だけでどうこう出来ないではないか、ここで決定されれば大いにやる又そこにあるのだという含みがあるべきだとの腹案もあるようである。

○太田委員長　再会

○斎藤副委員長　先づ前提として我々の調査会の意見がとも相談しようではないか、その後審議会の答申本日の決議としては、斎藤理事長、森本委員の発言のように「審議会の答申を骨子として日本消防協会の主力を結集してあらゆる方面に呼びかけ実現を期す」ということにしたい。

（一同賛成々々）

では左様決定致し、今日はこの位で終ることに致します。

○斎藤副委員長　大筋を決めてもらって有難い御座いました。この上ともよろしく御願致します。

土井　常吉
消防団長を命ずる（五月三十一日）

権威と信用ある！
◎消防ポンプと器材
◎消火器と施設
一切の御用命に応ず
カタログ呈上
御報次第参上
日本機械工業、日進工業代理店
旭友官納商事株式会社
秋田市西根小屋町中丁1　T 5045

国消検定合格品並に推奨品　全国唯一の4サイクル空冷水冷併用式の
シバウラ消防ポンプ
消防戦術に最も重要なる冬季期間の操作が簡単に出来る。
• エンヂンの始動は、燃料がガソリンのみ故如何なる寒冷時にても一度にて始動する
• 空冷エンヂンであるから給ての汚物泥水等を吸込んでも心配はない
• ポンプ置場にて水を出さなくてもエンヂン及び真空試験が出来る
U—1型 6～8HP
S—65型 14～17HP
F—74型 18～25HP
F—25型 6.5HP
F—18型 4.5HP
石川島芝浦機械株式会社秋田直売所
秋田市西根小屋町上丁16番地　電話6862・2931番

消防力増強計画樹立状況の調査結果纏る

▽……防災訓練本部発表

防災訓練本部では、昨秋大火防止対策の一つとして消防力増強目標全体計画を樹て、秋田市、能代市、横手市、大館市、本荘市、男鹿市、湯沢市、大曲市、花輪町、小坂町、鷹巣町、比内町、二ツ井町、五城目町、象潟町、角館町、六郷町、増田町、羽後町等八市一九町に対し、消防力増強年次計画を樹て、その計画に基いて消防力の増強に努めるよう呼びかけてあったが、半歳を経過した今日その課題がどのように扱われているかと、去る五月八日五城目町を皮切りに同二日五城目町を及び同三十二日まで約半月に亘って現地調査をなし、集計中であったが、その結果がこの程纏り、防災訓練本部から別項のとおり発表された。

発表したところによると関係市町の計画は、県の指示した増強目標をはるかに上廻り、この目標が達成されれば、昨年の四月一日現在の消防力を一〇〇と見た場合、一二六となり、二六%だけ増強されることになる。

併しながら、県が指示してあった増強目標は、全国平均の線を目標にしてあったのであるから、この目標が完遂されたからといって、消防力が完全無欠であるといえないことは勿論であるが、これだけでも早く二六%に相当する消防力が増強されることとなる。

が、その樹立と実施の実態状況を取まとめたのがこの調査書である。

二、増強計画のあらまし

【第一表　総括】

関係市町八市一一町の増強計画を取まとめたところ、別紙「消防増強総括表」（以下総括表という）のとおりであるがこの計画は県の総括表の第一表のとおりであるが、特に人員、ポンプ、水利について述べると。

種別	県の指示増量	各市町の増強計画量	指示に対する増強率	備考
人員	97人	114人	1.17	0.22 (1) 増強率は昭和32年4月1日を100とする現在での比率である。
ポンプ	8台	26台	3.25	0.36 (2) ポンプは自動車ポンプ
水利	506個	462個	0.91	0.25 (3) 水利は40立米（200石）を1個

各市町においては、県の指示目標を基準にそれぞれ増強計画を樹立し、昭和三十二年度から実施中である。

【第二　増強計画の大要】

増強計画中の役員ともいうべき人員、ポンプ、水利の運搬施設、消防屯所等の増強計画は、総括表の第一表のとおりであるが、特に人員、ポンプ、水利について述べると。

人員　九合
ポンプ　二八個
水利　水利は一〇%に相当する量である。

昭和三十三年度の実施計画に昨年度よりも多く計画されている。

【第六　関係市町の要望】

この計画の遂行はすべて消防財源の如何にあるので各市町共、消防財源を確保するため国庫及び県費補助ならびに起債等について国および県の財政援助を強く要望しているが、特に昨年十月国家公安委員会に消防審議会が答申したる消防費に対する「二分の一」国庫負担の実現を望んでおり、更に自治庁に対しては当面の問題として地方交付税法中消防費の測定単位費用の積算基礎の改訂と単位費用の引上げを各市町共一致して強く要望している。

【第七　その他】

大火防止対策事業も第二年目を迎え、ようやく軌道に乗ったというのが実情で、その消防効果を判定するにはなお相当の経過を見る必要があるが、本年上半期の大火事例には、未だかつてない程の火災が頻発し発生件数は戦前戦後最高の二七〇件の記録となった。そのなかには秋田市、本荘市等大火の危険が最も甚しい強烈風下に発生した火災もあったが、幸い過去のように災害救助法を発動するような大火のなかったことも亦新記録である。

これは大火の防止を前提とした関係市町村の消防力の増強と県下消防人のゆるまない消防訓練の成果によるものではなかろうか。

最近の傾向として、農山村の僻地に中火災が発生した為の適正配置についてはこの点も併せて研究の余地が認められる。

【第五　昭和三十二年度の実施状況】

昭和三十二年度においては、県の指示目標を基準にそれぞれ増強計画を樹立し、昭和三十二年六月国家消防本部の協力を得て同本部消防研究所より本間、松野両専門係官の派遣を乞い、本荘、男鹿、大曲、湯沢新四市の都市等級調査と、能代、大館、横手三市及び鷹巣、比内、増田三町の計一〇市一九町の防火診断を実施するとともに、秋田市及び花輪町外七町については、県自体が国の調査基準に基いて防火診断を実施した。

この診断の結果、一九市一九町の消防力の現況は、国の定める基準はもとより、全国七五都市の平均値に及ばないので（秋田市、六郷町は稍々平均程度）第一次増強目標を全国平均値程度に引上げること、第二次計画この計画樹立には都市の実態把握が必要であるので昭和三十二年上半期は、主として国の定める基準に到達するよう段階的な増強計画を図ることに留意し、県では関係各市町に対し、第一次増強目標数を指示し、増強計画の樹立方要請した。

【第四　財源計画の大要】

増強計画実施に必要な総額およびこの財源区分は次のとおりである。

総額　四億六九、八七一千円
財源別内訳
市町費（一般会計）　二億七三、七四一千円
国（県）庁補助　六九、七七七千円
起債　一億一七、五七五千円
その他　八、七七八千円

【第五　昭和三十二年度の実施状況】

昭和三十二年度における水利施設は四一六件、事業費四四、五九三千円になっているが、当初計画の約半分というところである。

実施した事業中、大火防止の対象となる市街地に増強された分は計上されていないので、実質的には増強指示量以上に水利は確保強化されることになっている。

各市町の増強計画は前記説明したものの外、通報施設、望楼類、消防庁舎、屯所等各種の器材等があって総事業費数は五、一一九に及んでいる。

【第三　増強計画の進行予定】

鷹巣町を除いた七市一一町は昭和三十七年度までに計画が終了することとなっており、各年度別終了予定は次のとおりである。

昭和三十四年度　鷹巣町
昭和三十五年度　秋田市、能代市
昭和三十六年度　湯沢市、大曲市、増田町
昭和三十七年度　横手市、大館市、本荘市、花輪町、小坂町、比内町、二ツ井町、五城目町、象潟町、角館町、六郷町、羽後町
昭和四十一年度　男鹿市

であるが、将来国庫補助が大巾に増額され、しかも補助対象が拡げられた場合または起債等が充分認められればこの計画も短縮されるものと認められる。

【第六　関係市町の要望】

水利が県の増強指示量より少なくなっているが、増強計画では消防の単独事業として施行する水利のみを計上しているためである。従って上水道の整備、新設に伴う消火栓は計上されていないので、実質的には増強指示量以上に水利は確保強化されることになっている。

各市町の増強計画は前記説明したものの外、通報施設、望楼類、消防庁舎、屯所等各種の器材等があって総事業費数は五、一一九に及んでいる。

【第三　増強計画の進行予定】

鷹巣町を除いた七市一一町は昭和三十七年度までに計画が終了することとなっており、各年度別終了予定は次のとおりである。

昭和三十四年度　鷹巣町
昭和三十五年度　秋田市、能代市
昭和三十六年度　湯沢市、大曲市、増田町
昭和三十七年度　横手市、大館市、本荘市、花輪町、小坂町、比内町、二ツ井町、五城目町、象潟町、角館町、六郷町、羽後町
昭和四十一年度　男鹿市

であるが、将来国庫補助が大巾に増額され、しかも補助対象が拡げられた場合または起債等が充分認められればこの計画も短縮されるものと認められる。

【第四　財源計画の大要】

増強計画実施に必要な総額およびこの財源区分は次のとおりである。

総額　四億六九、八七一千円
財源別内訳
市町費（一般会計）　二億七三、七四一千円
国（県）庁補助　六九、七七七千円
起債　一億一七、五七五千円
その他　八、七七八千円

【第五　昭和三十二年度の実施状況】

昭和三十二年度における

第一表　増強事業別計画集計表　大火防止のための消防力増強計画総括表

事業別 / 施行区分	常勤職員 32年4月現在員数	常勤職員 増強計画員数	常勤職員 合計	常勤職員 増強率%	常勤職員 増強指示員数	自動車ポンプ 32年4月現在台数	自動車ポンプ 増強計画台数	自動車ポンプ 合計	自動車ポンプ 増強率%	自動車ポンプ 増強指示台数	水利 32年4月現在個数	水利 増強計画個数	水利 合計	水利 増強率%	水利 増強指示個数	通報施設 無線望楼（館）橋 32年4月現在数	通報施設 無線望楼（館）橋 増強計画基数	通報施設 無線望楼（館）橋 合計	通報施設 無線望楼（館）橋 増強率%	屯所 32年4月現在数	屯所 増強計画基数	屯所 合計	屯所 増強率%	屯所 増強計画	関係市町
総計	521	139	660	26	97	107	40	147	37	8	3,927	802	4,729	20	506	14	25	39	178	342	135	477	39	14	秋田、能代、横手、大館、本荘、男鹿、湯沢、大曲、花輪、小坂、鷹巣、比内、二ツ井、五城目、象潟、角館、六郷、増田、羽後
同上の内市街地分	(507)	(114)	(621)	(22)	(97)	(71)	(26)	(97)	(36)	(8)	(1,830)	(462)	(2,292)	(25)	(506)	(14)	(25)	(39)	178					(14)	

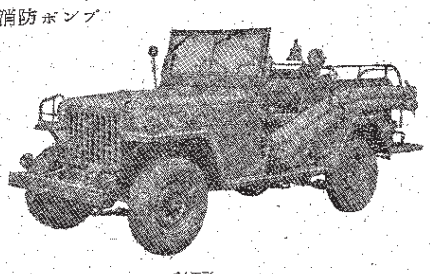
第二表　年度別事業実施計画集計表

事業別		合計		32年度 計画	32年度 実行	33年度		34年度		35年度		36年度		37年度		38年度	
総計	ポンプ購入	262	152,838	65	31,952	55	21,865	68	38,861	44	28,395	31	19,565	23	14,415	27	18,640	4	1,000
	水利施設	604	144,948	117	31,822	100	15,629	163	27,060	114	28,605	103	28,140	56	12,180	31	8,540	20	8,600
	その他	4,253	196,925	850	21,308	261	7,099	990	24,536	947	88,757	955	37,294	256	14,250	249	10,190	6	600
	計	5,119	494,711	1,032	85,092	416	44,593	1,221	90,447	1,105	145,758	1,089	84,999	335	40,845	307	37,377	30	10,200
同上の内市街地分	ポンプ購入	(39)	(64,251)	(12)	(13,675)	(9)	(6,158)	(8)	(13,205)	(8)	(14,350)	(4)	(8,600)	(3)	(5,220)	(4)	(9,200)		
	水利施設	(266)	(61,153)	(48)	(19,937)	(28)	(9,083)	(104)	(13,580)	(55)	(11,466)	(29)	(8,600)	(12)	(3,150)	(10)	(2,700)	(8)	(1,720)
	その他	(181)	(93,940)	(1)	(115)	(1)	(115)	(87)	(6,970)	(50)	(69,438)	(32)	(12,367)	(4)	(4,120)	(7)	(930)		
	計	(486)	(219,344)	(61)	(33,727)	(38)	(15,356)	(199)	(33,756)	(113)	(95,254)	(65)	(29,567)	(19)	(12,490)	(21)	(12,830)	(8)	(1,720)

第三表　財源別事業実施計画集計表

		合計	32年度 計画	32年度 実行	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度以降
財源内訳	一般会計	273,741	54,104	(24,720)	59,591	48,931	53,924	25,584	23,607	8,000
	補助（国県）	67,777	13,470	(6,222)	13,831	12,612	13,050	8,431	6,183	2,200
	起債	117,575	15,600	(12,600)	15,485	73,620	8,000	1,870	3,000	
	その他	8,778	1,918	(1,953)	1,540	1,990	1,370	1,170	790	
	計	469,871	85,092	(45,495)	90,447	137,153	76,344	37,055	33,580	10,200

秋田県推奨県産優良認定品
特許　松野式消防ポンプ



経営推進
事業整備拡充

藤高自動車興業株式会社
消防ポンプ部
自動車ポンプ・特許三輪ポンプ・各種手曳ポンプ
ポンプ（販売・部品・修理）　秋田市亀ノ丁字ノ14の1　TEL4716
本社（夜間）　TEL4420
自動車（販売・部品・整備）　秋田市上米町二丁目30　TEL6462
秋田市上米町二丁目30　TEL8688
秋田市上米町二丁目31　TEL6462

子宝靴
東京消防庁及防衛庁指定の
子宝の半長靴
革底靴に比較し4倍の耐久
◎秋田県消防協会に於て特別価格で購入斡旋致して居りますから御照会乞う。
秋田市鷹匠町　秋田子宝靴専売所　TEL 2835

全県消防大会等の開催要綱等決る

7月5日 常任理事会で

県消防協会では七月五日午後一時から日赤支部二階会議室において常任理事会を開いた。

この日泌野会長はじめ、渡部、山本副会長、手賀理事長、安田、伊藤(隆)、伊藤(千)、藤田、柴田、佐藤(尚)の各常任理事、宮腰常任理事代理、佐藤(育)、小林(定)の両理事等出席し、次の議題について慎重審議それぞれ決定し午後四時閉会した。

決定した北海道東北七県消防連絡協議会と全県消防大会の開催要綱は別表のとおりである。

一　協議　題

北海道東北七県消防連絡協議会開催について

二　全県消防大会の開催について

三　協議会並びに大会への提出議題について

四　その他

1　昭和三十三年度災害互助会の中間報告について

2　日本消防会館建設資金の寄附について

3　全日本消防人共済会掛金の地域差設定について

北海道東北七県消防連絡協議会開催要綱

一　日時　八月十日、十一日二日間

日程は別表のとおり

二　場所　大館市

県立鳳鳴高等学校体育館

三　出席者

1　県外　北海道一〇名

各県五名以内、これに随行及び世話役を含めて計五〇名(消防主管課長、消防協会長、消防長及び消防署長代表、消防団長代表)

2　県内　消防長(専任)、消防署長、団長、県理事

3　県外特別申込消防長

日程表

月日	時間	行事	摘要
八月十日(月)	自 九時 至 一六時	1 昭和三十二年度決算事項 2 各道県の消防概況並びに研究発表 3 各道県中央の提出議題の審議及び消防指示事項に対する要望 4 国消指示事項 5 日消指示事項	1 全議場 2 歌唱体育館 3 大館市クラブ
八月十一日(月)	自 八時 至 一三時	1 大館市消防施設並びに復興状況視察 2 県立公園十和田湖の観光休憩で昼食船で十和田湖一周 6 その他	1 全議場 2 歌唱体育館 3 大館北秋クラブ 県外 大滝温泉 県内 旧市内

備考　第一日目の懇親会は十七時から

上半期の火災展望

五月は本県有史以来の最高・原因のトップは依然弄火

防災訓練本部では、今後決して少なくない。これに反して出火件数は一向に減の防火対策に資そうと、この程本年上半期に発生した本県の火災を集計して発表した。これによると、

○出火件数

件数は二七〇件で、前年同期に比し二八件多く、戦後最高の記録、特に五月の七三件は本県火災史上、曾って見ない数字である。

人口の増加と文化の進展に伴い、出火件数の殖える事は一応もっとものようにも思われるが、予防消防に費されている消防力と、予防消防のための費用も、

○焼失坪数と損害

焼失坪数は、二一、七二二坪で前年同期の一七、一四坪に比し、七割四分、火災一件当りの焼失坪数は四七坪で、前年同期の七一〇坪に比べ二四坪の減少を示

又その損害額を見ると、三億二千七百余万円であって、前年同期の五億一千七百七十余万円に比べ、負傷者は六割五分減少した火の用心があってはじめて出火を減少させることができる。

われわれは、できるだけ市民に火に対する科学を啓蒙すると共に、あらゆる機会を捉えて防火思想を盛り上げるよう努力しなければならない。

出火原因中最も高率を示している。弄火の問題や、煙突、煙草の吸殻による出火の問題など、その中一つか二つでもいいから、

重点的に取り上げ、これと四つに取り組み、実行のある徹底した対策を講じて見ることを決して無駄ではないと思う。

御一考を煩わしたい。

トーハツ ENGINES
トーハツポンプ
県北代理店　田仲工業所
南秋田郡天王町天王 T天王53

【写真は水防訓練】

水防工法講習会・競技会・想定訓練

七月八日 由利郡大内村新沢橋下流で

出水期を目前に控え、水害共同主催で午前九時から防体制を更に強化しようと由利土木事務所の佐々木所七月八日県、指定水防管理長その他を講師に迎え、水団体由利支部、大内村の三防工法の講習会を開いた。

この講習には第一線を担当する本荘市の各部隊(消防、救護、建設、水防資材の運搬、人命救助等の応援作業をなす等実戦さながらの訓練を展開大なる成果を収め午後二時終了した。

田駐とん部隊から第七中隊の一個中隊も参加、通信連絡、水防資材の運搬、人命救助等の応援作業をなす等実戦さながらの訓練を展開大なる成果を収め午後二時終了した。

全県消防大会開催要綱

一　日時　八月二十一日(木)

二　場所　湯沢市

県立湯沢北高等学校体育館

三　主催及び後援

主催　秋田県消防協会

後援　秋田県、湯沢市

四　参加者の資格

1　消防長

2　消防署長

3　消防団正副団長

4　前三号以外に市町村において特に参加を必要する幹部

5　本会加入している特設消防団(隊)の長

五　提出議題

一支部三件以内とし、七月廿五日まで報告のこと

六　服装

制服(甲、乙いずれでもよい)

七　大会次第次のとおり

1　修礼　自9・0

2　開会のことば

3　来賓祝辞

4　国歌斉唱

5　会長挨拶

6　開催地団長挨拶

7　議長団推薦

8　前年度大会における議題の処理報告

9　部会の構成および部会役員の委嘱　自9・30 至9・50

休憩

10　消防講演(国消)　自11・0 至11・30

11　各部会の審議および協議事項の整理(昼食を含む)　自13・0 至13・0

12　本会議　自14・0 至14・0

各部会の状況報告および審議決定

13　来賓祝辞　自14・0

14　賞状、表彰

15　万歳三唱　至15・0

16　閉会のことば　自15・10

17　懇親会

消防短信

○矢島町

七月十九日同町中学校グランドにおいて消防訓練を行う。

○仁賀保町

七月二十二日同町平沢小学校グランドにおいて消防訓練を行う。

広辞苑

(中元)

暦の正月十五日を上元十月十五日を下元として祝うのに対して七月十五日を中元の生節として半年生存の無事を祝い、亡霊に供養する事をし、亡霊に供養する。

(上元)

節日の一つで陰暦の正月十五日、この日小豆粥を食べれば年中悪疫をさけるという。

(盂蘭盆)

(ウラボン)

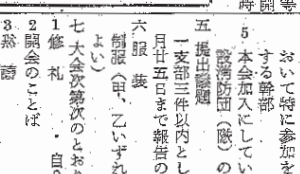
梵語で倒懸と訳す。甚だ苦痛の意、七月十五日種々の飲食物を施し、祖先の亡霊に供えもって鬼に祈り、祖先の苦しみを救う。この日一般に墓参り霊祭を行い供物をあげる。

(彼岸)

七月二十日多くは盆の終りを二い、四日、二十七日とする例もある。又盆に入る前日十二日をいう地方もある。

(歳入)

部から草深い田舎に帰る公人(正月、盆の親もと帰るということ)。又特に正月十六日前後の休み、盆の十六日を後の休み歳入ともいった。



支部だより

○能代市山本郡支部

七月十二日山本地方総合庁舎において評議員会を開き、昭和三十一年度歳入歳出決算の承認、本年度の事業計画並びに歳入歳出予算を決議した。

○各支部

七月一日から各支部では防災訓練本部から講師を招き出水訓練並びに規律訓練の一日講習を行っている。

創立56週年

消火器は効力と品質を保証された!

初田式消火器

を御設備下さい。

最高の品質
最大の生産量
最良のサービス

ハツタ消火器

株式会社 初田製作所仙台出張所
仙台市立町通5番地 TEL ⑧2250

秋田県特約店　菅原長治商店　秋田市本町六丁目 T 3811
藤慶商店　秋田市土崎港下酒田町 T 8062

トーハツ ENGINES
5年来の小型エンデンメーカーが贈る
国家消防本部検定合格品
始動の確実
サービスの万全

トーハツ消防ポンプ

各馬力共サーチライト付完成品	VH型	水冷35馬力	150ポンド	500ガロン
	VK型	水冷28馬力	130ポンド	370ガロン
	VEⅡ型	水冷15馬力	120ポンド	250ガロン
	VEⅡ型	水冷65馬力	80ポンド	120ガロン

ジエットホース

特徴　1. 水が漏らない　2. 取扱いが容易である
3. 耐久力に富む　4. 軽く、硬くならない

秋田県代理店
株式会社 高義商会

本社　稲庭川連町　電話 川連 16番 18番
支店　横手市駅前　電話 1180番 1181番
支店　十文字駅前　電話 十文字 32番
秋田営業所　秋田市川反二丁目　工藤幸吉　T 秋田 3178番
県北副代理店　天王町　田仲工業所　T 天王 53番
花輪町　鹿角自動車整備株式会社　T 花輪 74番

弄火防止対策に想う

佐藤尚士

六月二十五日付本紙上に矢島町の富田大先輩が「少年夜警の是非」と題し、子供の弄火防止について非常に貴重な御意見を寄せられました。

また本月十二日には、県消防協会能代市山本郡支部の評議員会においても、二ツ井町消防団からこの問題件が提案され、同日の研究部会においてもこの対策についても熱心な研究討議がなされたのでありますが、本県の火災の実態を考えるとき、この対策こそ火災予防上極めて重大でありますので、私も又これに触れて見たいと思います。

本県火災の実態と消防の現況は本年上半期の火災の発生は昨年同期より既に二八件増加し、特に弄火による火災が七件（数え年）が頂点であること、しかも都会の早期一斉徹云や火の元検査や清掃検査は、その点に西方面には少ないのであります。このことを考えて見ますとき、東北の冬は永いのであります、春になれば冬の解放感から子供方が遂い火遊びをしがちであります。これは何ボンド位が適当ですか、一吋の筒先から、筒先圧力四〇ポンドで放水するとすれば何人で持てば適当ですか、

【答】一般木造建物の普通火災においては、筒先の反動把持力、又は適切な消火活動等を考えると、筒先圧力は、四〇ポンド位が適当でしょう。

筒先圧力が強過ぎると把持力の限度を超え筒先員に危険を与えるおそれがあり注水も思うように出来なくなります。従って機関員は消火活動が適切に行われるよう、このようなことを十分考慮に入れ、機関の運転に当らねばなりません。

【問】長村火災における矯なお、放水量六〇ガロンについて最少限度一人の筒先員が必要です。仮り口径ほど摩擦損失も多くなり、帯識としては、二吋半の布ホース一本の摩擦損失は、五ポンドから一〇ポンドと考えていいでしょう。正確には別表第一のとおりであります。この数字は、東京繊器便覧から拾ったものです。

ゴム引ホースの摩擦損失は、布ホースに比較して見ますと、その約半分位ですホース五本位だと、摩擦損失は、殆んど零に等しいくらいです。

参考に布ホースとの効率比較を別表二、に出して見ました。御了承願います。

防災訓練本部
技師　工藤　吉治

（別表1）
直径2 1/2吋長さ60尺の布ホース1本の摩擦損失

口径(吋) / 圧力(ポンド)	5/8	3/4	7/8	1
30	1.19	2.42	4.5	7.67
32	1.26	2.58	4.8	8.18
34	1.34	2.74	5.1	8.69
36	1.42	2.90	5.4	9.20
38	1.50	3.06	5.7	9.71
40	1.58	3.22	6.0	10.22
42	1.66	3.38	6.3	10.73
44	1.74	3.54	6.6	11.24
46	1.82	3.70	6.9	11.95
48	1.90	3.86	7.2	12.26
50	1.98	4.03	7.5	12.77
52	2.05	4.19	7.8	13.29
54	2.13	4.35	8.1	13.80
56	2.21	4.51	8.4	14.31
58	2.30	4.67	8.7	14.82
60	2.37	4.83	9.0	15.33
62	2.45	4.99	9.3	15.84
64	2.53	5.15	9.6	16.35
66	2.61	5.31	9.9	16.86
68	2.69	2.69	10.2	17.37
70	2.77	2.77	10.5	17.88

（別表2）
ゴム引ホースと麻ホースの放水率の比較

種別	筒先圧力	損失圧力	放水量	放水効率
ゴム引ホース	ポンド1平方吋 77	ポンド1平方吋 23	ガロン(分) 102	% 77
麻ホース	44	56	75	24

質疑応答

筒先圧力と摩擦損失

機関員　木村　正

一般に筒先員は、一定の圧力を持って放水しますが、一吋の筒先から、筒先圧力四〇ポンドで放水するとすれば、ホース一本の摩擦損失は、五ポンドから一〇ポンドと考えていいでしょう。正確には別表第一のとおりであります。この数字は、東京繊器便覧から拾ったものです。

ゴム引ホースの摩擦損失は、布ホースに比較して見ますと、その約半分位です。ホース五本位だと、摩擦損失は、殆んど零に等しいくらいです。

参考に布ホースとの効率比較を別表二、に出して見ました。御了承願います。

防災訓練本部
技師　工藤　吉治

次にホースの摩擦損失についてでありますが、筒先口径が大きければ大きい程放水量も大きく、摩擦損失も大きくなります。又ホースの延長数が多ければ多いほど摩擦損失も多くなります。

（編者は、防災訓練本部次長）

火災の実態と消防の現況 ④

秋田県防災訓練本部発表

人口1,000人当りの文庫
（　）は1平方キロ当たり人口

日消会館建設資金の寄附を急げ

十一都道府県既に完納

全日本消防人の団結の中いた常任理事（支部長）会議で、日本消防会館の建設工事は、既に竣工の域に達し、金さえあれば直ぐでも移転可能の状態にある。

その建設資金も六月末現在で一億五千六百三十七万円（消防人負担分）に対し二ツ井町、藤里村、象潟町、由利村、六郷町、矢島町、石川、愛知、岐阜、京都、東成瀬村、皆瀬村、兵庫、滋賀、福岡等十一都府県が既に完納した。

○完納、秋田市、能代市、湯沢市、男鹿市、十和田町、膳葉町、小坂町、大館市、大曲市、八幡平市、比内町、八森町、河辺町、仁賀保町、仙南村、雄和村、平鹿町、八郎潟町、本荘市、花輪町、

徒らに遅延することに消防の名誉にもかゝると、県消防協会では七月五日に開

火災の実態と消防の現況 ④

秋田県防災訓練本部発表

時間別火災件数調

月 / 時	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
0 時	2	2	4	1	6	1	3		1		4	2	26
1 〃	1	4	4	1		1		3	3	1	1	2	21
2 〃	2	2	4	2	1			1	3	1	1	2	19
3 〃		2	2		1	1	2		1	2	2	1	15
4 〃	2	2			1	2	1	2			1	2	13
5 〃			3							1	1		5
6 〃	1			3					1	1		2	8
7 〃				1	2		1			1		1	6
8 〃	2	1	1				1		1	2	2		11
9 〃	1		1	1	1		1	1		1	1		8
10 〃	1	4	2	2	3	1	1		2		4	9	27
11 〃	1	5	2	2	6	1		2		1	2	4	28
12 〃	3	4	3	1	2	2		2	1		3	2	21
13 〃	3	3	5	1	6	1	2	1		1	3	2	30
14 〃	5	5			11	1	2	2	1	1		1	29
15 〃	2	5	1		3	4	2		2	1			22
16 〃	2			1	4	2	1	3	1	1			19
17 〃	4	2	2	1	5	2		2		1		3	20
18 〃			1	2		1		1	1	2	1		8
19 〃	3	4	3	3		1	1		1		2	1	22
20 〃	1	1	3	2		2	1	2	1	1			16
21 〃		3	1	1		2	2	1		3	1	1	19
22 〃	1		1	1		2		2	1	2	1	3	10
23 〃		4	1	1	2		1		1	1	1		14

が、数の中には秋田市、本荘市等南東の烈風下に発生した所謂大火危険度の大きい火災も尠くなかったのであります。

大火を未然に防止し得たこの際には、市町村当局の消防力増強に対する御熱意と消防人の弛まざる平素の訓練の賜と心から感謝申上げると共に、後半期においても只管大火のなからんことを所願して已みません。

さて本年上半期の火災原因を見ると、依然として子供の弄火がトップを占め、二七〇件中二九件と圧倒的に多く、損害額も三億二千万円中二千七百万円で、毎年春節保育所の増設を図るなど児童福祉行政にも関連があるが消防的に見て、一般に、子供のこの家庭に強く望みたいことは「マッチは子供の手や眼に触れないところに」との見方だと御叱声を受けるかも知れないが）

子供の弄火防止対策は、繁くするものであります。

富田大先輩も本紙先月号で子供の弄火を賞めるよりも大人がこれをなすべき責任があるとの格言であります。

子供の弄火防止対策は、常識的なことだけでなく、夏に突込んでその根源をなす燃え易い藁や薪などを繊維に蓋かぬように、家庭の環境を整理整頓することが大事に至らぬような家庭の環境を造ることこそ弄火防止の大切な対策ではあるまいか と重ねて強調したいのであります。

このことを裏書きするように全国の火災統計を繙くとき弄火は東北が軒並に火災原因のトップを占め、関西方面には少ないのであります。

昨年六月大火防止対策の一環として国家消防本部の一般の方々の絶大なる御協力を御願いしたいのであります。

（編者は、防災訓練本部次長）

（東北の町や村が燃え易すく出来ており、火災の危険が大きいかに努づく等でありますが、）

生活環境の違いがあることは申上げるまでもないことでありますが、東北の町や村と西の町や村と比較するとき何人と雖も家の周囲の状況とについて強く指摘を受けたのであります。

（農村部は尚更）家の周囲の環境整理が良好でないことに乱雑と散在の方々は勿論家庭の方々にも、もっともっと真剣に考えて戴きたいのであります。

冨田大先輩も本紙先月号で子供の弄火防止対策は、大人がこれをなすべき責任があるとの格言であります。

子供の弄火防止対策は、環境を整理整頓することが大事に至らぬような家庭の環境を造ることこそ弄火防止の大切な対策ではあるまいか と重ねて強調したいのであります。

このことを裏書きするように全国の火災統計を繙くとき弄火は東北が軒並に火災原因のトップを占め、関西方面には少ないのであります。

昨年六月大火防止対策の一環として国家消防本部の一般の方々の絶大なる御協力を御願いしたいのであります。

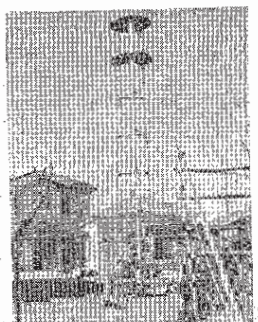
（編者は、防災訓練本部次長）

恐ろしい火魔の守りは！
ワタナベポンプで
最近の御注文先
巣本町消防署
ノ荘市消防署
目城町消防署
保賀町消防場
川村消防場
城町役場
島町役場
仙北町消防団
井岩役場
矢島町役場
西目町消防役場

国消検定
A—1級1000ガロン型
A—1級
A—2級
B—1級
B—2級
合格

K.K 渡辺ポンプ諸機械製作所　TEL 311.162
秋田出張所　秋田市西根小屋町16番地　秋田芝浦ポンプ内　TEL 6862
本荘出張所　本荘市二十六木　岡本豊治　TEL 413

望楼　鉄骨一般
仁村鉄工株式会社
秋田県知事登録(ニ)第1213号
秋田市亀ノ丁虎ノ口10
TEL3379,6389,3047



月刊毎月25日発行
消防秋田
定価 1部 19円
秋田市土崎港東町
発行所 秋田県消防協会
発行兼編集人 伊藤忠太郎
秋田市下新町七
印刷所 太陽印刷株式会社
電話四八三五番

消防制度改正促進等を決議
北海道 東北七県 消防連絡協議会開く

北海道、東北七県消防連絡協議会は、去る八月十日、大館市県立鳳鳴高等学校体育館において盛大に挙行された。幸い好天に恵まれ消防人の士気大いに挙り、幾多の成果を収めた。以下はその模様である。

空には雲一つなく長根山に昇るに、前から五列目位のあたりは青くかすんで見まては、机は整型に配列、ここには遠来の北海道と、える上天気。早朝から花火はひっきりなしに打ち上げ青森、岩手、宮城、福島、られる。大館市復興祭のた新潟、山形の各県代表者、め、旗、提灯、アーチ、アその後方は県内出席者席で、ドバルン等、街は綺麗にお一様に白の開襟、その合間化粧されている。それに復合間に歓迎の旗注が記され興祭第二日目とあって、各県市商工会議所、渡部中央から鹿角に方面旗が張られ、待ち、会場、文字とり綿蜘たる雰囲気に包まれる。

『ダダン、ダンダン』と特に長気よく花火が上る、時は九時でありこれは開会合図であることが直ぐ読み取れたが、驚くとマイ刻前既に一般参会者が着席大会本部員席後に設けられた記者席から見ると正面舞台には、海老茶のビロードで作られた大幕が張られ、その中央に長さ三メートルもあろうと思われる大日章旗が、驚く程くっきり浮び大会の春が切って落され、日章旗の両側に白布に達筆で大書された大会宣言と決議案が張られ、更に正面舞台の両袖に、北海道と各県から提出された四本の研究発表題名と二十五本の協議題を大書した垂幕が下がり、一見して大会の真剣さが窺われた。

又この協議題を書いた垂布の前には、江戸消防の火消し装束をした人形二人と今日の消防服装をしたマネキン人形一人が右と左に対象的に配列してあったが特に人目を引いた様である。

一方一般参会者席に目を

九時三十分運営委員、続いて来賓が入場、定位置に着く、来賓席に目を転ずるに、国家消防本部上川管理課長、日本消防協会斎藤理事長、全国消防長連絡協議会長代理山田東京消防庁警防部長、佐藤大館市長、大館市議会副議長、渡部市商工会議所会頭、大館警察署長の順に着席した。

来賓が着席するや会場は一瞬にして沈まり返る。

昭和三十三年度、北海道東北七県消防連絡協議会はいよいよ開会である。

マイクから「一同起立願います。敬礼。直れ。御着席願います」と進行係の合図が流れた。かくて八年に一度巡り来る豪華な大会が遂に開かれたのである。

陸続した名士の祝辞
淋しかった松野会長の病欠

山本副会長の開会の辞で日本消防協会長代理としての同協会斎藤理事長、全国消防長連絡協議会長代理として東京消防庁山田警防部長、松原住部長の挨拶、次に病気入院中の本県消防協会長代理として渡部副会長の代理として安田県議会議長、大館市商工会議所会頭の順で激励の祝辞があり、続いて病床にある松野会長からの祝電が披露された。

義長に渡部(大館)副会長
副議長に山本(横手)副会長 推薦さる

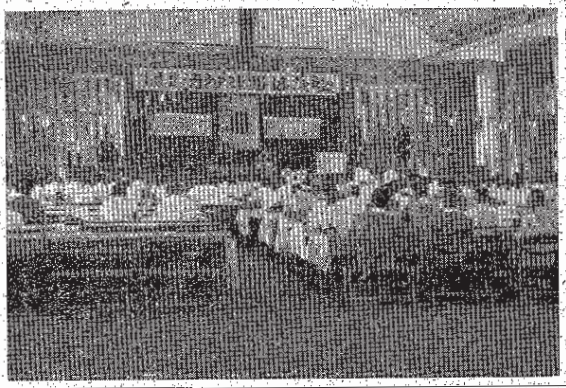
次に議長、副議長の推薦に入ったが、手賀理事長、協会の副会長である大館市長が、恒例として一堂に誇ったところ司会者一任ということになり、副議長には渡部議長から本県消防協会の副会長である横手市の山本三郎氏が推薦され議長団の構成が出来上り、渡部議長からよろしく協力ありたい旨の挨拶があった。

その直前石田博英代議士が会場に姿を現しておったので、一堂に詰り同代議士の祝辞を頂いた大会に一際の花を咲かせた。

松野会長へ見舞決議

入院中の本県消防協会長の山本三郎氏が推薦され議長団の構成が出来上り、渡部議長からよろしく協力ありたい旨の挨拶があった。

その直前石田博英代議士が会場に姿を現しておったので、一堂に詰り同代議士の祝辞を頂いた大会に一際の花を咲かせた。



終って福島県から前年度(隣)常任理事は、宮城県の同常任理事は、岩手、宮城の両県を管轄理事は、決議案をそれぞれ朗読万雷の拍手を浴び大会における決議事項の処理報告、岩手、宮城の両県と北海道から別項の研究発表、本県からは体験発表あって、協議題の審議に入ろうとする時、岩手県の鈴島消防協会長から「消防制度の改正作業で盛夏を別たぬ努力を続けている国家消防本部に本会議の決定に基き動力ポンプの巡回性能試験

終って本県消防協会の伊藤(隣)常任理事は、宮城県の同常任理事は、岩手、宮城の両県を管轄理事は、決議案をそれぞれ朗読万雷の拍手を浴び大会における決議事項の処理報告、岩手、宮城の両県と北海道から別項の研究発表、本県からは体験発表あって、協議題の審議に入ろうとする時、岩手県の鈴島消防協会長から「消防制度の改正作業で盛夏を別たぬ努力を続けている国家消防本部に本会議の決定に基き動力ポンプの巡回性能試験

及び取扱方法について　岩手県
都道府県の行う消防の教養訓練に対し国庫補助制度について　同　右
仙台市における消防機械並びに消防施設について　同　右
最近起った火災の実例とその教訓　北海道
消防経費の平衡国庫補助早期実現要望について　新潟県
◎体験発表
防施設国家補助金の定率化について　同　右
最近起った火災の実例とその教訓　秋田県
状気象条件における消防施設強化促進に対する要望について　宮城県
◎提出議題
補助及び起債の大巾増額について　宮城県
○法律、制度
消防法第十八条の一の補助起債について　北海道
新築及び増改築助成実現について　秋田県
登録税法等改正について　北海道
消防団員等国家処遇及び退職金の一部改正方要望について　宮城県
消防団員等国家処遇及び退職金額並びに退職金の定率化に関する法律制定について　新潟県
消防施設、整備資金(公団法)(又は消防施設財源融資法)制定について　同　右
消防協会の特殊法人に関する法律制定促進について　同　右
非常勤消防団員等の殉職災時の損害国家補償について　秋田県
消防制度改正促進について　同　右
消防団の組織編成及び名称等の統一について　同　右
○財政
消防施設強化促進法に基く国庫補助金の増額について　福島県
日本消防協会に対する国庫補助による委託事業について　秋田県
○研究発表
○義務災害補償責任制の促進について　岩手県
北海道義務災害補償責任に基づく公務災害について　福島県
日本消防人会日本消防人協会員全について　右
○義務災害補償責任制の促進について　岩手県
北海道連絡協議会について　右
次回開催について　秋田県

宣言

今や我が国は、総力を挙げて産業の振興と自立経済の確立による国民生活の安定を図るの要切なるとき、各地に大火災大風水害頻発し、著しく祖国の興隆を阻害していることは、まことに深憂に堪えない。

我等消防人は、新時代の消防理念と高度の科学消防に立脚して、これら災害の予防鎮圧に挺身し、もって郷党の付託に応えなければならない責務を痛感するものである。

我等消防人は、本大会を契機に、益々団結を固め、消防精神を昂揚し、毅然として時艱を克服し、誓ってその使命達成に邁進することを期する。

右宣言する。

昭和三十三年八月十日

北海道
東北七県 消防連絡協議会

決議

一 我等消防人は、品性の陶冶と人格の向上に努め、伝統の消防精神を更に昂揚し、もって郷土の保全と繁栄に寄与せんことを期する。

一 我等消防人は、時代に即応する教養訓練に励み、消防技術の練磨と消防戦術を究め、もって消防運営の合理化を期する。

一 我等消防人は、消防施設の精鋭保持に努めると共にその科学化を図り、もって新時代に相応しい消防体制の確立を期する。

一 我等消防人は、火災予防思想と初期防火思想の普及徹底に努め、もって国民総消防体制の実現を期する。

一 我等消防人は、民生安定に寄与できる消防体制の確立促進のため、総力を挙げて消防制度改正の実現を期する。

右決議する。

昭和三十三年八月十日

北海道
東北七県 消防連絡協議会

消防ポンプは
ニッキとラビット号
各種附属と被服金般火品、器各種
特約店 赤穂消防機具店
横手市富士見町 電話八三八番

消防連絡協議会

挨拶

秋田県知事代理　森松厚生部長

知事が都合により出席致しかねましたので、私厚生部長ですが、知事に代って一言御挨拶申上げます。

消防の重責を担っております皆様が、消防上重要な諸問題を御協議なされる会議を本県に選んで下さいましたことに対しまして厚く御礼申上げます。

本県においては一昨年大館市の大火、昨年はまた県庁焼失と相次ぐ火災の発生で皆様に大変御迷惑をおかけしましたことをお詫申上げます。

本県と致しましては、火災県の汚名返上のため種々施策を進めておりますとき本日ここで皆様から直接御指導を戴くことのできますことは、まことに幸いであり、且つ意義深いものがあります。

何卒隔意なき御討議を尽され、自治消防の発展向上に資せられんことをお願い申上げ御挨拶と致します。

☆挨拶や祝辞を述べる人々上から……森松厚生部長・渡部副会長・佐藤大館市長・川上管理課長・斎藤理事長・安田県議……

挨拶

秋田県消防協会長代理　渡部副会長

松野会長は、病気入院中でありますので、私大館の消防団長でありますが、代って御挨拶申上げます。

本日は皆様御多忙中のところ、多数御出席下さいまして、有難度うございます。

大館市の火災の際は、皆様から多大の御援助、御協力を戴き厚く御礼申上げます。

再三かかる大火を発生せしめたことは私共の至らざるためでありまして、その責任を痛感している次第であります。

本日は会議終了後、復興状況の視察に御乗内申上げる予定になっております。

何卒実地を詳さに御検討の上心からなる御所見を賜かして戴ければ、まことに三十一年と相次ぐ大火による市民の生活の安定が急務と申されましたことは、まことに幸いと存じます。

折角お出でを願いましても御饗のもおり万事不行届の点多きでありますが、何卒私共と敬

挨拶

佐藤大館市長

北海道、東北七県の消防行政連絡協議会を当市において開催せられましたことは、誠に意義深い位置であると存じます。

当大館市は昭和三十年、常に有史以来の大火帯を作りまして、市民の生命財産を守ろうと非常に奮起したのであります。

何か御参考になることがあればと存じ復興の誠実を申上げたのでありますが、復興の最中にこの会議を当市において開いて下さいましたことは、意義深いものがあると存じます。

極めて簡単でありますが、一言御挨拶を申上げます。

の強化に努めておりますが、復興に努めているのは申上げますが、皆様から多大の御援助、御協力を戴き厚く御礼申上げます。

当大館市は昭和三十年、常に有史以来の大火帯を作りまして、市民の生命財産を守ろうと非常に奮起したのであります。

何か御参考になることがあればと存じ復興の誠実を申上げたのでありますが、復興の最中にこの会議を当市において開いて下さいましたことは、意義深いものがあると存じます。

極めて簡単でありますが、一言御挨拶を申上げます。

祝辞

国家消防本部長代理　上川管理課長

本部長が参り親しく御挨拶を申上げる予定でございましたが、都内国会により出席致しかね、私管理課長でありますが、本部長に代り、一言お祝いを申上げます。

この種会議は、最初米軍の指導で開いたのでありますが、現在も引続いて開催されている地区は東北、北海道位であります。

本日の会議にはたくさんの議題があり、まことに意義深く消防発展のため、喜びに堪えません。

昨年消防審議会の答申により手をつけて参りました消防制度の改正問題は本年に持越したのでありますが今年は是非実現を図るべく努力しているとき、幸い第三次岸内閣が誕生し、自治の重要問題である消防制度についてお話ありまして、御了承願いたいと存じます。

消防施設費の増額につきましても、なお一層努力し来るべき三十四年度予算計上には皆様方の絶大なる御協力により、御期待に添うよう努めたいと存します。

最後に病気入院加療中の松野会長さんの御快癒をお祈り申上げまして私の挨拶と致します。

祝辞

日本消防協会長代理　斎藤理事長

松野会長さんが病気と聞きびっくりしました。一日も早く御恢復の事であります。

先刻大館の市長さんのお話を承ったのでありますが市長さんはじめとし、議長さん、消防長さんは昨年に福島県で二日間に亘り長く学び、よく遊ばせて戴き、まだ燃やしておられることは誠に感謝いたしております。本日まだお邪魔する事ができましたことを感謝申上げる次第であります。

格別のお引立てを戴いている大野会長は、その後健康も恢復し心配ないようになりました。

大野会長さんが病気で出席できませんのは、誠に遺憾であります。

方々がお集りして御討議致されますので自治消防発展向上の上からもまことに意義深いものがあり喜び堪えません。

祝辞

秋田県議会議長　谷藤征得

本日ここに北海道、東北七県の消防連絡協議会を本県において開催せらるるに当り、県議会を代表して一言ご祝いを申上げます。

申すまでもなく消防は、国民の生命財産を保護するため、火災の予防と災害の鎮圧に任ずる唯一の機関でありまして、緊急事態に際しては、挺身難に赴くべきものであります。

現下我国の実情は、内外共に多難多難でありまして、消防施設並びに人的面の急務と花々しい成果とを刻下の急務と共に経済の自立と国民生活の安定が急務と申されましたことは、まことに意義深く、特

県内各地を襲うた七、八月の豪雨

水防機関懸命の努力

▽……被害総額十五億を超す

七月二十八日から三十日に対し関係市町村の消防団にかけて東北地方一帯を襲った豪雨は二十八日から二十九日にかけて、本県中部以南に一五〇ミリ前後の大雨となり特に多いところは二二九ミリを示した。又その後秋北には二十九日から三十日にかけ一時間雨量四〇ミリを超える大雨となりこのため各河川が急激に増水氾濫し、死者五名の人的損害を始め、農地、農作物の流失、埋没、冠水の外、道路の崩壊等その被害は頗る大きく損害十二億円を超える状況であった。

更に八月十一日夜半から再び本県北部山岳部の極めて局部的大雨となり日雨量四五五ミリを示す大豪雨を見、局地的大水害を蒙り、十三日朝には雨域が南下し由利郡に一時間雨量七〇ミリという豪雨となり、日雨量一六八ミリを超す大雨となりこのため出水甚しく局部的ではあるが、行方不明一名と三億八千万円に及ぶ甚大な損害を蒙った。この二回の損害総額は十五億八千万円とはじき出された。

この大豪雨の都度、気象台、建設省地方建設事務所或は県水防本部から大雨注意報、大雨警報又は水防警報或は洪水警報と注意報、警報がそれからそれへと矢継早やに発せられた、これの関係官庁に対してそれぞれにかけて東北地方一帯を襲った豪雨は二十八日から二十九日にかけて、本県中部以南に一五〇ミリ前後の大雨となり特に多いところは二二九ミリを示した。又その後秋北には二十九日から三十日にかけ一時間雨量四〇ミリを超える大雨となりこのため各河川が急激に増水氾濫し、死者五名の人的損害を始め、農地、農作物の流失、埋没、冠水の外、道路の崩壊等その被害は頗る大きく損害十二億円を超える状況であった。

・被害

○七月二八日～三十日水害
死　三人　行方不明　二人
倒壊物流失　二〇棟
床上浸水　四七七戸
床下浸水　三、〇六四戸

○八月十一日、十二日水害
行方不明　一人
建物流失　七棟
床上浸水　八一戸
床下浸水　三七五戸
田地流失　五五五町歩
田地冠水　七四七〃
田地浸水　七、七八〇〃
減収量　二二、七七二石
畑冠水　三一町歩
畑浸水　七〃
林道欠壊　一〇個所
橋梁（林道）　二〃
林野崩壊　二五〃
農地流失　一五五町歩
頭首工流失　一個所
溜池流失　一六〃
水路流失　一七〃
堀流失　八〃
農道流失　一〃
橋梁流失　一〃
揚水機　一〃
耕地流失（開拓）　一七町歩
耕地冠水（〃）　一五〃
耕地浸水（〃）　一六〃
河川工事流失　二二個所
道路流失　二三〃
橋梁流失　二四〃
揚水機流失　二三〃
河川工事流失　一九二〃
砂防工事流失　二〃
道路流失　七二〃
橋梁流失　五二〃
橋梁流失（農地関係）　二三〃
農道流失　一〃
畑流失　三七〇町歩
〃冠水　八七四〃
〃浸水　五二一〃
林道欠壊　二、八七四米
橋梁流失（林道）　六七米
林野崩壊　五〇町歩
農地流失　四四〃
溜池流失　五個所
頭首工流失　二五〃
水路流失　三九〃
堀流失　一〃
農道流失　二〃
橋梁流失

【写真は水防活動の一部】

被害の概要は次のとおり。

田地流失　五、五九八〃
〃冠水　八、六一六〃
〃浸水　八〇町歩
減収量　五一、六八七石

トーハツ ENGINES
トーハツポンプ
県北代理店　田仲工業所
南秋田郡天王町天王字天王53

松野会長入院

胃を切開手術、経過良好

本県の消防協会長松野産吉氏は八月六日持病の胃が病み出し、即日秋田県立中央病院に入院し直ちに切開手術を行い、目下経過良好で加療中であるが、経過は極めて良好で近く退院の見込みである。

佐藤、中山の両次長

国消研究科の課程修了

県防災訓練本部
次長　佐藤　尚一氏
秋田市消防本部
次長　中山　正一氏

右両氏は今月五日から開かれた国家消防本部消防講習所第十一回研究科の研究生として入所してあったが去る十六日所定の課程を修了して十八日帰庁した。

支部だより

○大曲市支部
○仙北郡支部
八月七日　仙北郡中仙町において、消防自動車部隊の班付訓練を行った。

○船代市支部
○山本郡支部
八月十七日　能代市浮城第二小学校校庭において支部消防連合訓練を行った。

○本荘市支部
○由利郡支部
八月二十三日金浦町役場会議室において各市町の防災主任者事務講習会を行う
八月二十八日　本荘市鶴舞公園において支部消防連合訓練を行う。

○大曲市支部
○仙北郡支部
八月二十九日　大曲市営グランドにおいて支部消防連合訓練を行う。

○横手市
○雄勝郡支部
九月五日　平鹿町町立営グランドにおいて同支部消防訓練大会を行う。

○平鹿郡支部
八月二十五日　平鹿町立営グランドにおいて同支部消防訓練を行った。

○本荘市
八月二十五本荘市鶴舞小学校グランドにおいて同市消防団の消防訓練を行った

消防短信

○仙北郡西木村
八月八日　同村西明寺中学校校庭において消防訓練大会を行った。

○由利郡由利村
八月十八日　同村前郷中学校校庭において消防訓練大会を行った。

○由利郡大内村
八月十九日　同村学校校庭において消防連合訓練を行った。

○仙北郡中仙町太田村
八月十九日　中仙町豊川小学校において、消防戦術規律訓練などの講習を行う講師は県防災訓練本部職員

○由利郡鳥海村
八月二十日　同村上田野グランドにおいて同村三個消防団の消防連合訓練を行った。

○由利郡象潟町
八月二十日　同町小学校グランドにおいて消防訓練大会を行った。

○雄勝郡皆瀬村
八月二十二日同村皆瀬小学校グランドにおいて注水訓練並びに規律訓練の講習を行った。

○仙北郡田沢町
八月二十四日　同町生保内中学校グランドにおいて田町消防団の消防訓練を行った。

○同郡六郷町
八月二十四日　同町営グランドにおいて六郷地区分会の消防訓練を行った。

○河辺郡雄和村
八月二十五日　同村戸米川中学校グランドにおいて同村消防団のポンプ操法講習を行った。

○本荘市
八月二十五本荘市鶴舞小学校グランドにおいて同市消防団の消防訓練を行った

消防用品の斡旋

消防協会は県下消防機関の福祉厚生のため、各種消防用品の斡旋を敢じて参りましたが、県内各方面から好評を博しております。

最近消防用品も多種多様販売されており、中にはいかがわしい品も見え、且又暴利をむさぼっている商人もあるやに聞きます。勿論本会で斡旋致します物資にはそのようなものは一つもなく、本会はこの点についても特に細心の注意を払い信用のおける品をできだけ安くと努力しております。

本年度の当初予算編成前本会は各市町村役場宛予算編成資料として本会が斡旋しております。各種消防用品の価格を一覧表にしてお送り致しております。消防用品の斡旋に当りまして本会の価格表を御閲覧の上必ずや皆様の協会を御利用下さいますよう御願い申上げます。

（秋田県消防協会）

放水量を知りたい

消防機関員としてポンプ圧力と放水量の関係を知りたいので、次の場合について御教示下さい。

自動車ポンプでポンプ圧力を二〇〇ポンド、ホースの延長五本、筒先口径九ミリの場合の放水量はどれ位ですかお知らせ下さい。

なお、御忙しいところ恐れ入りますが、麻ホースの場合とゴム引ホースの場合とに区別してお知らせ願いれば幸甚です。

八竜村消防団
清水　正一

ポンプの定期検査

8・25日から北内町をトップに

県では次の要領によって森吉町、八月二十五日北内町を皮切りに、本年度動力消防ポンプの検査計画を樹て、このほど関係町長宛通達した。

動力消防ポンプ定期性能試験実施要綱

○検査日程

北内町　8月25日～28日
金浦町　9月1日、2日
矢島町　9月4日、5日
河辺町　9月6日
阿仁町　9月8日～11日
尾去沢町　9月12日
鷹巣町　9月16日
比内町　9月17日、18日
森吉町　9月24日～26日
八森町　9月27日
十和田町
西仙北町　9月29日、30日
神岡町　10月1日
平鹿町　10月2日～4日
稲庭町　10月7日～10日
川連町

この日都合によって実施できないときは、防災訓練本部長に報告し、後日実施日を定めること。

○実施場所
一日一カ所で、町長から知事に報告した場所とする

○試験対象となるポンプ
自動車ポンプ、三輪自動車ポンプ、手引動力ポンプ、小型動力ポンプ

○試験立会者
ポンプ一台ごとに責任ある幹部一名、機械係一名。

○受検準備
性能試験を受けるポンプは、一応整備の上工具一式の外、次の日程の替日を準備しておくこと。

1. 自動車、三輪自動車、手引動力の各ポンプ
〃1¼（一吋二分）
〃1（八分）、〃¾（七分）

2. 小型動力ポンプ（二〇馬力以上）
〃¾（六分）
〃⅝（五分）

3. 小型動力ポンプ（二〇馬力以下）
〃⅞（七分）
〃⅝（五分）
〃½（四分）

4. ポンプ統合効率
A一級の場合六〇％以上
A二級以下　五〇％以上

5. 水馬力
6. 機関回転の良否
7. 吸水管、ホース、その他附属品の検査、その他

○試験実施方法
1. 規格放水量（級別を定める）
2. 真空ポンプ能力試験（使用している吸管全部を結合して三〇秒で指度廿五吋以上であること。
3. 機関気筒圧縮試験、各気筒圧力及び指示平均有効圧力の偏差は平均値に対して五％以下であること。
4. ポンプ統合効率
A一級の場合六〇％以上
A二級以下　五〇％以上
5. 水馬力
6. 機関回転の良否
7. 吸水管、ホース、その他附属品の検査、その他

○検査証
試験に合格したポンプに検査証を打付ける。

○現地指導
性能検査終了後機関及びポンプについて簡単な現地指導を実施する。

○検査証
試験に合格したポンプに検査証を打付ける。ここに応えたいと念じております。

希望により試験を行う。

○編集室より
本紙「消防秋田」も、皆様の御支援と御協力によって順調な歩みを続け健かに育ち、七才になりました。愛読者の皆様から県内の事情や状況をもっと詳しく知りたいという声が出ております。編集室でも多彩な紙面に盛り上げ、皆様の要望に応えたいと念じております。論文・随筆・体験談・美談ニュース・短歌・俳句・川柳・漫画。その他なんでも結構です、どんどん寄稿し消防の情報や知識を交換しようではありませんか。

御報次第参上

権威と信用ある！
◎消防ポンプと器材
◎消火器と施設
一切の御用命に応ず
日本機械工業、日進工業代理店
旭友官納商事株式会社
秋田市西根小屋町中丁1　T 5045
カタログ呈上

国消検定合格品並に推奨品　全国唯一の4サイクル空冷水冷併用式の
シバウラ消防ポンプ
消防戦術に最も重要なる冬季期間の操作が簡単に出来る。
• エンヂンの始動は、燃料がガソリンのみ故如何なる寒冷時にても一度にて始動する
• 空冷エンヂンであるから総ての汚物泥水等を吸込んでも心配はない
• ポンプ置場にて水を出さなくてもエンヂン及び真空試験が出来る
U—1型 6～8HP
S—65型 14～17HP
F—74型 18～25HP
F—25型 6.5HP
F—18型 4.5HP
◎消火器各種、消防器具、用品一式
石川島芝浦機械株式会社秋田直売所
秋田市西根小屋町上丁16番地　電話6862・2931番

東京方面の消防状況視察

斎藤長悦

県消防協会横手市平鹿郡支部主催でこの度、国家滝山総務課長着電「消防制度の改正とその構想」と新刊「樹氷」に発表で著者の来消会館等を視察見学のため鍾で懇望の記念の文句を印して下さった。

山本支部長の乞われる横丸の内消防署、建築中の日警内幹部二十数名が団服に身をかためたり、夏姿であったり、思いいの服装であったけれども、消防人の研究心は何れも旺盛そのものであった。何かの参考になればと思って紙面をお借りする。

人事院ビル内にある国消本部に足を運び、平素御指導を仰ぎ、非常に御厚介になっている横山総務課長さんの魂にはひしひしと迫るものがあった。

旅に出て旅をどう見詰めるか、自分の眼に映れる絵を無駄心に流している自分の魂にはひしひしと迫るものがあった。

旅に出て旅をどう見詰めるか、自分の眼に映れる絵を無駄心に流している自分の魂にはひしひしと迫るものがあった。

いろいろと視察の御配慮を戴いたが、その建設交渉建築、「夜汽車の旅等或は山形紀行などに見られる眼の迅速さや手配りの要領など、流石は御多忙なお仕事長さんの東北の自然に対する最も必要なる地位を占めている。地形は平坦で真は京橋にあられる課長さんの御手腕に敬服した次第である。

横山総務課長さんは役人臭さを折に触れては話かしく思った。

横山総務課長さんは役人臭さを折に触れては話かしく思った。

然して大自然の輪廻は時と処を異にすることによって趣きを異にするであろう。消防施設においても大都市と農村都市、地域事情によってその機構設備も考えられるのである。

丸の内消防署

丸の内消防署は、皇居を含む特別区の中央に位し、建物は官公署、銀行、会社劇場等近代的大建物が櫛比し、政治、経済、文化の中心地として都内における最も繁盛なる地位を占めている。

警察署員の数式、操練に関すること、消防操法の指導に関すること。

○第二中隊（高圧車）

○桃子中隊（ベンチ梯子車）

○救急車中隊（救急車）

○第一中隊（高圧糟車）

○第二中隊

○第三中隊（ポンプ車）

○第一中隊（ポンプ車）

○第一中隊（ポンプ車）

○第一

月刊毎月25日発行
消防秋田
定価1部10円
秋田市土手長町
発行所　秋田県消防協会
発行責任者兼人　伊藤忠太郎
秋田市下肴町七
印刷所　大勝印刷株式会社
電話四八三五番

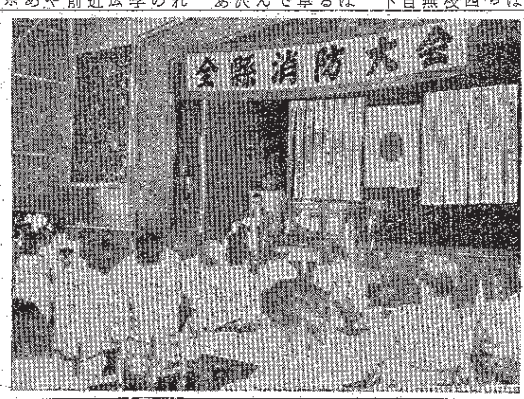
消防大学設置促進等を決議

全県消防大会盛会を極む

県消防協会主催の第十一回全県消防大会は去る八月二十一日、県並びに湯沢市後援の下に、湯沢市の県立湯沢北高等学校体育館において盛大に挙行された。幸い好天に恵れ消防の士気大いに挙り当面せる消防上の重要問題について真剣な論議を交し、大なる成果を収めた。以下はその状況……。

この日に、雲一つないと言いたいまでいえなかったが、雨の心配もなく、盛館に大書された大会宣言ということに深く感銘とされ参加した八月の天候としては上々の天気、又この日は湯沢市の名物七夕祭とあって全市は、大は振元で登四五寸もあろうと思われる笹も葉もそのまま青竹に無数の色短冊、それに各戸自慢の絵燈籠やボンボリを下げた飾りで花のトンネル、これを見ようと近郷近在は勿論、県内外から押寄せる人の波で朝から市内は諸事の通行禁止という豪華版である。大会をこの日に選んだのも参会者に対する湯沢市のサービスの意味でもあろう。

会場はこの絢麗に飾られた花のトンネルを通り東の山の麓にある湯沢北高等学校に最近できたばかりの広さ三〇〇坪という立派な近代的大体育館である。午前八時半受付が開始されるやカーキ色の制服で身を固めた市町村消防幹部がチラホラ見られ、刻一刻とその数を増し、八時四十分頃からは受付係はてんてこ舞するほどの忙しさだった。一先ず控室に落付いた参会者は、スピーカーから流れる入場の案内で続ぞろ三〇〇坪の会場を埋め尽す。



協会役員席の後に設けられた記者席から見ると正面舞台には、黒いビロードの大幕が張られ、その中央に大日章旗が雄々しく浮び、その両脇に当日の議題が書かれた十六本の垂れ幕が下がり、舞台の右袖に大会開会の合図であるとまでいえなかったが、雨の心配もなく、盛館に大書された大会宣言ということに深く感銘とされ参加した八月の天候としては上々の天気、又この日は湯沢市の名物七夕祭とあって全市は、大は振元で登四五寸もあろうと思われる笹も葉もそのまま青竹に無数の色短冊、それに各戸自慢の絵燈籠やボンボリを下げた飾りで花のトンネル、これを見ようと近郷近在は勿論、県内外から押寄せる人の波で朝から市内は諸事の通行禁止という豪華版である。大会をこの日に選んだのも参会者に対する湯沢市のサービスの意味でもあろう。

会場はこの絢麗に飾られた花のトンネルを通り東の山の麓にある湯沢北高等学校に最近できたばかりの広さ三〇〇坪という立派な近代的大体育館である。午前八時半受付が開始されるやカーキ色の制服で身を固めた市町村消防幹部がチラホラ見られ、刻一刻とその数を増し、八時四十分頃からは受付係はてんてこ舞するほどの忙しさだった。一先ず控室に落付いた参会者は、スピーカーから流れる入場の案内で続ぞろ三〇〇坪の会場を埋め尽す。

全県消防大会

挨拶

秋田県消防協会長代理　山本副会長

本日は未曾有の災害多数を迎え地元湖沢市市長げて一回会県消防大会を開催することができましたことは衛同慶の至りであります。

終戦十四年を迎え、国力も充実し、国民生活も安定してきたように見えますが年間三百億を超える火災損害を考えますとき、必ずしも国家万至は国民の生活が安定しているとは言え得ないと存ずるも下の市町村の協賛の下に第十一回県消防大会を完全に果すために最も重要な役割の一つとして消防施設の強化が必要であるのでありますが、現下の市町村の財政を考えるときこれを一挙に解決することは到底できないのであります。さりとて一日ならずしても等閑にすることのできない重要な問題であります。

我々はこの解決を政府に強く要望してきたのでありますが、新聞に載せられてきました通り、本年度は三万の消防関係者はこの災害防除に専心しているのでありますが、遺憾ながら未だ満足すべき状態に至っておりません。これらの原因の最も重要な役割を完全に果すために消防施設の強化が必要であるのでありますが、現下の市町村の財政を考えるときこれを一挙に解決することは到底できないのであります。さりとて一日ならずしても等閑にすることのできない重要な問題であります。

我々はこの解決を政府に強く要望してきたのでありますが、新聞に載せられました通り、本年度は三万の消防関係者はこの災害防除に専心しているのでありますが、遺憾ながら未だ満足すべき状態に至っておりません。これらの原因の最も重要な役割を完全に果すために消防施設の強化が必要であるのでありますが、現下の市町村の財政を考えるときこれを一挙に解決することは到底できないのであります。さりとて一日ならずしても等閑にすることのできない重要な問題であります。

我々はこの解決を政府に強く要望してきたのであります。

祝辞

秋田県知事　小畑勇二郎

この盛会に臨み遺憾に存じますことが一つございます。それは本県の消防協会長である松野さんのお姿の見えないことであります。先日平沢へ出張した際、斎藤副会長さんと松野さんのお宅の前を通ると、丁度当日が松野さんが胃潰瘍で手術をなさる日だということを耳にしたのでございますが、その標札を見ると「仁賀保町消防団長松野盛吉」とあるのでございます。

私は、ここに松野さんの崇高な精神が見られるような気がしたのであります。実に松野さんこそは政治的野心の全くない消防人中の消防人と思う次第でございます。ここにお集りの皆様もその点では同感でございます。どうぞ消防の先達として御自愛下され、末永く御指導あらんことをお願いする次第でございます。

さて、最近、の火災の状況を見ますと、件数においては増加の傾向にあるにも拘らず焼失棟数や先の損害は減っており昨年同期より約二億円の減となっているのでございます。これは消防の活動が旺盛で、しかも効果があった証左であって先般県で樹立致しました大火防止対策に積極的な御協力の賜はなる敬意を表するものであります。

又私は本月の七日から五日間に亘って県内の水害状況を見て廻りましたが、出の水量は以前と少しも変らなく、積土後や水流し或は川倉等の水防工法実施の跡が見られ、ために損害に従前と比べ著しく減少しているのであります。

これは皆様が単に火災のみならずその他の災害の防止に努力されたことの賜であります。

何卒隔年の御承知のとおりの水害多数を以て、当湯沢市は一七日に、一夕祭、一の行事が行われました。これは湯沢市の名物であり市民の自慢の一つであります。この喜びは単に市民のみならず県下さるようお願い申上げます。

本日は設備方端不行届きでありますが私共の微意をお汲取りの上、何卒隔年のようお願申上げ極めて簡単であります。

なお、なお、更に九月県会も間近でございますのでその準備をお願いできるだけ皆さんの御要望に応えたい考えでおります。

皆様の熱意に応えるため県では施設の整備に補助を致して参ったのでございますが、これも従来は小型動力ポンプのみを対象としておりましたが、初期消火の水利、更に枠を拡げ、初期消火の為の水利の充実促進という観点から本年度から防火水そうに対しても補助をすることになり、補助額も増額したようなわけで、なお、更に九月県会も間近でございますのでその準備をお願いできるだけ皆さんの御要望に応えたい考えでおります。

又皆さんの共済組織である互助会に対しましては、その育成強化のため昨年度百万円の補助を致したのであります。

ご承知のように松野会長も小泉副会長も私共の大先輩的存在をもって当られる立場にあります。後でよく相談の上、共々にその実現に努力いたしたいと思うのであります。

以上極めて簡単でありますが所懐の一端を申述べ祝辞といたします。

挨拶

湯沢市消防団長　山脇新八

本日当湯沢市において、第十一回会県消防大会を開催されましたことは誠に慶賀の至りであります。

ここに我々消防人の代表として一言所懐を申し述べ祝意を表する機会を得ました事は私の満足であります。

最近我が国における火災の発生は頻繁に憂慮すべき現状にあり殊に各地方都市に続発する大火災は日を追って激増の一途を辿っております。

又我が国の消防の財政が非常に窮乏しており、加えるも国家財政の如き甚しく気象の変化の激しい悪条件を克服し秋田県消防が堅実な発展を遂げられつつあります事ことは偏に今日迄に御参会の各位が心を一つにして一斗ご尽力をいたされた賜であります。

我等消防人は、今こそ総力を結集して消防力の物心両面に亘る強化充実に邁進し国民の信頼に応えねばならないことを深く肝銘いたします。

この秋に当り秋田県の消防関係者が多数御参集せられ親和と団結を図り当面の多端なる消防の諸問題について討議せられますことは真に意義深いものがあ

各地で注水操作訓練活潑

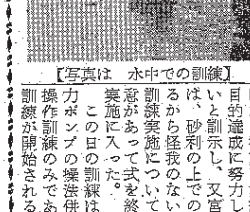
▽……降雨なんのその、水中訓練も出現

今年は、八、九月の所謂まで秩序正しく行事を進め連合訓練のシーズンは例年一般に消防ならではというにない霍雨の日が多く、遺憾を与え、大なる成果を合訓練は各地とも雨に見舞収めた。以下は各地の模様われたが、「降雨何んのそ」と大いに張切り、最後の」と大いに張切り、最後

女子団員も参加（本荘市由利郡支部）

本荘市、由利郡支部主催の連合訓練大会は、八月二十八日午前九時半から本荘十二分に発足して蔵市鮮舞小学校前において開かれた。

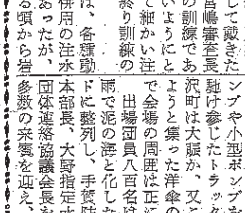
この日は朝から加成な風と驟雨に見舞れたが、管内各団から選ばれた精鋭二十四名の代表が婦人団員四名を交えての敬礼五〇〇名が自慢の技を見せようと早朝からトラック等を繰り出ンプの操法併用の注水操作訓練であり、抽籤で決った順序で次々と進められたが来賓を迎え、定刻校庭に勢揃えしたが、開会前霹雨の第一陣に見舞われ出鼻を折られた恰好。一時避難し、数分にして再び整列、小林福祉事務所長の開式のことば大会の幕があき、森松名誉統監の挨拶、優勝旗返達に続いて、病気欠席の松野安部長に代って佐藤副支部長等授与に引続き森松厚生



【写真は　水中での訓練】

河辺支部主催の連合訓練は、九月二日午前九時から河辺町武田地内の岩見川を夏において華々しく展開した。

この日は未明からの降雨であったが、河辺、雄和の両町村から選抜された精鋭約三〇〇は、日頃鍛えた腕前を見せるはこの時と早朝寅務解の現れでかり、我々の多数の来賓を迎えて定刻岩見川の川原へ整列し、田口総務の大会宣言により大会の幕が切って落され、手



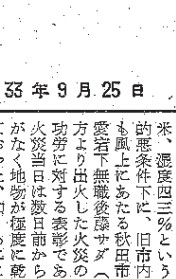
【写真に　分　列　式】

現場功労で秋田市消防本部消防団

輝く国家消防本部長表彰

去る五月二十三日午前九時半頃、南東の風風速十八メートル、混度四三%という気象条件下に、旧市内の最も風上にあたる秋田市楢山愛宕下無職後藤サダ（62）方より出火した火災の現場功労に対する表彰であるが火災当日は数日前から降雨がなく地物が極度に乾燥し、ばかりでなく、出火当初の吹き秋田市では午前六時四十分に火災警報を発し、戒待機中であった。

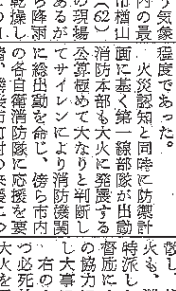
昔から「この風でこの辺から出火すると秋田市は全滅だ」と言かされてあった



【写真はその現場】

火災認知と同時に防禦計画に基く第一線部隊が出動督励によって活躍した市民の協力によりそれぞれ処理し大事に至らなかった。

右のような消防の通切且つ必死的活動が効を奏し、住家の全焼三を出した程度で喰い止めたのであるが、この成績は市民から大いに感謝、賞賛され、当時知事或は浸水家屋の応援巡回等の度知事の内示によって国は危険地帯の警戒巡察等の任務についておったが、午前七時頃部落民から「早鐘



【写真は　水　の　訓　練】

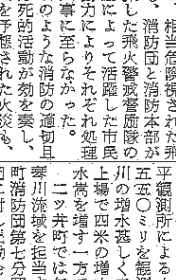
五氏に輝く知事表彰

濁流と斗い人命救助（二ツ井）

八月十一日夜半から降り出た雨は、青森県境の藤琴川上流に特に激しく、藤里村の平観測所による十二日朝で五五〇ミリを観測し、藤琴川の増水甚しく二ツ井町高上場で四米の増水を見刻々水嵩を増す一方であった。

二ツ井町では午前六時藤琴川流域を担当する二ツ井町消防団第七分団と第八分団に対し出動命令を出した。その命令により出動した第七、第八分団の団員四〇名が、団長指揮の下に隨門の流水防止や堤防の矢倉防止に努めていると、一方藤琴川の増水甚しく二ツ井町高上場伊藤製菓サカエさんの度知事の内示によって国三〇才）もいるとの報告があった。

田口団長は機を失せずそ



【写真に　分　列　式】

洋傘で黒山を築いた参観人

汗だくで整理に当る会場係

鹿角支部

鹿角支部主催の連合訓練は、九月七日午前八時から雨が降あき、国歌斉唱の中に

【写真は　水　の　訓　練】

水中で士気益々揚がる

河辺支部

河辺支部主催の連合訓練は、九月二日午前九時から河辺町武田地内の岩見川夏において華々しく展開した。

この日は未明からの降雨であったが、河辺、雄和の両町村から選抜された精鋭約三〇〇は、日頃鍛えた腕前を見せるはこの時と早朝寅務解の現れでかり、我々の多数の来賓を迎えて定刻岩見川の川原へ整列し、田口総務の大会宣言により大会の幕が切って落され、手

【写真は　水　の　訓　練】

現場功労で秋田市消防本部消防団

輝く国家消防本部長表彰

去る五月二十三日午前九時半頃、南東の風風速十八メートル、混度四三%という気象条件下に、旧市内の最も風上にあたる秋田市楢山愛宕下無職後藤サダ（62）方より出火した火災の現場功労に対する表彰であるが火災当日は数日前から降雨がなく地物が極度に乾燥し、ばかりでなく、出火当初の吹き秋田市では午前六時四十分に火災警報を発し、戒待機中であった。

昔から「この風でこの辺から出火すると秋田市は全滅だ」と言かされてあった

【写真はその現場】

トーハツ ENGINES

5年来の小型エンヂンメーカーが贈る
国家消防本部検定合格品

始動の確実
サーヴィスの万全

トーハツ消防ポンプ

各馬力共サーチライト付完成品

VH型	水冷35馬力	150ポンド	500ガロン
VK型	水冷28馬力	130ポンド	370ガロン
VEⅡ型	水冷15馬力	120ポンド	250ガロン
VEⅠ型	水冷65馬力	80ポンド	120ガロン

ジエットホース

特徴　1. 水が漏らない　2. 取扱いが容易である
3. 耐久力に富む　4. 軽く、硬くならない

秋田県代理店

株式会社 高義商会

本社　稲庭川連町　電話 川連 16番 18番
支店　横手市駅前　電話 1180番 1181番
支店　十文字駅前　電話十文字 32番
秋田営業所　秋田市川反二丁目　工藤幸吉　T 秋田 3178番
県北副代理店　天王町田仲工業所　T 天王 53番
花輪町　鹿角自動車整備株式会社　T 花輪 74番

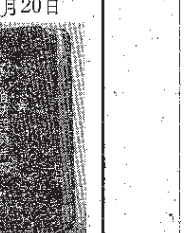
☆自衛官募集中！

一、受付期間。九月一日から試験当日まで受付けます
二、応募資格。満十八才以上二十五才未満の男子
三、採用試験。
十月廿四日（金）大館市、十月廿五日（土）能代市
十月廿六日（日）秋田市、十月廿八日（火）本荘市
十月廿九日（水）横手市、十月三十日（木）大曲市
四、詳細は最寄市町村役場または
秋田市下中城町四　県記念館内
自衛隊秋田地方連絡部　TEL（七四七六六九二一）
あてお問合を下さい。

予約募集　消防団員手帳　締切10月20日

一内容一
・身分証明書表
・会員証（ミシン入）
・住所録・体重ポケット型（6.8×12糎）
・表紙ビニールクロー付
・金文字入、鉛筆付
・頁数168頁　価格80円

一附録一
・消防組織法・消防法
・消防信号等に関する規則・火災予防条例
・一般要領・ヒューズの容量表（別表一の(1)）
・ヒューズの容量表（別表一の(2)）



・電動機回路電線表
・動力
・一分間における・ポンプ放水量
・貯水池石数早見表

申込みは秋田県消防協会　電話4787

各地で注水操作訓練活潑

▽……降雨なんのその、水中訓練も出現

今年は、八、九月の所謂まで秩序正しく行事を進め連合訓練のシーズンは例年一般に消防ならではというにない霍雨の日が多く、遺憾を与え、大なる成果を合訓練は各地とも雨に見舞収めた。以下は各地の模様われたが、「降雨何んのそ」と大いに張切り、最後の」と大いに張切り、最後

女子団員も参加（本荘市由利郡支部）

本荘市、由利郡支部主催の連合訓練大会は、八月二十八日午前九時半から本荘十二分に発足して蔵市鮮舞小学校前において開かれた。

この日は朝から加成な風と驟雨に見舞れたが、管内ことについては審査上十分各団から選ばれた精鋭二十考慮するから御心配なくと四女分団の代表が婦人団員結んで式を閉ぢ訓練に入っが自慢の技を見せようと早朝からトラック等を繰り出ンプの操法併用の注水操作訓練であり、抽籤で決った順序で次々と進められたが来賓を迎え、定刻校庭に勢揃えしたが、開会前霹雨の第一陣に見舞われ出鼻を折られた恰好。一時避難し、数分にして再び整列、小林福祉事務所長の開式のことば大会の幕があき、森松名誉統監の挨拶、優勝旗返達に続いて、病気欠席の松野安部長に代って佐藤副支部長等授与に引続き森松厚生

【写真は　水中での訓練】

水中で士気益々揚がる

河辺支部

河辺支部主催の連合訓練は、九月二日午前九時から河辺町武田地内の岩見川夏において華々しく展開した。

この日は未明からの降雨であったが、河辺、雄和の両町村から選抜された精鋭約三〇〇は、日頃鍛えた腕前を見せるはこの時と早朝寅務解の現れでかり、我々の多数の来賓を迎えて定刻岩見川の川原へ整列し、田口総務の大会宣言により大会の幕が切って落され、手

【写真は　水　の　訓　練】

洋傘で黒山を築いた参観人

汗だくで整理に当る会場係

鹿角支部

鹿角支部主催の連合訓練は、九月七日午前八時から雨が降あき、国歌斉唱の中に

【写真に　分　列　式】

五氏に輝く知事表彰

濁流と斗い人命救助（二ツ井）

八月十一日夜半から降り出た雨は、青森県境の藤琴川上流に特に激しく、藤里村の平観測所による十二日朝で五五〇ミリを観測し、藤琴川の増水甚しく二ツ井町高上場で四米の増水を見刻々水嵩を増す一方であった。

二ツ井町では午前六時藤琴川流域を担当する二ツ井町消防団第七分団と第八分団に対し出動命令を出した。その命令により出動した第七、第八分団の団員四〇名が、団長指揮の下に隨門の流水防止や堤防の矢倉防止に努めていると、一方藤琴川の増水甚しく二ツ井町高上場伊藤製菓サカエさんの度知事の内示によって国三〇才）もいるとの報告があった。

田口団長は機を失せずそ

【写真はその現場】

トーハツ ENGINES

5年来の小型エンヂンメーカーが贈る
国家消防本部検定合格品

始動の確実
サーヴィスの万全

トーハツ消防ポンプ

各馬力共サーチライト付完成品

VH型	水冷35馬力	150ポンド	500ガロン
VK型	水冷28馬力	130ポンド	370ガロン
VEⅡ型	水冷15馬力	120ポンド	250ガロン
VEⅠ型	水冷65馬力	80ポンド	120ガロン

ジエットホース

特徴　1. 水が漏らない　2. 取扱いが容易である
3. 耐久力に富む　4. 軽く、硬くならない

秋田県代理店

株式会社 高義商会

本社　稲庭川連町　電話 川連 16番 18番
支店　横手市駅前　電話 1180番 1181番
支店　十文字駅前　電話十文字 32番
秋田営業所　秋田市川反二丁目　工藤幸吉　T 秋田 3178番
県北副代理店　天王町田仲工業所　T 天王 53番
花輪町　鹿角自動車整備株式会社　T 花輪 74番

☆自衛官募集中！

一、受付期間。九月一日から試験当日まで受付けます
二、応募資格。満十八才以上二十五才未満の男子
三、採用試験。
十月廿四日（金）大館市、十月廿五日（土）能代市
十月廿六日（日）秋田市、十月廿八日（火）本荘市
十月廿九日（水）横手市、十月三十日（木）大曲市
四、詳細は最寄市町村役場または
秋田市下中城町四　県記念館内
自衛隊秋田地方連絡部　TEL（七四七六六九二一）
あてお問合を下さい。

予約募集　消防団員手帳　締切10月20日

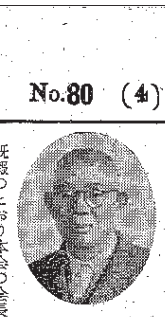
一内容一
・身分証明書表
・会員証（ミシン入）
・住所録・体重ポケット型（6.8×12糎）
・表紙ビニールクロー付
・金文字入、鉛筆付
・頁数168頁　価格80円

一附録一
・消防組織法・消防法
・消防信号等に関する規則・火災予防条例
・一般要領・ヒューズの容量表（別表一の(1)）
・ヒューズの容量表（別表一の(2)）

・電動機回路電線表
・動力
・一分間における・ポンプ放水量
・貯水池石数早見表

申込みは秋田県消防協会　電話4787

松野会長退院



既報のとおり本会の会長松野盛吉氏は、八月六日県立中央病院において胃の切開手術を行い、無反病棟に入院加療中であったが、その後順調な経過を辿り、二十二日目の去る八月二十七日全治退院した。

目下由利郡仁賀保町平沢の自宅で療養中であるが、消防関係の諸会合には出席している程度に回復している。松野会長の回復は、消防関係者から大いに喜ばれている。

注水操作訓練を顧みて

本訓練は、現場活動の勝負を決する注水操作の延長であって現場混乱是正に欠て今後の研究課題になりますことのならない規律訓練と併せて消防活動の二大要素の一つでありましょう。

「この注水動作こそ火点に向って注水射程角度を誤らず能迅も延焼進展の要術を突くことにあり、この応用動作は反面縦横無尽又緩急適応であらねばなりません。

燃焼実体の核心目標が狙いであり、これらの行動に指揮者も隊員も勝が浮くようなことであっては良い習慣必然となります。

御承知のように火災様態は、至って正直性があり絶対に吾々の弱点を突いてきます。

こんな時に一般大衆は、一知半解の盲次的に批判を浴びてきます。

正確な判断さえ把握しておれば、こんなことに迷う必要はありません。火に突撃する初戦の注水操作の優劣によって、大火か小火かの分岐点ともなります。

次に注水操作の構えについて私の所感を申述べて見たいと思います。

注水操作の構えは、この構えは「打てば響く」という手ごたえのある構えでなければ意味がない。

昔の宮本武蔵の秘法に「速き期を知り遅き期を知り遅きを知る期を知り迅れざるなし」とありますが、消防作戦の妙技を発揮するにそのままあてはまる文句であります。

現代の一口にいう化学消防とは消火の原理を実戦に正して実行し得ることで所謂鳥刺注水の無駄水と適調注水等は、幼稚な消防とされ、一振り千両活殺自由の境地えこそ立派な化学消火として成り立っています。

つまり火勢の実を突くところの一捨多生の構えが、正確放水射程となり、火消初手段であるとの手段でありますが、一段にいう火災防禦とは攻撃を意味し、攻撃が自ら防禦となるからであります。

相手が太道火災であれば、なお更、吾々の活動の歳を突いてくるから一足一刀の間合いこそ大切で、なければ有効放水射程であります。

この間合いの下手さから初戦に破れ大火にした例は、ざらにあります。

初戦の攻撃放水量敏えて敵くべきでありません、攻めるところに守るところの心の余裕と強心態勢こそ大勢麦持の故智であります。

何人も高先を把握し放水姿勢となれば、必殺一撃防圧の心が湧き出ずるであり、ましょう。即ち脳裏に去来する火に負けてはならない欲念こそ真に己を忘れ火に勝ちたいと念じ、胸中皆一致したいものであります。

本県市消防署長　佐藤直治郎

今回の幾多の訓練実態を見聞し、今後も大いにその道を開いて研究し県下の火災損害の半減を見たいものであります。

一度水の口を放たれんか、一ガロンの水も粗末に出来ない訳であります。

予防係主任に進藤氏

防災本部の事務分担変る

昨年十月一日湯沢市に派遣を命ぜられ、これまで同市の消防署長を勤めておった県防災訓練本部の主事進藤俊助氏は九月一日付で派遣が解かれ防災訓練本部へ帰任したことは別掲のとおりであるが、防災訓練本部では進藤氏の帰任に伴い、同本部の事務分担について部変更を発表した。新しい事務分担表は次のとおりであるが、これによると従来は庶務、消防、水防の三係に分けておったが、この度消防係を指導係と予防係の二係に分け、新設の指導係主任はこれまでの消防主任佐々木匡氏、予防係主任には湯沢市から帰任した進藤俊助がそれぞれ任命された。

○新事務分担

本部長　手賀義雄　総括
次　長　佐藤尚士
防災行政全般の企画、人事

○庶務、災害救助係
主　事　治　雄
救助備蓄物資の保管
主　事　足　田　猶
消防施設の国庫、県費補助、災害救助金交付。
主　事　石　山　良　吉
予算の編成、支出経理、物品の購入、修繕、保管
主事補　館　谷　剛　子
旅費傳給等の給与支払、文書

○消防指導係
主　事（主任）佐々木　匡
教養訓練の企画、市町村消防に対する勧告、助言
市町村相互の連絡
主　事　宮　嶋　長一郎
県の総合的年間消防計画の樹立、市町村消防計画の樹立指導、消防施設の整備強化。
技　師　工　藤　直　治
消防機械器具の性能検査
消防ポンプの動態調査、機械係の教養訓練
技師補　大　石　正　則
工藤技師に同じ

○消防予防係
主　事（主任）進藤　俊助
防火思想の普及宣伝、少年消防クラブ、火災予防団体の育成指導、公共建物の特別防火指導、火災警報。
主　事　片　村　清　悦
建築の同意事務指導、危険物等の指導取締、資格試験、火災の原因調査
技師補　井　上　和　吉
火災報告、消防情報、消防統計

○水防気象係
主　事（主任）泰田　高次
気象調査、気象対策、水防計画、水防協議会、洪水予報、水防警報、水防の実施、その他の災害。
主　事　高　橋　良　蔵
水防管理団体、水防施設の整備補助、水防訓練、水防上の連絡

○部納、雄和村、平鹿町、雄物川町等三ヶ町村。
八月中の納入者況
一金　二万九千三百円也

本県日消会館寄附未だ四三%

近く竣工する日本消防会館の建設資金に対する本県の寄附納入状況は、未だ百三十六万円余で割当額の四三%というところ、未納町村は一日も早くと消防協会では懇願している。

現在までの状況は、

○完納、秋田市、能代市、大館市、鷹巣市、大曲市、小坂町、十和田町、鷹巣町、二ツ井町、藤里村、五城目町、象潟町、矢島町、由利村、六郷町、羽後町、東成瀬村、皆瀬村、八竜村等十九ヶ市町村。

○半納、本荘市、花輪町、八森町、河辺町、仁賀保町、仙南村等六ヶ市町村

○一部納、雄和村、平鹿町、雄物川町等三ヶ町村。

八月中の納入者況
一金　二万九千三百円也

本県日消会館寄附納入状況	
八月十六日 大曲市消防団	百三十六万八千三百円也
計	百三十六万八千三百円也

火災の実態と消防の現況 ⑥

秋田県防災訓練本部発表

◎月別火災状況（）内は部分焼を示す

月別	出火件数 合計	建物 計	建物 延焼	建物 不延	林野	車輛	その他船舶	焼損 計	焼損 金額	焼損 半焼	焼損 部分焼	焼失 物数	焼失 林野数	死者	負傷者	罹災世帯数 計	罹災世帯数 金額	罹災世帯数 半焼	罹災人員	損害見積額 合計	建物	林野	車輛	その他
計	417	383	118	265	14	7	13	1,121	945	61	115	30,056.97	314,800	8	179	(73)		(73)	3,734	1,193,405,529	1,190,363,428	2,162,820	310,230	569,050
1月	37	35	2	33		1	1	30	16	5	9	680.63		3	4	637	589	48(6)	71	19,059,859	18,969,859		70,000	20,000
2月	27	27	5	22				39	33	3	3	1,095.5			1	15(6)	11	4(2)	116	35,917,510	35,917,510			
3月	44	42	14	28			2	96	77	8	11	2,210.84		2	10	22(2)	19	3(9)	349	56,576,215	56,572,715			3,500
4月	53	48	17	31	4		1	132	105	7	20	3,024.11	40,500	2	12	64(9)	57	7(6)	481	72,693,010	72,124,190	568,320		500
5月	53	43	14	29	9	1		381	457	5	19	9,515.09	268,300	1	69	90(6)	82	8(14)	1,363	320,261,184	318,586,034	1,593,500		
6月	28	26	7	19			2	34	21	6	7	585.5			5	221(4)	218	3(6)	118	13,220,280	13,218,930		81,650	1,350
7月	25	21	8	13		2	2	63	56	1	6	1,563.24			1	23(6)	16	7(4)	199	42,077,892	41,573,612			500,500
8月	29	26	5	21		2	1	48	39	2	7	3,487.64			42	32(4)	32	(4)	145	185,011,600	184,921,800		3,780	35,000
9月	22	21	13	8			1	45	37	4	6	1,087.21			14	22(4)	22	(2)	102	30,249,168	30,244,168		54,800	5,000
10月	26	22	6	16		1	3	45	38	1	6	1,059.58			3	20(2)	18	2(3)	89	29,779,550	29,676,150			3,200
11月	31	30	11	19	1			125	107	10	8	2,993.2	6,000		12	17(3)	15	2(5)	450	105,298,450	105,297,450	1,000	100,000	
12月	42	42	16	26				83	59	9	15	2,754.43			6	72(5)	64	8(12)	251	283,261,010	283,261,010			
昭31	343	320	99	221		7	16	3,605	3,418	104	83	124,535		14	147	39(12)	35	4	13,393	6,771,342,825	6,770,589,921		180,200	572,704
30	297							998				29,487		7	99	2,388(47)	2,521	(47)		1,275,300,000				
29	360							1,005	759	127	119	31,409		13	126	780	680	61(36)		1,299,775,000				
28	372							1,092	754	55	73	29,702		14	67	634		64		1,379,400,168				
27	328							882	720	80	94	22,273		9	42	663				597,444,927				
26	392							1,653	1,540	113		19,269		17	65	470		(73)		383,716,823				

人事異動

○秋田県（九月一日）
事務吏員　進藤　俊助

○湯沢市派遣を解く
湯沢市（九月一日）
消防署長　宗消防本部次長
進藤俊助
司令長　消防本部次長
消防署長並びに消防本部次長の職を解く
富樫　治

○男鹿南秋支部
九月三日
男鹿市船川港において、男鹿南秋支部と男鹿分会共催で男鹿部の消防機動部隊による駐付訓練を行った。

○湯沢市（九月一日）
消防署長　宗消防本部次長
進藤俊助
司令長に補する
消防署長を命ずる
消防本部次長を兼ねて命ずる。

支部だより

○秋田市
八月二十九日
本庄国際運合協会後援の下に、同協会催事の「すわの王子」を迎え、消防団の家族慰安会を開き盛会を極めた。

○岩城町
八月十六日
岡町記念館において消防団の秋祭を開いた。

○二ツ井町
九月十六日
二ツ井町において消防団の秋季訓練大会を開いた。

○男鹿市
九月三日
男鹿市船川港油所において、同製油所の消防団の秋季訓練大会を開いた。

○秋田市
八月二十九日
本庄国際運合協会後援の下に、同協会催事の「すわの王子」を迎え、消防団の家族慰安会を開き盛会を極めた。

○岩城町
八月十六日
岡町記念館において消防団の秋祭を開いた。

○二ツ井町
九月十六日
二ツ井町において消防団の秋季訓練大会を開いた。

○男鹿市
九月三日
男鹿市船川港油所において、同製油所の消防団の秋季訓練大会を開いた。

消防短信

○男鹿南秋支部
九月三日
男鹿市船川港において、男鹿南秋支部と男鹿分会共催で男鹿部の消防機動部隊による駐付訓練を行った。

○湯沢市（九月一日）
消防署長　宗消防本部次長
進藤俊助
司令長に補する
消防署長を命ずる
消防本部次長を兼ねて命ずる。

○秋田市
八月二十九日
本庄国際運合協会後援の下に、同協会催事の「すわの王子」を迎え、消防団の家族慰安会を開き盛会を極めた。

○岩城町
八月十六日
岡町記念館において消防団の秋祭を開いた。

○二ツ井町
九月十六日
二ツ井町において消防団の秋季訓練大会を開いた。

○男鹿市
九月三日
男鹿市船川港油所において、同製油所の消防団の秋季訓練大会を開いた

月刊毎月25日発行

消防秋田

定価1部10円
秋田市土手長町
発行所　秋田県消防協会
発行兼編集人　伊藤忠太郎
秋田市下新町七
印刷所　太陽印刷株式会社
横手市西二三五番

消防制度改正の大綱説明

国消・日消など四者会談で

国消本部を国家消防庁に復活か……

国消本部では、かねてから懸案になっていた消防審議会の答申に基く、消防制度の改正即ち消防組織法、消防法、消防施設強化促進法の改正要綱を作り九月四日、国消・都道府県・日消・全消連の四者代表者会議を開き説明した。

この日は繰綿を出さず検討の上不日改めて会談を開き審議することにした模様であるが、四者会談で説明された要綱案は次のとおりである。

○消防組織法

職・員の任免権は市町村長

一、市町村、都道府県および国の消防責任を明かにすること。

① 市町村は、消防活動の主体として第一次的に消防責任を有する。

② 都道府県は、市町村の消防が十分に行われるように補完すべき責任を有する。

③ 国は、都道府県および市町村の消防に関する責任が十分達成されるよう指導すべき責任を有するとともに、法令に基く国の消防責任を有する。

二、国および都道府県の消防に関する組織、権限の強化を図ること。

① 国(イ)組織の強化

④ 国家消防本部を消防庁とする。(消防庁長官、次長を置く)

⑤ 消防審議会を常置する。

⑥ 消防講習所を消防大学校に昇格。

● 国消が自治庁、内政省(仮称)、防災省(仮称)のいずれかの内局或は外局となることがあっても国家消防本部から国家消防庁に格上げが期待されている。

(ロ) 権限の強化

Ⓐ 都道府県ならびに市町村の消防に関する組織運営の合理化をはかるため調査指導、助言および勧告を行うこと。

Ⓑ 消防に関し、関係行政機関との事務連絡、調整および協力を行うこと。

Ⓒ 特殊消防対象物に対する立入検査の実施、報告の聴取、調査および資材の提出命令を行うこと。

Ⓓ 特殊火災の調査を行うこと。

Ⓔ 都道府県および市町村の消防計画策定の指導を行うこと。

Ⓕ 市町村の消防に必要な人員、施設の基準を設定すること。

Ⓖ 消防署および消防学校の設置基準を設定すること。

Ⓗ 危険物取扱者試験、危険物運搬主任者試験、映写技術者試験および電気工事人試験の基準を作成し、並びに指導を行うこと。

① 火災に関し、危険な器具の品質改善に関する勧告を行うこと。

② 都道府県および市町村の消防職員の人事交流の斡旋を行うこと。

③ 火災の地域的危険度の測定、公表を行うこと。

④ 毎年消防現況の公表を行うこと。

② 都道府県

(イ) 組織の強化

Ⓐ 政令で定める資格を有する消防主事を置くこと。

Ⓑ 消防学校の設置、運営を義務化すること。

(ロ) 権限の強化(国の場合対象が都道府県市町村であるが、対象は市町村となり国の場合の権限に準じている)

三、市町村消防に関する組織、運営の合理化等をはかること。

① 消防職員の任用は、消防長の助言により、市町村長が行うこと。

② 常勤消防団員の任用は、消防団長の助言により、市町村長が行うこと。

③ 消防本部を設置する市町村においては、消防署および消防団を消防本部の下に置き、消防署および消防団は、消防長の指揮を受けて行動する。

④ 消防長は、一定期間の経験を有し、または所定の講習を受けた者の中から任用すること。

⑤ 消防本部の設置および名称、消防署の設置名称および管轄区域ならびに消防団の設置、名称および管轄区域を条例で定めること。

⑥ 消防吏員ならびに団員の階級、礼式、服制および訓練基準を総理府令で定めること。

⑦ 消防本部の設置および廃止は、知事との協議を必要とすること。

⑧ 消防計画を策定すること。

四、市町村相互応援協定

義務化するとともに、自衛消防隊と応援協定を締結することができるものとすること。

五、消防作業従事者の災害補償に関する規定を消防組織法に置くこと。

一、消防審議会の答申およびこれに基く消防組織法の改正に伴うものならびに消防庁(長官)および都道府県(知事)の消防行政の規制の法定。

① 消防庁(長官)の消防行政の規制

(イ) 特殊消防対象物に対する立入検査の実施、報告の聴取および資料提出命令に関すること。

(ロ) 特殊火災の調査に関すること。

(ハ) 危険物取扱主任者試験、危険物運搬主任者試験、映写技術者試験および電気工事人試験の基準の作成および指導に関すること。

(ニ) 火災等の災害に関して危険な器具等の品質改善勧告に関すること。

② 都道府県(知事)の消防行政の規制

(イ) 特殊消防対象物および消防本部未設置市町村における消防対象物に対する立入検査の実施、報告の聴取および火災の調査に関すること。

(ロ) 消防本部未設置市町村における危険物および準危険物(仮称)取締ならびに政令で定めるその他の建築等に関する関係行政機関の許可、認可または確認に対する同意に関すること。

(ハ) 危険物取扱主任者試験、危険物運搬主任者試験、映写技術者試験および電気工事人試験の実施に関すること。

二、現行消防法の不備の補正または改善を行うもの

① 火災以外の災害の防止、被害軽減に関すること。

② 新たに準危険物(仮称)の区分を設け、危険物準危険物に関する予防行政の合理化に関すること。

③ 建築物以外の政令で定める工作物の新築等に関する関係行政機関の許可、認可または確認に対する同意に関すること。

三、火災予防に関し、従来条例で規定された事項を法令で規定するもの。

① 火災予防に関する行為の規制に関すること。

(イ) 火気取扱等の届出に関すること。

(ロ) 危険物および準危険物の製造等の遵守事項に関すること。

(ハ) 危険物および準危険物運搬者の遵守事項に関すること。

(ニ) 消防用機械、器具および資材の性能試験に関すること。

(ホ) 火災に関する警報の発令について市町村に対する指示に関すること。

③ 市町村消防行政の追加

(イ) 火災等の災害警戒のため、資材および水利等の確保ならびに危険物等の緊急措置に関すること。

(ロ) 自衛消防隊との応援協定に関すること。

(ハ) 救急活動に関すること。

⑩ 高圧ガス取締法に基き許可または届出が行われた事項を、当該市町村に通知すること。

④ 政令で指定する場所における火気取扱の禁止または制限に関すること。

⑤ 消防危険区域の指定に関すること。

⑥ 消防力の整備配備に関すること。

⑦ 政令で定める場所の定員管理に関すること。

⑧ 飛火警戒に関すること。

⑨ 火薬類取締法に基き許可または届出が行われた事項を当該市町村長に通知すること。

○消防法

火災予防に関する事項は法令で規定

自然水利用の吸水施設にも補助

国家消防本部では、消防備を急いでいるが、全国三百万消防関係者は大いにこれが緩和を待っている。

この法律の改正点は、別掲のとおりであるが、これが基準額の三分の一の補助という内容の改正であり、関係者から大いに好感をもって迎えられている。

国家消防本部では、消防力増強五カ年計画を樹て、この初年度として三十四年度予算に消防施設費国庫補助を十八億要求しており、またこれと併行して、これが根拠となる消防施設強化促進法の一部改正法案も次期国会に提案すべくその準備を急いでいる。

この法律の改正点は、別掲のとおりであるが、これが基準額の三分の一の補助を二分の一に引上げる外、市町村の建入又は施設する消防ポンプと防火水そう、中自然水利用の吸水施設までその範囲を拡大するとともにこれまで会然顧みられなかった都道府県の消防学校や救急車、消防艇、超短波無電、短波無電に混られてあったものを、化学消防車や救急車、消防艇、超短波無電の施設、設材および電気工事人試験の実施に関すること。

○消防施設強化促進法

補助率二分の一に引上げ

その対象も拡大

一、新たな都道府県の政令で定める消防施設の購入または設置に対して補助するものとし、市町村については、従前より補助の対象のの拡大を図ること。

二、補助率を三分の一以内から二分の一以内に引き上げること。

三、都道府県に交付する補助金の交付の手続について規定を加えるとともに現行規定の整備を図ること。

消防施設強化のため

県費補助・九十万円追加(九月県会で議決)

補助金総額二百七十万円

県では、市町村の消防体制強化のため小型動力ポンプと防火水そうに対する補助金として当初予算で百八十万円計上しておったが、消防大会等における消防関係者の叫びが反影してか、更に九月県会で九十万円を追加計上し、満場一致これが議決を見た。

これで本年度は、小型動力ポンプ二五台に対し六万百五十万円、防火水そう三〇個に対し四万円づつ百二十万円、合計二百七十万円が県費補助として出されることになる。

消防ポンプは
ニッキとラビット号
各種附属と被服金般火品、器各種
特約店　赤穂消防機具店
横手市富士見町　電話八三八番

トーハツ ENGINES
5年来の小型エンジンメーカーが贈る
国家消防本部検定合格品
始動の確実
サーヴィスの万全
トーハツ消防ポンプ

各馬力共サーチライト付完成品	VH型	水冷35馬力	150ポンド	500ガロン
	VK型	水冷28馬力	130ポンド	370ガロン
	VEⅡ型	水冷15馬力	120ポンド	250ガロン
	VEⅠ型	水冷65馬力	80ポンド	120ガロン

ジェットホース
特徴　1. 水が漏らない　2. 取扱いが容易である
3. 耐久力に富む　4. 軽く、硬くならない
秋田県代理店
株式会社　高義商会
本社　稲庭川連町　電話 川連 16番 18番
横手市駅前　電話 1180番 1181番
十文字駅前　電話十文字 32番
秋田営業所　秋田市川反二丁目　工藤幸吉　T 秋田 3178番
県北副代理店　天王町田仲工業所　T 天王 53番
花輪町　鹿角自動車整備株式会社　T 花輪 74番

前文部大臣　松村謙三 序
秋田県厚生部長　森松孝作 著
随筆　芝蘭
B6版　¥250
箱入・美装本
装画　泉川白水
目下発売中！
各界から好評
——著者の横顔——
著者は富山県庄川流域福野町野尻の出身、日本大学に於て政治学を専攻。昭和六年農林省官房統計課に奉職。これが官界生活の振り出しである。昭和十六年厚生省官房統計課長に転任。その後兵事厚生課長、監理課長、秘書課長、社会課長を経て昭和二十一年民生部長に栄進。同二十三年労働部の新設に伴い初代労働部長になった。次で昭和二十五年本県労働部長に着任。昭和三十年国際労働会議に日本政府代表を命ぜられ、外務省嘱労働省調査官として南米ヴェネズエラに赴く。帰途中南米、アメリカ、カナダ始め十一カ国の労働事情を視察して帰朝。昭和三十年機構改革により民生、衛生を統合し厚生部が設けらるるや初代厚生部長となり今日に至る。襟放らいらく、お役人生活は長いがお役人の臭味はみじんもない。酒も伴々いける。座談はすこぶる上手、歌は天下一品まことに、あかぬけした風流なお仁である。
公人生活三十年の風流部長が折にふれ綴った随筆集
……ぜひ一冊お手元に……
申込みは——秋田県消防協会　電話秋田4787

全県に呼びかけた 県民総消防の体制確立

防災訓練本部

火災に関することは当然生部長の名をもって全県各市町村宛別項のような規約により県民の協力は十分といい得ぬ状況であります。

消防の仕事であるが、現在の消防体制からしては、火の予防から初期防火方法に力体制を整えて滅きたいと飛火の処理に至るまで火災に関することを一切を消防機関が理想的に処理することは、極めて困難な実情である。

然るに最近における一般の消防に対する協力体制は必ずしも十分とはいい難い市町村の消防施設は最近少しずつ整備強化されてきているが、多くの市町村では、新しいポンプでも購入すると、直ぐそれにのみ依存し警火思想の低下までとはいしその成果を着々あげていかぬまでも消防に対する協力する市町村もあり、又多くは力が急に減退するような気運になっているように窺われる。

このまま過過するときは住民は次第に消防から離れて行き、施設が強化されてもこの面が弱体するからと通じて最も多く、八月末現のままにしておけないと、在三〇七件の発生を見ておりの消防訓練本部ではこの種の協力体制を整え、第一線の消防体制を強化しようと厚者の努力の賜と考えられます。

市町村長、福祉事務所長殿

防火委員会等の設立（促進）について

このことについては、きに県の大火防止対策の一環として、関係市町村に呼びかけておりましたところ、別紙設立を見、強力に推進のでよろしく御配慮のうえ速急設立方をお願い致します。

設立に当り具体的な説明を要する向については、御連絡あり次第善処します。

なお福祉事務所長は設立促進方の御指導をお願いします。

この際宗教関係市町村消防行政に反映せしめて市町村自体による予防面の徹底を期するとともに無火災秋田県の実現を期したいので、別紙会則案を添付しました国会に提案を予定されている消防三法の一部改正案の骨子も国民総消防を強く打ち出されております。

この際宗教関係市町村消防に協力する婦人機関的な防火委員会（仮称）の設立を願い同委員会の意見を消防行政に反映せしめて市町村自体による予防面の徹底を

(一) 警火思想の普及
(二) 防火査察の徹底と研究
(三) 特殊建物の防火と家庭防火の推進
(四) 火災予防施設
(五) 初期消火設備
(六) 火災予防団体の育成指導
(七) 火災予防団体の育成
二、防火的な生活改善の徹底
(一) 建築物の不燃化と防火改修の奨励
(二) 生活改善に基く家庭環境の整理
三、消防施設の整備強化
(一) 消防機関の整備
(二) 消防水利の整備
(三) 通信施設の整備

第一条　本委員会は、○○町防火委員会と称する。（事務所の位置）

第二条　本委員会の事務所を○○町役場におく。（目的）

第三条　本委員会は徹底した自治消防の体制を確立するため、消防機関を中心として町民総消防の実現を図り、無火災町の実現を目的とする。（事業）

第四条　本委員会は、前条の規定による目的を達成するため、次の各号に掲げる調査研究を行いこれを推進するものとする。

一、火災予防の徹底
(一) 自衛意識の高揚
(二) 警火思想の普及
(三) 防火査察の徹底と研究
(四) 特殊建物の防火と家庭防火の推進
(五) 火災予防施設
(六) 初期消火設備
(七) 火災予防団体の育成
二、防火的な生活改善の徹底
(一) 建築物の不燃化と防火改修の奨励
(二) 生活改善に基く家庭環境の整理
三、消防施設の整備強化
(一) 消防機関の整備
(二) 消防水利の整備
(三) 通信施設の整備

第五条　本委員会は、次の団体のうちから町長が命じ又は委嘱し、委員○○名をもって組織する。（組織）

一町、二議会、三消防団、四学校、五学識経験者、六新生活運動協議会、七婦人会

第六条　本委員会に次の役員をおく。

一名
二名
若干名

金長
副会長
顧問

第七条　前条に規定する会長および副会長は、委員会において推せんし、顧問は委員会の同意を得て会長これを委嘱する。

2　会長は、会務を総理し本委員会を代表する。

3　副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは会長の職務を代理する。

4　顧問は、会議に出席し意見を開陳し、諮問に応ずるものとする。

四、総合的消防訓練の徹底
(一) 消防機関の訓練に対する一般住民の協力訓練
五、前号に定めるものの外必要と認める事項

第八条　委員の任期は○年とする。但し再任は妨げない。（委員の任期）

第九条　会長は、毎年四回定例会議を召集し、議長となる。（会議）

2　会長若しくは委員の過半数が委員会を開く必要があると認めたときは、臨時会を開く事ができる。

第十条　本委員会に書記若干名をおき会長これを委嘱する。

書記は、会長の命を受け会務に従事する。（書記）

第十一条　本規約に定めるものの外、本委員会の運営に関し必要な事項は会長が委員会の同意を得て別に定める。

附則

この規約は、公布の日から施行する。

トーハツ ENGINES
トーハツポンプ
県北代理店　田仲工業所
南秋田郡天王町天王 T天王53

▼原稿募集▲

本紙「消防秋田」も、皆様のご支援とご協力によって順調な歩みを続け嬉かに育ち、七才になりました。整読者の皆様から県内の事情や状況をもっと詳しく知りたいという声が出ております。編集室でも多彩な紙面に応えたいと念じております。論文・座談・体験談・美談・ニュース・短歌・俳句・川柳・漫画・その他なんでも結構です。どんどん寄稿し消防の情報や知識を交換しようではありませんか。

訓練中ポンプ焼く

県が取扱について警告

鹿角郡十和田町消防団であって、焼いたポンプは、九月二日同町錦木字田一九二九年式のA型フォー地内の大湯川々原において、ドと二段バランスタービンの支部大会に備えるため、注水操作訓練を行ったところ使っていたポンプが突然燃え出し、必死の消火もその効なくポンプが使いものにならないほど焼けた。

この事故を知った県防災訓練本部では早速係の工藤技師を現地に派遣して調査させたが、その調査結果によると、原因は次のとおりで、取扱上の拙劣から起って事故であるから、その責を踏ませないよう直ちに各市町村宛警告を発した。

当時は曇天で東の風、風速三メートル、温度二二度湿度八五％という気象状況

出火の原因を仔細に検討するに、機関員が放水操作訓練のため高速運転で送水中、燃料タンクからガソリンが洩れているのを発見して直ちにエンジンのスイッチを切ったところ後火（アフターファイヤー）を起し漏洩しているガソリンに引火して大事に至ったのである。

◎注意事項

この種事故を未然に防止するためには次のような注意が必要であると警告した。

日頃の整備は勿論であるが訓練等の実施前にはよく各部の点検を行いガソリンの漏洩による汚染の有無を確認すること。

一　ポンプ機装の際は、燃料系統付近への消音器（マフラー）取付にはその位置を研究すること。

二　後火（アフターファイヤー）を起す原因には次のものがあるから注意を要する。

(イ) 機関電気位置の調整不良（遅そ過ぎ）
(ロ) スパークプラグの不良
(ハ) 混合ガスの濃厚（気化器の弱整不良）
(ニ) バルブ（弁）の不良（排気バルブの密着及び間隙不良）
(ホ) カーボンの堆積

三　高速運転の際スイッチを切っても、惰性のため直ぐ回転が止まらない。その情性回転のため不燃焼のガスが発生し、排気管から放出され、高速運転のため熱せられている消音器を流れ出るとき着火後火を起すのである。

故に高速運転の際は、まず低速運転にレバーを切り替え、然る後スイッチを切るようにしなければならない。

今年の火災

損害は昨年の半分

防災訓練本部ではこの程五十八棟の減少を示し、その防火週間行事の一つとして九月末までの火災概況を発表したが、郡市別の状況は次のとおりである。

昨年同期に比較すると、全県的には出火件数は一〇件、死者は七人の増加を見ているが、焼失棟数は二百棟減で昨年同期の半減である。

なお火災原因のトップは依然美火で次は煙草、コタツ、風呂場、ストーブ、煙突と続いている。

郡市別火災状況

区分 郡市別	件数	棟数	世帯数	坪数	死者	傷者	損害額	1人当損害額	1件当損害額	1件当坪数
合計	328	610	(47) 357	14,484	15	68	394,283,873	288	1,202,084	44
秋田市	35	54	(8) 46	1,246	3	7	39,037,800	206	1,115,365	36
能代市	15	57	(2) 33	1,422	4	7	16,939,474	259	1,129,298	96
横手市	23	23	(5) 8	253	1	3	6,088,384	121	264,712	11
大館市	32	35	(4) 21	617		5	17,281,870	292	540,058	19
本荘市	8	24	12	637		2	11,636,115	304	1,454,514	80
男鹿市	18	24	(1) 20	520		4	20,512,140	412	1,139,563	29
湯沢市	12	18	(4) 8	296		7	7,814,300	184	651,191	25
大曲市	20	16	(2) 9	366	1	1	27,398,900	664	1,369,945	18

区分 郡市別	件数	棟数	世帯数	坪数	死者	傷者	損害額	1人当損害額	1件当損害額	1件当坪数
鹿角郡	16	34	18	1,027	1	3	19,867,000	253	1,241,687	64
北秋田郡	34	133	(4) 65	3,129	1	3	106,815,030	862	1,241,687	92
山本郡	11	31	(1) 21	863			26,077,000	323	2,370,636	78
南秋田郡	22	46	(2) 27	1,043	1	2	34,504,460	438	1,568,384	47
河辺郡	3	7	7	228			6,462,000	232	2,154,000	76
由利郡	16	23	(3) 19	737	1	4	13,752,400	126	859,525	46
仙北郡	38	48	(6) 25	1,071	1	6	21,113,500	133	555,619	28
平鹿郡	14	26	(4) 10	692	1	11	13,899,500	141	992,821	49
雄勝郡	11	13	(1) 8	337		3	5,084,500	68	462,227	30

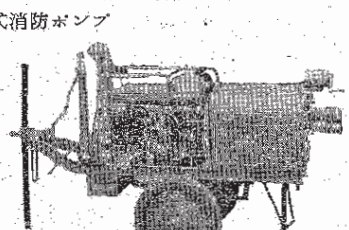
国消検定
A—1級1000ガロン型
A—1級
A—2級　合格
B—1級
B—2級

恐ろしい火魔の守りは！
ポンプ

K.K 渡辺ポンプ諸機械製作所　TEL 311.162
秋田出張所　秋田市西根小屋町16番地　秋田芝浦ポンプ内　TEL 6862
本荘出張所　本荘市二十六木　岡本豊治　TEL 413

最近の御注文先
鷹ノ巣町消防署
本荘市消防署
五城目町消防団
仁賀保町役場
井川村役場
岩城町役場
矢島町消防団
西仙北町消防団

秋田県推奨県産優良認定品
特許 松野式消防ポンプ



経営推進
事業整備拡充

藤高自動車興業株式会社
消防ポンプ部
自動車ポンプ・特許三輪ポンプ・各種手良ポンプ
ポンプ（販売 部品 修理）秋田市亀ノ丁鹿ノ目14の1　TEL 4716
本社（秋興）TEL 4420
自動車（販売）秋田市上茶町二丁目30　TEL 6452
（部品）秋田市上茶町二丁目30　TEL 3888
（機械）秋田市上茶町二丁目31　TEL 6462

はやくみつけて、はやくけす！

11月4日 → 11月10日

秋の防火週間

査察の励行と電気火災の防止が重点
避難・救助と警防体制の強化
弁論大会など行事多彩

今年は、昨年に比べ出火件数は増加したが、焼失坪数も損害額も大巾に減少したことは、火災の早期発見と初期消火の徹底した証左であるといえよう。

出火の増加は、消防力の強化にもかかわらずなお避けられないものがある。殊に一年を通じ火の使用率の多くなる冬季は四、五月に次ぐ火災期と呼ばれ、この火災期における火災の損害は、他の季節には比べることのできないほど大きいばかりでなく、死傷者の多く出る火災季節である。

本年も恒例によって秋の防火週間を全国運動に魁けて、来る十一月四日から全県一斉に活発に展開することになり、県防災訓練本部ではこのほど次の実施要綱を示して、関係各方面の協力を得、漸新且つ実質的な企画の下に、万全の準備を整え、実効の挙るような運動を活発に展開して貰いたいと、各市町村宛通牒を発した。

秋の火災予防運動 実施要綱

目的

火災予防思想の向上特に火災の早期発見、迅速な消防機関に対する通報の徹底を図って、初期消火の確実を期し、もって火災を早期に鎮滅し、それによる被害を減少して、社会の福祉と県民経済の増進を図るにある。

実施区域　全県一円

実施期間　11月4日～10日

実施要領

○県において行うもの（全県的に共通なものを取扱う）

ラジオ放送、新聞的表、ポスター、立看板等による宣伝、防火映画フイルムの斡旋、防火ポスターの懸賞募集、防火座談会統計の発表、交通機関利用宣伝、防火弁論大会

○市町村で行うもの

一　火災の早期発見と初期消火

1　あらゆる放送機関と会合を利用して「はやくみつけて、はやくけす」の標語を掲げ、早期発見の心構えと同義語であり、火災を制するものは、早期発見と初期消火にあるので次の事項の徹底を図る。

2　早期発見の心構えと装置の整備の徹底

初期消火設備の徹底

早期通報の徹底

3　火災予防査察

火災は殆んど不注意によるものといわれるが、火を使用する設備、器具等の不備を知りつつ使用している場合に発生する例が多い。この意味において消防職、団員は、国家消防本部から示されている火災予防査察を徹底的に実施して不備、不完全なものに対する補修を強力に実施させて火災の未然防止を図る。

(1)　電気火災の防止について

電気に起因する火災は近年非常に多くなり、その中でも、配線関係、電気こんろ、電灯、モータースイッチ等に特に多いので、地元電力関係業者の協力を求めて

(イ)　不良器具の使用禁止の勧奨

(ロ)　電気器具の適正な取扱いの指導

(ハ)　素人電気工事に基く火災が多いので、必ず専門家に行わせるよう指導する

(ニ)　子どもの弄火防止について

(イ)　火源となるマッチ、ライター等は、幼児の眉かぬ所に必ずしまっておくよう指導する

(ロ)　火鉢、こんろ、ストーブ等火の近くでセルロイド玩具や燃え易いものを持たせず紙屑等は整理しておくよう指導する。

(ハ)　電気アイロン、電熱器等のスイッチの差込み、コード等に触れさせないよう注意すると共に子供ばかりで花火や火遊びをさせないよう十分注意指導する。

○県消防協会では、十月二日午後一時から秋田市土手長町末丁のグリル秋田クラブ三階会議室において常任理事会を開き、北海道、東北七県消防連絡協議会や全県消防大会において決議した問題の処理方法その他を審議した。

この日は、松野会長や渡部副会長、手賀理事長等は所用のため欠席したが、小泉、山本の両副会長をはじめ、安田、伊藤（隆）伊藤（子）、柴田、佐藤の各常任理事に、常任理事代理の宮腰、吉島の両理事等九氏出席のもとに次の議案を慎重審議し、括弧内のようにそれぞれ決定した。

決議事項の処理方法等を決める
常任理事会・十月二日

○北海道東北七県消防連絡協議会における決議事項の処理について

（陳情書は十月十日まで作成を完了し、代表者により陳情する。中央機関に対するものは、十一月二十一日上京して陳情する）

○県消防大会における決議事項の処理について

（右に同じ）

○秋の防火運動実施について

（十一月四日（火）から十日（月）までの一週間全県一斉に実施する）

○火災互助会の運営状況について

（九月三十日現在における入会者総数は、二万八千四十九名で全県消防団（職）員の約九割が加入している。この積立金の総計は八百四十一万四千七百円これに対する本年度の罹災者数は、七十一名でその見舞金の決定額は四百三十五万円。この半額は既に支払済み、この分で行けば今年度は百％支払いは可能であるばかりでなく、三百万円以上の黒字で決算できる見込みであると、事務当局の明るい説明があってこれを諒承した）

○日本消防協会の表彰について

（表彰旗、学頭授、功績章、精績章の受賞該当者の内申は、十月三十日の期限を厳守する）

○日本消防会館の建設費に対する寄付金の納入促進について

（日消会館の寄付は速やかに納入を完了するよう努力する）

防災主任者研修会
10月24日～25日

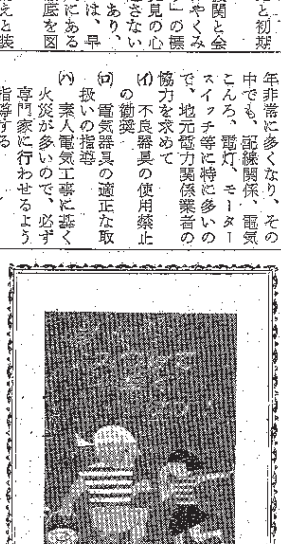
県防災訓練本部では、消防主任者の参集を求め、秋田市防協会と共同主催で十月二日自治会議室において、十四日と二十五日の二日間、防災行政全般に亘る研修会を開き、事務能率の向上を図る。

防火弁論大会開く
11月9日　中、高校生

秋の防火週間行事の一として、県と消防協会が共催し、十一月九日午前十時半から秋田市敬愛高等学院講堂において全県中学校、高等学校代表一名計二〇名を予定しており、審査の結果、一、二、三位には、賞品、その他には参加賞が贈られることになっている。

この大会に出席する選手は、各郡市支部の予選で第一位になった者で、各支部から中学校代表一名、高等学校代表一名、高等学校生徒による防火弁論大会を開き、弁論を通して防火思想の普及宣伝に努めることになったが、本県としてはじめての試みである。

なお一般の入場は無料である。



予約募集　消防団員手帳
締切10月30日

一内　容一

- 身分証明書
- 会議紙
- 白紙
- 住所録
- 表紙ビニールクロース
- 命令文字入
- 頁数168頁
- 七曜表
- 日記
- 日シン入
- ミ印付価額布
- 体裁ポケット型（6.8×12糎）
- 価格80円

一附　録一

- 消防組織法
- 消防信号等に関する規則
- 火災予防法
- 消防関する法
- 消防査察一般要領
- 火災予防容量表
- ヒューズの容量表（別表一の(1)）
- ヒューズの容量表（別表一の(2)）
- 電動機回路に於ける動力
- 一分間ポンプ放水量表
- 貯水池石数早見表

◀申込みは　秋田県消防協会　電話4787▶

消防団の機構縮少（秋田市）

秋田市では消防の機構化に伴い、これまで一七地区隊八三ケ分団編成の同市消防団をこの穏地区隊はそのまま存続するが分団数を一八ケ分団減らし、六五ケ分団編成に、又消防団員数も五〇〇名減らして二、三六一名を千八百六十一名に縮少した。この機構改革によって影響を受けた地区隊次のとおり

（括弧内は旧分団数）

太平地区隊（五ケ分団）（八）
外旭川　〃　（四）
下新城　〃　（三）
豊岩　〃　（三）
仁井田　〃　（五）
四ッ小屋　〃　（三）
下北手　〃　（三）
下浜　〃　（三）
金足　〃　（五）

又この縮少に伴って別掲のとおり広汎な幹部の第一次移動が行われた。

湯沢市、雄勝支部
事務主任者の事務打合会

十月十日午前九時から雄勝福祉事務所所長室において、その他消防関係一般について打合せを行った。

消防事務主任者の事務打合会を開き、防火委員会の設置に関する問題や区域消防本部並びに日本消防協会関係の表彰、日本消防会館の建設費に対する寄付金納入等が出席して説明を行った。

この日雄勝福祉事務所から佐藤所長をはじめ、小島庶務係長、佐藤主事、県から防災訓練本部の佐藤次郎氏、消防課会からは保坂主事が出席して関係事項について説明を行った。

この日雄勝福祉事務所から佐藤所長をはじめ、小島庶務係長、佐藤主事、県から防災訓練本部の佐藤次郎氏、消防課会からは保坂主事が出席して関係事項について説明を行った。

人事

○秋田市（十月一日付）

副団長　谷藤　善蔵（浜田）
分団長　佐藤　豊蔵　〃
〃　佐々木八次郎（外旭川）
〃　小国　秀次（外旭川）
副団長　三浦佐兵工　〃
〃　藤二（四ッ小屋）
〃　佐々木徳治　〃
〃　鈴木　正一　〃
〃　鈴木　久蔵　〃
〃　榎　勲一　〃
副団長　武藤　寿一（豊岩）
分団長　五十嵐栄治　〃
副団長　小林　孝助（下浜）
分団長　梁井　健治　〃
〃　川村喜一郎（下北手）
〃　鈴木　為吉（仁井田）
〃　伊藤七五三　〃
〃　堀井鉄三郎　〃
副団長　斎藤紀久二（秋田）
〃　保坂藤五郎（飯島）
〃　大島　惇（仁井田）
副班長　原田　〃
分団長を命ずる。

分団長（新屋）大島　元吉
〃（豊岩）武藤友三郎
〃（太平）鈴木　孝之
〃（下浜）大友　三次
〃（外旭川）佐藤　政雄
〃（浜田）佐々木徳治
頭書の地区隊長を命ずる。
副分団長（仁井田）伊藤　清七
分団長（飯島）保坂久太郎
分団長（頭書地区隊長）を命ずる。
副分団長加賀谷善右工門（四ッ小屋）
〃　松野　幸治　〃
班　長　伊藤佐市郎　〃
副分団長　塚田東久治（浜田）
〃　小西　善市　〃
〃　谷藤　定彬　〃
〃　石黒田之助　〃
副分団長渡辺　勇（下浜）
班　長　山岡長四郎　〃
副分団長後藤善一郎（上北手）
〃　大島　惇（仁井田）
副班長　原田　〃
分団長を命ずる。

分団長（新屋）大島　元吉
〃（豊岩）武藤友三郎
〃（太平）鈴木　孝之
〃（下浜）大友　三次
〃（外旭川）佐藤　政雄
〃（浜田）佐々木徳治
頭書の地区隊長を命ずる。
副分団長（仁井田）伊藤　清七
分団長（飯島）保坂久太郎
分団長（頭書地区隊長）を命ずる。
副分団長加賀谷善右工門（四ッ小屋）
〃　松野　幸治　〃
班　長　伊藤佐市郎　〃
副分団長塚田東久治（浜田）
〃　小西　善市　〃
〃　谷藤　定彬　〃
〃　石黒田之助　〃
副分団長渡辺　勇（下浜）
班　長　山岡長四郎　〃
副分団長後藤善一郎（上北手）
〃　大島　惇（仁井田）
副班長　原田　〃
分団長を命ずる。

国消検定合格品並に推奨
全国唯一の4サイクル空冷水冷併用式の
シバウラ消防ポンプ

消防職術に最も重要なる冬季期間の操作が簡単に出来る。

- エンヂンの始動は、燃料がガソリンのみ故如何なる寒冷時にても一度にて始動する
- 空冷エンヂンであるから絵ての汚物泥水等を吸込んでも心配はない
- ポンプ置場にて水を出さなくてもエンヂン及び真空試験が出来る

◎消火器各種、消防器具、用品一式

U—1型 6～8HP
S—65型 14～17HP
F—74型 18～25HP
F—25型 6.5HP
F—18型 4.5HP

石川島芝浦機械株式会社秋田直売所
秋田市西根小屋町上丁16番地　電話6862・2931番

権威と信用ある！
◎消防ポンプと器材
◎消火器と施設
一切の御用命に応ず
カタログ呈上
御報次第参上
日本機械工業、日進工業代理店
旭友官納商事株式会社
秋田市西根小屋町中丁1　T 5045

七十億を超した水と風の被害

＝防災本部被害状況纒める！

今年は四月二十二日、中旬部を襲った豪雨以来、七月と八月に各一回、九月は上旬に一回と中旬に一回豪雨に見舞れ、下旬には又風に襲われる等、今年は台風に明け、台風に暮れたような年であって、その部度関係市町村の水防（消防）機関は全機能を挙げてこれが対策に当り被害の軽減に努め一般から大いに感謝されているが、自然の猛威には抗し難く全県的に大なる被害を蒙った。防災訓練本部で纒めた本年一年間の被害状況は次のとおりで、その被害総額は七十億円を超し、戦前戦後を通じ珍しい年であるといわれている。

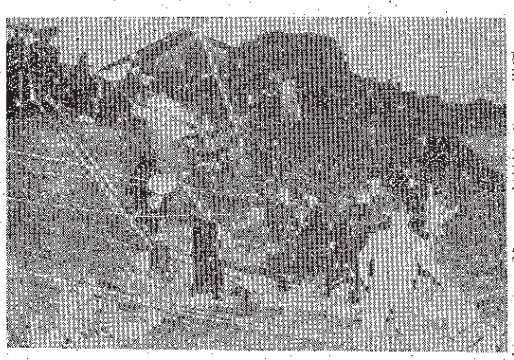
○被害状況

四月二二日　第六、九三三
七月二二～二六日　一、一三〇、八〇三
八月二～三日　四九、三二〇
九月五～六日　第九、一七八
〃　一二～一六日　三、二四四、七三六
〃　二一～二七日　八、〇三三、八三〇
計　七、〇三六、八三三

○各部門別被害

厚生　三三、九四三
農業　四、七四〇、〇四八
林業　第六、四二四
農業施設　四、六〇、〇五四
土木　一、〇三六、九七二
〃　床上浸水　第六、九三三
〃　床下浸水　七、〇九七
計　第四、三三七、八三三

・農業関係
〃　田　一二
〃　畑　一一
農作物流失埋没　五
死者　第六町歩
行方不明　第
傷者　第
建物全潰　一九三
〃　半潰　五三二
〃　破損　一、九六二
〃　短水田　一六、三〇〇
〃　畑　二、八〇〇
〃　浸水田　三、七〇〇
〃　畑　一、三六



（写真は長木川の水防作業）

自動車の出張検査始まる

秋田県陸運事務所長から期の出張車両検査を次の日程で行うから協力ありたい旨の通知があったので防災訓練本部では有効期間の切れる消防自動車整備基準に則り充分整備して最寄の場所で検査を受けるよう九月廿六日道路運送車両法第六十二条に基く本年度の第三、四半と、県防災訓練本部長え依頼の市町村長宛通知した。

出張検査日程表

横手	十月	十一月	十二月	受付時間	検査場所
	廿一日	十一日	十二日	十時～十六時	羽後交通KK車庫
大館	廿二日	十二日	十三日	十時～十六時	大館車検場
本荘	廿三日	十三日	十四日	十時～十六時	本荘車検場
大曲	廿四日	十四日	十五日	十時～十六時	大曲車検場
湯沢	二十日	十六日	十七日	十時～十六時	湯谷工場（共同工場前）
花輪	十六日	十七日	十八日	十時～十六時	花輪車検場
能代	十三日	十四日	十五日	十三時～十六時	秋北バス能代営業所
角館		十二日	十六日	十一時～十二時	角館町東勝楽

消防用品の斡旋

消防協会は県下消防機関の福祉厚生のため、各種消防用品の斡旋を致して参りましたが、県内各方面から好評を博しております。最近消防用品も多種多様販売されており、中にはいかがわしい品も見え、且又暴利をむさぼっている商人もあるやに聞きます。勿論本会でも斡旋致します物資にはそのようなものは一つもなく本会はこの点についてはとくに細心の注意を払い信用のおける品をできるだけ安くと努力しております。本年度の当初予算編成前に本会は各市町村役場宛予算編成をお願いしまして本会が斡旋致します物資は各消防用品の価格表を御閲覧の上必ず御利用下さいますよう御願い申上げます。

（秋田県消防協会）

区分 / 月別	計	居住専用	居住併用建物 居住農林水産	居住工業	居住商業	居住サービス業	その他	産業用建物 農林産	鉱工業用	商業用	公益事業	公務文教	サービス業	その他
県計	1,190,363,426	224,022,706	324,367,740	7,402,750	62,975,765	10,093,513	2,911,700	266,934,220	56,542,350	3,940,150	6,318,684	221,146,850	251,500	3,455,500
1月	18,969,859	2,588,959	6,100,000	810,000	8,069,600	400,200	585,900	350,000	15,000			200	4,000	46,000
2月	35,917,510	6,221,700	12,123,000		715,750		1,136,000	571,060				15,000,000		150,000
3月	56,572,715	26,086,465	15,344,250		9,976,600	1,461,200	629,000	2,972,200	38,500		2,500			62,000
4月	72,124,190	30,507,290	18,954,000		122,450	1,420,000	76,700	5,786,950	15,045,500					211,300
5月	318,586,034	17,307,400	231,628,250	3,223,750	28,345,000	1,432,000	14,100	22,676,000	166,350	2,709,000	6,316,184	4,170,500	247,500	350,000
6月	13,218,930	9,472,530	5,000	3,007,500	2,500	197,000				60,000				474,400
7月	41,573,612	17,936,062	8,584,300		1,000			1,063,000	13,600,000			360,450		28,800
8月	184,921,800	10,452,800	4,025,000			2,067,300		398,200	4,000			167,921,500		53,000
9月	30,244,168	8,639,800	3,123,540	500	578,715	946,113	470,000	1,730,000	10,025,000	230,000		4,500,000		
10月	29,676,150	8,129,000	610,250		61,200			1,148,700	17,647,000					2,080,000
11月	105,297,450	71,188,900	7,541,550					1,422,300		219,500		24,925,200		
12月	283,261,010	15,491,800	16,328,600	361,000	15,102,950	2,169,700		288,815,810	1,000	721,650		4,268,500		

火災の実態と消防の現況 ⑦

秋田県防災訓練本部発表

月別、建物用途別損害見積額調

速くて、楽で、傷まない

新案特許　**小田式ホース速伸器**　・最高無比

国鉄・消防研究所推せん、秋田県防災訓練本部・秋田県消防協会　推奨

(1) ねじれず速く楽に伸ばせる。
(2) いたみが非常に少ない。
(3) たくさん持てる。
(4) 金具を間違える心配はない。
(5) 巻取り、積込み、取出しにも便利。

従って ①屋内進入によく ②複雑な地形や梯子登りには最適 ③ホースは長持し ④人員も少くてすむ ⑤カップリングを間違えることなく ⑥実際に役立ち ⑦消火能にはもってこいである。

昭和二十九年六月二十六日
国家消防本部消防研究所
所長　小林辰男　印

ホース速伸器試験成績書

一、名称　小田式ホース速伸器
（特殊出願二八一一九号）
（実用新案願二九一一一四三七号）
二、製作者　広島市吉島本町二ノ六〇八　小田正人

右ホース速伸器は、ホースの一本一本を伸張する場合に於て、ホースの伸張が容易なる為、特殊出願したものである。

ホースを且つ所長の合格したる試験用ホースを使用し、特殊出願の結果、ホースの伸張は三倍迄は分一の手間で伸張する事が出来る。

ホースを使用する場合は、ホースの伸張は、ホースの運搬、ホース及び消防車、小型ポンプ等の使用に当り、ホースの伸縮

月刊毎月25日発行
消防秋田
通巻1部10円
秋田市土手通町
発行所 秋田県消防協会
発行兼編集人 伊藤忠次郎
秋田市下亀ノ町七
印刷所 大勝印刷株式会社
電話四八三三番

全県防火辯論大会

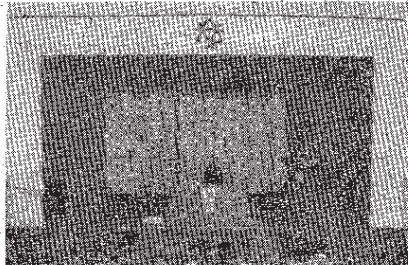
中・高校生 火の用心を絶叫

優勝 矢島中 二年 佐々木明子さん

鳳鳴高校 一年 鈴木洋治君

秋の防火週間厚生部長、秋田魁新報社の〇〇県教育委員、学校教育課関行事の一つとして計画した、県と消防協会の共同主催による全県中学校、高等学校防火弁論大会は十一月九日午前十一時から秋田市敬愛高等学校講堂で開いた。各部市支部の代表として出演した者は、中学生十一名、高校生八名合計十九名であったが、これを性別に見ると男九名、女一〇名で女性は断然優勢、その大半は父兄や受持の先生に附添われ、その姿はまことに可憐であった。

この日の審査は、森岱県議、松坂整理部長、長谷山(包子)の佐竹指導主事、松野県消防協会長、伊藤秋田市消防長の六氏によって行われた。



弁論大会は、本県としては初めての試みであったが、この日は小雨の寒い日であったのか聴衆の不足は一抹の淋しさを感じた、最初中は時々こんな言葉を耳にし始め十九名の出演者は抽籤で決った順序だ、町もお蔭で面目を一新で、次々と方した。このような言葉を吐く人は或に冗談まじりに言うているのかも知れませんが、このような考え方は自分さえ良ければ国家社会はどうなっても良いという矣に危険な考え方であるといわなければなりません。

さて火事は何故起るのでしょうか。又大館市の大火は何故起ったのでしょうか。道路が狭いとか、水の便が悪かったとか色々もっともらしい原因をあげたはおりますが、それは単なる言訳的に之の計画に協力して下さい」とそして不燃都市を建設しようでは

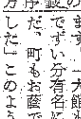
曾の拍手に迎えられて登壇、不在意からだとまくしたてずらり並んだ審査員の前で、弁論を綴り天なる成果を収め、午後三時終了した。何等怖気の色もなく手振り身振り溌々と出火は県民の入賞者とその論旨次のとおり。

高校の部

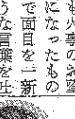
第一位 大館市の大火に思う

鳳鳴高等学校 一年 鈴木洋治

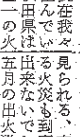
皆さん、皆さんの心の中にまだ生々しい印象となってよみがえってくることでありましょう。あの三度の大火によって大館市は一躍その名を全国に知られるに至りました。



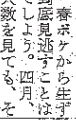
の大火は、数年前に三度も起ったあの大館市の大火であったが、その代り有名になったし、又かえって町が立派になったんだからむしろ宣しかったんではないか」という気持を持っているのではないかと思う事を何とに感ずずには居られません。仮に冗談にもしろこのよ



名前を頂戴している程、火災県ないならない程の件数を示し、その損害に於ても、がぜん。しかも、皮肉な事にはよって述べたように我郷土は、少し皮肉な言い方ではありまして、大館、能代一等地に周辺等は火災保険なっているという矣われぬ一コマもあります。元来、非常に不利な点に位置しておりますが、夏は東の季節風が我郷土を襲撃する。秋田は地理的に見て、冬は西の季節風が、又消防力の不備という事も見逃す事には出来ないでしょう。又その上に考えられるのは年間を通じて非常に多く、七十数件。



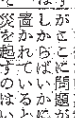
現象による火災は年間を通じて非常に多く、七十数件を数えております。又冬は「都市復興計画」を進めて雪国であるということも手伝って、火の不始末から起こる火災も百余件という甚大なる件数を呈しております。



第二位 防火週間に思う

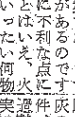
秋田市立商業高等学校 三年 村田光璋

現在我々見られる、奉ボケから生ずる火災も到底見逃すことは出来ないでしょう。四月、全国一の火災〝百余〟という馬鹿に有難くない〝百余〟という数を見ても、その損害は何物にもおよぶ莫大な数字を示しているといっても、決して過言ではありません。

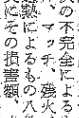


そのためには、全く火災保険に加入しておくのが、最も根本的な原因は市民

意ではありますまい。今迄述べてきた多くの事を振返ってみても、成程秋田県は火災の起り易い所である、という事を必然的に考えざるを得ない次第であります。



がここに問題があるのです。火の不完全によるもの十四件、七輪によるもの十七件、飛火、放火、電気器具の取扱の不良によるもの十八件、カマド、煙突の出火が十五件、ストーブ、等々の八件、等々の八件、遊戯によるもの二十三件、



るものが二十三件、カマドによるもの十九件、煙突の不完全によるもの十四件、放火、電気器具の取扱の不良によるもの十八件、七輪によるもの十七件、飛火が十五件、ストーブによるもの二十五件、等々の八件、等々の八件、遊戯によるもの

＝中学の部＝

第一位　火災防止は子供の手で

矢島中学校　三年　佐々木明子

私は鳥海いう恐ろしさであったでしょう。火廻りが早かったでしょう。山のふもとの城下町矢島に生まれ、火事場の中で只おいおいと泣きすがるお女や子供、私の十四才の想出の中で最も忘れ難いものです。

私は昨年度の秋田県の統計を調べて見ました。

それによりますと火災件数二七件、被害額十一億九千三百万円というおどろくべき数字にのぼる事がわかりました。

皆さん何という事でしょう、この金が私達の不注意と故意によって灰になってしまったのです。若しもこの金が私達の生活に役立つものに使用されたらどんなに有効に使われる事でしょう。

皆さんの矢島中学校は鉄筋コンクリート四階建ての社会をほろぼす原因になるのです。

それでは火事をおこさないようにするにはどうしたらよいでしょうか。第一番に火を大事にすることです。此の少年会の仕事に大人の人達も、もっと、もっと協力して、此の運動を進めてくれるようにしてもらいたいとお願いするものです。

皆さん何と火災は国をほろぼす最も大きい原因ではないでしょうか。併も此の恐るべき火災の原因はその大部分が私達の不注意からの火事のもと一斉焼けても国の損失」と銘の中をねり歩いて居ります。

この声をききますと、町の人達はどんなに忙がしい時も、それ火の用心だと、かまどや、ストーブを見てくれます。

此の運動に秋田県中が、日本国中が力を合わせてくれたら、火事はもっと、もっと少なくなると思います。

だけで止り、私の家は隣れておったので父母は私を起こして遊戯の先輩等は社会問題として大きくとりあげてはしているものであります。又私達の話眼中に火災が起るという事はやはり「火一の不始末にあると断言してもよいでしょう。

ちょっとした不注意から、ちょっとした不注意からわかりきっている事なのに、「かなければならないのだとあいることの心掛けを忘れてはならないのです。

現在住宅億九千三百十六万円という莫大な数を示しております。

日本には非常に多い弄火はどの様な原因で出来るか、ここで述べるのです。

皆さん昨年の秋田県の火災による損害額がどの位であったかを知っておらないのでしょうか。

いえ知っている筈です。

いえ知っている筈です。

番多い原因は「火」の不始末から始まる様です。火災の起る最も多い時刻は最近何んといっても火災の一

私はかならず出来ると確信します。そうしたら前に比べて見たいと思います。

皆さん昨年の秋田県の火災による損害額がどの位であったかを知っておらないのでしょうか。

いえ知っている筈です。

いえ知っている筈です。

番多い原因は「火」の不始末から始まる様です。火災の起る最も多い時刻は最近

『有史以来の好成績』
秋の防火週間終る

秋の防火週間は十一月四日から防火週間の三日目から一週間全県一斉に展開した。

県防災訓練本部では現下の火災事情から県民の初期防火体制を更に強化しようとこの度「早く見つけて、早く消す」の標語を掲げ、清新且つ実質的な計画を樹てると共に万全の準備を整え、関係各方面の協力を得て実効の挙がるような運動を活潑に展開するよう、各市町村の消防機関に強く呼びかけてあったが、各市町村共それぞれ講習会、座談会、火の元検査、予防査察、地水利調査、街頭宣伝、想定による消防訓練等熱心に実施した。

その結果、通間中県内でただの一件も火災を発生させていない。この成績は県消防史有史以来の好成績であり、消防関係者は大いに気をよくして会議室において常任理事会を開いた。

百日の無火災で気をはく　能代市

火事で全国にその名を轟かしている能代市では七月十月二十四日の午後九時適切なる消防作戦が効を奏し、半頃、本荘駅前の青果物商、宮腰礼治さん方の同居人、佐々木コン婆さん経営の食堂調理場、プロパンガスボンベーから洩れたガスに引火、宮腰さん所有の住家、店舗など三百四十平方メートル(約一一五坪)と隣りの果実商長谷川チヨさん住家店舗二百五十七平方メートル(約八六坪)を全焼したこの火事で本荘市消防署と同市消防団本荘地区の各分団が一致協力必死の活動と消止め、又附近には本荘駅の本荘市消防団本荘地区隊森川旅館という、木造二階建の大建築物が殆んど隣接して建っている

第四位　‖中学の部‖

防火週間に思う

能代市東能代中学校　二年
田中　吉彦

「防火も一役　県勢伸ばす」

この標語は、昨年の秋の防火週間に県で防火標語を募集しました時、私たちの先輩武田さんが、見事二位に当選した標語ですが、巨万の富を、一瞬にして灰にしてしまう火事の恐しさは特に、木造建築の多い我が国にとって、その防火は、県勢以上に、「国勢をのばす」といっても、決していすぎではないと思い、深く考えさせられたことがありました。

思えば、我が能代市、我が秋田県が、全国でも最も有名な大火の市、又は、県として、あげられていることは、この上もない残念なことです。私は、二度の大き火に見まわれた能代の被災地の、まっすぐな広々とした道を通るごとに、そのすばらしい復興ぶりに、感心し、なんと不幸なる同時に、この大火の復興のため、赤字財政におちいり、そしてついに、能代市が財政再建計画を、実行しなければならなくなったことが残念に思われてなりません。いや、私ひとりだけでなく、能代市民は一人残らず、このような感じを持っていることでしょう。私は、この間大館に行きまして、やはり、「大火都市」と呼び名を受けた、大館市の復興ぶりから、このような事を強く感じてきました。そして、そのたびに、火事の恐しさと共に、火というものに対する、私達の心構えに、何かしら忘れてはならないような大事なものが、欠けているような気持を持たずにはいられませんでした。

私たち人間は、独のいかなる動物も持っていない、すぐれた二つのものを持っていると言われます。それは、一つは、ことばであります。

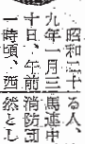
一つは火であります。私たち人間の文明は、火と共に発生え、そして、火と共にもっと良く知る努力を忘れてはならないのです。それは、火が、人類の便利として、あげられていることは、この上もない残念なことです。私は、二度の大き火に見まわれた能代の被災地の、まっすぐな広々とした道を通るごとに、そのすばらしい復興ぶりに、感心し、私達にとって、なんと不幸なことでしょう。

私達能代市民は、二度の大火によって、火事の恐しさを、しっかりと心と、体に、やきつけることが、やっとのことでできました。

昭和二十三年一月三日、午前一時頃、西馬音内町、柴田虎蔵氏の、一人娘が、火事を見に来た野次馬達中、それらを整理する消防団の人、私はただぼう然としてそれらを見ていました。「家に入りなさい」と母の声がした。台所に来て、「火の用心」を叫んで歩くことを信じます。

第五位　恐るべき分家の火災について

西馬音内中学校　一年
柴田虎蔵



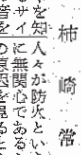
昭和二十九年一月三日、午前一時頃、西馬音内町、柴田虎蔵氏の、一人娘が、火事を見に来た野次馬達中、それらを整理する消防団の人、私はただぼう然としてそれらを見ていました。「家に入りなさい」と母の声がした。台所に来て、「火の用心」を叫んで歩くことを信じます。

次はたばこ、一番多いのは、石油コンロ、えんとつ、子供のろう火、取灰の不始末、などであります。これらから考えても、火事は全く私達の不注意から起きます。

私は火事の事を思い出してむごたらしさを決して、二度と、火事の事がわかりました。それは、友達や同級生などと申し合わせ、夏分は、夕方火の用心めぐりをして、いくらかでも防火に協力していきます。

第五位　防火週間に思う

湯沢中学校　三年
柿崎常助



正午を知らせるサイレンの音を聞いても、何不気味ですと、一番多いのが「たばこの不始末」三番目が「電気、石油コンロによるもの」となっています。昨年の秋田県の統計の原因を見るとよくわかります。

人々が防火という事に、いかに無関心であるかが、火災の「飛火」が、「たつの火」であることは、ありません。

これらは私達湯沢市民の防火に対する関心の高いことも、あるでしょうが、夜と、なく昼となく、雨の日も雪の日も、一日いや一時とも監視の目を怠らずにがんばって下さる消防署の皆さんに感謝しなければならないと思います。

幸い私達の町にはあまりいやな思いをするサイレンの音を聞くことはありません。

これらは私達湯沢市民の防火に対する関心の高いことも、あるでしょうが、夜と、なく昼となく、雨の日も雪の日も、一日いや一時とも監視の目を怠らずにがんばって下さる消防署の皆さんに感謝しなければならないと思います。

しんしんと秋の夜のふけゆく頃ガンカンと鐘に響き渡る火の用心の拍子木の音を聞くと、私は心から安心して眠りにつくのであります。私はこのとき私の生活の中の最も平和な心境であります。この心安いつまでもいつまでも乱さずにしたいものだと思っています。

皆さん毎日新聞紙を、ながめて、わず悲しい火をすべての人の協力によって一日も早くなくしようではありませんか。

食べる時、火災予防について思います。私はあの恐しいつけて置くことが大切だと思います。私はあの恐しい火災後は火について始終注意して生活しています。

火災が起こっております。これらも不始末から起こるものだろうと思います。

火災は、火事の原因は、火の不始末、ストーブの欠陥、煙突の掃除を怠らぬこと。

煙突の場所が大丈夫でもなく、煙突が傾いていないかなど細心の注意をはらうべきだと思います。

「言う事はたやすいが行う事はむずかしい」ということがありますが、今まで多くの損害を及ぼし多くの生命を失った恐しい火災はこの言の証に云われた原因にあるのではないでしょうか。

目が昼食時の十二時頃となっていて、いづれも火を使用する時が最も多い時間になっています。

これらも不始末から起こるものだろうと思います。

火災は、九分九厘まで、注意をしないではおられなくなり、食べる時、火災予防について思います。私はあの恐しい火災後は火について始終注意して生活しています。

火災は、火事の原因は、火の不始末、ストーブの欠陥、煙突の掃除を怠らぬこと。

煙突の場所が大丈夫でもなく、煙突が傾いていないかなど細心の注意をはらうべきだと思います。

「言う事はたやすいが行う事はむずかしい」ということがありますが、今まで多くの損害を及ぼし多くの生命を失った恐しい火災はこの言の証に云われた原因にあるのではないでしょうか。

幸い私達の町にはあまりいやな思いをするサイレンの音を聞くことはありません。

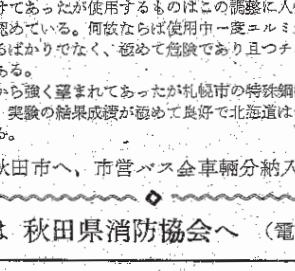
これらは私達湯沢市民の防火に対する関心の高いことも、あるでしょうが、夜と、なく昼となく、雨の日も雪の日も、一日いや一時とも監視の目を怠らずにがんばって下さる消防署の皆さんに感謝しなければならないと思います。

しんしんと秋の夜のふけゆく頃ガンカンと鐘に響き渡る火の用心の拍子木の音を聞くと、私は心から安心して眠りにつくのであります。私はこのとき私の生活の中の最も平和な心境であります。この心安いつまでもいつまでも乱さずにしたいものだと思っています。

皆さん毎日新聞紙を、ながめて、わず悲しい火をすべての人の協力によって一日も早くなくしようではありませんか。

タイヤチエーン締付スプリング（特許申請中）

◎五大特色
① チエーンの保続と運転の安全
② 取付調節極めて簡単
③ 堅牢でしかも優美
④ 完全メッキ仕上げ
⑤ 価格低廉



（見本の備付がある）

◎特　価
① 小　型（普通車、三輪車用）1台分（2本）1,000円
② 中　型（トラック）用 1台分（2本）1,200円
③ 大型（バス特殊車）用 1台分（2本）1,400円

自動車の雪上運行に用いるこり止めチエーンは従来針金やゴム甚しいものに至っては縄などで取付けてあったが使用するものはこの調整に人知れぬ苦心を払っておったことは何人も認めている。何故ならば使用中一度ユルミが生ずると泥除けを打ち不快な音を発するばかりでなく、極めて危険であり且つチエーン自体の消耗や損傷が甚しいからである。

この防止策を斯界から強く望まれてあったが札幌市の特殊鋼機株式会社が多年苦心の結果考案に成功、実験の結果成績が極めて良好で北海道は勿論本県でも各方面から好評を博している。

◎昨冬秋田市へ、市営バス全車輌分納入、好評

◁ 申込は 秋田県消防協会へ （電話4787） ▷

トーハツ ENGINES

5年来の小型エンヂンメーカーが贈る
国家消防本部検定合格品

始動の確実
サーヴイスの万全

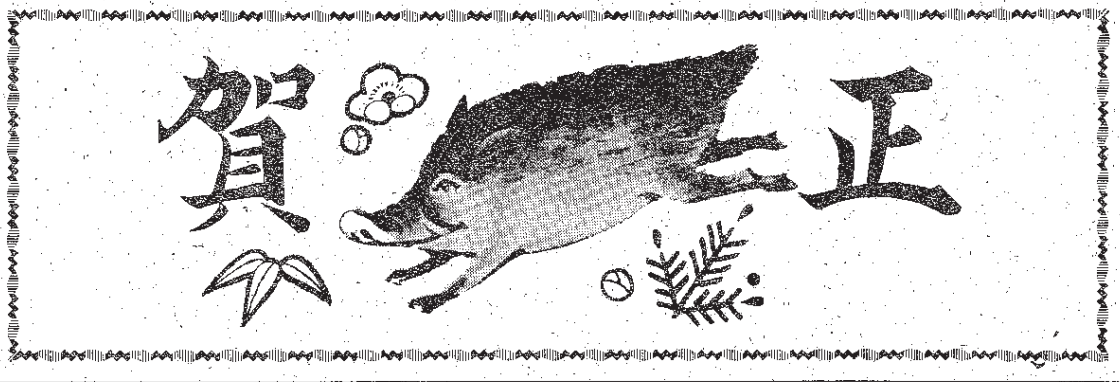
トーハツ消防ポンプ

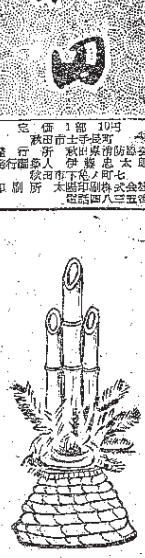
各馬力共サーチライト付完成品	VH型	水冷35馬力	150ポンド	500ガロン
	VK型	水冷23馬力	130ポンド	370ガロン
	VEⅡ型	水冷15馬力	120ポンド	250ガロン
	VEⅡ型	水冷65馬力	80ポンド	120ガロン

ジエツトホース
特徴 1. 水が漏らない　2. 取扱いが容易である
3. 耐久力に富む　4. 軽く、硬くならない

秋田県代理店
株式会社 高義商会
本社　稲庭川連町　電話 川連 16番 18番
支店　横手市駅前　電話 1180番 1181番
支店　十文字駅前　電話十文字 32番
秋田営業所　秋田市川反二丁目　工藤幸吉　T 秋田 3178番
県北副代理店　天王町　田仲工業所　T 天王 53番
花輪町　鹿角自動車整備株式会社　T 花輪 74番

月刊毎月25日発行
消防秋田
定価 1部 10円
秋田市土手長町
発行所 秋田県消防協会
発行責任者 伊藤忠太郎
秋田市下北ノ町七
印刷所 太陽印刷株式会社
電話四八三五番





年頭の挨拶

秋田県知事　小畑勇二郎

消防関係者のみなさま、明けましておめでとうございます。

昨年の秋は、皇太子の御婚約者がはじめて民間から選ばれ、全国民の親愛と祝福のうちに暮れましたが、この瑞兆が新しい年のすべての面に、明るい希望をもたらすよう念願いたします。

早いもので、私が県政運営の責任者として、県民のみなさまにおつかえしてから四年近くになり、任期もあと三、四カ月となりました。

私は就任にあたって、県庁の機構の刷新、財政の健全化、産業の振興を三大目標といたしましたが、みなさまの御理解とお力添えによって、第一段階の目標はほぼ達成し得たではないかと思っております。

県庁の機構改革は、いまだかつてない簡素化が断行され、県財政についても過去の赤字を償還しながら、年々黒字を出し、財政の健全化は着々と進められております。

また産業の振興計画については、本県の後進性を打破り、総合的かつ計画的に工業が進展しておりますことは、まことに感慨無量で本県将来の発展のため、心からよろこびにたえません。

一昨年完成した鎧畑の県営発電所に続いて昨年の暮れにはまた田沢発電所が完成し、次いで小和瀬発電所が着手しております。その次は小沢発電、皆瀬発電と順やがて県は約四万キロの電源を保有し、本県産業の開発に多大の貢献をなすと共に、新らしい年を迎え、私も心気さらに一新、残された任期に渾身の努力を傾注いたしたいと決意しております。

なにとぞ、本年もなおいっそうのご支援をお願い申しあげます。

それではみなさまのご健康とご多幸を心からお祈り申しあげます。

さらにこの間、本県多年の懸案であった東北開発の前進展、八郎潟干拓事業の着工、皆瀬川ダム建設ならびに生橋、鷹巣二線の着工等の歴史的な事業が、関係みなさまのご協力によって実現し着々その事業が進展しておりますことは、まことに感慨無量で本県将来の発展のため、心からよろこびにたえません。

一昨年完成した鎧畑の県営発電所に続いて昨年の暮れにはまた田沢発電所が完成し、次いで小和瀬発電所が着手しております。その次は小沢発電、皆瀬発電と順やがて県は約四万キロの電源を保有し、本県産業の開発に多大の貢献をなすと共に、新らしい年を迎え、私も心気さらに一新、残された任期に渾身の努力を傾注いたしたいと決意しております。

なにとぞ、本年もなおいっそうのご支援をお願い申しあげます。

それではみなさまのご健康とご多幸を心からお祈り申しあげます。

昭和三十四年の輝かしい新春を迎えて

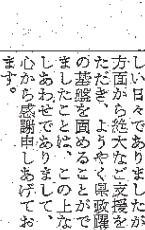
日本消防協会　会長　大野伴睦

皇太子殿下御成婚の運びとなり、本年は国家慶事の年として、新春の年頭に当って、全国消防人の御輝展と御多幸を心から祈り、「ただ眼目突進」との言葉があるが、本年は諸習の協力によって、日本消防会館も愈々完成するの運びとなっている幸とを祈り、「平素の御苦労せよ」に対し衷心より感謝申上げます。

本年は国家慶事の年として、日本消防人として大いに飛躍すべき意義ある年であると信ずる。

本年は諸習の協力によって、日本消防会館も愈々完成するの運びとなっている

皇太子殿下御成婚の運びとなり、本年は国家慶事の年として、新春の年頭に当って、全国消防人の御輝展と御多幸を心から祈り、「ただ眼目突進」との言葉があるが、本年は諸習の協力によって、日本消防会館も愈々完成するの運びとなっている



ますと、まことにめまぐるしい日々でありましたが、各方面から絶大なご支援をいただき、ようやく県政躍進の基盤を固めることができましたことは、この上ないしあわせでありまして、衷心から感謝申しあげております。

特に消防関係者のみなさまには、過去の数度にわたる大火と水害時に際して、御活躍を願い、民生安定に非常な御力添えをいただきましたが、昨年の如きは、焼失坪数はもとより損害額においては、例年の半にも達しない好成績で、みなさまのこの御功績に対しては重ねて心から御礼と感謝を申上げる次第であります。

新しい県庁舎も順調に工事が進んでおり、本年末には一万坪にわたる大面積の上に地下一階、地上六階の永久建築が、立派に完成する見込定であります。

年頭にあたり、今後の県政に時に力を入れたいと思うことは、学徒を入れたいうえの社会に巣立つ青少年のための職業開拓、農家の二、三男問題ならびに災害防除対策等につき、あらゆる角度からいっそう徹底した施策を進めることであり、また産業振興と併行し、県民生活の合理化についても、科学的な要素をもっとより入れて、なおいっそうの力を入れなければならないと痛感しております。

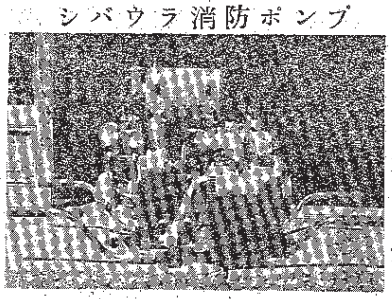
謹賀新年

秋田県消防協会（順不同）

会長　松野盛吉
常任理事　小泉四郎
副会長　渡部綱次
常任理事　山本三郎
理事長　手賀義雄
理事　安田惣太郎
理事　伊藤隆治
理事　柴田幾蔵
理事　伊藤千代吉
理事　佐藤尚士
理事　永井金一
理事　大野忠右工門
理事　佐藤青秀
理事　小柴林定義
理事　佐々木賢一
理事　高杉卯吉
理事　宮腰庄太郎
理事　佐藤鳴不二三
理事　長谷藤征得
理事　佐藤喜一郎
理事　加賀谷力司
理事　小山田泰彦
理事　池田兵太郎
理事　田口幸一郎
理事　須藤三茂
理事　小佐藤純
理事　東海林金二兵
理事　斉藤正作
理事　土門寅吉
理事　矢本健次郎
理事　小番農夫也
理事　阿部広治
理事　鏡谷俊夫
理事　森川亮次郎
理事　成田総一郎
理事　中田幸蔵
理事　桜田治恵門
理事　栗林信一郎
理事　大沢輝太郎
理事　黒木鈴二郎
理事　茂木孝治
理事　鈴木老

協会事務局
主事　伊藤忠太郎
〃　保坂吉之助
書記　船木和枝

国消検定合格並に推奨品　全国唯一の4サイクル空冷水冷併用式の
シバウラ消防ポンプ

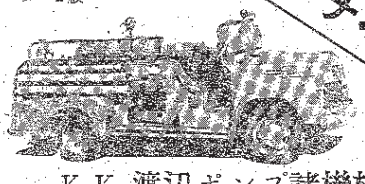


U—1型 6〜8HP
S—65型 14〜17HP
F—74型 18〜25HP

賀正

石川島芝浦機械株式会社秋田直売所
秋田市西根小屋町上丁16番地　電話6862・2931番

賀正
1959
恐ろしい火魔の守りは！
ぜひワタナベポンプを



国消検定
A—1級1000ガロン型
A—1級
A—2級
B—1級
B—2級
合格

最近の御納入先
鷹ノ巣町消防署
本荘市消防署
五城目町消防署
仁賀保町消防署
井川村消防署
岩城町消防署
矢島町消防署
西仙北町消防署
金浦町消防署
雄和村消防署

K.K 渡辺ポンプ諸機械製作所　TEL 311.162
秋田出張所　秋田市西根小屋町16番地　秋田芝浦ポンプ内　TEL 6862
本荘出張所　本荘市二十六木　岡本澄治　TEL 413

年頭の辞

国家消防本部長　鈴木塚二

新春を消防界の皆様と共にお迎え、謹んで各位の御多幸を御慶び申上げます。

昨年国際間の問題としては、懸案の日ソ漁業交渉の妥結が見られましたことは慶賀に堪えない処であります。しかし反面昨夏中東イラクにクーデターが勃発し、米英軍のレバノン急派等い両党の歩み寄りによって、党首会談が開かれ、国民に一触即発の危機に見舞われましたが、大戦乱に迄は至らず追及することなく終結を見、事なかれの次第であります。

此面経済界に於ては、所謂なべ底景気と言われ輸出が致しましたが、一応小さを増したことは喜びに堪えません。

翻って国内問題については、昨春衆議院の解散が断行され、保守革新の二大政党下の初の選挙が行われた結果、自民党は二八七の議席を獲得しました。

さて、我が消防界におきましては昨年中は、以前から消防に対して特に御理解の深い青木国務大臣が国家公務員長に就任せられ、特に特筆すべき大火災もなく、再開が行われ、又も台湾海峡に風雲ただようたならしたが、こゝ四年続きの違ぬ情勢に一抹の不安を覚えるのでありますが、一応小康を得ている状況は御承知の通りであります。

太子妃の決定発表は、正に皇太子殿下御婚約の御慶事は人心一新致を覚え、快哉は洋々浦々に及びまことに感激感謝ないものがあります。

殊に今年は全国民待望の春季火災予防運動に於ては消防関係者挙げて火災撲滅をモットーとして、本年度大火皆無の実績を築いたのであります。

盛夏八月十、十一日の阿北海道寿北七県消防連絡協議会は、全県消防関係者各位の御支援のもと多くの御臨席を頂き消防秋田の意気旺盛なるところを示し、恒例消防人の使命を説く自覚して無火災運動に更に推進し精進致したく念願して止みません。

県下消防人皆様の御健康と御多幸を祈って新年の挨拶と致します。

年頭の辞

秋田県消防協会　副会長　渡部綱次

瑞祥漂る昭和三十四年の年頭に当り県下消防の皆様と共にその喜びを分ち合いたい為めに謹んで新年のお祝いを申上げます。

年々歳々の事乍ら行く年の結び、客年は大火もなく、盛況を頂き消防秋田の意気旺盛なるところを示し、恒例消防人の使命を説く自覚して無火災運動に更に推進し精進致したく念願して止みません。

年頭に当り客年を省みるとき益々職分を守り我々消防人の使命を説く自覚して無火災運動に更に推進し精進致したく念願して止みません。

年頭に当り客年を省みるとき益々職分を守り我々消防人の使命を説く自覚して無火災運動に更に推進し精進致したく念願して止みません。

本年は特に県内消防人並に関係者各位と共に更らに一致団結の実を示しより良き消防強化に臨むは勿論消防人の人間性の向上に努め過ぎし年は過進のよりよい年を過したく祈念して止みません。

年頭のことば

秋田県消防協会　会長　松野盛吉

昭和三十四年の新春を迎え、心気一新皆様と共に、謹んで年頭のお慶びを申上げます。

隔されば、日年、官自治消防発足以来十ヶ年の治績と現今における社会情勢に鑑み、時勢に即応する飛躍的コンクリート造りの地上五階建、延坪昭和三十二年の十一億九千万円、昭和三十一年の六千七七七坪、鉄工費四億八百万円の威容堂々たる近代的消防制度改革のため消防研究機関として消防審議会の答申に基き、国家消防本部は、消防三法の改正法律案代的な日本消防会館の建設に伴う多額の予算を編成し第三十一回通常国会の通過を目途に努力しておるのであります。

又日本消防協会においては、全国消防人の殿堂であり、団結の表徴である鉄筋、鉄骨造の地上五階建を建設し、しかも災害救助法を適用した火災は一件もなく、延坪昭和三十二年の十一億九千万円、昭和三十一年の六千七七七坪、鉄工費四億八百万円の威容堂々たる近代的消防会館の建設に伴う多額の予算を編成し第三十一回通常国会の通過を目途に努力しておるのであります。

一方本県における水災害の状況を見るに、幸い驚嘆すべき災害もなく、火災件数は三九〇件に減じたが、損害は四億八千万円程度に減じて、しかも災害救助法を適用した火災は一件もなく、延坪昭和三十二年の十一億九千万円、昭和三十一年の六千七七七坪、鉄工費四億八百万円の威容堂々たる近代的消防会館の建設に伴う多額の予算を編成し第三十一回通常国会の通過を目途に努力しておるのであります。

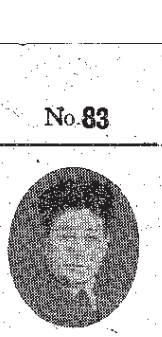
こうした慶びを抱えつつ昭和三十四年の新春を迎え、心気一新、更に活躍気運の湧き出ずるを覚えるとき、欣喜雀躍とするところであります。

本年も先づもって水災害の予防、防禦に最善の努力を尽されて市町村民の生命身体、財産を水災から守り、民生安定を図りたいと深く念じて止まないものであります。

次に私は常に思考しておりますが、消防の目的、使命を達成するには、消防施設の充実強化は申すまでもないが、これを活用する消防関係者の和と協力一致の精神高揚にあり、この精神統一のためには、所謂全県消防人の団結の表徴とする秋田県消防会館の建設事業は、消防人の悲願であり、建築物が竣工し、近い将来災害防止のため消防職術は勿論、その他の面において最大の発展を遂げ、高層の不燃

年頭所感

秋田県議会議長　谷藤征得



新年おめでとうございます。

まず私は、昭和三十三年は本県にとって極めて火災の少なかった年であったと思います。

これは、県民各位の火災に対する自覚はもとより消防施設の充実及び当事者の責任ある行動によるものと深く衷心同慶の意を表したいと思うのであります。

現在火災、風水害による災禍が相次いで発生しておりますことは洵に遺憾に存ずる次第であります。

瑞下我が国の実情は、内外共に多事多難でありまして、生活の安定が急務とされていますが、現在の経済の自立と国民生活の安定は、政治の責任であります。

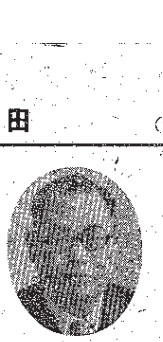
火災の怖るべきことは、今更私から申し上げるまでもないのでありまして、国家的損害の大なること、又罹災者の不幸と悲惨は眼を覆うものがあります。

県民の皆さんの火災に対する平素の備えを完全にし、他面施設の充実を図り、又火災の発生を一層防止しなければなりません。

消防関係各位におかむましては、責務の重大なるこを一層認識せられ、昭和三十四年は、火災のない年を決議或は申合せ事項は昨秋送りたいと念願致しまして新年の御挨拶と致します。

備えあれば憂えなし!!

秋田県厚生部長　森松孝作



昨年春衆議院議員選挙開票の日、あの強風のさなかに太平川の向い岸から発火し、そのまま名古屋の方へ引返したことがあった。

その時私は、汽車の窓から暫らく避難する人々のあわてさまを見ていたが、退したので後はどうなったかは分らなかったが、何れにしても備えあれば憂えなしで平素から心がけの良い人達は、普請中の大火があったこの程度で食い止めたが、鎌路のすぐ下の方にある二軒続きの長家に起った騒ぎと猛烈の全く二つの異る光景を見てつくづく考えさせられるものがあった。それは一つのお婆さんらしい人が一人いる方の長屋では、お婆さんが洗面器に水を入れて廊下をドタバタと走り廻っているだけであった。

逆に長屋の一方では親子四人の家族らしかったが妻君は押入から棚ごおりを取り出し、中に入っている大風呂敷や麻縄をもって一生懸命梱包にとりかかった。そして主人の方は火タキを持って屋根に上り寄る飛火の警戒にあたっていた。又子供の方は一人はバケツに水を汲んで庭に運び一人の子供は盛んにお父さんとお母さんの連絡役をつとめていた。しかしこの長屋も幸くしてとうとう火焔に包まれ焼ける運命にいたったが、時のことであるが、九州から帰京の途にあった私は、乗っている特急ツバメ号が鎌路を越えて田圃の方に避難して行った。一方お気の毒なことにお婆さんの方は洗面器一つを持って狂気のごとく右往左往した時、秋田の消防隊が神様の姿で線路づたいに走り去った。汽車は間もなく後発を発車されたればこそ、ただしい光景を見ていたが、あの程度で食い止めたが、しても備えあれば憂えなしで行って状況を見たところ、事に備えて心がけとこれが準備は絶対怠ってはならぬと思う。

新春のことば

秋田県消防協会副会長　小泉四郎

消防の皆さん、昭和三十三年もお互に無事越年し、三十四年の新春を迎えましたことは、まことに御同慶の至りでございます。

消防人として特に無事越年が、今年も一致協力十分働いて、昨年の成績を凌駕する好成績を収めたいと祈念致しております。

昨年は、特に大きな火事もなく、又団員の罹災も案外少なく、従って罹災互助会の基礎も強固になりました。今年も一層精進して、盤石なものにするようお互に努力致しましょう。

消防は火災の予防、警戒や地震、台風などの災害から人々の生命財産を護ることも重要な任務となっており、ただ一つ規律正しい民間団体として、しかも何等の報酬を求めることなく奉仕的に働いて来たのであります。この故に国民の信頼と又大きな期待をかけられているのであります。又我々の使命も国民の信頼と御協力がなければ達し得ないのであります。

我々は消防として本来の任務に努力するばかりでなく、規律正しい団体として社会秩序を守り、郷土の中核体として凡ゆる部面に信頼を受けてこそはじめて立派な使命を持つ消防団員として誇り得ることでありましょう。

年頭偶感

本荘市消防署長　佐藤直治郎

昭和四十年も静かに明け暮れて音なきかの元旦を感慨的に角度も広くなり、明るい制度改正に堂々と大道を闊歩できるような消防行政を希望し、欲せて秋田県の火災損害も昨年同様に最良でありたいと只管念じるものであります。

思うに最近の火災原因は、喜びに湧く国民の一人として、県竹の陣生に楽えまさんことなんとまあ素晴しいことでしょうと真の空に向っての来た足らぬものがあります。

翻って本年の消防界にも、道を闊歩できるような消防数が増してくるのが当然で消防に置き替えることが、第一条件であります。

生活環境の複雑な世相に、幾度火の用心を叫んでも人

年頭に際して

秋田市消防長　伊藤千代吉

謹んで新年の御慶びを申ること勿論でしょうが、本県消防も逐次改善され、消防関係各種の充実を図り、又他面施設の充実を図り、又消防人の欲する諸設の施設整備され県下消防多彩の年と雰の強化も彼岸の彼方に在感じました。会議における申合せ事項は昨秋それぞれの筋へ陳情請願をされましたので、時を要す

昨年中は各種の大会が開雰の強化も彼岸の彼方に在りとは申されないことでありましょう。

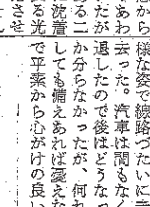
最近市内の特殊建物二、三を視察しましたが、消防施設があり、訓練もしている諸般の消防情勢は理論づけるから大丈夫です、との言られていますが結論として、火災は水物であると考えて解千万な話であると感じました。誠に不可思議なことを解しないのです。

設備の万全を期し訓練を重ねることと関係なく火災は発生し、発見したときの状況に応じ施設の善用は当然乍ら、損害の大小は建物種別内容物によって自づから生じてくるものであり、諸般の消防情勢は理論づけるから大丈夫です、との言られていますが結論として、火災は水物であると考えて解千万な話であると感じました。誠に不可思議なことを解しないのです。

設備の万全を期し訓練を重ねることと関係なく火災は発生し、発見したときの状況に応じ施設の善用は当然乍ら、損害の大小は建物種別内容物によって自づから生じてくるものであり、

新年を迎えて

鷹巣町消防長　木村金治郎



県下消防の皆様ここに、昭和三十四年の新春を迎えまして、いよいよ成業を得て祭り誠におめでとうございます。

過ぎた三十三年は、火災運常議会に提出せられるるこの意味で今年は一つ消防隊の方々の御努力と県民一般の御理解を得て徹底的に、事故がなく終始したことは幸でありましたが、予想し一般家庭の待避訓練及びや研究してみたいと念願しています。

災害は時を待たずで、何時、如何なる変事が突発するか分らない、昔から「備えあれば憂えなし」でやっぱり、我々は常日頃から有事に備える心がけとこれが準備は絶対怠ってはならぬ

十年の歳を経て一昨年深消防三法の改正は論議せられ、来し、整作を慎重しながら結果的には実に悲惨な荒地部の主催により、函館市消防署を視察する機会を得たことは、人為の及ばなかったことは、いえ、これ等災害防止を任務とする我々消防人はこの体験に鑑み設備の充実さは只々驚嘆と不可能なことを強制することになります。

力を備えて始めて我消防人諭野されているような改正が行われるとすれば、先ずなりと誇り得ることが出来

財政に乏しい小都市においては寡り百年河清の夢想でなかろうかと痛感されました。そして今後の実情法令改正に当っては各地の実情を十分検討し、単に一本調の自治体が有する財政力とをにらみ合せて任務の範囲を規定化することが必要であり少くとも人口二十万乃至二十五万くらいに一線を画さなければならない。

一例を挙げれば火災予防の面において常時予防専従者を配置しているは消防任務のみの最少限度の人員を辛うじて保持している署とかは法制的に同一視されるとは法自体に矛盾があり実行しい小都市と災害から救済なることは、この消防至言であり、当れば当るほど、考えれば考えるほど益は世界的優秀になったとはなども効果の一つでしょうが、何れの農村にも国産の一〇〇馬力級のポンプはざらに備付けるようになりましたので火災の燃える力に負けないようポンプにも大いに手を加えることは誠に嘉はしい限りでなりません。

消防力の力が稍々強く上手になってきたこともこうした顕れの一つでしょう。

これには昨年以来の注水訓練等により益に陽に火災予防にも浸透され消防隊員の実戦に役立つ放水銃口も物の燃える論理を咬々と熟知し消防力のバランスに無駄水が無くなったことは、ポンプ性能は世界的優秀になったとはいえ、ポンプはざらに備付けるようになりましたので火災の燃える力に負けないようポンプにも大いに手を加えることは誠に嘉はしい限りでなりません。

先般東京消防庁荻野予防部長さんの欧米消防視察談中に日本の消防ポンプ性能は世界的優秀になったとはいえ、ポンプはざらに備付けるようになりましたので火災の燃える力に負けないようポンプにも大いに手を加えることは誠に嘉はしい限りでなりません。

第一に入口比率による職員の定員制を決定しなければならないが、しかし、これを推進めれば結局自治体の自治体が有する財政力とをにらみ合せて任務の範囲に関する全知識を習得するまでは、第二に職員の定員制を決定しなければならないが、しかし、これを推進めれば結局自治体の自治体が有する財政力とをにらみ合せて任務の範囲に関する全知識を習得するまでは、

最近散見したある書の一説に「火災の予防及び消防に関する全知識を習得しなければならない。

本年は全消防人の団結と合理的活躍を期したいものと存じ御健闘を御祈り致しまして御挨拶と致します。

謹賀新年

一般自動車修理

板金塗装一式

藤原自動車修理工場

秋田市中央通31番地

電話（秋田）7061 6761番

消防車の御用命は……

A1級　ニッサン消防車をどうぞ

105馬力　NCF消防エンジン搭載

強力・耐久・経済

賀正

NISSAN DATSUN　minsei

秋田日産自動車株式会社

本社　秋田市上菅沢一五番地　電話（秋田）6636

秋田サービス工場　秋田市川尻町下田六七　電話（秋田）6639

大館営業所　大館市御成町三丁目　電話（大館）1020・1021

横手営業所　横手市駅前通り　電話（横手）1111・1112

年頭の辞

秋田県消防協会
副会長　山本三郎

昭和三十四年の新春を迎え、謹んで県下三万二千人の消防の皆さんと共にお慶びを申し上げます。

終戦後早くも十四回目の新年を迎えたのでありますが、その間戦後の混乱状態より漸次平静を取り戻し、国民生活も次第に安定してまいりました。その復興振りの目覚しさは世界列強の目を驚かすに十分なものがあります。

然しながらこの急激な復興に伴い財政面には少からず窮屈な思いを致したことも皆さん御承知のとおりであります。

秋田県は勿論県下市町村においても財政再建法の適用を受けるの止むなきに至った所もまた少く ありません。

斯くの如き悪条件下にあっても毎年多大な県民の貴い財産を烏有に帰せしめているのであります。

この災害の原因として我々の住宅は最も燃え易い構造であることや消防車、貯水槽、道路、通報施設の不備等その他数々挙げられますが、これらの整備については市町村は勿論県における火災の損害もまた決して見逃すことはまいりません。

次に過去五ヶ年間の火災件数とその損害額をあげますと

年次	件数	損害額（単位百万円）
三一	三七二	一三七九
三二	三六〇	一二九九
三三	二九七	一二七五
三四	二九七	一一九三

これは、本県の一ヶ年の予算約百参拾億円に比適する様に莫

年頭に想う

大館市消防長　小林定義

忙しい年末から一夜明ければまことにすがすがしい昭和三十四年の新しい希望の年頭を迎え、毎年のことながら県下消防関係各位とともに、心からお慶び申し上げます。

顧ればこの年は、全く大火災なく過し、ここ数年来全県消防界のみならず秋田を開いたことは、まことに消防界の労苦も一しお感慨深いものがあり、全国的な問題としては、消防審議会の答申にかかる強化育成の方途については、長短あれど論議論議となり、国民注視の桑太子の御婚約の御慶事は国を挙る寄を用い、昨年の好成績を合せ実現に進みたいものであれと祈り、県下消防人の御多幸と御精進の willを願って年頭の辞と致します。

以上の辞令を思うにつけ新年は文字どおり最良の年度として、連日広報活動をなく過し、ここ数年来全県消防界のみならず秋田を開いたことは、まことに消防等我が国の繁栄と発展に銘選挙が、全国的に行われるとの問題記すべき新年に当り、私達としては、消防審議会の答申にかかる強化育成の方途については、長短あれど論議論議となり、国民注視の桑太子の御婚約の御慶事は国を挙る寄を用い、昨年の好成績を合せ実現に進みたいものであれと祈り、県下消防人の御多幸と御精進の willを願って年頭の辞と致します。

年頭の辞

本荘市消防長　茂木文作

昭和三十四年の新春を迎え、謹んでお慶び申上げます。

昨年を省みますと、これまで火災県の汚名を頂戴していた本県としては件数において大きく多くありましたが、損害は例年に比し多くなかったように考えられます。また事業面からみて、会県消防大会をはじめ金沢連東北支部総会、北海道東北七県消防連絡協議会等県民の防火意識向上に大きなるものがあり、昨年来いろいろ検討されて参りました消防制度の改正も愈々今国会に上程されるに開いております。

自治消防として発足以来十一年にして組織、行財政その他種々の面で改正が加えられようとしているのであります。このことについての是非は別として、凡ゆる面が先か、鶏が先かの類で、そうでなければいつまでも私達の生活から火災をなくされるということは出来ないと考えるのであります。

本年こそは、国民総消防の基盤の上にたってじっくりと火災予防に、更に消防活動に精進して参りたいと存じます。

終りに皆さんの御健康を心からお祈り申上げます。

昭和三十四年の新春を迎え、謹んでお慶び申上げます。

昨年を省みますと、これまで火災県の汚名を頂戴していた本県としては件数において大きく多くありましたが、損害は例年に比し多くなかったように考えられます。また事業面からみて、会県消防大会をはじめ金沢連東北支部総会、北海道東北七県消防連絡協議会等県民の防火意識向上に大きなるものがあり、昨年来いろいろ検討されて参りました消防制度の改正

ともあれ少しずつでも県民の消防に対する理解が深まったことは喜ばしく、多くなかったように考えられます。

本年も皆さんと共に本当に喜ばしく存じます。

輝く新春の知事表彰

県防災訓練本部では、消防功労者を恒例によって、元旦の佳き日に知事名をもって表彰すべく、昨秋来市町村の消防又は水防の施設改善や技術の向上に著しい功労のあった者や永年勤続してその成績優秀である消防団（員）について調査しておったが、この程次のように決った。

なお施設の改善、技能の向上に著しい功労のあった消防団員には有功章を、三十年以上勤続して勤務成績優秀な者には金色勤続章を又二十年勤続して勤務成績優秀なものには銀色勤続章を贈られ、各市町村において行う出初式の際厳粛に伝達される事になっている。

○有功章

秋田市消防団　分団長　桜橋周之助
副団長　小野庄吉
同　石井清太郎
同　中山吉郎
同　富野太助
同　佐藤寅吉
能代市消防団　副本部長　五十嵐賞蔵
同　副分団長　藤原武司郎
同　松島源治郎
同　若松多左衛門
同　船山藤一郎
大館市消防団　分団長　日景重之助
同　虻川修意
同　奈良栄
同　熊田巳之亟
同　石井政蔵
男鹿市消防団　副団長　今山弘毅
分団長　武田善吉
同　山本兼一郎
本荘市消防団　分団長　佐藤純兵
同　佐藤武彦
湯沢市消防団　副団長　菅吉
本部長　佐々木鉱
地区副隊長　松田健太郎
大曲市消防団　分団長　堀内喜太郎
雄和村消防団　副団長　佐藤茂一郎
仙北村消防団　副団長　永井採左エ門
鷹巣町消防団　副団長　金浦町消防団
藤吉町米内沢消防団　分団長　金久一郎
合川町消防団　副団長　秋田治惠門
五城目町消防団　副団長　石井運之助
分団長　熊田条之助
八郎潟町消防団　副団長　須田修治
天王町消防団　分団長　二田亮
井川村消防団　副団長　菅藤正蔵
副団長　伊藤民治郎
河辺町消防団　副団長　佐藤
金浦町消防団　副団長　佐藤茂一郎
副地区隊長中島喜代治
分団長　日景
副団長　村上喜代治
村上喜代治
秋田治惠門
石井運之助
熊田条之助
八郎潟町消防団　副団長　佐々木菊治
館岡新五郎
佐々木菊治
本荘市消防団　分団長　佐藤
本荘市消防団　副本部長　佐々木
地区副隊長　松田健太郎
鷹巣町消防団　副団長　永井採左エ門
堀内喜太郎
雄和村消防団　副団長
金浦町消防団　佐藤茂一郎
鳥海村直根消防団　分団長　工藤勘一郎
本部長　三浦鳥次郎
今藤米太郎
西目村消防団　副団長　村上喜代治
同　真坂清作
同　村笹子消防団　高橋清雄
由利村消防団　副団長　木内義一
矢島町消防団　副団長　茂木善一郎
六郷町消防団　小松幸吉
協和村消防団　副団長　奥田正治
滝沢喜一郎
仙北村消防団　副分団長　千葉長吉郎
太田村消防団　分団長　高橋周一郎
平鹿町消防団　副部長　佐々木哲蔵
千葉　高橋宗三郎
真田弥太郎
十文字町消防団　副分団長　加賀谷三郎
副支団長　近藤茂吉
大雄村消防団　本部長　土田義一郎
副団長　三浦政治
羽後町消防団　副分団長　菅原藤一郎
分団長　柴田均一
菅瀬村消防団　副団長　長谷山栄吉
同　佐藤円右エ門
稲庭川連町消防団　阿部儀助
藤里村消防団　分団長　斎藤栄一
福司小三郎
八森町消防団　副団長　川上勇治郎
消防員　二ツ井町消防団　中山二郎
分団長　佐野千代造
雄物川町消防団　工藤勘一郎
同　副団長　奥山幸次郎
小西
札助
合川町消防団　分団長　工藤善市
北町消防団　副分団長　山崎一郎
森吉町米内沢消防団　谷藤征得
琴丘町消防団　北林永次
見上一郎
斎藤宇吉
大森町消防団　分団長　佐々木吉蔵
副団長　祐崎次郎
仁賀保町消防団　分団長　戸陣孝一
同　小助川常雄
○三十年以上勤続
秋田市消防本部　消防長　伊藤千代吉
消防員　秋田市消防団　班長　平野内久吉
分団長　沼田藤治
副団長　鈴木久隆
保坂兼五郎
部長　吉井義臣
大門市之助
能代市消防団　副本部長　五十嵐賞蔵
荒木安之亟
丑井　藤市
湯沢市消防団　分団長　斎藤長一郎
佐藤義一郎
同　高橋誠一
小島栄治
大曲市消防団　副分団長　渡辺良吉
後藤定二
太田村消防団　分団長　小玉金太郎
男鹿市消防団　消防員　戸田竹雄
大館市消防団　分団長　大里吉助
十和田町消防団　副分団長　古川忠吉
尾去沢町消防団　高杉卯吉
同　班長　前田岩吉
副分団長　高田忠吉
鷹巣町消防署　消防司令補　高田巳之助
副部長　鈴木權八郎
佐藤善三郎
岩川司
雄物川町消防団　副本部長　斎藤利三郎
副部長　佐々木八郎
奥山幸次郎
大森町消防団　消防員　大極岩之助
○河辺支部
雄和村消防団　分団長　工藤昇作
六六名
○本荘市消防団　本荘市消防団　分団長　今野定
外　二四一名
○大曲市消防団　大曲市消防団　分団長　藤田喜次郎
外　二一八名
○横手市消防団　大森町消防団　団長　柴田礼吉
外　一五八名
○湯沢市消防団　雄物川町消防団　団長　藤原賢一
外　二三六名
○鹿角支部
花輪町消防団　班長　石木田祐三
外　三五名
○大館市消防団　北秋支部　鷹巣町消防団　団長　成田繁一郎
外　二二五名
○能代市消防団　山本支部　能代市消防署　消防士長　村山敏雄
外　四七名
○男鹿市消防団　南秋支部　男鹿市消防団　分団長　加藤利之助
外　八九名
○秋田市消防団　秋田市消防本部　消防司令　藤井喜一
外　一九九名

消防協会長表彰

県消防協会では日出度い元旦をトし、十年以上勤続して勤務成績優秀、功労顕著な消防職員や消防団員を恒例によって表彰することになり、この程受賞者を発表した。

なお受賞者には、表彰状と銅製勤続章を贈ることになり各支部へその伝達方を依頼したが、各支部で表彰を受ける者は、次のとおり。

○秋田市消防団　秋田市消防本部　消防司令　藤井喜一
外　一九九名
○男鹿、南秋支部　男鹿市消防団　分団長　加藤利之助
外　八九名
○能代、山本支部　能代市消防署　消防士長　村山敏雄
外　四七名
○大館、北秋支部　鷹巣町消防団　団長　成田繁一郎
外　二二五名
○本荘市消防団　本荘市消防団　分団長　今野定
外　二四一名
○大曲、仙北支部　大曲市消防団　団長　藤田喜次郎
外　二一八名
○横手、平鹿支部　大森町消防団　団長　柴田礼吉
外　一五八名
○湯沢、雄勝支部　雄物川町消防団　団長　藤原賢一
外　二三六名

⑫

○三十年以上勤続
秋田市、同市消防団　長　小泉四郎
能代市、同市消防団　部長　長三郎　五〇名
横手市、同市消防団　分団長　戸田源治郎　二名
大館市、同市消防団　班長　武田八五郎
本荘市、同市消防団　分団長　鈴木二夫　二名
男鹿市、同市消防団　地区隊長　武田善吉　九名
大曲市、同市消防団　部長　草薙一　一〇名
湯沢市、同市消防団　班長　小塚徳太郎　二名
【鹿角郡】花輪町消防団　分団長　石木田六郎　七名
【北秋田郡】鷹巣町消防団　分団長　春日武　六七名
【山本郡】琴丘町消防団　分団長　渡辺二一　甚六名
【南秋田郡】五城目町消防団　分団長　猿田条之助　一〇名
【河辺郡】河辺町消防団　分団長　船木九名助
【由利郡】象潟町消防団　副団長　茂木善一郎　五〇名
【仙北郡】角館町消防団　団長　佐々木賢一　六九名
【雄勝郡】稲庭川連町消防団　分団長　信一　六名
【平鹿郡】平鹿町消防団　分団長　柴田八六名
【雄勝郡】稲庭川連町消防団　分団長　村上一
外　十文字町消防団　副支団長　近藤浅吉
羽後町消防団　分団長　鈴木遜蔵
雄勝町消防団　分団長　白利道治
稲庭川連町消防団　副分団長　金子茂左右門
同　消防員　佐々木文四郎　高橋専治
大曲市消防団　副分団長　伊藤若蔵

年頭に想う

大館市消防長　小林定義

昭和三十四年の新年を迎えまして、謹んでお慶び申上げます。

新年は御成婚の年であり皇室がいよいよ一般国民と直結してまことに身近に迫ったのであるが、その喜びとともに、歴史にその比を見ないでありましょう。

更には参議院議員と地方選挙が、全国的に行われるとの問題記すべき新年に当り、私達としては、消防審議会の答申にかかる強化育成の方途については、長短あれど論議論議となり、国民注視の桑太子の御婚約の御慶事は国を挙る寄を用い、昨年の好成績を合せ実現に進みたいものであれと祈り、県下消防人の御多幸と御精進の willを願って年頭の辞と致します。

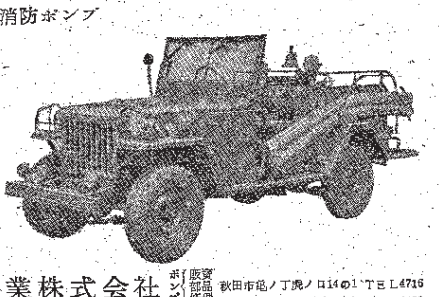
従ってこれが具体的実行として、連日広報活動を

第二線として防火思想を昂揚せしめ、月例予防査察を第二線として、更には週間行事を第三線として細分化し、これまでの過去を反省検討して最も妥当な日時を選定し、例えば二月防火デー、三月週間、四月週間、五月週間と細分化して無火災実現を期したい、新年は猪年に当るの洪意であります。

願わくば、大火絶対防止を県是として協会、防災本部の音頭により、金県歩調と念願すると共に接良の年であれと祈り、県下消防人の御多幸と御精進の willを願って年頭の辞と致します。

秋田県推奨県産優良認定品

特許 松野式消防ポンプ



賀正

経営推進
事業整備拡充

藤高自動車興業株式会社
消防ポンプ部
自動車ポンプ・特許三輪ポンプ・各種手曳ポンプ
資材部 秋田市広小丁鹿ノ目14の1 TEL4716
本社（既開） TEL4429
販売部 秋田市上米町二丁目80 TEL6462
修繕部 秋田市上米町二丁目80 TEL3688
自動車部 秋田市上米町二丁目81 TEL6462

謹賀新年

徽章・ネームプレート

営業種目
高級着色ネームプレート、金属看板
パッチ転字マーク徽章、金属マーク
メダル、琺瑯引看板、諸鑑札、門札

★権威と信用に誇る専門店！
……一切の御用命は迅速確実に応ず……

マコトネームプレート製作所
代表者　富山二郎
秋田市楢山長沼　電話秋田7083

謹賀新年

秋田市消防長　伊藤千代吉
〃　秋田消防署長　池田貞吉
〃　土崎消防署長　佐藤千代治
能代市消防長　斎藤悦郎
〃　消防署長　林佐一郎
横手市消防長　小味淵肇
〃　消防署長　黒沢鉄二郎
大館市消防長　小林定義
〃　消防署長　本自朗
本荘市消防長　木文作
〃　消防署長　佐藤直治郎
男鹿市消防長　黒邦之助
〃　消防署長　佐々木徹
湯沢市消防長　圭一郎
〃　消防署長　樞玄治
大曲市消防長　板谷五郎左工門
〃　消防署長　佐々木佳夫
鷹巣町消防長（兼署長）　金治郎
五城目町消防長　加賀谷力司
角館町消防長　菅原菊松
〃　消防署長　木昌一
秋田市消防団長　小泉四郎
能代市　島兵治
横手市　山本三郎
大館市　渡部綱次
本荘市　佐藤純兵
男鹿市　安田惣太郎
湯沢市　山脇新八
大曲市　藤田慶次郎
鹿角郡
花輪町消防団長　田中幸蔵
十和田町〃　小笠原常忍
小坂町〃　小笠原省吾
尾去沢町〃　高杉卯吉
八幡平村〃　安保善太郎
北秋田郡
鷹巣町消防団長　成田鈴一郎
比内町〃　矢本覚次郎
〃　森吉町米内沢〃　石崎茂一
森吉町節田〃　池田得治
〃　阿仁町〃　庄司作蔵
〃　沢井作蔵
〃　五十嵐貞一
〃　田代町〃　桜田治意門
〃　合川町〃　菅瀬直
〃　上小阿仁村〃　大沢
山本郡
琴丘町消防団長　兒玉專太郎
二ツ井町〃　田口幸一郎
八森町〃　須藤桑三
山本村〃　鈴木多朗
〃　斎藤宗一
〃　米森伴蛯
〃　峰浜村〃　清水正太郎
南秋田郡
五城目町消防団長　渡辺修治
〃　飯田川町〃　須田時治
〃　金一
〃　永井金一
〃　菅原直一郎
〃　天王町〃　亮
〃　二田〃　正作
〃　斎藤〃
〃　鈴木一雄
河辺郡
〃　河辺町消防団長　岡部精一
〃　和村〃　伊藤隆治
由利郡
金浦町〃　奥山柴太郎
象潟町〃　土門貞吉
岩城町亀田〃　吉尾忠二郎
〃　道川〃　三浦華次郎
〃　小番長夫也
矢島町〃　鈴木文三
西目村〃　佐藤幸蔵
島海村内〃　村上芳美
〃　根村〃　高橋耕太郎
鳥海村笹子〃　佐々木直三郎
東由利〃　村上勇蔵
由利村〃　東海林金二
仙北郡
神岡町消防団長　今野七郎
中仙町〃　大野忠右工門
六郷町〃　栗林信一郎
西仙北町〃　土井常吉
角館町〃　佐々木賢
仙北村〃　池田豪一
西木村〃　田村孝治郎
太田村〃　鈴木喜蔵
千畑村〃　高橋頭一郎
南外村〃　小松俊一
仙南村〃　進藤正雄
協和村〃
平鹿郡
増田町消防団長　谷藤徳得
雄物川町〃　嶋田敬治
十文字町〃　坂本松蔵
大森町〃　柴田礼吉
山内村〃　照井喜一郎
大雄村〃　長類一
雄勝郡
雄勝町消防団長　小山田兵太郎
羽後町〃　柴田義威
稲庭川連町〃　佐藤育秀
東成瀬村〃　佐藤喜一郎
菅瀬村〃　藤原賢一

謹賀新春

新しい感覚の印刷と製本

太陽印刷株式会社

秋田市下亀ノ町七ノ二

電話4835番

トーハツ　賀正

トーハツポンプ

県北代理店　**田仲工業所**

南秋田郡天王町天王　T天王53

謹賀新年

毎度の御愛顧を深謝申上げます
本年も旧に倍し御協力賜り度く伏して御願奉ります　私事十数年間火災を少なく致す事にのみ一心を捧げて参りました御蔭様で泡沫消火器を御設備下さつた処から一回だに火災がなかつた事を誇りと致して居ります

建築物には顚倒式泡沫消火器
油脂一般電気には四塩化ドライケミカル消火器
車輛にはスコール加圧消火器

◎消防施設の御相談は是非当所へ

日本防火研究所秋田支部

石黒佐久司

秋田市川反四丁目四番地　T 4241

秋田県経済農業協同組合連合会御指定

◎消防ポンプと各種器材並修理
ニッキ消防車、ラビット、中央小型ポンプ
各種消防車の修理

◎各種消火器
泡沫、アンスル、四塩化各種消火器

◎火災感知機、盗難感知機の施設

各種防火機器一切の御用命に応じます

日本機械KK、日本アンスルKK、日本商会、日本文化電機KK
代理店

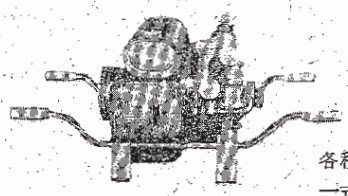
羽後消防機器株式会社

賀正

○カタログ呈上　○御一報次第参上

事務所　秋田市西根小屋仲町八　T 5864
工場（サービス）　秋田市茨島一の一五　T 7358

市原ポンプ各種



34馬力（国検）20貫
27〃（〃）18貫
17〃（〃）17貫

賀正

各種ポンプ製作修理、望楼工事
一式ホース、器具、被服一式

ラビットポンプ
市原ポンプ　秋田県総代理店

株式会社　**協立製作所**

能代市畠町追分　電話四一八番

謹賀新年

株券、証券、賞状、地図
パンフレット、ポスター、包装紙

オフセット印刷

大木印刷株式会社

秋田市田中町二五　電話二九六一番

▷▷▷謹賀新年◁◁◁

- 消防ポンプ、消防ホース、被服
- 消火器、消火施設

◎其他消火設備、機材の一切の御用命に応じます

日本機械、日本アンスル、日進工業
各代理店

旭友官納商事株式会社

秋田市西根小屋町中丁1　T 5045

トーハツ ENGINES　35年来の小型エンヂンメーカーが贈る
国家消防本部検定合格品

賀正

トーハツポンプ

各馬力共サーチライト付完成品	VH型	水冷35馬力	150ポンド	500ガロン
	VK型	水冷28馬力	130ポンド	370ガロン
	VF4型	水冷15馬力	120ポンド	250ガロン
	VE3型	水冷65馬力	80ポンド	120ガロン

ジエツトホース＝テトロン交織の新製品発売！
特徴　1. 水が漏らない　2. 取扱いが容易である
3. 耐久力に富む　4. 軽く、硬くならない

秋田県代理店

株式会社　**高義商会**

本社　稲庭川連町　電話　川連　16番 18番
支店　横手市駅前　電話　1180番 1181番
支店　十文字駅前　電話十文字　32番
秋田営業所　秋田市川反二丁目　工藤幸吉　T 秋田 3178番
県北代理店　天王町　田仲工業所　T 天王 53番
同上　花輪町　鹿角自動車整備株式会社　T 花輪 74番

毎月1回 25日発行
消防秋田
定価 1部 10円
秋田市土手長町
発行所 秋田県消防協会
発行兼編集人 伊藤忠太郎
秋田市下亀ノ町14
印刷所 太陽印刷株式会社
電話四八三五番

小坂町
作戦に誤りなかつたか？
火災の防禦方法を検討

朝から小雨が降ったり止んだりの十一月二十一日夕刻、小坂鉱山銀山町の菊地製綿工場から出火し、僅かな時間余りで住家十二棟、一時間余りで住家六棟を焼き、罹災世帯二十三を出した火災の防禦につづいてその適否を研究し、将来の火災予防や火災防禦の参考にするため、県消防訓練本部では十二月二日小坂町役場会議に、鹿角郡消防関係者三十余名の参集を求め、午後一時から検討会を開いた。防災訓練本部進藤主事の開会のことばに次いで、小笠原小坂町長兼消防団長から別項のような挨拶があった後、全員が消防自動車二台に分乗して焼け跡に到り、谷地小坂町消防係主事の現地説明を聴取して午後二時会場に戻れ、私達のとった火災の防禦方法を種々な面から検討し明と併せ会議を再会、佐藤防災訓練本部次長から次のようなお挨拶があって、本格的な研究に入った。

会議の模様は既ね次のとおりであるが、消防戦術は勿論、消防行政、消防施設その他消防各般に亘って、極めて真剣に意見のやりとりがなされ、大なる成果を収めて午後五時閉会した。

挨拶
小坂町長　小笠原省吾

御多忙中のところ本日は多数お集り願い有難度うございます。

過般、十一月二十一日私の留守中火災を出し、県や町長兼消防団長から別項の迷惑をおかけ致しました、員が消防自動車二台に分乗心から御礼申上げます。

県では消防の今後のため本日このような会合をもたれ、私達のとった火災の防禦方法を種々な面から検討本部の佐藤次長さんにお願致したいと存じます。

○議長　それでは不馴れではありますが、お計しを得まして私が司会させて戴くことに致します。

先ず地元の方から当日の気象の状況や地理、建物、水利等一般状況についての御説明を願います。

▼降雨中の大火

○谷地　火元は現地でもご説明致しましたとおり、菊地製綿工場で、出火は午後五時頃でありまして、当日朝から小雨が降ったり止んだりの天気で風も殆んど極めて簡単でありますが御礼を兼ね御挨拶致します。

○谷地　火元の直ぐ後を巾三米、深さ二・五米、毎分二、九〇〇ガロンの流量のある大谷地川が流れ、鉱山の常設消防の横と、事務所裏に六〇立方米の貯水槽があります。

次に水利の状況ですが、火元の直ぐ後を巾三米、深さ二・五米、毎分二、九〇〇ガロンの流量のある大谷地川が流れ、鉱山の常設消防の横と、事務所裏に六〇立方米の貯水槽があります。

○高杉（助）　火元の工場は二階建ですか。

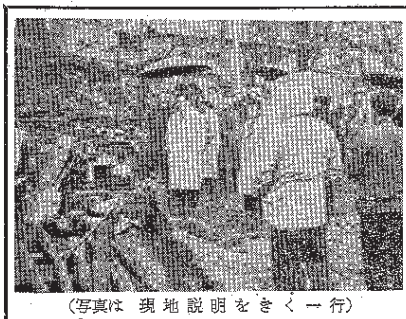
○谷地　一部は二階で二つに区切られており、これには綿屑が相当散乱してあった模様です。

○議長　外に御質問等たけ何か御質問等ございませんですか。

○田中　火元工場の道路に面した部分はどうなっておりましたか、例えばガラス窓の部分などは有りましたか。

○谷地　ガラス窓の部分もありました。

○村山　鉱山の特設消防隊が鉱山以外に出動するには隊長の許可を要するという話もありますが、その点に


（写真は現地説明の一コマ）

＝出席者＝

防災訓練本部	佐藤　次長
同	進藤　主事
鹿角福祉事務所	佐藤　所長
花輪警察署	倉田　署長
同	小笠原町長
小坂町	児玉庶務課長
同	谷地消防係
同	上野副団長
消防団	北村分団長
〃	斎藤副分団長
〃	本田分団長
小坂鉱山消防隊	渡辺副隊長
同	高橋　隊長
十和田町消防団	小笠原団長
花輪町消防団	田中　団長
同	村山副団長
同	斎藤常備部長
尾去沢町消防団	高杉(正)副団長
同	高杉(助)副団長
外十数名	

○谷地　暗くなっておりました、然し火事場は作業に支障あるほど暗くなっておりませんでした。

○田中　火元工場の道路に面した部分はどうなっておりましたか、例えばガラス窓の部分などは有りましたか。

○谷地　ガラス窓の部分もありました。

○村山　鉱山の特設消防隊が鉱山以外に出動するには隊長の許可を要するという話もありますが、その点に

火元の工場は延べ三十坪木造、トタン屋根の建物でした。この工場には日中作業員が二名おり、作業が終ると約五十米離れた菊地呉服店の方へ引上げておりました。この火事は作業終了後でしたから出火当時工場に誰もおりません。

「罹災区域は、ただ今割り戴いたように、鉱山地帯特有の密集地帯で建蔽率六〇%というほど木造の古い建物が建込み火災には最も危弱な地域でした。

次に水利の状況ですが、火元の直ぐ後を巾三米、深さ二・五米、毎分二、九〇〇ガロンの流量のある大谷地川が流れ、鉱山の常設消防の横と、事務所裏に六〇立方米の貯水槽があります。

次に水利には比較的恵まれておりますが、発見れば、火災発生時における隊長の許可を要するという話もありますが、その点に

ついてどう。

○高橋　小坂の町内の火事の際はそんなことはありません。他町村に出動する隊員は原則として許可を要することに致しております。

○谷地　今回も特設消防は運行人の知らせで出動致しておりますので、御質問のようなことはなはと思います。

○渡辺　私は当日の責任者でありましたが、女の人の「菊地の工場火事」という声で直ぐ二台出動させております。

▼ガソリンなどなかった

ただ今までの御説明によりますと、火足が大分早かったように思われますが、工場にカソリンか何か特殊な燃焼物がありませんでしたか。

○谷地　その点警察でも厳重に調べているようですが特別な物がないことになっております。

○高杉（助）　通報も出動も大分おそいように思われますが消防の体制はどうなっておりますか。

○谷地　ただ今も申上げましたが、町の消防は常設でなく全部駐付消防の体制です。

○議長　外に御質問がございませんでしたら火災の防禦行動についての御説明を願います。先ず最初に地元消防団の指揮に当られた方からお願い致します。

▼裏がおくれた

○北村　私が電話で通報を受けたのは五時五分前後です。直ぐ身仕度して外へ出て見ましたが、その頃既に相当の火になって見えました。直ぐポンプ置場へ駐付けましたが、まだ運転手が来ておりません。約一分間位も待ったでしょうか、運転手が来ると直ぐ出動して時計台の下で大谷地川に水利部署し、はじめは火元の直ぐ隣になっている榛谷洋服店のあたりで食い止める べく、ホース十四本延ばし道路上から榛谷の店へ筒先を向けて注水しました。

ところが裏の方がだんだん燃え拡って来るので筒先を、文庫のところから松本洋服店の裏へ移し、菊地呉服店の裏の消火に努め、応援隊の協力を得てここで食止めました。

○議長　到着当時の模様をもっと具体的に御説明願けませんか。

○北村　私が現場に望んだ頃は、既に火は四隣に燃え拡って鉱山の部隊がどこに火掛りしているかも判りませんでした。多分火元工場の後の方に出て裏側の消火に当っていたものと考え私達は裏から攻撃をはじめたのです。

○議長　有難とうございます。それでは鉱山の方に活動の状況を御説明願います。

○村山　私は元山にいて火事を知り、トラックで来ましたが、私の現場へ来た頃は付近一帯は火の海となっており、私の方の一号車は常設消防横の貯水槽に据付け山の手に運ぶ道路上で火元隣りの酒井質屋の消火に当っており、二号車は鉱山事務所裏の貯水槽に水利を求め、火元向いの毛内家具店と火元隣りの榛谷洋服店の消火に当っておりました。三輪自動車ポンプも事務所裏の貯水槽に水利を求め、道路上から榛谷宅の消火に努めておりましたが、裏手が危険に見えましたので、山の手に移動して衛生詰所付近で大谷地川から水利を採り、裏側の延焼防止に努めさせました。

▼全面指揮に任じた考がいない

○議長　有難とうございます。それでは最高指揮者の方の御説明を願います。

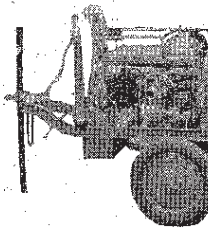
○上野　団長は上京中で、私も又地理的に不便な所におりますので、電話で知って駆けましたが初期大火には間に合いませんでした。

それに私の方の運転手が隣りに御祝儀があって不在でしたので、代りの運転手でやって来ましたが、仲々思うようには参りませんで今後はあした点も何んとか解消致したいと思っております。

○児玉　当日は町長も助役

（写真は現地説明の一コマ）

消防ポンプは
ニッキとラビット号
各種附属品と被服全般、消火器各種
特約店　赤穂消防機具店
横手市富士見町　電話八三八番

秋田県推奨県産優良認定品
特許 松野式消防ポンプ
経営推進
事業整備拡充

藤高自動車興業株式会社
消防ポンプ部
自動車ポンプ・特許三輪ポンプ・各種手曳ポンプ
ポンプ（販売・部品・修理）　秋田市亀ノ丁字13の1　TEL4716
本社（夜間）　TEL4420
自動車（販売・部品・修理）　秋田市上米町二丁目30　TEL6462
秋田市上米町二丁目30　TEL3688
秋田市上米町二丁目31　TEL6462

秋田県経済農業協同組合連合会御指定
◉消防ポンプと各種器材並修理
ニッキ消防車、ラビット、中央小型ポンプ
各種消防車の修理
◉各種消火器
泡沫、アンスル、四塩化各種消火器
◉火災感知機、盗難感知機の施設
各種防火機器一切の御用命に応じます
日本機械KK、日本アンスルKK、日本商会、日本文化電機KK
代理店
羽後消防機器株式会社
事務所　秋田市西根小屋仲町八　T5864
サービス工場　秋田市茨島一の一五　T7358

○カタログ呈上

○御一報次第参上

（※一面より）

も出張不在で、ポンプは当面の責任者は私でした。私が五時五分頃電話で火事を知りましたが、先ず第三分団長へ知らせ、「直ぐ現場へ行ったのですが、その頃既に消火栓の水が出ておりポンプも一、二集っておりました。私は罹災者に対する

○本田　私は第一分団の組出しておりました。今迄も私の方では応援要請の出る前に引上げましたが、帰る時第一分団の川部署しようとしておりました。

あの日は風もなく水利等あき証付けました。現場まで約二粁ありますが、十五分集りが悪く、已むを得ず先ずポンプの者四人で可成動力を引出しておったので、その誘導に当り、文軍脇の大谷地川に部署し風下の延焼防止に当り、ここで鎮火に至るまで放水を続けました。

○議長　次は十和田町にお願い致します。

▼応援隊のことも考えよ

○小笠原　先ず鹿角郡の応援のことについて申上げたいと思います。

○斎藤　私は焼け出された一人です。私の見た時は工場の中は一面の火で、下から既に火が吹き出ておりました。バケツ消防ではとても消せないと直感し、その足で直ぐポンプ置場へとかあり跳ねて、ポンプは、振刷立ったものを作詰ますと、そこに当然権利義務の問題がかんで参り五時二十五分頃出発致し、現場到着は六時二十分頃でした。

○議長　全般的な問題についても結構ですが、何かございましたら。

○上野　町にも非常用のサイレンを設備して欲しいと思います。この度鉱山のサイレンを鳴らしたかどうか判りませんが、徹底していないようです。

○遠辺　五時十分に私がサイレンを鳴らしています。

▼協会へ加入の必要を痛感

○佐藤　私も最善の方法で指導願たいものです。

▼苦し指揮者だつたら

○進藤　第三分団の副分団長さんに、お伺致します。若し貴方達が指揮者として注水するように、という御意見がありましたが、どもっとも御意見です。

○倉田　私の方の今までの経験では出火原因はモータ内輪で五馬力を十馬力にして使っており、それも素人工事ですからね。

▼火に近づけない

○高杉（正）　あれ位の条件を備えておりながら大火災を起こしたのは、ポンプは一般の方に対する気を付ける事が必要と思います。

○谷地　現在の制度からしてはどうかと思います。

▼水の対戦を見るようだ

○小笠原　この火事ばかりでなく、往水の状況を見ると水は天上にばかり向きまして水の対戦を見るように感じられます。

○佐藤　先程「火にもっと接近して注水する」とありましたが、どもっとも御意見です。

○倉田　私の方の今までの経験では出火原因はモータ内輪で五馬力を十馬力にして使っており、それも素人工事ですからね。

▼決意必要

○進藤　初期に鉱山の管先を横谷洋服店の中に二、三人入れて貰いたかったと思います。管先は路上だけでは遺憾に思います。

「どこで食止めるか」ということは指揮者の第一考えなければならないことであると思います。

○議長　時間も相当経過致しましたので、この辺で終りたいと思います。

先刻佐藤福祉事務所長から特設消防の加入のお話がありましたが、他の支部でも相当数の加入を見ております。クラブの指導を担当する学校職員の骨折り願いたいと思います。

▼想定訓練の実施を望む

○高杉（正）　それぞれ電話を得ながら自分の家が危いと思うのが自分の方の協力が大火災を防ぐ一番の理解が必要です。それには平素の啓蒙がなければ、何時でもこの方に対する取られ、誰も通報する者がなかったのが最大の原因だと思いました。

○斎藤　私の方（花輪）の一般の通報は五時十分頃でした。見ず警察電話で確めて必要と思います。

○議長　全般的な問題についても結構ですが、何かございましたら。

○上野　町にも非常用のサイレンを設備して欲しいと思います。この度鉱山のサイレンを鳴らしたかどうか判りませんが、徹底していないようです。

○遠辺　五時十分に私がサイレンを鳴らしています。

▼協会へ加入の必要を痛感

○佐藤　私も最善の方法で指導願たいものです。

▼苦し指揮者だつたら

○進藤　第三分団の副分団長さんに、お伺致します。若し貴方達が指揮者として注水するように、という御意見がありましたが、どもっとも御意見です。

○倉田　私の方の今までの経験では出火原因はモータ内輪で五馬力を十馬力にして使っており、それも素人工事ですからね。

▼想定訓練の実施を望む

○議長　時間も相当経過致しましたので、この辺で終りたいと思います。

先刻佐藤福祉事務所長から特設消防の加入のお話がありましたが、他の支部でも相当数の加入を見ております。クラブの指導を担当する学校職員の骨折り願いたいと思います。

どうぞ各町村ともお事前に防禦計画を樹て、その計画に基づき時々想定訓練を実施して戴くよう御配慮願ます。他の都市では盛に想定訓練を実施し相当の成果を収めております。

○小笠原町では防禦計画の樹立に際し、鉱山側とよく御相談のうえ樹立下されたいと思います。

▼特設消防の加入

小畑知事は就任当初から管事項の中から新生活化に県民所得の増加と生産増強、直接警察が重要なことは各のため、農業においては三面的に新生活運動に盛り上早稲作や畜産を中心とした有畜農業の振興等を年次計画面により実施する等凡ゆる産業について面期的施策を講じて来たため、県内産業は飛躍的発展を遂げ、県民所得も著しく増加しつつあることは同慶に堪えない。然るに五年前から「県民及」であり、その内容は次のようになっているが、関係者から大いにその成果が期待されている。

防火運動の普及

この事業を必要とする理由

本県は、火災県と称され相次ぐ大火の発生によって県勢の伸張を阻害されている。

火災に対する消防施設の不燃化の推進

火災原因別にこれを見れば、

年次	弄火	煙突	電気	ストーブ	焜炉	炉火	かまど	風呂場
昭三二	四七	二七	三一	二三	二五	二七	三四	三〇
昭三三	四八	三七	二九	二三	二五	二七	三四	三〇

また火災原因別にこれを見れば、

年次	弄火	煙突	電気	ストーブ	焜炉	炉火	かまど	風呂場
昭三二	四七	二七	三一	二三	二五	二七	三四	三〇
昭三三	四八	三七	二九	二三	二五	二七	三四	三〇

新生活運動でも一役

取上げられた防火思想の普及

小畑知事は就任当初から管事項の中から新生活化に県民所得の増加と生産増強、直接警察が重要なことは各のため、農業においては三面的に新生活運動に盛り上早稲作や畜産を中心とした有畜農業の振興等を年次計画面により実施する等凡ゆる産業について面期的施策を講じて来たため、県内産業は飛躍的発展を遂げ、県民所得も著しく増加しつつあることは同慶に堪えない。然るに五年前から「県民及」であり、その内容は次のようになっているが、関係者から大いにその成果が期待されている。

防火運動の普及

この事業を必要とする理由

本県は、火災県と称され相次ぐ大火の発生によって県勢の伸張を阻害されている。

新生活運動は、住民の自主的な建設意欲を根幹とする運動でなければならない。昭和三十三年は消防機関の適切なる消火活動により、運動の進展に伴い、行政機関の果すべき役割は、一層強化、拡充されることが望まれているとなし、県ではこの趨都課長会議を開いて検討の結果、新生活運動を更に強力効果的に推進して行く上に必要な県自体の体制を整え、各部課の主々二九

年次	件数	損害額（千円）
昭三二	二三二	二九九九
昭三三	二三七	二九九六

県民の自衛意識の昂揚により火事を出さないことである。

火災に対する消防施設の不燃化の推進

火災県の汚名を返上することが即ち県民生活の向上であるので、この実施方法

等焼失資産の量産が全損数の約半数を占めている）を考察するとき、人口度憑条件下に火災が発生し、若し初

協力を求める団体、機関名

協力を求める機関

消防署二二、署員四九六、科、理科等の教育に資することに基調をおき、少年期から「火の科学」、正しい火災予防の知識を得る為、クラブの指導を担当する学校職員の骨折り願いたいと思います。

どうぞ各町村ともお事前に防禦計画を樹て、その計画に基づき時々想定訓練を実施して戴くよう御配慮願ます。他の都市では盛に想定訓練を実施し相当の成果を収めております。

○小笠原町では防禦計画の樹立に際し、鉱山側とよく御相談のうえ樹立下されたいと思います。

▼特設消防の加入

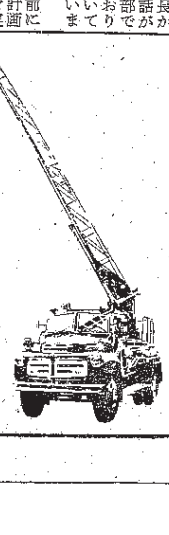
先刻佐藤福祉事務所長から特設消防の加入のお話がありましたが、他の支部でも相当数の加入を見ております。クラブの指導を担当する学校職員の骨折り願いたいと思います。

▼想定訓練の実施を望む

○議長　時間も相当経過致しましたので、この辺で終りたいと思います。

先刻佐藤福祉事務所長から特設消防の加入のお話がありましたが、他の支部でも相当数の加入を見ております。クラブの指導を担当する学校職員の骨折り願いたいと思います。

時代と共に進歩する!!
日本機械の消防車
＝消防器材一式＝
日本機械工業KK代理店
旭産業株式会社
（旧旭友官納商事KK）
秋田市西根小屋町中丁一　TEL 5.045



恐ろしい火魔の守りは！
きびワタナベポンプで
国消検定
A—1級1000ガロン型
A—2級
B—1級
B—2級
合格
最近の御納入先
秋田消防署
能代消防署
大館消防署
鷹巣消防署
本荘市消防署
五城目町消防署
仁賀保町消防役場
井川町役場
岩城町役場
矢島町消防役場
西仙北町消防役場
金浦町役場
能代市役場
K.K 渡辺ポンプ諸機械製作所　TEL 311.162
秋田出張所　秋田市西根小屋町16番地　TEL 6862
本荘出張所　本荘市二十六木　岡本豊治　TEL 413

日本消防協会長表彰

……優良消防団三、優良団員二四……

日本消防協会では毎年二月十一日に優良消防団と優良消防団員を表彰することになっているが、本県消防協会では、去る十一月はじめ常任理事会を開き、県下十支部から内申あったものについて慎重審議の結果、結論を出し、日本消防協会長宛上申中であったが、この度同会々長から次のとおり、優良消防団として大曲市消防団に表彰旗、由利郡由利村消防団と平鹿郡大雄村消防団に竿頭綬、又優良消防団員として秋田市消防団長武藤喜一外二三名に功績章や精勤章を授与して表彰することに決定した旨県消防協会長宛通知があった。

なおこの表彰式は来る二月十三日新装なった日本消防協会講堂で盛大に行わるが、この表彰式に臨んで表彰を受けるのは、大曲市消防団だけで、その他の表彰は松野会長が当日代って表彰を受け、伝達式は三月中に行う予定である。

○優良消防団

表彰旗　大曲市消防団

▽精勤章

稲庭川連町消防団
団長　佐藤育秀
二ツ井町消防団
団長　田口幸一郎
合川町消防団
団長　桜田治惠門
本荘市消防団
副団長　小野耕一
十文字町消防団
副団長　渡部清喜司
鳥海村笹子消防団
団長　小沼慶一郎
飯田川町消防団
副団長　鈴木太郎治
仙南村消防団
団長　高橋勇一郎
東由利村消防団
団長　佐々木直三郎
能代市消防団
副団長　小松繁二郎
湯沢市消防団
副団長　高橋毅一郎
六郷町消防団
分団長　照井時治
秋田市消防団
副団長　小野庄吉
昭和町消防団
部長　館岡新五郎
十文字町消防団
副文団長　柴田源一郎
能代市消防団
副分団長　藤田勝治
増和村消防団
副団長　佐藤茂一郎
秋田市消防団
分団長　永野俊次
中仙町消防団
部長　小松繁二郎
十和田町消防団
副分団長　大里吉助
分団長　鈴木長太郎
稲庭川町消防団
部長　宮川忠雄

☆新春を飾る出初式

消防は一様に過ぎし日を顧み今年こそは堅く誓えをたてる恒例の出初式は県内各地で厳粛に行われた。

今年トップに挙行された能代市の模様は、一月二日午前十時から知事代理の手賀防災訓練本部長外来賓多数を迎え、市立第二小学校講堂に団、署員五四八名参加の上、厳粛に行われた。

前日までの暖気も夜来の寒さで降雪と変り、全市は薄雪で薄化粧。先ず開式のことば、人員報告があって表彰に入り、有功章、永年勤続章、精勤章等百五十八名に対して授与され、続いて市長の告辞、消防長並びに消防団長の訓示の後、知事その他から懇々激励の祝辞があり、愛賞者表代の答辞があって第一会場の式を終り、次いで第二会場の市公民館前に移り、機械器具の点検と一斉十四ケ分団による勇壮な分列式、更に十二台の真紅な機動部隊による堂々の市内行進によって遺憾なく能代市消防の威容を示し、最後に会員市役所前に整列、手賀知事代理の発声で能代市消防の発展を祈る万歳三唱あって午後〇時十五分閉式した。

(写真は分列式)

昭和三十四年度予定行事 永年勤続退職者に感謝状

この程知事書記を終った昭和三十四年度保予算中に盛られている消防関係の新年度行事は次のとおりで、新規行事としては、昨年の県消防大会の決議に基き強く要望してあった

○小型動力ポンプの整備講習

○永年勤続退職者に対する感謝状並に記念品の贈呈等がある。

消防体制強化のため、各市町村では、各種講習には多数の受講者を派遣する等できる予算措置について特別なる配慮を願いたいと防火訓練太部で望んでいる。

○教養訓練

○予定行事

○幹部講習

県内十四ヶ所における消防団幹部の一日講習

▽教習科講習

常勤消防職(団)員中新規採用者の一ヶ月講習

▽防災主任者講習

市町村防災主任者の一日講習、年三回

▽機関科講習

機関担当員の五十日講習

▽現地機関科講習

県内十五ヶ所において、機関担当員の一日講習

▽消防綜合訓練

県内十ヶ所、一ヶ所一日

○防火指導

▽消防計画樹立指導

十八ヶ市町村

▽表彰

規程功者に対する表彰

永年勤続退職者に対する感謝状並に記念品の贈呈

▽火災予防団体の育成指導

未結成市町村　三二

▽防火週間　春秋二回

▽展示会

大曲市における聖苗交換会の際

▽火災防禦検討会　随時

▽消防後援会結成

会長に渡辺道蔵氏

五城目町では、昨年から元同消防部が中心となって、消防の外郭団体である各種消防後援会を結成しようと語合っておったが、順調に進み、去る一月十四日午後一時から役場会議室において結成式を挙げ、会長には渡辺道蔵氏、副会長氏が小熊嘉治、伊藤蔚の両氏が選任された。

功績章に輝く

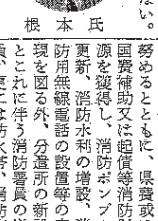
武藤氏

氏は昭和七年七月河辺郡豊岩村消防組消防手を拝命同十年伍長、同十四年警防団の動力化を図り、五年間にこれを完備するとともに防火水そうの築造も完成、造改善、常備消防部の新設等消防体制に画期的飛新を加え、町消防の発展に尽した功績は攻撃に違がない。

柴田氏

氏は大正十一年四月西馬音内町消防組副組頭に昇進し、昭和十三年組頭に改組せられるや推されて分団長となり、昭和廿三年三月消防署新設同二十二年九月消防団に改組せられても、同三十年九月町村合併に伴う羽後町消防団が結成せられても推されて副団長となり現在に至る。

氏は拝命以来三十五年の永きに亘り、火災の予防、警戒防禦、教養訓練は申まで、常備消防部の新設、設の強化促進については市当局並びに市議会の説得に努めるとともに、県費或は国費補助又は起債等消防財源を獲得し、消防ポンプの更新、消防水利の増設、消防用無線電話の設置等の実現を図る外、分署所の新設とこれに伴う消防署員の増員、更には防火帯、消防専用道路等の設定についても貢献する等市消防の強化発展に尽して功績は枚挙に遑がない。



根本氏

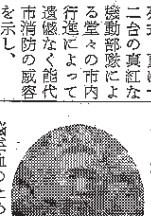
氏は昭和十七年大館消防組常備消防部員を拝命、その後副部長、部長と累進、昭和廿三年三月消防署新設同二十二年九月消防本部次長兼大館市消防署次長に就

▽〜　▽〜

火災の予防については、地区住民の理解と協力を求めて全地区に火災予防組合を結成し、出火の防止に献身的努力を傾注する一方昭和二十八年度から豊岩地区分分団の動力化を図り、五年間にこれを完備するとともに防火水槽、消防用水路の築造改善、常備消防部の新設等消防体制に画期的飛新を加え、町消防の発展に尽した功績は攻撃に違がない。

高橋文太郎氏

(前県消防協会副会長)



脳溢血のため湯沢市大町の自宅において療養中のところ十二月二十九日死去、六十八歳、氏は湯沢消防組小頭、常備消防部長、湯沢市消防署長、同消防団長、秋田県消防協会常任理事、同副会長などを歴任、昨年三月病気療養のため退職。

その間知事から有功章、国家消防本部長から永年勤続章、日本消防協会長から功績章をそれぞれ授与され、更に昭和三十年三月三日、綬褒章を下賜されている。

葬儀は一月六日湯沢市行円寺において盛大に行われた。

本県の日消会館寄附未だ五〇%

完納急げと切望

来る二月十二日竣工式を挙げることになったわれら の殿堂日本消防会館の建設資金に対する本県の寄附金納入の状況は未だ百五十八万円余りで割当額の五〇%という不振な状況である。

未完納町村は一日も早く完納して殿きたいと勧会事務局では強く望んでいる。

現在までの状況は

○完納

秋田市、能代市、大館市、男鹿市、湯沢市、大曲市、小坂町、十和田町、八幡平村、鷹巣町、比内町、花矢町、二ツ井町、藤里村、峰浜村、八竜村、五城目町、増和村、象潟町、矢島町、仁賀保町、由利村、大内村、六郷町、羽後町、東成瀬村、皆瀬村、飯田川町等二十八ケ市町村

○半納

横手市、本荘市、花輪町、八森町、河辺町、仙南村等六ケ市町村

○一部納

平鹿町、雄物川町等二ケ町

▼編集室より▲

愛読者諸氏に、県内の状況をもっと詳しく知りたいと仁賀保町、由利村、大内村、美談、ニュース、その他、何んでも結構ですのこしどしお寄せ下さい。

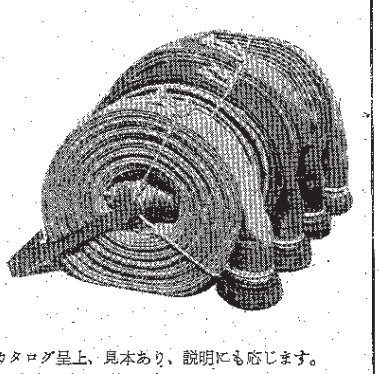
速くて、楽で、傷まない

新案特許　小田式ホース速伸器　最高無比

国消・消防研究所推せん、秋田県防災訓練本部・秋田県消防協会　推奨

(1) ねじれず速く楽に伸ばせる。
(2) いたみが非常に少ない。
(3) たくさん持てる。
(4) 金具を間違える心配はない。
(5) 巻取り、積込み、取出しにも便利。

従って ①屋内進入によく ②複雑な地形や梯子登りには最適 ③ホースは長持ち ④人員も少くてすむ ⑤カップリングを間違えることなく ⑥実際に役立つ本当の訓練がいとも気軽にでき ⑦消火隊にはもってこいである。



◉ 斡旋価格　¥300.—　カタログ呈上、見本あり、説明にも応じます。

＜申込は→秋田県消防協会へ(電話4787)＞

トーハツ ENGINES　35年来の小型エンデンメーカーが贈る国家消防本部検定合格品

始動の確実　サーヴィスの万全

トーハツ消防ポンプ

各馬力共サーチライト付完成品	VH型	水冷35馬力	150ポンド	500ガロン
	VK型	水冷28馬力	130ポンド	370ガロン
	VF4型	水冷15馬力	120ポンド	250ガロン
	VE3型	水冷65馬力	80ポンド	120ガロン

ジエツトホース＝テトロン交織の新製品発売！

特徴　1. 水が漏らない　2. 取扱いが容易である　3. 耐久力に富む　4. 軽く、硬くならない

秋田県代理店

株式会社　高義商会

本社　稲庭川連町　電話 川連 16番 18番
支店　横手市駅前　電話 1180番 1181番
支店　十文字駅前　電話十文字 32番
秋田営業所　秋田市川反二丁目　工藤幸吉　T 秋田 3178番
県北代理店　天王町　田仲工業所　T 天王 53番
同上　花輪町　鹿角自動車整備株式会社　T 花輪 74番

ブロック積防火水そうの築造について

大館市消防署長　根本自朗

国庫補助の対象となる防火水そうは、国の定める規格に基いて造らなければならないことは、ご承知のとおりであります。

鉄筋コンクリート造りの四〇立方メートルの防火水そうの国で定めた基準額は三十万円で、これに対する補助額は、基準額の三分の一即ち十万円であります。

ところが実際にかかる経費はどれ位かというに、年々工事費は騰貴して事務費等を加えると、約四十万円の概算となります。それに申請、検査、監査等極めて繁雑であります。

大火の多くは「水利の欠陥から」と指摘され、われ〳〵消防人もこのことは痛切に感じておりますが、起債も望めず、財政難のためこれが充実は、消防界の等しく頭痛の種となっている問題かと存じます。

このような実情に鑑み、当大館市では技術的にも経済的にも種々検討の結果、強靱にしてしかも低廉なコンクリートブロック積みの容量四〇立方メートルの防火水そうを考案し、主として合併地区を対象として試験的に築造したところ結果は極めて良好であります。

多少なりとも参考になればと存じ、貴重な紙面をお借りしその長所短所や設計図などをご紹介致します。

一、コンクリートブロック防火水そうの型式

1　地下式直径四メートルの丸型である。丸型にした理由は、円周であるため動、静圧の影響が少ない。即ち耐圧の利点によるもので、コンクリートブロック石は、円周になるように円弧に造られている。（図面参照）

蓋板は上版、下版共に、鉄筋を配す。

2　強度を保つ上版吸管投入口、蓋部口は図面では二口となっているが、築造して見るにその必要がないので一口に変更してある。

二、利点

1　工事費は極めて低廉である。

2　丸型のブロック積みであるため型枠不用、従って根掘りの範囲も少くてすむ。

3　工作材料は不用、単にブロックを積み重ねればよく且つ、特別の技術工でなくともコンクリートに経験があれば誰でもでき、積み重ね次第内部のモルタル塗りができる。

4　根掘り範囲が少いためどんな場所の片隅でも築造ができ、特に農村向きに好適である。

5　事務雑件費が不要なばかりでなく検査や監査の繁雑が省ける。

三、欠点

1　市街地幹交通の頻繁な道路上に設置することは適当でない。従って比較的交通量の少ない市外地が望ましい。

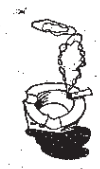
2　水そう内部に落葉等で降下する足掛りを取付けることができない不便がある。

3　地震には弱いと思われる。

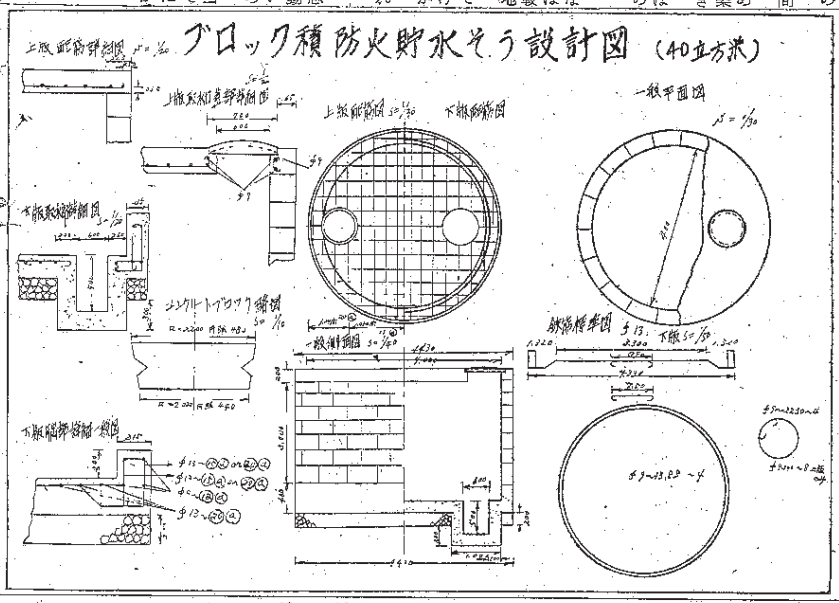
四、その他

耐用年数が最も問題と思われるが、地震又は自動車等による衝激の少ない場所なら半永久的であろうと推測される。

なお別記設計書は、当大館市の市価で評価してあるので地域により更に安くできるのではないかと思う。



ブロック積防火貯水そう設計図（40立方米）



防火水そう設備費内訳書

資材費内訳				労務費内訳			
資材名	単位	数量	単価	金額	職種別	延人員	要領賃金	金額
セメント袋		六九	三九	二六、一三	鉄筋工	八四	四、三五	三、九〇
洗砂利	立米	四三	八三	三、六三	人夫	四、五	三三	一五、九〇三
洗砂	〃	六、三七	七八	四、九〇	左官	四〇	四四	一、七〇
栗石	〃	二、九三	三九	一、四六				
鉄筋	瓩	九三、六三	三七	三四、四三	その他			三、七八
鉄線	〃	六、三一	六六	四九				
鉄蓋	枚	一、〇		五、〇〇〇				
コンクリートブロック	個	三〇	九〇	二七、〇〇〇				
鉄筋	瓩	三、三	三六〇	一、二〇九	小計			五、四〇
木材	平米	三、三	三六〇	一、二〇九				
防水マノール	缶	二〇	五〇〇	一〇〇〇				
小計				二四、〇九六	計			二六、四〇八

一カ所当り

名称	品種	長	巾	員	単位数量	単位	単位単価	金額	摘要
根掘	土砂	3.8	平均断面 26.02		98.88	m³	127.00	12,557.00	m³当り0.38人埋戻残土処理を含む
コンクリート	1:2:4				6.82	〃	4,334.00	29,557.00	附近河川より採取0.5人 馬車運2km 298.00
栗石					2.92	〃	509.00	1,486.00	内蓋60.29m² 厚1.5cm 目地用厚 8mm 坪当り 442.00
防水モルタル	1:2				1.66	〃	7,969.00	13,228.00	現場着
コンクリートブロック		内長 0.44 外長 0.48	厚 0.18 巾 0.22		320	個	90.00	28,800.00	鉄筋100kgに付 0.7kg
鉄筋					320.612	kg	37.00	34,432.00	2回使用
結束鉄線					6.51	〃	66.00	429.00	鉄筋 100kgに付0.9人
型枠	損料				22.22	m²	360.00	7,999.00	鉄筋工 1.0人に付 1.0人その他 雑役5人ブロック積1人30ケ 320ケ分 11.0人
鉄筋工					8.4	人	475.00	3,990.00	内面仕上1人15m² 60.29m²分
人夫					24.4	〃	335.00	8,174.00	
左官					4	〃	445.00	1,780.00	
水替費					1	式	00	9,500.00	
鉄蓋					1	枚		5,000.00	
埋戻					11.15	m³	498	5,552.00	採取 0.3人 馬車運2km398.00
保険								2,994.00	39266×75/1.000
合計								165,428.00	≒ 165,000.00

トーハツ ENGINES
トーハツポンプ
県北代理店　田仲工業所
南秋田郡天王町天王　T 天王 53

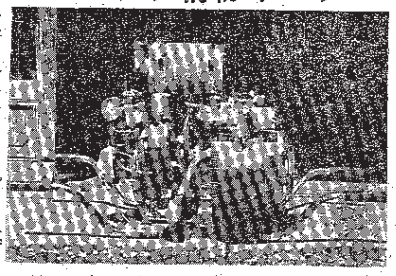
教習科講習

県では二月九日午前十一時から秋田市寺内大畑の県立自治講習において第九回消防教習科の入所式を挙行した。

この講習は来る三月十一日まで、受講者は県内各消防署や常備消防部勤務の初任消防士や消防団員であって入所したものは次の十名である。

秋田消防署 消防士	田村敬輝	
〃	茨原湧一	
〃	斎藤善雄	
〃	永井健	
〃	三浦実	
〃	山田好作	
能代市	横手市	高根与四郎
湯沢市	安藤種太郎	
鷹巣町	成田吉美	
矢島町消防団 消防員	三浦佐夫	

銀突
合金塗料
完全な煙突からは火事は出ぬ！
この塗料をお使いになれば……　赤錆た煙突は、一瞬にして美しい銀突に変り、室内は明るくなるばかりでなく、耐久力は三倍になる。
秋田県工業試験所の試験の結果700度Cの熱度で剥げないし、変色もしないことが証明されました。
第七回県発明展において知事賞を得、県産業労働部、県防災訓練本部の推薦を受けております。
発売元　三宝化学工業有限会社
秋田市土崎港将軍野五区　電話8888番

国消検定合格並に推奨品　全国唯一の4サイクル空冷水冷併用式の
シバウラ消防ポンプ
消防戦術に最も重要なる冬季期間の操作が簡単に出来る。
• エンヂンの始動は、燃料がガソリンのみ故如何なる寒冷時にても一度にて始動する
• 空冷エンヂンであるから絶ての汚物泥水等を吸込んでも心配はない
• ポンプ置場にて水を出さなくてもエンヂン及び真空試験が出来る

◎消火器各種、消防器具、用品一式
U—1型 6〜8HP
S—65型 14〜17HP
F—74型 18〜25HP
F—25型 6.5HP
F—18型 4.5HP
石川島芝浦機械株式会社秋田直売所
秋田市西根小屋町上丁16番地　電話6862・2931番

月刊毎月25日発行
消防秋田
定価 1部 10円
秋田市土手長町
発行所 秋田県消防協会
発行責任者 秋田市下北ノ町七
印刷所 太陽印刷株式会社
電話四八三五番

消防力強化促進　全国消防団長大会等

日本消防会館の竣工記念行事

日本消防協会では消防の協会事務局は東京消防庁消防殿堂たる「日本消防会館」が東京虎ノ門の一角にその威容を整えたので、この落成を機会に二月十二、十三日次の行事を盛大に繰り展げた。

この会館の建設は昭和三十一年四月十日の理事会で決議、同年七月三日地鎮式、同年八月二十日基礎杭打開始、同年十二月一日建築工事着工、同年二月一日竣工、同年四月二十日鉄骨建方開始、同年八月二十四日上棟式、三十三年二月十二日定礎式、三十四年二月十日竣工。

敷地は、東京都港区芝西久保明舟町十八番地、建築面積は、一、三一〇、七八二平方メートルで、本館総工費（付帯設備、什器備品一式）の総額は四億三千八百二十四万円である。

竣工式

二月十二日午前九時から日本消防会館二階ホールで消防団長が政界、官界、会政、官、財界、大日寄付者国消防長、東京都内消防庁等の来賓を迎え、東京消防協会代表等五〇〇名列席し、盛大に行った。

竣工披露式

二月十二日午後一時から東京渋谷区千駄ケ谷の東京体育館において全国八千の式に明続き客張日消連幕長の工事経過報告があり、大野会長から工事施工者間組に対し、感謝状を贈呈して閉会を開き、盛会裡に午後三時閉会した。

消防力強化促進　全国消防団長大会

竣工披露式終了後、その場で直ちに次の順序で消防祭典、大野会長挨拶、来賓祝辞（内閣総理大臣、加藤衆議院議長、松野参議院議長、青木国家公安委員長、自治体代表安井東京都知事）関係者に対する慰霊祭（奏楽）天皇陛下の御言葉、国歌斉唱（奏楽）荒殿消防長、自治体代表安井東京都知事の来賓を迎え、日消、地長等を来賓を迎え、東京消防協会代表等五〇〇名列席し、盛大に行った。

竣工披露式

二月十二日午後一時から東京渋谷区千駄ケ谷の東京体育館において全国八千の式に明続き客張日消連幕長の工事経過報告があり、大野会長から工事施工者間組に対し、感謝状を贈呈して閉会を開き、盛会裡に午後三時閉会した。

消防力強化促進　全国消防団長大会

竣工披露式終了後、その場で直ちに次の順序で消防祭典、大野会長挨拶、来賓祝辞（内閣総理大臣、加藤衆議院議長、松野参議院議長、青木国家公安委員長、自治体代表安井東京都知事）関係者に対する慰霊祭（奏楽）天皇陛下の御言葉、国歌斉唱（奏楽）荒殿消防

藍綬褒章に輝く山本氏

黄綬褒章拝受の佐藤氏

消防功労者に対する藍綬褒章並びに黄綬褒章の伝達式は、去る三月三日東京、虎の門に新装なった日本消防会館において行われたが、本県関係は

○藍綬褒章

横手市消防団長
県消防協会副会長
同横手市、平鹿郡支部長
山本　三郎氏

○黄綬褒章

五城目町消防団
副団長　佐藤久米松氏

の両氏で、本県の消防関係者中これまで藍綬褒章下賜の光栄に浴した者は、松野消防協会長（仁賀保町消防団長）、渡部副会長（大館市消防団長）、高橋前副会長（能代市消防団長）、安田常任理事（男鹿市消防団長）に続いて五人目であり又黄綬褒章は、男鹿市出戸、賀消防団の石川副団長、児玉琴丘町消防団長、湯沢市消防団大場分団長に続いて四人目である。

○藍綬褒章を下賜された

山本氏

氏は、昭和十六年四月推されて横手町警防団第二分団長を拝命、同十八年二月ポンプ自動車を導入して同年消防団長、同二十二年四月制施行後も引続き横手市消防団長に推されて就任現在に至る。

氏は、十七年の永きに亘り警防団、消防団と制度の改革にあいながらもよく部下を統率する一方関係機関と連絡協調、そのすぐれた統率力と高潔な人格はよく人に称われ、その実行力は郷党に高く評価されている。

又氏は責任感強く災害の予防警戒等には真剣なる活動を続け、一方消防体制の強化については献身的努力を傾けている。

○黄綬褒章を下賜された

佐藤氏

特に団長就任後は、部下団員の教養訓練と消防精神の昂揚に格別の意を注ぎ、一方消防力の強化については、昭和二十三年市当局並びに市議会関係者を説得して消防本部並びに消防署を設置し、その庁舎新設に当っては自ら総工費の半額を寄付して百十四坪の庁舎を完成、翌二十四年水そう付ポンプ自動車を導入して これを消防署に配属し、分団の施設整備については、年次計画を樹ててこれを実施し、現在自動車ポンプ六台、故組せられるや第二分団長に推され、同二十四年消防団に改組されるや第二分団長として模範的体制を整えた。

氏は又村会議員、教育委員、農業委員、農業の公職にあり、農業の公務多忙な身でありながら消防の強化発展に献身的努力を続けている姿に対し、地区住民は等しく感謝している。

氏は、昭和十六年四月推薦されて横手町警防団第二分団長を拝命、同十八年二月ポンプ自動車を導入して同年消防団長、同二十二年四月制施行後も引続き横手市消防団長に推されて就任現在に至る。

氏は、十七年の永きに亘り警防団、消防団と制度の改革にあいながらもよく部下を統率する一方関係機関と連絡協調、そのすぐれた統率力と高潔な人格はよく人に称われ、その実行力は献身的努力の結果である。

又氏は県会議員をはじめ職責の遂行に努めて来たこと、手引動力ポンプ、小型動力ポンプ。

(ニ) 設備

市平鹿郡支部長の要職にあり、消防協会の運営については、誠意と熱情を傾け、常に主導的役割を努めている。

氏は大正五年一月一日、大川村消防組消防手を拝命、同年四月伍長、同十五年第二部副小頭、昭和十年小頭に推され、同二十四年警防団に改革により五城目町消防団副団長に就任現在に至る。

氏は消防手拝命以来四十年間、三輪自動車ポンプ一台、手引ガソリンポンプ一台、百四十四石入貯水そう三個、鉄骨鎧張三基その他木造一棟を購入、又は整備して五カ年計画を完成し、農村消防として模範的体制を整えた。

氏は又村会議員、教育委員、農業委員の公職にあり、農業の公務多忙な身でありながら消防の強化発展に献身的努力を続けている姿に対し、地区住民は等しく感謝している。

34年度国庫補助の要望

三月十五日まで提出

防災訓練本部では、このほど昭和三十四年度消防施設整備費に対する国庫補助の要望を三月十五日まで提出するよう各市町村に通知した。

この補助金六億五千万円（都道府県消防学校設置費を含む）は目下国会で審議中であるが、次の事項に留意して期日まで申請するようにと要望している。

補助対象

(一) 機械器具

ポンプ自動車、水そう付ポンプ自動車、はしご付ポンプ自動車、普通ポンプ自動車、手引動力ポンプ、小型動力ポンプ。

(二) 設備

(イ) 消防施設整備計画の状況等を総合的に検討するほか補助対象ごとに次の条件を考慮して配分の優先度が決定される。

(ロ) 消防ポンプ

① 常備消防を設置する市町村においては、市街地（消防概況調査表の記載要領中の「市街地の判定基準」による。以下同じ。）は「消防力の基準」周辺地は「消防団の設備及び

補助率

基準額の三分の一以内。

配分方針

(一) 当該市町村の消防施設の基準から見た現有消防力

(二) 財政事情（補助を必要としているかどうか）

(三) 合併事情（合併の際の条件、新市町村建物計画の実施等の事情）

(四) 消防施設整備計画の状況等を総合的に検討するほか補助対象ごとに次の条件を考慮して配分の優先度が決定される。

(ロ) 消防ポンプ

① 常備消防を設置する市町村においては、市街地（消防概況調査表の記載要領中の「市街地の判定基準」による。以下同じ。）は「消防力の基準」周辺地は「消防団の設備及び

日消会館建設費寄付金

納入急げと当局要望

去る二月十二日竣工式を臨月村、鳥海村、東田刺村、挙げたわれらの殿堂日本消防会館の建設費に対する本県の寄付納入状況は、未だ湖町、象知村、南外村、仙県の寄付納入状況は、未だ百六十万余円で割当額の五北村、西木村、太田村、千百六十万余円で割当額の五北村、西木村、太田村、千一%という不振な状況にあり畑村。

未完納市町村は次のとおりであるから一日も早く完納願いたいと当局では望んでいる。

○米　納（三十四カ市町村）

【鹿角郡】鷹巣沢町

【北秋田郡】森吉町、田代町、上小阿仁村。

【山本郡】藤里村、山本村

【南秋田郡】昭和町、八郎潟町、天王町、井川村、琴浜村。

【由利郡】金浦町、岩城町

【能代郡】能代市

【河辺郡】河辺町。

【平鹿郡】平鹿町、雄物川町。

○半　納（二カ市町村）

【鹿角郡】花輪町。

【北秋田郡】阿仁町。

【南秋田郡】飯田川町。

【平鹿郡】増田町、大森町、山内村、大雄村、稲庭川連町、雄勝町。

○一部未納（二カ町）

【平鹿郡】平鹿町、雄物川

藍綬褒章に輝く山本氏

黄綬褒章拝受の佐藤氏

消防功労者に対する藍綬褒章並びに黄綬褒章の伝達式は、去る三月三日東京、虎の門に新装なった日本消防会館において行われたが、本県関係は

○藍綬褒章

横手市消防団長
県消防協会副会長
同横手市、平鹿郡支部長
山本　三郎氏

○黄綬褒章

五城目町消防団
副団長　佐藤久米松氏

の両氏で、本県の消防関係者中これまで藍綬褒章下賜の光栄に浴した者は、松野消防協会長（仁賀保町消防団長）、渡部副会長（大館市消防団長）、高橋前副会長（能代市消防団長）、安田常任理事（男鹿市消防団長）に続いて五人目であり又黄綬褒章は、男鹿市出戸、賀消防団の石川副団長、児玉琴丘町消防団長、湯沢市消防団大場分団長に続いて四人目である。

○藍綬褒章を下賜された

山本氏

氏は、昭和十六年四月推薦されて横手町警防団第二分団長を拝命、同十八年二月ポンプ自動車を導入して同年消防団長、同二十二年四月制施行後も引続き横手市消防団長に推されて就任現在に至る。

氏は、十七年の永きに亘り警防団、消防団と制度の改革にあいながらもよく部下を統率する一方関係機関と連絡協調、そのすぐれた統率力と高潔な人格はよく人に称われ、その実行力は郷党に高く評価されている。

又氏は責任感強く災害の予防警戒等には真剣なる活動を続け、一方消防体制の強化については献身的努力を傾けている。

○黄綬褒章を下賜された

佐藤氏

特に団長就任後は、部下団員の教養訓練と消防精神の昂揚に格別の意を注ぎ、一方消防力の強化については、昭和二十三年市当局並びに市議会関係者を説得して消防本部並びに消防署を設置し、その庁舎新設に当っては自ら総工費の半額を寄付して百十四坪の庁舎を完成、翌二十四年水そう付ポンプ自動車を導入して これを消防署に配属し、分団の施設整備については、年次計画を樹ててこれを実施し、現在自動車ポンプ六台、故組せられるや第二分団長に推され、同二十四年警防団に改組されるや第二分団長として模範的体制を整えた。

氏は又村会議員、教育委員、農業委員の公職にあり、農業の公務多忙な身でありながら消防の強化発展に献身的努力を続けている姿に対し、地区住民は等しく感謝している。

氏は大正五年一月一日、大川村消防組消防手を拝命、同年四月伍長、同十五年第二部副小頭、昭和十年小頭に推され、同二十四年警防団に改革により五城目町消防団副団長に就任現在に至る。

氏は消防手拝命以来四十年間、三輪自動車ポンプ一台、手引ガソリンポンプ一台、百四十四石入貯水そう三個、鉄骨鎧張三基その他木造一棟を購入、又は整備して五カ年計画を完成し、農村消防として模範的体制を整えた。

氏は又村会議員、教育委員、農業委員の公職にあり、農業の公務多忙な身でありながら消防の強化発展に献身的努力を続けている姿に対し、地区住民は等しく感謝している。

消防ポンプは ニッキとラビット号

各種附属品と被服金般、消火器各種

特約店　赤穂消防機具店

横手市茜土見町　電話八三八番

意見発表

① 消防力強化促進について

秋田県消防協会
会長　松野　吉

② 消防団員の人格の涵養

佐藤久米松氏

(副会長)の後議事に入り（議長に大野会長、副議長に四副会長会員を推挙）別紙のとおり三氏の代表意見発表、決議文の朗読（田中京都副会長）可決、火の用心三唱（大淵砂木副会長）万才三唱（骨木国家公安委員長）閉会の辞。

③ 消防団員の待遇改善について

佐賀県消防協会
会長　太田　良男

④ 消防団員の待遇改善について

副会長　太田　光二

選挙基準に照し、消防団を設置する市町村においては、一消防団の設備及び運営基準」に照し、消防ポンプの現有口数が著しく減少であると認あられる市町村であること。

② 常設消防（署所）を設置し、又は設置しようとする市町村は特に優先的に考慮することがある。

③ 市街地において、常設消防（署所）と消防団との併存地域においては、常設消防を優先的に考慮する。

④ 隣接町村との応援協力の見地から、交通事情等を考慮した一地域における中心的市町村については優先度を高める。

⑤ 有効な消防活動ができるような配置計画がたてられている市町村であること特に消防ポンプ自動車等の機動力のある消防ポンプは中心地に配置するよう計画された市町村であること。

⑥ 消防力を総合的にみた場合、消防ポンプの保有施設等に比較して不足し、両者の均衡が著しく失している市町村である。

(一) 火災報知機

市街地人口五万以上の都市であること。

(二) 消防等用無線電話

主として中小都市及び町村で他に有効な通信連絡施設のない市町村であること。

② 通信目的が達成せられるような通信資格者の配置等講ぜられる市町村であること。

(四) 防火水そう

① 水利の基準に比較して現有水利が著しく不足している市町村であること。

② 家屋が相当密集する地域に該当する市町村であること。

③ 現有消防水利が消防ポンプの保有数に比較して著しく失している市町村であること。

日消会館建設費寄付金

納入急げと当局要望

去る二月十二日竣工式を臨月村、鳥海村、東田刺村、挙げたわれらの殿堂日本消防会館の建設費に対する本県の寄付納入状況は、未だ湖町、象知村、南外村、仙県の寄付納入状況は、未だ百六十万余円で割当額の五北村、西木村、太田村、千百六十万余円で割当額の五北村、西木村、太田村、千一%という不振な状況にあり畑村。

未完納市町村は次のとおりであるから一日も早く完納願いたいと当局では望んでいる。

○米　納（三十四カ市町村）

【鹿角郡】鷹巣沢町

【北秋田郡】森吉町、田代町、上小阿仁村。

【山本郡】藤里村、山本村

【南秋田郡】昭和町、八郎潟町、天王町、井川村、琴浜村。

【由利郡】金浦町、岩城町

【能代郡】能代市

【河辺郡】河辺町。

【平鹿郡】平鹿町、雄物川町。

○半　納（二カ市町村）

【鹿角郡】花輪町。

【北秋田郡】阿仁町。

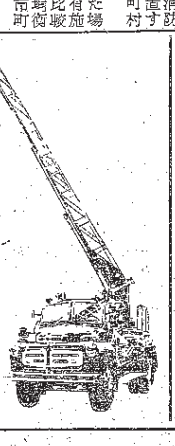
【南秋田郡】飯田川町。

【平鹿郡】増田町、大森町、山内村、大雄村、稲庭川連町、雄勝町。

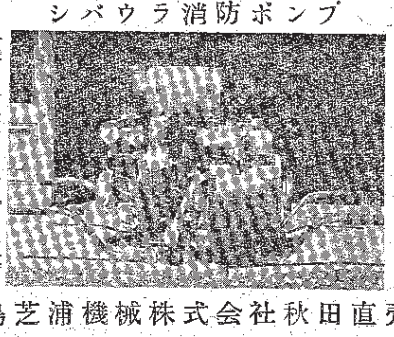
○一部未納（二カ町）

【平鹿郡】平鹿町、雄物川

時代と共に進歩する!!
日本機械の消防車
＝消防器材一式＝
日本機械工業KK代理店
旭産業株式会社
(旧旭友官納商事KK)
秋田市西根小屋町中丁一　TEL 5.045



国消検定合格並に推奨品　全国唯一の4サイクル空冷水冷併用式の
シバウラ消防ポンプ
消防戦術に最も重要なる冬季期間の操作が簡単に出来る。
• エンヂンの始動は、燃料がガソリンのみ故如何なる寒冷時にても一度にて始動する
• 空冷エンヂンであるから総ての汚物泥水等を吸込んでも心配はない
• ポンプ置場にて水を出さなくてもエンヂン及び真空試験が出来る



◎消火器各種、消防器具、用品一式
U—1型 6～8HP
S—65型 14～17HP
F—74型 18～25HP
F—25型 6.5HP
F—18型 4.5HP
石川島芝浦機械株式会社秋田直売所
秋田市西根小屋町上丁16番地　電話6862・2931番

高柳デパート（曲大）

火災の防禦方法を検討

二月十二日未明大曲市駅前通り高柳デパート二階から出火し、住家三棟非住家三棟を全半焼し、罹災世帯一〇、損害三千八百九十五万円を出した火災の防禦方法その他について研究し、将来の火災予防や火災の防禦対策の資料を得ようと、県防災訓練本部では二月二十五日大曲市役所会議室に大曲市をはじめ横手市や仙北郡の消防幹部三十余名の参集を求め、午後一時から検討会を開いた。

石川大曲消防署次席の開会のことばに次いで手賀防災訓練本部長と板谷大曲市長（兼消防長）から別掲の挨拶があった後、一同焼跡に到り、佐々木大曲市消防署長の現地説明を聴取して午後二時会場に引上げ、手賀防災訓練本部長司会の下に本格的検討に入った。

会議の模様は概ね別項のとおりであるが、消防戦術は勿論、運営管理、施設その他消防各般に亘り盛めて真剣に意見のやりとりがなされ大なる成果を収めて午後五時閉会した。

火出原因についての考え方も防禦の方法も当然変ってこなければならないと思います。

火災は全市民挙げてこの予防に努めなければならないのでありますが、年々増加しております現状でありますので、消防に専門の職にある以上予防の中核となって、これに努めなければなりません。それには従来の火消し消防の観念では来の火消し消防の観念では

先日、高柳デパートにあった事故を起し、まことに申訳なく思っております。その館は県や隣接市町村の皆さんに大変御迷惑をおかけしました。

一時はどうなることかと大変心配でしたが、あのとおり最少限度に喰止めることができ何よりです。これ偏えに応援下さいました皆

挨拶

防災訓練本部長　手賀義雄

御多用中多数御出席下さいまして有難度ございます。

先般発生した高柳デパートの火災に出動した市の消防関係者の方々や応援に駆付けその鎮圧に御尽力下さいました各位の御労苦に対し深く感謝致しますとともに厚く御礼申上げます。

御承知のように最近は、火を取扱う施設はもとより建物の構造等昔日の比でなく変って参っております。従って出火の原因も火災の様様もこれまでとは大分変ってきております。こうなることに時宜に適した措置考えて見ますと私達消防の

挨拶

大曲市長　板谷五郎左エ門

防災訓練本部の主催で本日このような会議をもつことになったのでありますが御多忙中にもかかわらず、地元は勿論のこと先日応援下さいました各位が多数お集り願きこれから種々検討零度四分、湿度八十九%という状況でした。

このデパートの階下は一般商品の売場で、二階は食堂、喫茶部、調理室等に使用されており、早期発見者の言その他から総合し、火点は二階の調理室付近でないかと推定しております。

罹災地域は、御承知のように当大曲市でも最も人家の稠密した地域で、殆んど空地がない程木造の危い建物が並んでおり、火元のデパートは大曲を縦断する国道から角館方面に通じる県道の分岐点の街角に面してたてられた建物であります。

次に水利の状況ですが、付近には有蓋の貯水槽三、消火栓二つある外八幡町の

敏在しております。

防火責任者がいない

消防署としては春秋二回の防火週間の際、予防査察を行っておりますが、このデパートには防火責任者の定めはありませんでした。

昨年の秋調理室の焚口に灰受皿がないので、灰受皿を

ら二合出動し、花館と角間川の両出張所に出動を命じ、私は二号車で出動しました。本署の当番員は十一名でありましたが、一名病欠のため、乗車人員は二合共四名ずつです。

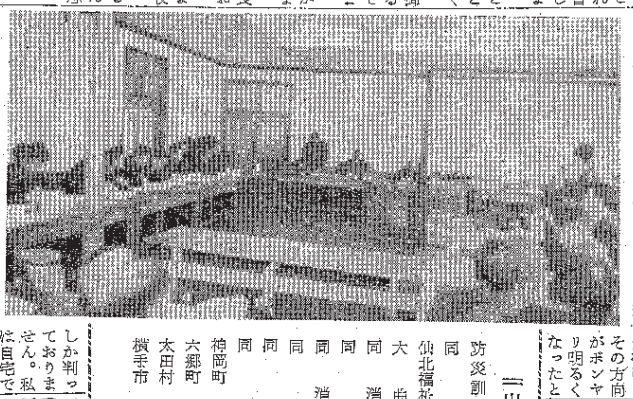
現場到着は六時二十六分で、その頃二階の中央部から

私は自宅で報告を受けた時は暖房から未だ火が見えなかったので、その頃二階の中央部から

堂、喫茶部、調理室等に使用されおり、早期発見者の言その他から総合し、火点は二階の調理室付近でないかと推定しております。

罹災地域は、御承知のように当大曲市でも最も人家の稠密した地域で、殆んど空地がない程木造の危い建物が並んでおり、火元のデパートは大曲を縦断する国道から角館方面に通じる県道の分岐点の街角に面してたてられた建物であります。

次に水利の状況ですが、付近には有蓋の貯水槽三、消火栓二つある外八幡町の



出席者

防災訓練本部	手賀本部長
同	宮嶋主事
仙北福祉事務所	高橋所長
大曲市	板谷市長
同　消防署	佐々木署長
同　消防団	石川司令補
同　藤田本部長	
同　加賀谷分団長	
同　由利分団長	
神岡町　消防団	今野団長
六郷町　〃　高橋常備部長	
太田村　〃　鷹巣消防係	
横手市　消防署	黒沢署長
外十数名	

この報告を受け、直ちに本署かしか判っている東側と北側に向け、ておりますが残る一口は南側の道路向の延焼防止に向けました。

放水開始は六時二十七分頃です。本署の部隊より約一分位おくれて到着した花館出張所部隊は、火元建物の北方約百メートルの地点にある第十五号消火栓に部署、ホース六本と七本延長の二口を出し、既に延焼しつつある北側を担当、破壊消防と併行してこの方面の延焼阻止に当らせました。

その中第二出動の角間川出張所部隊が続々到着し、私達の方に堰にはめ方面や欠陥のある方面第一分団は火元の向角の貯水槽につけ、共に火元の西側の防禦に向け、第三分団

ばし、副射熱で危険と認めた道路の西と南の両向の建物の延焼防止に向け、続いた一号車を火元部の第十四号消火栓につけ、ホース四本ずつ結合して三口出し、その方向がボンヤリ明るくなったと二口は将に延焼しようとした

を攻勢に転じ一挙これを撃滅したのであります。その間約三十分間位と存じます。

私は二号車で出動しました本署の当番員は十一名であり、乗車人員は二合共四名

私は取り敢えずサイレンの攻鳴を命じ、外へ出て見た道路の溜り水を使わせたのが未だ火が見えず本通りへ

私は流水も貯水槽もありません、火事場から流れた

を自宅で報告を受けた私が自宅で報告を受けた北側に向けた六台のポンプは、そこには流水も貯水槽もありませんでしたが、北側に北側に向けました。

北側に巣町目保町村町城町町北町町村島仙浦和

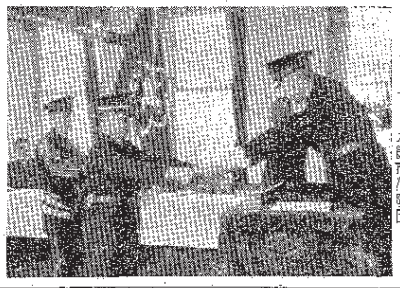
も井戸堰につけましたが、これは北側の防禦に向けました。

可搬動力は主として建物の比較量込んでいる東側と

署署署場場場団場場場場消防防消消防防役役役

☆輝く消防功労表彰

昭和三十三年度の優良消防機関に対する知事表彰と懸賞なる式辞松野会長の激の講辞があり極めて厳粛裡全国から厳選され優良消防機関、優良消防団(隊)員と議会議長代理や斎藤県警警備部長の祝辞、受賞者代表として去る二月十三日授与された日本消防協会長表彰と去る三月三日に授与された国家消防部長表彰の二大表彰の伝達式を三月七日午前十時から秋田市広小路の自治会館講堂で行い、県議長代理の伊藤隆治県議をはじめ、斎藤県警警備部長や、この度栄誉賞受章の佐藤五郎氏の他多数の来賓を迎え、手賀防災訓練本部長の開式のことばに次いで小畑知事、松野消防協会長森松厚生部長からそれぞれ表彰状、竿頭授、賞はい等して、柴田羽後町消防団長、黄綬受章の佐藤五郎氏の他多数の来賓を迎え、手賀防災訓練本部長の開式のことばに次いで小畑知事、松野消防協会長森松厚生部長からそれぞれ表彰状、竿頭授、賞はい等



＝国家消防本部長表彰＝

竿頭授　五城目町消防団

●功労章　羽後町消防団　団長　柴田　発蔵

●永年勤続章　大館市消防団　副団長　富樫久之助

本荘市消防団　副団長　小松金三郎

秋田市土崎消防署長　司令　佐藤千代治

●現場功労　秋田市消防本部　秋田市消防団

知事表彰

●竿頭授　男鹿市消防団

●五城目町大川中学校生徒会

●六郷町宝内少年消防クラブ

全国少年消防クラブ運営協議会長表彰

花輪町消防団　鷹巣町消防団　六郷町消防団　増田町消防団

日本消防協会長表彰

前号掲載のとおり

●優良消防団　竿頭授　二ヶ団

●優良消防団員　功績章　三名　精績章　二一名

輝く功労章の柴田氏

氏は昭和十四年四月遂ぼれて西馬音内町消防団長に就任、同二十二年消防団に改組後も消防団長に推され同三十年四月、付近七カ村を合併して、羽後町誕生後も推されて新町消防団長に就任し現在に至る。

氏は消防に身を投じてから二十年の永きに亘り、終始一貫よく団員を統率し、その教養訓練に努め、その間改革に伴う消防制度の改革や混乱にあいながらも、確固たる信念と毅然たる態度をもって事に当り、特に消防体制の改善強化については、町民の理解を深めて幹部と相想り、年次計画を立て町当局に折衝、或る時は財源問題で難色を示す当局を激励し、又或る時は自ら財源の獲得に東奔西走する等、凡ゆる手段を講じ終戦後だけでも、ポンプ自動車一台、可搬動力ポンプ三十五台、防火水そう七十二個、鉄骨櫓楼二十五基を購入又は築造する等画期的改善強化を図った。

旧西馬音内町消防団や羽後町消防団はこれまで国や県から数度の表彰の光栄に浴しているが、これは偏に氏の卓越せる手腕とたゆまざる努力の結果に外ならない。

氏は又県消防協会常任理事、湯沢市雄勝郡支部長の要職にあり、県や郡市の消防発展に尽した功績はまことに大きい。

防火週間 四月一日(水)～四月七日(火)

焼かぬ工夫で明るい郷土

大火の絶滅を重点

防災訓練本部ではこの度春の防火週間を四月一日から全県一斉に行うことしその要綱を次のとおり発表すると共に、関係方面に実効の挙がるよう協力ありたいと懇願した。

実施要領

○期間　四月一日～七日

○重点　大火の防止（出火防止に対する自覚の高揚）

一　大火の防止

気象的な条件によって大火の起る季節なので、特に大火防止に重点をおき、一般の警火心を高揚して出火防止および消防設備に対する運報の迅速を徹底させる

二　防火、避難設備の点検整備

火災による死傷者は逐年増加の傾向にあるので、特にこの期間中に多数集合する劇場（映画館）や学校等に対する修理および補完を行うとともに避難設備の点検整備を図り、その訓練を行うこと。

三　消防訓練の実施

この期間中は特に学校、工場その他大建築物にあっては、一度出火すると大火になり易いので、方一の場合に備えて、避難等の訓練を総合的に実施させ、又は協力してその訓練を実施すること。（指定訓練は後日通知する）

四　火災予防査察の励行

火災予防査察を励行し、修理を要する火気取扱場所や器具等について、速やかに回復するよう指導させ、また不適当な建物、固定所等にあっては、大建築物等にあっては、特にできるだけこれを改修させるよう指導すること。

五　危険物取締の徹底

危険物の取締については従来ややもすればこれが微底をかくきらいがあるので厳重指導すること。

六　林野火災の防止

この取締りに当って十分意を用いること。

七　林野火災の防止

所有者に対する警戒、利用者に対する思想を向上させること。

八　火災予防機関における警備態勢の強化につとめる。

（関係）出火防止のため、消防職員による予防査察を励行し、消防職員および避難設備の点検整備。

九　防火設備および避難設備の点検整備。

十　消防機器の各種知識の普及徹底。

十一　火災感知器の取付。

十二　火災現場における警戒。

十三　火災現場における消防隊の活動。

十四　火災現場における消防隊の活動。

十五　火災現場における消防隊の活動。

十六　火災現場における消防隊の活動。

十七　火災現場における消防隊の活動。

十八　火災現場における消防隊の活動。

十九　火災現場における消防隊の活動。

二十　火災現場における消防隊の活動。

二十一　火災現場における消防隊の活動。

二十二　火災現場における消防隊の活動。

二十三　火災現場における消防隊の活動。

二十四　火災現場における消防隊の活動。

二十五　火災現場における消防隊の活動。

二十六　火災現場における消防隊の活動。

二十七　火災現場における消防隊の活動。

二十八　火災現場における消防隊の活動。

二十九　火災現場における消防隊の活動。

三十　火災現場における消防隊の活動。

三十一　火災現場における消防隊の活動。

三十二　火災現場における消防隊の活動。

三十三　火災現場における消防隊の活動。

三十四　火災現場における消防隊の活動。

三十五　火災現場における消防隊の活動。

三十六　火災現場における消防隊の活動。

三十七　火災現場における消防隊の活動。

三十八　火災現場における消防隊の活動。

三十九　火災現場における消防隊の活動。

四十　火災現場における消防隊の活動。

四十一　火災現場における消防隊の活動。

四十二　火災現場における消防隊の活動。

四十三　火災現場における消防隊の活動。

四十四　火災現場における消防隊の活動。

四十五　火災現場における消防隊の活動。

四十六　火災現場における消防隊の活動。

四十七　火災現場における消防隊の活動。

四十八　火災現場における消防隊の活動。

四十九　火災現場における消防隊の活動。

五十　火災現場における消防隊の活動。

五十一　火災現場における消防隊の活動。

五十二　火災現場における消防隊の活動。

五十三　火災現場における消防隊の活動。

五十四　火災現場における消防隊の活動。

五十五　火災現場における消防隊の活動。

五十六　火災現場における消防隊の活動。

五十七　火災現場における消防隊の活動。

五十八　火災現場における消防隊の活動。

五十九　火災現場における消防隊の活動。

六十　火災現場における消防隊の活動。

六十一　火災現場における消防隊の活動。

六十二　火災現場における消防隊の活動。

六十三　火災現場における消防隊の活動。

六十四　火災現場における消防隊の活動。

六十五　火災現場における消防隊の活動。

六十六　火災現場における消防隊の活動。

六十七　火災現場における消防隊の活動。

六十八　火災現場における消防隊の活動。

六十九　火災現場における消防隊の活動。

七十　火災現場における消防隊の活動。

七十一　火災現場における消防隊の活動。

七十二　火災現場における消防隊の活動。

七十三　火災現場における消防隊の活動。

七十四　火災現場における消防隊の活動。

七十五　火災現場における消防隊の活動。

七十六　火災現場における消防隊の活動。

七十七　火災現場における消防隊の活動。

七十八　火災現場における消防隊の活動。

七十九　火災現場における消防隊の活動。

八十　火災現場における消防隊の活動。

八十一　火災現場における消防隊の活動。

八十二　火災現場における消防隊の活動。

八十三　火災現場における消防隊の活動。

八十四　火災現場における消防隊の活動。

八十五　火災現場における消防隊の活動。

八十六　火災現場における消防隊の活動。

八十七　火災現場における消防隊の活動。

八十八　火災現場における消防隊の活動。

八十九　火災現場における消防隊の活動。

九十　火災現場における消防隊の活動。

九十一　火災現場における消防隊の活動。

九十二　火災現場における消防隊の活動。

九十三　火災現場における消防隊の活動。

九十四　火災現場における消防隊の活動。

九十五　火災現場における消防隊の活動。

九十六　火災現場における消防隊の活動。

九十七　火災現場における消防隊の活動。

九十八　火災現場における消防隊の活動。

九十九　火災現場における消防隊の活動。

百　火災現場における消防隊の活動。

能代市檜山の火災に思う

佐藤尚士

本年は春の訪れが以外に早く、例年より一カ月は気候が早いと言われている。そのためか火災は連日のように頻発して二月末現在で火事については、数えられ増の八十八件、死者は同じく七名、焼失棟数は四十八棟増の百三十四棟、罹災世帯は十増の九十世帯、損害額は約三千万円増の九千万円で、これから本格的な火災期を控え、前途多難を思わせておった矢先、去る二月二十五日の深夜（午前零時頃）能代市檜山の三世帯が焼け出された。

このたび焼けた檜山本町（旧檜山町）も昨年六月の白昼子供の弄火によって、三十五棟、二十四世帯が罹災し、損害約千百七十六万円という本県では昨年中一番大きな火災が発生し、二年続いてこのような火災が発生したことは大いに考えさせられるものがある。

今回の場所は能代市消防署九分団に所属するが同分団はここを入れて五台の支所、農協倉庫、警察官の小型ポンプがあるのみで、部落ごとに散在し、一番近い上部隊からは二粁、中沢、大館から四粁、中沢、大館から四粁、中沢、大館から四

（※二面より）

員の配置のなかったことを遺憾に存じます。

○議　長　火元は木青モルタルのデパートであり、そこに食堂というものがありますので、当然事前指導が必要であり、実況検分等に必要な原因の推定が書いてありますが、この辺についての研究が、将来大に参考になると思います。こうした点についてのお話があればまことに幸いです。

○宮　嶋　高柳デパートの当時の状況はどうなっておりますか。

責任者がいない

○佐々木　住込みの店員が男女合せて九名おりますが当直制はなく、従って責任者というものがないような恰好になっております。そして住込者の寝室はデパート内ではなく、経営者が住居の二階になっておりますので、デパートには夜間誰もいないことになっております。

○議　長　機手市などではどうやっておりますか。

電話査察に効果がある

○黒　沢　横手のデパートといえば山川呉服店ですが、これは個人経営の関係か、火災の予防は非常によくやっております。私達も大いに助かっております。

私の方では数年前から特殊建物については毎九時を期して、電話査察をやっております。電話査察はその晩の防火責任者から電話へ出て鳴き、異状の有無を聞きそれの方の名前を聞いて記録しているように致しております。これは可成り効果があるように考えております。

○議　長　大曲で電話査察をやっておりますか。

○佐々木　そこまでは致しておりません。然し、気象的に危険と思われるときはやっております。

熱に対しては関心がない

○議　長　一般に見える火に対しては同心致しますが見えない熱に対しては割合関心が払われていないように感じられますが今回の原因の推定についても一つ。

○佐々木　予防については強く反省し、大いに勉強しなければならないと考えております。

早期発見者の言や焼け跡の調査等からして二階の調理室付近から出火したのではないかと推定されます。即も調理室にある改良かまどの下に蓄熱現象を起しそれが次第に炭化状態になって発火したのでないかと思います。

大曲から午朝六時の汽車に乗る賀出の者がその前を相当数通るのですが、誰も異状を認めておりません。

自衛体制の確立が急務

○高　橋　ただ今聞いた火災詳報にある教訓に「特殊建築物に対する自衛消防意識の啓化を促し、特に夜警員に対する講習」とあるのは秋田市だけです。能代では金物屋が出るし、花輪の一一九番は百助旅館です。所によっては料理屋がでるかも知れません。（笑声）

もの事はその地方の実情に合ったものでなければならないと思います。

将来の予防消防に備えるための原因調査は絶対必要です。現場にいるものからは中央に反影させるだけの力が出てくる筈です。調査の欠陥が予防消防に影響しているとするならば消防として考えなければなりません。更に一台に四名という乗車人員は一体どうですか。この点について模手の黒沢さんから一つ。

この程度は大成功

○黒　沢　大都市でこの位の火事があると定員七人乗りの消防車が三十台も出動し、その外に飛火警戒のため五百米以内に何台一千米以内に何台という様に出動し、矢張りこの程度に止めております。大曲のこの火事は四人乗車の車が三台出動して止めている。しかも水は一滴も無駄にしていない。私は大成功と思う。

私のお伺い致したいことは、若し遠消車があったら屋内侵入が可能な程度の火勢であったかどうかということですが。

○石　川　階下はトタン張りの戸が全部閉ってあった為強調によって少しはカバーできないでしょうか。私団員は水を出さないと仲々の方では現場迷惑になるし、中には水をの活動に協力するように指出さないと手当を貰えぬと考えている者もいるらしいんです。（笑声）警戒にも間に合わないでしょうが、遠いところでは計画と訓練によっては活用できると思います。

○由　利　私の方では分署所が出動した後へ団員を数名電話当番その他の用務のため勤務させるようにしております。この電話当番で消防員が電話連絡に当っている筈を見、感銘したことがあります。

○議　長　先刻六郷町から要の鐘を鳴らし、青少年の帰宅を促すことに致したがこの時報と同時に火の元検査をすることに致したいと考えておりますが、仲々思うように参りません。殊火のければ幸せです。御協力願

○議　長　長時間熱心に御検討願い私自身も非常によい勉強になりました。この度の火災はこの程度で食止めると円滑を欠く要因となりますので消防署の諸君も十分注意して戴きたいと思います。

長時間貴重な御意見を承り有難とうございます。厚く御礼申上げます。

○石　川　これで本日の検討会を閉じます。

先日私は、全国消防団長大会に出席のため上京中でありますが、接近大曲は未だ忘れぬ中にくるようです。本日は各方面から注意を戴き、大いに参考になりました。これからは十分注意し大曲の災害防除につき及ぼすかぎり微力を尽したいと思います。

団の活動はただ今、手賀本部長さんの申されたような線に添って参りたいと考えておりますが、仲々思うように参りません。殊火の整理なども延焼のおそれがなくなると地元分団が引受けるように致すつもりですが、現場における言動は互に慎みませんと、ややもすると円滑を欠く要因となりますので消防署の諸君も十分注意して戴きたいと思います。

まして感謝に堪えません。

○加賀谷　平素の訓練と運腕用ポンプまで引出させ得強調によって少しはカバーできないでしょうか。私団員は水を出さないと仲々の方では現場迷惑になるし、中には水をの活動に協力するように指出さないと手当を貰えぬと考えている者もいるらしいんです。（笑声）警戒にも間に合わないでしょうが、遠いところでは計画と訓練によっては活用できると思います。

愛の鐘を合図に火の用心

○高　橋　仙北郡では青少年指導のため、午後九時に愛の鐘を鳴らし、青少年の帰宅を促すことに致したがこの時報と同時に火の元検査をすることに致したいと考えておりますが、仲々思うように参りません。殊火の整理なども延焼のおそれがなくなると地元分団が引受けるように致すつもりですが、現場における言動は互に慎みませんと、ややもすると円滑を欠く要因となりますので消防署の諸君も十分注意して戴きたいと思います。

○加賀谷　応援に出て誘導員のいない程困ることがあります。

○今　野　誘導員は分団から出すようにすれば何んとかなりますが、機械を遠隔ところが多いのですが、機械を買う場合防災訓練本部で話がありましたが、秋田市では、現場は一切署に委せ団は火元に走らず専ら飛火の警戒に当ることになっておりますが、これは可成りよく行われております。又団は消火栓の水や貯水槽は絶対使わないことにしておりますが、それでは何を使うかということになりますが、側溝や下水、流水を使うことにしこれが可成厳格に守られ又殊火処理問題ですが、秋田市では殊火はそこの分団が行うことにしており、鎮圧すると署の車は直ぐ引上げております。殊火整理に時間を費しますと、能代の第二回目の大火のようなことがありますのでよろしく御配慮願いたいと存じます。又誘導員の問題も、右に火災事があるのに左へ走るのは何んだかテレ臭いように思いますが、これも訓練によって大いした困難がなく解決する問題であります。

最近消防用品も多種多様販売されており、中にはいかがわしい品も見え、且又暴利をむさぼっている商人もあるやに聞きます。勿論本会で斡旋致しますが、本会はそのようなものは一つもなく本会はこの点についてはそのようなものは一つも御配慮願いたいと存じます。用の品を作るだけ

○石　川　これで本日の検討会を閉じます。

消防用品の斡旋

消防協会は県下消防機関の福祉厚生のため、各種消防用品の斡旋を致して参りましたが、県内各方面から好評を博しております。

長時間恐縮でした有難とう御座います。

○藤田団長　本日は防災本部の主催でこのような有意義な会議を開催して下さい

トーハツ ENGINES

トーハツポンプ

県北代理店　田仲工業所

南秋田郡天王町天王　T天王53

（会場空気真剣）

速くて、楽　で、傷まない

新案特許　小田式ホース速伸器　最高無比

国消・消防研究所推せん、秋田県防災訓練本部・秋田県消防協会　推奨

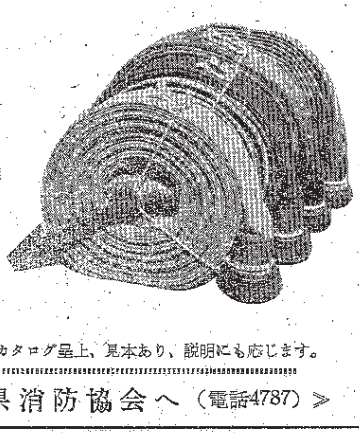
(1) ねじれず速く楽に伸ばせる。
(2) いたみが非常に少ない。
(3) たくさん持てる。
(4) 金具を間違える心配はない。
(5) 巻取り、収込み、取出しにも便利。

従って ①屋内進入によく ②複雑な地形や梯子登りには最適 ③ホースは長持し ④人員も少くてすむ ⑤カップリングを間違えることなく ⑥実際に役立つ本当の訓練がいとも気軽にでき ⑦消火栓にはもってこいである。

◉斡旋価格　¥300.—　カタログ呈上、見本あり、説明にも応じます。

＜申込は→秋田県消防協会へ（電話4787）＞

（特長）



トーハツ ENGINES

35年来の小型エンデンメーカーが贈る

国家消防本部検定合格品

始動の確実

トーハツ消防ポンプ

サーヴィスの万全

各馬力共サーチライト付完成品	VH型	水冷35馬力	150ポンド	500ガロン
	VK型	水冷28馬力	130ポンド	370ガロン
	VF4型	水冷15馬力	120ポンド	250ガロン
	VE3型	水冷65馬力	80ポンド	120ガロン

ジエツトホース＝テトロン交織の新製品発売！

特徴　1. 水が漏らない　2. 取扱いが容易である　3. 耐久力に富む　4. 軽く、硬くならない

秋田県代理店

株式会社　高義商会

本社　稲庭川連町　電話 川連 16番 18番

支店　横手市駅前　電話 1180番 1181番

支店　十文字駅前　電話十文字 32番

秋田営業所　秋田市川反二丁目　工藤幸吉　T 秋田 3178番

県北代理店　天王町　田仲工業所　T 天王 53番

同上　花輪町　鹿角自動車整備株式会社　T 花輪 74番